



PUBLIC (公開)

SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム
ドキュメントバージョン: 4.3 Support Package 4 – 2023-12-07

Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス開発者ガイド

目次

1	ドキュメント履歴.....	8
2	はじめに.....	9
3	開発環境をセットアップする.....	10
3.1	サポートされるプログラミング言語.....	10
3.2	複数のドメインにまたがる RESTful Web サービスによる Ajax と JavaScript の使用.....	11
4	SDK の使用.....	13
4.1	RESTful Web サービス要求の取得.....	13
	CMC によるベース URL の取得.....	13
	プログラムによるベース URL の取得.....	14
4.2	RESTful Web サービス要求を行う.....	14
	要求ヘッダーの作成.....	19
	要求本文の作成.....	20
	応答ヘッダーの解釈.....	20
	応答本文から XML 形式への変換.....	23
	応答本文から JSON 形式への変換.....	27
	XML と JSON の属性の比較.....	32
	多言語データの操作.....	35
4.3	認証.....	36
	ユーザー名とパスワードからログオントークンを取得する.....	37
	シリアル化セッションまたはセッショントークンからログオントークンを取得する.....	38
	Active Directory シングル サインオン (AD SSO) アカウントを使用してログオン トークンを取 得する.....	40
	信頼できる認証を使用して、ログオン トークンを取得する.....	42
	XML エンコードテキストからログオントークンへの変換.....	44
	要求ヘッダーにログオントークンを追加する.....	45
	HTTP 基本認証の使用.....	45
	BI platform からログオフする.....	47
	他の SDK から取得した認証済みセッションの使用.....	48
	REST エンドポイントの SAML 設定.....	50
4.4	OpenDocument URL でのログオントークンの使用.....	54
4.5	BI platform リポジトリのナビゲート.....	56
	BI platform リポジトリの最上位を表示する.....	56
	ID でオブジェクトを取得する.....	57
	CUID でオブジェクトを取得する.....	58
	子オブジェクトにアクセスする.....	59

	結果にページを設定する.....	60
	タイプで結果をフィルタ処理する.....	62
	関係を持つオブジェクトにアクセスする.....	63
4.6	スケジュール.....	66
	オブジェクトのスケジュール用 URL を検出する.....	66
	リソースをスケジュールする.....	68
4.7	Tomcat サーバ向けの RESTful Web サービスの設定.....	70
4.8	WebSphere サーバ向けの RESTful Web サービスの設定.....	70
5	管理タスクとインストール タスク.....	72
5.1	Windows に RESTful Web サービスをインストールする.....	72
5.2	Unix に RESTful Web サービスをインストールする.....	73
5.3	WinAD SSO を有効化するように web.xml を設定する.....	74
5.4	メソッドとヘッダーのコマンド ライン パラメータを作成する.....	75
5.5	RESTful Web サービスのベース URL を設定する.....	76
5.6	エラーメッセージスタックを有効にする.....	77
5.7	各ページに表示されるデフォルトのエントリ数を設定する.....	77
5.8	ログオントークンのタイムアウト値を設定する.....	78
5.9	セッションプールの設定を構成する.....	78
5.10	HTTP 基本認証を有効化する.....	79
5.11	クロスオリジン リソース共有 (CORS) を構成する.....	80
5.12	信用できる認証を有効にして設定する.....	80
5.13	Microsoft Silverlight から WACS サーバへのアクセスのセキュリティ確保.....	82
6	受信者の配信ルールの設定.....	83
7	API リファレンス.....	84
7.1	API リファレンスおよび前提条件について.....	84
7.2	ビルドに関する情報の取得.....	85
7.3	タイムゾーン情報の取得.....	86
7.4	認証.....	87
	/v1/logon/long.....	87
	/v1/logon/token.....	91
	/v1/logon/adsso.....	94
	/v1//logon/trusted.....	96
	/v1//logon/trustedx509.....	99
	/v1/logoff.....	101
7.5	スケジュールの管理.....	102
	スケジュール用のテンプレートの取得.....	103
	今すぐのスケジュールの作成.....	105
	1 回限りのスケジュールの作成.....	107
	毎時スケジュールの作成.....	110

	日次スケジュールの作成	112
	週次スケジュールの作成	115
	毎月のスケジュールの作成	118
	月の N 日のスケジュールの作成	121
	月の最初の月曜日のスケジュールの作成	123
	カレンダーのスケジュールの作成	126
	月の第 N 週の X 曜日のスケジュールの作成	129
	月の最終日のスケジュールの作成	131
	レポートのインスタンスの取得	134
	レポートのインスタンス詳細の取得	136
	レポートのスケジュール一覧の取得	138
	スケジュールのインスタンス詳細の取得	140
	並べ替えとフィルタリング	141
	スケジュールの詳細の取得	143
	スケジュールに使用可能なサーバグループの検索	144
	利用可能なカレンダーおよびカレンダー日付の取得	145
7.6	ユーザの管理	147
	新しいユーザの作成	147
	ユーザの詳細の取得	150
	ユーザの詳細の変更	152
	現在のユーザのロケールおよびタイムゾーン情報の指定	154
	利用可能なロケールおよびタイムゾーンの一覧表示	156
	現在のユーザのパスワードの変更	158
	ABAP ユーザのパスワードの変更	159
7.7	ユーザの削除	161
7.8	ユーザの一覧表示	162
7.9	ユーザグループの管理	166
	ユーザグループの一覧表示	167
	新しいユーザグループの作成	171
	ユーザグループの詳細の取得	173
	ユーザグループに含まれるすべてのユーザの一覧表示	174
	ユーザグループへのユーザの追加	178
	ユーザグループからのユーザの削除	179
	ユーザグループに含まれるユーザグループの一覧表示	180
	ユーザグループへのユーザグループの追加	184
	ユーザグループからのユーザグループの削除	185
	ユーザグループの詳細の変更	186
	ユーザグループの削除	188
7.10	パブリケーションの管理	189
	パブリケーションの作成	189
	パブリケーションの一覧表示	191

レポートドキュメントの追加および削除	195
静的ドキュメントの追加および削除	197
Enterprise ユーザの追加および削除	200
Enterprise ユーザグループの追加および削除	202
動的受信者の追加および削除	205
レポートの出力形式の設定	208
出力先形式の設定	210
受信ボックス出力先プラグインの設定	211
SMTP 出力先プラグインの設定	213
FTP 出力先プラグインの設定	216
SFTP 出力先プラグインの設定	219
ファイルシステム出力先プラグインの設定	222
ドキュメントごとのターゲットオブジェクト名の設定	224
パブリケーションのスケジュールインスタンスの一覧表示	227
パブリケーションの詳細の取得およびパブリケーションの変更または削除	229
結合 PDF 設定の設定	231
サーバグループのスケジュールの設定	234
スケジュールされたパブリケーションの通知の設定	236
詳細設定の設定	238
スケジュールされたパブリケーションのイベントの設定	240
配信ルールおよび条件の設定	241
配信失敗情報の取得	249
パブリケーションのパーソナライズ	252
7.11 ファイルのダウンロードおよびアップロード	262
/infostore/folder/<folder_id>/file	262
/infostore/folder/<SI_ID>/file	263
7.12 カテゴリの管理	265
カテゴリの一覧表示	265
カテゴリの作成	268
カテゴリの詳細の取得	270
カテゴリの詳細の変更	271
カテゴリの第 1 レベルの子の一覧表示	273
カテゴリの第 1 レベルのドキュメントの一覧表示	275
カテゴリの削除	276
7.13 フォルダの管理	277
フォルダの一覧表示	277
フォルダの作成	280
フォルダの詳細の取得	282
フォルダの詳細の変更	283
フォルダの第 1 レベルの子の一覧表示	284
フォルダへのファイルのアップロード	285

	フォルダの削除.....	287
7.14	ドキュメントの管理.....	287
	ドキュメントの一覧表示.....	288
	ドキュメント詳細および OpenDoc URL の取得.....	290
	ドキュメント詳細の変更.....	292
	ドキュメントのカテゴリ詳細の取得.....	293
	カテゴリへのドキュメントの割り当て.....	294
	ドキュメントからのカテゴリの削除.....	295
	さまざまな宛先へのドキュメントの送信.....	296
	ドキュメントの削除.....	303
7.15	ごみ箱のアイテムの管理.....	304
	ごみ箱のアイテムの一覧表示.....	304
	ごみ箱のアイテムのプロパティの取得.....	305
	ごみ箱からのアイテムの復元.....	306
	ごみ箱からのアイテムの削除.....	307
7.16	アラートおよび通知の管理.....	308
	現在のユーザのアラートの一覧表示.....	308
	アラートの詳細の取得.....	309
	アラートの編集.....	310
	アラートの削除.....	311
	通知バナーの詳細の取得.....	312
	通知バナーの数の取得.....	313
7.17	InfoStore.....	314
	Infostore のオブジェクトの一覧表示.....	314
	オブジェクト詳細の取得.....	317
	オブジェクトの子の一覧表示.....	318
	オブジェクトの関係の一覧表示.....	320
	オブジェクト間の関係の詳細の取得.....	322
8	CMS クエリ.....	324
9	BI 管理者のコックピット.....	327
9.1	サーバ.....	327
	サーバ数.....	327
	サーバー一覧.....	328
	サーバの詳細.....	333
	サーバの起動.....	334
9.2	スケジュールされたジョブ.....	335
	ジョブ数.....	335
	ジョブ一覧.....	337
	ジョブの詳細.....	340
	ジョブの再実行.....	341

	最大インスタンス数の統計.....	342
	最長インスタンスの統計.....	344
9.3	コンテンツの使用.....	346
	コンテンツ数.....	346
	コンテンツ一覧.....	348
	レポートによる統計フォルダ.....	352
	未読による統計受信ボックス.....	354
	レポートによる統計ユニバース.....	355
9.4	アプリケーション.....	357
	アプリケーション数.....	357
	アプリケーションの一覧.....	360
10	付録.....	364
10.1	付録 A - カテゴリ別の RWS エラー メッセージの概要.....	364
10.2	RESTful Web サービス (RWS) のエラーメッセージ.....	368
	RWS 00002 - RWS 00010.....	369
	RWS 00011 ~ RWS 00026.....	372
	RWS 00031 ~ RWS 00051.....	377
	RWS 00052 - RWS 00075.....	384
	RWS 00076 ~ RWS 00080.....	392

1 ドキュメント履歴

以下の表は、最も重要なドキュメント変更の概要です。

バージョン	日付	説明
SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム 4.3	2020 年 6 月	初期リリース

2 はじめに

Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK では、HTTP プロトコルを使用して BI platform にアクセスできます。この SDK を使用して、BI platform へのログオン、BI platform リポジトリのナビゲート、リソースへのアクセス、および基本的なリソースのスケジュールを行うことができます。HTTP プロトコルをサポートする任意のプログラミング言語を使用してアプリケーションを作成するか、HTTP 要求の実行をサポートする任意のツールを使用して、この SDK にアクセスできます。XML と JSON（JavaScript Object Notation）のどちらの要求および応答形式もサポートされます。JSON 形式の詳細については、www.json.org と tools.ietf.org/html/rfc4627 を参照してください。XML 形式の詳細については、www.w3.org/XML/ を参照してください。

この SDK を使用する場合

以下の場合に RESTful Web サービス SDK を使用します。

- BI platform リポジトリオブジェクトにアクセスしたり、基本的なスケジュールを実行する必要がある。
- 他の BI platform SDK がサポートしていないプログラミング言語を使用する必要がある。
- BI platform ライブラリをアプリケーションの一部としてダウンロードしてインストールしない。

BI platform の高度な機能（サーバー管理、セキュリティ構成、リポジトリの変更など）にプログラムでアクセスする場合は、これらの機能をサポートする BI platform SDK の 1 つを使用します。たとえば、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム Java SDK、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム .NET SDK、または SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム Web サービス SDK を使用して、BI platform の高度な機能にアクセスします。

SDK の使用開始

このガイドは、次のセクションに分かれています。

- 開発環境をセットアップする - RESTful Web サービス SDK を使用するための開発環境。
- SDK の使用 - RESTful Web サービス SDK の使用方法（BI platform へのログオン、BI platform リポジトリのナビゲート、オブジェクトのスケジュールとアクセス、エラーメッセージの解釈、多言語コンテンツの操作など）。
- 管理タスクとインストール タスク - BI platform デプロイメントに RESTful Web サービスをインストールして構成する方法。このセクションは、BI platform システム管理者向けです。
- API リファレンス - RESTful Web サービス要求のリファレンス。

3 開発環境をセットアップする

Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK を使用するアプリケーションを開発するには、RESTful Web サービスがインストールされている BI platform デプロイメントにログオンでき、HTTP 要求を行う方法を理解している必要があります。

- BI platform デプロイメントには、RESTful Web サービスのインスタンスがインストールおよび構成されている必要があります。デプロイメントに RESTful Web サービスがインストールおよび構成されていない場合は、BI platform 管理者に問い合わせてください。
- RESTful Web サービス要求のリスニングに使用するベース URL とポート番号を調べる必要があります。このベース URL とポート番号は、プログラムによって取得するか、セントラル管理コンソール（CMC）で表示することができます。
- BI platform にログオンできる必要があります。それには、有効なユーザー ID とパスワードを使用するか、別の SDK から取得したシリアル化セッションまたはセッショントークンを使用します。
- 任意のプログラミング言語を使用するか、HTTP 要求の作成をサポートするツールを使用して、HTTP 要求を行う方法を理解している必要があります。

関連情報

[管理タスクとインストール タスク \[72 ページ\]](#)

[認証 \[36 ページ\]](#)

[RESTful Web サービス要求の取得 \[13 ページ\]](#)

3.1 サポートされるプログラミング言語

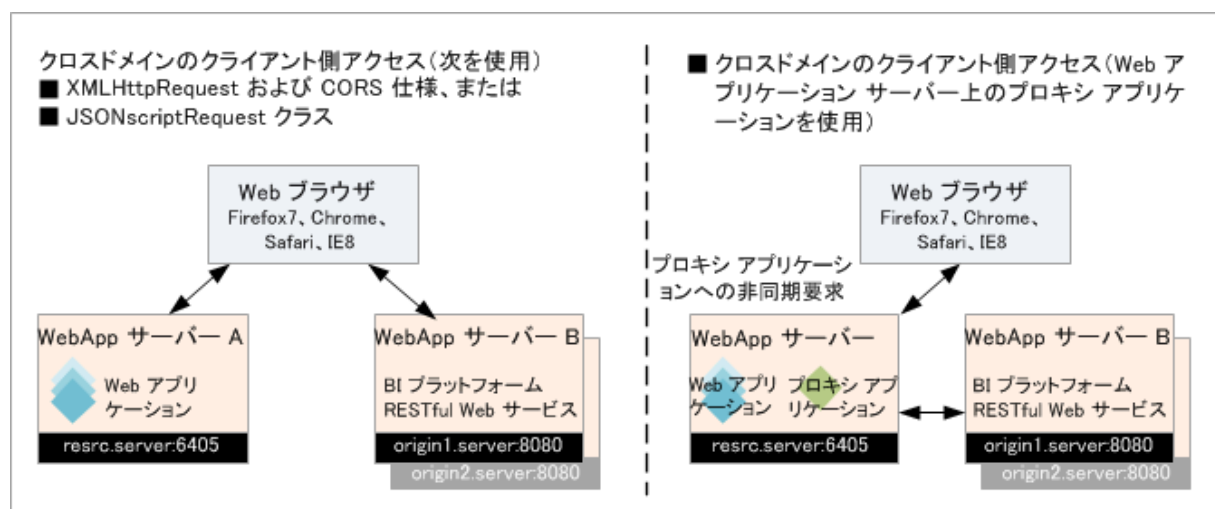
HTTP 要求の作成をサポートするプログラミング言語であればどれを使用しても、BI platform RESTful Web サービスにアクセスできます。アプリケーションにライブラリを追加する必要はありません。

最先端のプログラミング言語のほとんどは HTTP 要求の作成をサポートしています。cURL プログラミング言語は HTTP 要求を完全にサポートしており、主要なプログラミング言語のほとんどに cURL ベースのライブラリを提供しています。cURL の詳細については、<http://curl.haxx.se/> を参照してください。

HTTP 要求の作成ツールを使用すれば、コードを記述することなく HTTP 要求を作成することもできます。たとえば、URL、メソッド、要求ヘッダー、および要求本文を指定して、RESTful HTTP 呼び出しを作成するための Mozilla Firefox の REST Client プラグインを取得できます。

3.2 複数のドメインにまたがる RESTful Web サービスによる Ajax と JavaScript の使用

BI platform RESTful Web サービスに対するクロスドメイン HTTP 要求は、JavaScript 言語および Ajax 言語に組み込まれているセキュリティポリシーによって禁止されます。この目的は、信頼できないサーバーから意図に反して実行される可能性がある悪意のあるスクリプトの動作を防止することです。これには、異なるドメインにホストされるスクリプト、同じサーバーの異なるポートでホストされるスクリプト、または同じサーバーにホストされ、異なるプロトコルを使用する（たとえば、https の代わりに http）スクリプトも含まれます。JavaScript アプリケーションまたは Ajax アプリケーションで RESTful Web サービスに対してクロスドメイン要求を行えるようにするには、以下のいずれかの回避策を使用してください。



XMLHttpRequest および CORS の仕様

HTML、CSS、JavaScript などのクライアント側テクノロジーのみが使用されている場合、クロスドメインアクセスは、RESTful Web サーバーに CORS（クロス オリジンリソース共有）を実装し、クライアント側の Web ブラウザで XMLHttpRequest を使用することによって行われます。CORS の詳細については、<http://www.w3.org/TR/cors/> を参照してください。

CORS を使用してブラウザがアクセスできるドメインを制限するには、RESTful Web サーバーの設定にこれらのドメインを含める必要があります。

CORS 仕様の実装方法は Web ブラウザによって異なるので、サポート対象となるすべてのブラウザの各バージョンで動作する単一のインターフェイスを使用できるライブラリを使用します。

① 注記

Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービスのすべての要求は結果を XML または JSON 形式で返すので、両方の応答タイプを処理するために XMLHttpRequest を使用します。JSONscriptRequest クラスは、クロスオリジン要求による制限を受けません。

Web アプリケーションサーバーでのプロキシアプリケーションの使用

JavaScript Web ページと同じサーバーで動作するプロキシ Web アプリケーションを使用することにより、別のサーバーにあるリソースに HTTP 要求が転送されます。

プロキシは、JSP、Java Servlets、C#、ASP.NET などのサーバー側テクノロジーを使用する Web サイトで使用されます。JavaScript と Ajax プログラミングを使用する Web ページは、同一オリジンセキュリティポリシーを持たないプログラミング言語で記述されているプロキシアプリケーションを使用することにより、他のサーバーを呼び出すことができます。

セキュリティ保護の目的で、内部ネットワークまたは外部ネットワークに対する権限がないアクセスを禁止する適切なアクセス制限を使用して、プロキシを設定できます。たとえば、必要なリソースが `http://origin1.server:8080` ドメインと `http://origin2.server:8080` ドメインにある場合、プロキシサーバーのパススルーはこれらのアドレスにのみ要求を転送する必要があります。

関連情報

[クロスオリジン リソース共有 \(CORS\) を構成する \[80 ページ\]](#)

4 SDK の使用

このセクションでは、Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービスのベース URL の取得、BI platform へのログオン、BI platform リポジトリのナビゲートなど、RESTful Web サービス SDK を使用する方法について説明します。

4.1 RESTful Web サービス要求の取得

Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK を使用するには、RESTful Web サービス要求をリスニングするサービスのプロトコル、サーバー名、ポート番号、およびパスの情報がが必要です。これらを組み合わせてベース URL が形成されます。RESTful Web サービスへの要求は常に、最初にベース URL があり、その後具体的な要求内容が続きます。

BI platform 単一のサーバーにインストールされる基本インストールでは、デフォルトのベース URL として `http://<servername>:6405/biprws/` が使用されます。

複雑なデプロイメントシナリオでは、RESTful Web サービスをホストする Web アプリケーションコンテナサーバー（WACS）のインスタンスが複数ある場合があります。その場合は、RESTful Web サービスを別の場所でホストすることもできます。BI platform 管理者は RESTful Web サービスへのアクセスに使用する場所のベース URL を定義し、ユーザーはプログラムまたはセントラル管理コンソール（CMC）を使用してこのベース URL を調べることができます。

① 注記

デフォルトの Tomcat フルビルドインストールでのみ、ポートがそれぞれのデフォルトのベース URL で Tomcat ポートを使用するように更新されます。その他のシナリオでは、上記と同じです。

4.1.1 CMC によるベース URL の取得

RESTful Web サービス要求のベース URL を調べるには、セントラル管理コンソール（CMC）ユーザーインターフェイスにログインし、RESTful Web サービス設定に移動します。

1. CMC にログオンします。
2. [\[アプリケーション\]](#) をクリックします。
3. [\[RESTful Web サービス\]](#) を右クリックし、[\[プロパティ\]](#) をクリックします。
[\[RESTful Web サービス\]](#) プロパティウィンドウが表示されます。
4. [\[アクセス URL\]](#) テキストボックスからベース URL を取得します。

4.1.2 プログラムによるベース URL の取得

BI platform Java SDK などの他の BI platform SDK の1つを使用して、RESTful Web サービスのベース URL をプログラムで調べることができます。RESTful Web サービスのベース URL をプログラムで調べるには、まず、BI platform に照会して RESTful Web サービスオブジェクトの `SI_ACCESS_URL` プロパティを取得する必要があります。RESTful Web サービスオブジェクトは、その CUID または種類に基づいて照会できます。CUID と種類は、Java 定数の `com.businessobjects.sdk.plugin.desktop.restwebservice.IRestWebService.CUID` と `com.businessobjects.sdk.plugin.desktop.restwebservice.IRestWebService.KIND` にアクセスして調べることができます。

① 注記

RESTful Web サービスの CUID 値は `AZpJ1b9HDtxPjLHwEmF8xD8`、種類の値は `RestWebService` です。

```
"SELECT SI_ACCESS_URL FROM CI_APPOBJECTS WHERE SI_CUID='" + IRestWebService.CUID + "'"
```

```
"SELECT SI_ACCESS_URL FROM CI_APPOBJECTS WHERE SI_KIND='" + IRestWebService.KIND + "'"
```

BI platform Java SDK バージョン 4.1 によるベース URL の検出

`IRestWebService` インターフェイスの `getURL` メソッドを使用して、RESTful Web サービスのベース URL を取得することができます。

```
IInfoObjects objects= infostore.query("SELECT SI_ACCESS_URL FROM CI_APPOBJECTS WHERE SI_CUID='" + IRestWebService.CUID + "'");
IInfoObject object = (IInfoObject)objects.get(0);
IRestWebService restAppObject = (IRestWebService) object;
String baseUrl = restAppObject.getURL();
```

BI platform Java SDK の詳細については、*SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム Java SDK 開発者ガイド*を参照してください。

4.2 RESTful Web サービス要求を行う

Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK にアクセスするには、RESTful Web サービスをホストする URL に HTTP 要求を送信します。RESTful Web サービスは要求を処理し、要求された情報を含む応答を返します。HTTP 要求をサポートする任意のプログラミング言語またはツールを使用して、RESTful Web サービスにアクセスできます。RESTful Web サービスは、HTTP 標準と AtomPub 仕様に準拠しますが、カスタム属性も含みます。

要求は、要求ヘッダーと要求本文の2つのメインコンポーネントで構成されます。要求ヘッダーは、要求本文の形式、受け入れられる応答形式のほか、優先言語やログオントークンなどのカスタム設定を定義します。要求本文は空白のままか、要求を行うために必要な追加情報が含まれていることもあります。たとえば、認証要求は、ユーザー名とパスワードを XML 形式で要求本文に渡します。

RESTful Web サービス要求を行うには、以下の情報が必要です。

- URL - RESTful Web サービスをホストする URL。
- メソッド - GET、PUT、POST、DELETE など、要求の送信に使用する HTTP メソッドのタイプ。
- 要求ヘッダー - 要求を記述する属性。
- 要求本文 - 要求の処理に使用される追加情報。

要求が処理されると、応答を受け取ります。応答には、要求した情報のほか、次のステップに必要な補助情報が含まれます。たとえば、応答には、以降の要求の要求本文にデータを設定するための XML テンプレートや、親フォルダ、子フォルダ、追加情報のページ、関連リンクなどの関連する RESTful URL へのリンクが含まれることがあります。RESTful 応答から提供される情報に従って、要求したデータに移動したり、以降の要求に必要なテンプレートを取得することができます。

Business Intelligence プラットフォームの RESTful Web サービス応答は、BI platform クライアント アプリケーションの機能によって XML または JSON の形式にすることができます。

RESTful Web サービスの応答には、以下の 2 つのメインコンポーネントが含まれます。

- 応答ヘッダー - 応答の形式を記述する属性のリスト。HTTP 応答コードを含みます。
- 応答本文 - 要求した情報、および後続の要求を完了するための追加情報。

このドキュメントの例では、各 RESTful 要求に必要な URL、メソッド、要求ヘッダー属性、および要求本文を定義します。HTTP 要求をサポートする任意のプログラミング言語またはツールを使用して、RESTful Web サービスにアクセスできます。

例: /login/long API を使用する RESTful POST 要求と XML 形式を使用する応答

この例では、BI platform リポジトリにログオンする RESTful 要求を示します。

要求

URL : `http://localhost:6405/biprws/login/long`

メソッド : POST

要求ヘッダー属性 :

属性	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml

要求本文 :

```
<attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="userName" type="string">username</attr>
  <attr name="password" type="string">password</attr>
  <attr name="auth" type="string"
possibilities="secEnterprise,secLDAP,secWinAD">secEnterprise</attr>
</attrs>
```

応答

応答ヘッダー:

属性	値
Status code	200 OK
Server	Apache-Coyote/1.1
X-SAP-LogonToken	"COMMANDCOM-LCM:6400@{3&2=5542,U3&p=40680.8979564815,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,OP&66=60,03&68=secEnterprise:Administrator,OP&qe=100,U3&vz=TZnoIE2yQyeLCkAlnHtaYUHon5,p0yTkSaUiLC8SSM,UP}"
Date	Tue, 17 May 2011 21:33:03 GMT
Content-Type	application/xml
Content-Length	586

応答本文：

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author><name>@COMMANDCOM-LCM:6400</name></author>
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/logon/long</id>
  <title type="text">Logon Result</title>
  <updated>2011-05-17T21:33:03.471Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="logonToken" type="string">COMMANDCOM-
LCM:6400@{3&2=5542,U3&p=40680.8979564815,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,OP&66=60,03&68=secEnterprise:Administrator,OP&qe=100,U3&vz=TZnoIE2yQyeLCkAlnHtaYUHon5,p0yTkSaUiLC8SSM,UP}</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

例: /logon/long API を使用する RESTful GET および POST 要求と JSON 形式を使用する応答

この例では、名前およびパスワードと認証タイプを入力するために使用する JSON 形式の要求本文を GET 要求を使用して取得してから、POST 要求を使用して BI platform リポジトリからログイン トークンを取得する RESTful 要求を示します。

要求

URL：http://localhost:6405/biprws/logon/long

メソッド：GET

要求ヘッダー属性：

属性	値
Accept	application/json

GET 要求の後に JSON 形式で返される要求本文は、次のとおりです。

```
{ "userName": "", "password": "", "auth": "secEnterprise" }
```


要求本文は、POST 要求として送信される前に、次のコード スニペットに示すように名前ラベル（例：BOEuser）とパスワード（例：BOEPassword999）が含まれます。

```
{ "userName": "BOEuser", "password": "BOEPassword999", "auth": "secEnterprise" }
```

① 注記

auth のデフォルト値は secEnterprise です。使用できる認証タイプは、次のとおりです。

- secEnterprise - Enterprise 認証
- secLDAP - Lightweight Directory Access Protocol 認証
- secWinAD - Windows Active Directory 認証
- secSAPR3 - SAP 認証

POST 要求後の応答ヘッダー：

属性	値
Status code	200 OK
Server	Apache-Coyote/1.1
X-SAP-LogonToken	:"COMMANDCOM- LCM:6400@{3&2=5571,U3&p=40897.0049317824,Y7&4F= 12,U3&63=secEnterprise,OP&66=60,03&68=secEnterprise :BOEuser,OP&qe=100,U3&vz=odiw9uLc1kVlJf9lggLFEWPA X3qsFWBT1LkdE2DTGhY,UP}"
日付	Tue, 17 December 2011 21:33:03 GMT
Content-Type	application/json
Content-Length	204

JSON 形式の応答本文：

```
{ "logonToken": "COMMANDCOM-  
LCM:6400@{3&2=5571,U3&p=40897.0049317824,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,  
OP&66=60,03&68=secEnterprise:Administrator,OP&qe=100,U3&vz=odiw9uLc1kVlJf  
9lggLFEWPAX3qsFWBT1LkdE2DTGhY,UP}" }
```

例: RESTful infostore JSON 形式の要求

ここでは、RESTful 要求の例として、GET 要求と /infostore API およびログイン トークンを使用して、JSON 形式で返される情報を BI platform リポジトリから取得します。

要求

URL：http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore

メソッド：GET

要求ヘッダー属性：


```
{
  "__metadata": {
    "uri": "http://localhost:9998/biprws/infostore/5056",
    "id": "5056",
    "cuid": "Acu9FvxWBZ9Htt0_08a25b4",
    "description": "",
    "name": "Monitoring Report Sample",
    "type": "Folder"
  }
}
```

関連情報

[RESTful Web サービス要求の取得 \[13 ページ\]](#)

4.2.1 要求ヘッダーの作成

HTTP 要求の要求ヘッダーには、要求を記述する一連の属性が格納されます。BI platform RESTful Web サービス SDK は、標準の HTTP 属性セットと、BI platform 専用に定義されたカスタム属性を認識します。

① 注記

BI platform は、クライアントアプリケーションなど、システムの他のレイヤに要求を渡します。BI platform は認識できないが、クライアントアプリケーションは認識できる要求ヘッダー属性を含めることができます。

次の表で、BI platform が認識する要求ヘッダーについて説明します。

属性	説明	サンプル値
Content-Type	要求本文の形式。BI platform は、タイプ application/xml またはタイプ application/json のコンテンツを受け入れます。クライアントアプリケーションは、他の形式を受け入れることもできます。	application/xml
Accept	応答本文の正しい形式。BI platform は、コンテンツを application/xml 形式または application/json 形式で提供します。クライアントアプリケーションは、他の形式でコンテンツを提供することもできます。	application/json
Accept-Language	システムメッセージとエラーメッセージの取得に使用される優先言語。これは、BI platform の製品ロケール (PL) に対応します。	en-US
X-SAP-PVL	BI platform コンテンツの取得に使用される優先言語。これは、優先表示言語 (PVL) に対応します。	ja-JP

属性	説明	サンプル値
X-SAP-LogonToken	認証プロセスから受け取ったログオントークン。ログオントークンは引用符で囲みます。	"COMMANDCOM- LCM:6400@{3&2=55,3&p=403.0 083,Y7&4F=12,U3&63=secEnte rprise,0P&56=60,03&68=secE nterprise:administrator,0P &qe=100,U3&vz=y3EqvsvoVMU8 raN2YjqDe4,UP}"
権限	使用する権限タイプ (HTTP 基本認証など)。	Basic <authtype>¥<username>:<password> <authtype> は認証タイプに、 <username> はユーザー名に、 <password> はパスワードに置き換えてください。
X-SAP-TRUSTED-USER	信頼できるユーザーのアカウント名。 ラベル X-SAP-TRUSTED-USER は、CMC の [サーバーの一覧] > [WACS] にある [信頼できる認証設定] で、MyUser などの別のラベルに変更できます。	trustedUser

関連情報

[認証 \[36 ページ\]](#)

4.2.2 要求本文の作成

要求本文には、RESTful Web サービスが要求を完了するために必要な情報が含まれます。たとえば、認証要求の要求本文には、ユーザー名とパスワードを含むログオン情報が含まれます。これは、ログオン要求を受け入れるか拒否するかを判断するために必要な情報を認証 URL に提供します。

要求本文の形式を定義するには、要求ヘッダーで属性を設定します。形式を指定するには、メッセージヘッダーの Content-Type 属性を設定します。

4.2.3 応答ヘッダーの解釈

応答ヘッダーには、要求が成功したかどうかを示す属性、および応答本文のコンテンツを示す属性が含まれます。応答ヘッダーの属性の大部分は HTTP 標準に含まれます。ただし、X-SAP-LogonToken ヘッダー属性は、BI platform でのみ使用されるカスタム属性です。

ステータスコード

ステータスコードには、要求が成功したかどうかを示す標準 HTTP ステータスコードが含まれます。

HTTP 応答コード	エラー	説明
400	不正な要求	要求されたリソースは存在しますが、要求にエラーがあります。
401	ログインの失敗または無効なセッション	ログインに失敗しました。ユーザー名、パスワード、およびサーバー名が正しいことを確認してください。
403	アクセス拒否	要求されたリソースを操作する権限がありません。現在のセッションが期限切れになっている可能性があります。ログインして新しいセッションを取得してください。
404	サービスがない	要求されたサービスは、RESTful Web サービス SDK から提供されていません。
405	要求メソッドが無効	リソースがサポートしていないメソッドを使用して要求が行われました。たとえば、読み取り専用リソースに対して PUT 要求を行いました。
406	受容不可	要求されたリソースは、要求ヘッダーの Accept 属性で指定されているコンテンツタイプを生成できません。
408	BI platform サーバートタイムアウト	要求の待機中にサーバーがタイムアウトになりました。
415	サポートされていないメディアタイプ	サーバーまたはリソースがサポートしていないメディアタイプが要求に含まれています。
500	RESTful Web サービス内部エラー	未分類のエラーが発生しました。詳細については、応答本文を参照してください。
503	RESTful Web サービスプラグインが見つからない	RESTful Web サービスを利用できません。RESTful Web サービスが正しく構成されていることを確認してください。

Server

要求の処理に使用されたサーバー。

Date

応答日時。

Content-Type

応答本文の形式。たとえば、ほとんどの Web サービス応答は、応答本文が XML 形式であることを示すために、値 `application/xml` を使用しています。

Content-Length

応答本文の長さ。

Transfer-Encoding

メッセージの転送に使用されたエンコードのタイプ。

Content-Location

リソースの検索に使用できる代替リンク。

X-SAP-LogonToken

BI platform へのアクセスが認証されていることを証明するために、後続の要求で利用できるトークン。認証要求は、応答ヘッダーで `X-SAP-LogonToken` カスタム属性を返します。ログオントークンは、引用符で囲んで後続の要求の要求ヘッダーに挿入します。

① 注記

認証応答の応答本文には、`X-SAP-LogonToken` 値のコピーが返されます。ただし、応答本文は XML 形式であり、ログオントークンは XML エンコードバージョンに変換されます。このログオントークンのコピーを使用するには、元の形式に変換する必要があります。

関連情報

[XML エンコードテキストからログオントークンへの変換 \[44 ページ\]](#)

4.2.4 応答本文から XML 形式への変換

Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK は、Atom 仕様に従って XML 形式で応答を提供します。この仕様は <http://www.w3.org> から入手できます。このセクションでは、RESTful Web サービスに XML タグがどのように適用されるかを説明します。次の画面は、BI launchpad が一般的な /infostore 要求への応答として XML データをどのように返すかを示しています。

```
<?xml version="1.0" ?>
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/infostore</id>
  <title type="text">InfoStore (@COMMANDCOM-LCM: 6400)</title>
  <updated>2012-02-02T22:35:11.975Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/4/children?page=1&pageSize=5" rel="self"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/4/children?page=1&pageSize=5" rel="first"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/4/children?page=2&pageSize=5" rel="next"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/4/children?page=7&pageSize=5" rel="last"/>
  <entry>
    <title type="text">Alert Notifications</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ARZB.BFCQk9PqagDpcFwo1w</id>
    <author>
      <name>System Account</name>
    </author>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Alert%20Notifications" rel="alternate"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="int32">64</attr>
        <attr name="cuid" type="string">ARZB.BFCQk9PqagDpcFwo1w</attr>
        <attr name="description" type="string">Description here</attr>
        <attr name="name" type="string">Alert Notifications</attr>
        <attr name="type" type="string">Folder</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">Application Folder</title>
    :
  </content>
</entry>
</feed>
```

<feed>

<feed> 要素は、<entry> 要素のリストを定義します。JSON では、中かっこの { と } を使用して応答を囲みます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry> ... </entry>
  <entry> ... </entry>
  ...
</feed>
```

<entry>

単一の項目。<entry> タグには、xmlns 属性を含めることができます。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  ...
</entry>
```

<author>

アクセスされたリソースの所有者。<author> 要素には、リソースの所有者の名前を定義する <name> 要素が含まれます。次の要素は、リソースの所有者が System Accountであることを示します。

```
<author><name>System Account</name></author>
```

<id>

リソースの一意的 ID。

```
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/AdoctK9h1sBHp3I6uG0Sh7M</id>
```

<title>

リソースの名前。この例は、リソースの名前が Application Folderであることを示します。

```
<title type="text">Application Folder</title>
```

<updated>

リソースが最後に更新された日時。

```
<updated>2011-04-14T10:27:50.672Z</updated>
```

<link>

link 要素は、他の RESTful Web サービス要求で使用できる URL へのリンクを定義します。これには、親フォルダ、子フォルダ、要求に関連する追加情報などを入れることができます。これらのリンクをたどることで、BI platform リポジトリを参照できます。

リンクタグの href 属性はハイパーリンクを定義し、rel 属性はリンクのタイプを示します。次のリストでは、rel 属性に指定できる値を説明します。

<link> 関連する属性名	説明
self	この URL へのリンク。
first	結果の最初のページへのリンク。
next	結果の次のページへのリンク。
previous	結果の前のページへのリンク。
last	結果の最後のページへのリンク。
alternate	同じリソースへの別のリンク。
up	現在のリソースの親へのリンク。
related	関連リソースへのリンク。
http://www.sap.com/rws/bip#children	現在のリソースの子へのリンク。
http://www.sap.com/rws/bip#opendocument	OpenDocument でリソースを表示するためのリンク。
http://www.sap.com/rws/bip#schedule	リソースをスケジュールするためのリンク。

たとえば、次のリンク要素は、結果の次のページへのリンクを示します。

```
<link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Root%20Folder/children?
page=3&pageSize=3" rel="next"></link>
```

応答は、ドキュメントへのリンクを提供するほかに、OpenDocument を使用してドキュメントを表示するための OpenDocument URL も提供します。

```
<link href="http://localhost:8080/BOE/OpenDocument/opendoc/openDocument.jsp?
sIDType=CUID&iDocID=Aa0U0jQbtKxCn.D3JDL0aHs" rel="http://www.sap.com/rws/
bip#opendocument" title="OpenDocument">
```

OpenDocument の詳細については、*OpenDocument* によるドキュメントの表示を参照してください。

① 注記

この SDK から取得したログオントークンを使用して、OpenDocument で認証できます。

<content>

RESTful 応答のペイロード。<content> 要素には <attrs> 要素が含まれ、それにはさらに一連の <attr> 要素が含まれます。

```
<content>
  <attrs>
    <attr>...</attr>
    <attr>...</attr>
  </attrs>
</content>
```

<attrs>

コンテンツのプロパティのリスト。<attrs> 要素には、一連の <attr> 要素が含まれます。

```
<attrs>
  <attr>...</attr>
  <attr>...</attr>
</attrs>
```

<attr>

コンテンツのプロパティ。

各 <attr> 要素は、コンテンツのプロパティを定義します。<attr> タグは2つの属性を使用します。name 属性はプロパティの名前を示し、type 属性はプロパティのタイプを示します。次の例では、コンテンツの id プロパティが値 43（整数）で、コンテンツの name プロパティが Application Folder（文字列）です。

```
<attr name="id" type="int32">43</attr>
<attr name="name" type="string">Application Folder</attr>
```

次の表では、<attr> タグの name 属性と type 属性に指定できる値を説明します。

名前	種類	説明
name	文字列	リソースの名前。
id	int32	リソースの ID。
cuid	文字列	リソースの一意の ID。
type	文字列	Folder、InfoView などのリソースのタイプ。
description	文字列	リソースの説明。
logonToken	文字列	ログオントークン。

<error>

エラー コード。

<error_code> 要素は RESTful Web Services エラー コード参照を teh 形式 RWS 000xx で示し、<message> 要素には簡潔な説明が含まれます。詳細については、BusinessObjects XI のエラー メッセージの説明ガイドを参照してください。

4.2.5 応答本文から JSON 形式への変換

Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK は、JSON 形式の応答と要求ヘッダー `accept : application/json` を提供します。このセクションでは、RESTful Web サービスに JSON タグがどのように適用されるかを説明します。

{ ... }

JSON オブジェクトは、中かっこの `{ }` で囲みます。これは、XML `<feed>` 要素と同じです。

```
{
  "__metadata": {
    "uri": "http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/4/children?
page=1&pageSize=50"
  },
  "first": {
    "__deferred": {
      "uri": "http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/4/children?
page=1&pageSize=50"
    }
  },
  "last": {
    "__deferred": {
      "uri": "http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/4/children?
page=1&pageSize=50"
    }
  },
  "entries":
  [
    {
      "__metadata": {
        "uri": "commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/
Alert%20Notifications"
      },
      "id": 64,
      "cuid": "ARZB.BFCQk9PqagDpcFwolw",
      "name": "Alert Notifications",
      "type": "Folder",
      "uri": "alslsls"
    }
    .
    .
    .
  ]
}
```

"entries":

エントリとは、配列内の JSON オブジェクトです。形式は、`"entries" : [{contentsOfEntryItem#1}, {contentsOfEntryItem#2}]` です。次の例は、`../infostore` RESTful Web サービス API 要求の結果です。応答の `"entries":` 部分には、`"Alert Notifications"` と `"Users"` という名前の 2 つの子が表示されます。

```
"entries":
[
```

```

    {
      "__metadata": {
        "uri": "commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/Alert%20Notifications"
      },
      "id": 64,
      "cuid": "ARZB.BFCQk9PqagDpcFwolw",
      "name": "Alert Notifications",
      "type": "Folder",
      "uri": "alslsls"
    },
    .
    .
    .
    {
      "__metadata": {
        "uri": "http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/Users"
      },
      "id": 19,
      "cuid": "AXhmigik4CBKra9ZYzR2ezE",
      "description": "",
      "name": "Users",
      "type": "Folder"
    }
  ]

```

__metadata: { uri:

__metadata: { uri: 要素は、XML <link> 要素と同じです。これは、他の RESTful Web サービス要求で使用できる URL へのリンクを定義します。これには、親フォルダ、子フォルダ、要求に関連する追加情報などを入れることができます。これらのリンクをたどることで、BI platform リポジトリを参照できます。

リンクタグの href 属性はハイパーリンクを定義し、rel 属性はリンクのタイプを示します。次のリストでは、rel 属性に指定できる値を説明します。JSON には、XML タグの alternate や related と同等のタグはありません。

属性	形式	例	説明
self	__metadata: { uri:	"__metadata": { "uri": "http:// localhost:6405/ biprws/infostore/4/ children? page=1&pageSize=5" }	この URL へのリンク。
first	first: { __deferred: { uri:	"first": { "__deferred": { "uri": "http:// localhost:6405/ biprws/infostore/4/ children? page=1&pageSize=5" }	結果の最初のページへのリンク。
next	next: { __deferred: { uri:	"next": { "__deferred": { "uri": "http://	結果の次のページへのリンク。

属性	形式	例	説明
		localhost:6405/ biprws/infostore/4/ children? page=2&pageSize=5" }	
previous	previous: { __deferred: { uri:	"previous": { "__deferred": { "uri": "http:// localhost:6405/ biprws/infostore/4/ children? page=6&pageSize=5" }	結果の前のページへのリンク。
last	last: { __deferred: { uri:	"last": { "__deferred": { "uri": "http:// localhost:6405/ biprws/infostore/4/ children? page=7&pageSize=5" }	結果の最後のページへのリンク。
up	up: { __deferred: { uri:	"up": { "__deferred": { "uri": "http:// localhost:6405/ biprws/infostore" }	現在のリソースの親へのリンク。
children	children: { __deferred: { uri:	"Children": { "__deferred": { "uri": "http:// localhost:6405/ biprws/infostore/ User%20Folders/ children" }	現在のリソースの子へのリンク。
openDocument	opendocument { __deferred: { uri:	"openDocument": { "__deferred": { "uri": "http:// commandcom- lcm:8080/BOE/ OpenDocument/ opendoc/ openDocument.jsp? sIDType=CUID&iDocID =AQtkbbSqN4NOj3ydf. Sw11Y" }	OpenDocument でリソースを表示するためのリンク。
スケジュール	schedule { __deferred: { uri:	"Scheduling forms": { "__deferred": { "uri": "http:// localhost:6405/ biprws/infostore/ 4930/ scheduleForms" }	リソースをスケジュールするためのリンク。テンプレートを取得するには Get を使用し、要求を送信するには Post を使用します。

属性	形式	例	説明
		Post を使用し、次のように スケジュールを挿入します。 <pre> "__metadata": {"uri":"http:// localhost:6405/ biprws/infostore/ 4930/scheduleForms/ hourly"} </pre>	

たとえば、次のリンク要素は、結果の最後のページへのリンクを示します。

```

"last": {
  "__deferred": {
    "uri": "http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/4/children?
page=1&pageSize=50"
  }
}

```

Web Intelligence や Crystal Reports などのドキュメントの種類を含む応答からは、電子メールで送信したりレポートのボタン コントロールにアタッチできる openDocument URL も得られます。

次の例では、../infostore API を使用して、Web Intelligence openDocument 形式のリンクの一覧を取得します。

```
http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/4930
```

```

{
  "up":{
    "__deferred":{
      "uri":"http://10.162.204.68:6405/biprws/infostore/4904"
    }
  },
  "Scheduling forms":{
    "__deferred":{
      "uri":"http://10.162.204.68:6405/biprws/infostore/4907/scheduleForms"
    }
  },
  "id":4907,
  "cuid":"AQtkbbSqN4NOj3ydf.Sw1lY",
  "openDocument":{
    "__deferred":{
      "uri":"http://commandcom-lcm:8080/BOE/OpenDocument/opensdoc/
openDocument.jsp?
sIDType=CUID&iDocID=AQtkbbSqN4NOj3ydf.Sw1lY"
    }
  },
  "description":"","
  "name":"Formatting Sample",
  "type":"Webi"
}

```

OpenDocument の詳細については、*OpenDocument* によるドキュメントの表示を参照してください。

① 注記

../logon/long API を使用すると、openDocument URL に追加できるログオン トークン文字列を取得できるため、受信者はログオン認証情報を提供する必要がありません。

エントリ プロパティ

いくつかのプロパティにより、各エントリ項目のコンテンツが作成されます。次の例は、コンテンツの id プロパティが値 64（整数）で、コンテンツの name プロパティが Alert Notifications（文字列）であることを示しています。

```
{
  "__metadata": {"uri": "commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/Alert%20Notifications"},
  "id": 64,
  "cuid": "ARZB.BFCQk9PqagDpcFwolw",
  "name": "Alert Notifications",
  "type": "Folder",
  "uri": "alslsls"
},
```

次の表では、JSON エントリで有効な name プロパティと type プロパティについて説明します。

名前	種類	例	説明
name	文字列	"name": "Alert Notifications"	リソースの名前。
id	int32	"id": 64	リソースの ID 番号。
cuid	文字列	"cuid": "ARZB.BFCQk9PqagDpcFwolw"	リソースの一意の ID。
type	文字列	"type": "Folder"	Folder、InfoView などのリソースのタイプ。
description	文字列	"description": "Contains the ..."	リソースの説明。
logonToken	文字列	"type": "COMMANDCOM-LCM:6400@{3&...Sv3b6vUJZe9...}"	ログオントークン。
uri	文字列	"uri": "http://localhost:6405/biprws/infostore/Custom%20Roles"	URI 値。
openDocument	文字列	"openDocument": {"__deferred": {"uri": "http://commandcom-lcm:8080/BOE/OpenDocument/opensdoc/openDocument.jsp?SIDType=CUID&iDocID=AQtKbbSqN4NOj3ydf.Sw11Y"}}	openDocument 形式の URI 値。

error_code

error_code 要素と message 要素はそれぞれ、BI platform エラーまたは RESTful Web サービス エラー ("RWS" がプレフィックス) を参照し、簡潔な説明を格納しています。詳細については、SAP BusinessObjects XI のエラー メッセージの説明ガイドを参照してください。

```
{
  "error_code": "FWM 01003",
  "message": "Server COMMANDC-OM-LCM:6400 not found or server may be down (FWM 01003)"
}
```

JSON エスケープ文字

RESTful Web サービスは、JSON が特殊文字と見なす ASCII 文字の前にバックスラッシュ (¥) を付けて返します。文字をエスケープする必要がある JSON の仕様は、<http://www.ietf.org/rfc/rfc4627.txt> にあります。次の表に、RESTful Web サービスの JSON 要求が前にバックスラッシュを付けて返すいくつかの一般的な ASCII++ 文字をリストします。

RWS - JSON	Unicode UTF-8	説明
¥b	U+0008	Backspace
¥f	U+000C	改ページ
¥n	U+000A	新規行
¥r	U+000D	改行
¥t	U+0009	タブ
¥v	U+000B	垂直タブ
¥'	U+0027	単一引用符
¥"	U+0022	二重引用符
¥¥	U+005C	バックスラッシュまたは逆斜線
¥/	U+005D	スラッシュまたは斜線
¥u	U+xxxx	four-hex-digits

4.2.6 XML と JSON の属性の比較

XML を使用する RESTful Web Services 要求は、Atom 仕様に準拠した一部のデータを常に返します。以下の XML タグは、JSON データ形式に同等の要素がありません。このため、容易に認識することができます。

- <author>
- <id>
- <title>

- <updated>
- <link rel=alternate>
- <link rel=related>
- <content>
- <attrs>

サポートされている XML タグと JSON オブジェクト

次の表に、XML タグ、および BI platform RESTful Web サービス実装でサポートされている同等の JSON オブジェクトとエントリをリストします。

サポートされている XML タグと JSON オブジェクト

XML			JSON		
XML タグ	サンプル	型	値	種類	説明
<feed>			{	JSON オブジェクト	JSON の結果では、応答は JSON オブジェクトとして表されます。XML の <feed> タグは、JSON の最も外側の中かっこ ({}) と同じです。
<entry>			entries : [{contentsOfEntryItem#1}, {contentsOfEntryItem#2}]		子のリストの要求。エントリのコレクションが返されます。各コレクションは JSON オブジェクトです。JSON オブジェクトのコレクションは、「エントリ」名と値のペアによる配列として表されます。
<author>			JSON に同等の要素はありません		JSON では、これらの要素は公開されません。
<id>					
<title>					
<updated>					
<link>	rel=self		__metadata: { uri:		現在のロケーションへのリンク。
	rel=first		first: { __deferred: { uri::		結果の最初のページへのリンク。
	rel=next		next: { __deferred: { uri::		結果の次のページへのリンク。
	rel=previous		previous: { __deferred: { uri::		結果の前のページへのリンク。
	rel=last		last: { __deferred: { uri::		結果の最後のページへのリンク。
	rel=alternate		JSON に同等の要素はありません。		現在のロケーションへの別のリンク。
	rel=up		up: { __deferred: { uri::		現在のリソースの親へのリンク。

XML			JSON		
XML タグ	サンプル	型	値	種類	説明
	rel=related		JSON に同等の要素はありません。		関連リソースへのリンク。
	rel=http://www.sap.com/ rws/bip#children		children: { __deferred: { uri::		現在のリソースの子へのリンク。
	rel=http://www.sap.com/ rws/bip#opendocument		opendocument: { __deferred: { uri::		レポートや Adobe Acrobat PDF ファイルなどのドキュメントを開く際に使用できるリンク。
	rel=http://www.sap.com/ rws/bip#schedule		schedule: { __deferred: { uri::		リソースをスケジュールするためのリンク。
<content>			JSON に同等の要素はありません。		XML のみ。これは、<attrs> 要素のコンテナです。Atom フィード仕様には <content> が必要ですが、JSON には必要ありません。
<attrs>			1つ以上の <attr> 要素を含む XML 要素。JSON では、属性は XML の <attrs> タグのようにグループ化されるのではなく、リソースを表す JSON オブジェクト内に直接、名前と値のペアで表されます。		
<attr>	name=name	文字列	name:	JSON 文字列	リソースの名前。
	name=id	int32	id:	JSON 番号	リソースの数値での ID 番号。
	name=cuid	文字列	cuid:	JSON 文字列	クラスターで一意的な ID (23 文字の英数字)。
	name=type	文字列	type:	JSON 文字列	Folder、InfoView などのリソースのタイプ。
	name=description	文字列	description:	JSON 文字列	リソースの説明。
	name=logonToken	文字列	logonToken:	JSON 文字列	ログオン トークンの文字列。

例: /infostore 要求で取得される XML と JSON 形式の比較

次のコード スニペットは、一般的な /infostore GET 要求で取得される RESTful Web サービス要素の階層を示しています。左側は XML でのリストです。右側は、同じ要求から取得される JSON でのリストです。比較しやすいように、対応する情報の行を左右に配置しています。コード スニペットの長さを短くするために、「Alert Notifications (アラート通知)」と呼ばれる最初のオブジェクトのみを示しています。このスクリーンショットには、前述の表に示されている使用可能なタグの一部が含まれていないことに注意してください。

XML	JSON
<code><?xml version="1.0" ?></code>	
<code><feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom"></code>	<code>{</code>
<code><id>tag:sap.com,2010:bip-rs/infostore</id></code>	
<code><title type="text">InfoStore (@COM...CM:6400)</title></code>	
<code><updated>2012-01-13T20:47:42.942Z</updated></code>	
<code><link href="http://...?page=1&pageSize=5" rel="self"/></code>	<code>"__metadata": {"uri": "http://...?page=1&pageSize=5"},</code>
<code><link href="http://...?page=1&pageSize=5" rel="first"/></code>	<code>"first": {"__deferred": {"uri": "http://...?page=1&pageSize=5"}},</code>
<code><link href="http://...?page=6&pageSize=5" rel="previous"/></code>	<code>"previous": {"__deferred": {"uri": "http://...?page=6&pageSize=5"}},</code>
<code><link href="http://...?page=7&pageSize=5" rel="last"/></code>	<code>"last": {"__deferred": {"uri": "http://...?page=7&pageSize=5"}},</code>
	<code>"entries":</code>
	<code>[</code>
<code><entry></code>	<code>{</code>
<code><title type="text">Alert Notifications</title></code>	<code>"name": "Alert Notifications",</code>
<code><id>tag:sap.com,2010:bip-rsARZB.BF...aqDpcFwo1w</id></code>	
<code><author><name>System Account</name></author></code>	
<code><link href="...infostore/Alert%20Notifications" rel="alternate"/></code>	<code>{"__metadata": {"uri": "http://...infostore/Alert%20Notifications"},</code>
<code><content type="application/xml"></code>	
<code><attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip"></code>	
<code><attr name="id" type="int32">64</attr></code>	<code>"id": 64,</code>
<code><attr name="cuid" type="string">ARZB.BF...pcFwo1w</attr></code>	<code>"cuid": "ARZB.BF...aqDpcFwo1w",</code>
<code><attr name="description" null="true" type="string"/></code>	
<code><attr name="type" type="string">Folder</attr></code>	<code>"type": "Folder"</code>
<code></attrs></code>	
<code></content></code>	<code>}</code>
<code></entry></code>	<code>]</code>
<code></feed></code>	<code>}</code>

4.2.7 多言語データの操作

多言語環境では、コンテンツとシステムメッセージを優先言語で返すように要求できます。コンテンツとシステムメッセージの優先言語の定義に使用される要求ヘッダー属性には、Accept-Language と X-SAP-PVL の 2 つがあります。

BI platform ソフトウェアがインストールされると、ユーザーインターフェイスとシステム エラー メッセージは、製品ロケール (PL) で表示されます。利用できる PL 言語としては、BI platform ソフトウェアと共にインストールされる言語パックがあります。

エラーメッセージなどのシステムメッセージは、PL で指定される言語で返されます。Accept-Language 要求ヘッダー属性を設定することで、システムメッセージに特定の言語を使用するように要求できます。たとえば、システムメッセージを日本語で取得するには、Accept-Language 要求ヘッダー属性を ja-JP に設定します。

① 注記

要求した PL がない場合は、BI platform ソフトウェアのインストール時に使用された PL でシステムメッセージが返されます。

BI platform のコンテンツは多言語で保存できます。たとえば、BI platform は、フランス語、日本語、およびドイツ語に翻訳されたレポートを保存できます。返されるコンテンツの優先言語を指定するには、X-SAP-PVL 要求ヘッダー属性を使用します。要求された言語のコンテンツがない場合は、最も近い言語でコンテンツが返されます。たとえば、フランス語のコンテンツを要求する場合は、X-SAP-PVL 要求ヘッダー属性を fr-FR に設定します。

HTML 言語コードの詳細については、HTML 4.01 仕様 (<http://www.w3.org>) を参照してください。

4.3 認証

Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK から BI platform にアクセスするには、ログオントークンが必要です。ログオン URL に要求を行ってログオントークンを取得します。このトークンは、有効なユーザーとして認証されていることを証明します。また、以降の RESTful Web サービス要求にこのトークンを含めることで、パスワードなどの機密情報をさらす必要がなくなります。

以下の情報タイプの 1 つを使用して、認証およびその結果となるログオントークンを取得することができます。

- BI platform ログオン認証情報。この方法は、WinAD、LDAP、SAP、Enterprise の各認証をサポートします。認証の詳細については、*SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム管理者ガイド*を参照してください。
- 別のセッションのセッショントークン。既に認証されているセッションへのアクセス権を持つ場合は、そのセッショントークンを使用してログオントークンを取得できます。

① 注記

別の SDK から取得したセッショントークンは、ログオントークンと同じではなく、RESTful Web サービス要求で直接使用できません。

- シリアルイズセッション。既に認証されているセッションへのアクセス権を持つ場合は、それを使用してログオントークンを取得できます。

認証要求が成功した場合は、応答ヘッダーにログオントークンが挿入されます。このログオントークンは、X-SAP-LogonToken によって定義されます。

① 注記

応答本文には、ログオントークンのコピーが含まれます。ただし、このログオントークンのコピーは XML に埋め込まれており、&、<、> などの不正な XML 文字は、XML 適合形式に変換（エンコード）されています。このログオントークンのコピーを使用するには、XML エンコード文字を元の形式に変換する必要があります。または、応答ヘッダーに含まれるログオントークンのコピーを使用することもできます。これは XML 形式に変換されていません。

RESTful Web サービスに要求を行うたびに要求ヘッダーに X-SAP-LogonToken 属性を追加し、その値には、認証の際に受け取ったログオントークンを設定する必要があります。ログオントークンには、要求ヘッダー内で使用できない文字が含まれていることがあるため、ログオントークンは引用符で囲んでください。

以下の表は、ログオントークンの例です。

属性	サンプル値
X-SAP-LogonToken	"COMMANDCOM- LCM:6400@{3&2=5604,U3&p=40623.9446463889 ,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,0P&68=secE nterprise:Administrator,0P&qe=100,U3&vz= g5KUV8cAA.d_ArmSDnBy6T7jJVNYFCTso4s0q3dI .4k,UP}"

関連情報

[XML エンコードテキストからログオントークンへの変換 \[44 ページ\]](#)

4.3.1 ユーザー名とパスワードからログオントークンを取得する

BI platform にログオンするには、RESTful Web サービス要求のベース URL を取得してある必要があります。

BI platform にログオンし、ログオントークンを取得するには、要求本文にユーザー名、パスワード、および認証タイプを指定し、POST メソッドを使用して `http://<baseURL>/logon/long` に要求を行います。

以下のタイプの認証を使用して、BI platform にログオンすることができます。

- WinAD
- LDAP
- SAP
- エンタープライズ

ログオン要求の本文をフォーマットする方法を調べるには、GET メソッドを使用して、同じ URL `http://<baseURL>/logon/long` に要求を行います。この応答には、ログオン要求の要求本文のフォーマットに使用できる XML テンプレートが含まれます。この XML テンプレートには、サポートされる認証タイプのリストが含まれます。

1. 新しい HTTP 要求を作成します。
2. 要求ヘッダーに `Accept` 属性を追加し、その値を `application/xml` に設定します。
3. GET メソッドを使用して、`http://<baseURL>/logon/long` URL に要求を送信します。

`<baseURL>` は、RESTful Web サービスのベース URL に置き換えてください。

```
GET http://localhost:6405/biprws/logon/long
```

応答本文にはテンプレートが含まれます。

```
<attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="userName" type="string"/></attr>
  <attr name="password" type="string"></attr>
  <attr name="auth" type="string"
possibilities="secEnterprise,secLDAP,secWinAD,secSAPR3">secEnterprise</attr>
</attrs>
```

4. 新しい HTTP 要求を作成します。
5. 要求ヘッダーに `Accept` 属性を追加し、その値を `application/xml` に設定します。
6. 要求ヘッダーに `Content-Type` 属性を追加し、その値を `application/xml` に設定します。
7. XML テンプレートにユーザー名、パスワード、および認証タイプを設定し、それを新しい要求の要求本文に追加します。

```
<attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="userName" type="string">myUserName</attr>
  <attr name="password" type="string">myPassword</attr>
  <attr name="auth" type="string"
possibilities="secEnterprise,secLDAP,secWinAD,secSAPR3">secEnterprise</attr>
</attrs>
```

8. POST メソッドを使用して、同じ URL `http://<baseURL>/logon/long` に要求を送信します。
<baseURL> は、RESTful Web サービスのベース URL に置き換えてください。

```
POST http://localhost:6405/biprws/logon/long
```

応答ヘッダーは、ログオントークンを `X-SAP-LogonToken` 属性として返します。

```
X-SAP-LogonToken: "COMMANDCOM-  
LCM:6400@{3&2=5595,U3&p=40674.9596541551,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,0P&66=60  
,03&68=secEnterprise:Administrator,0P&qe=100,U3&vz=SFY6agrLPxpfQBK1ZKYCwoBZKCb  
fsQm7VgWZFiH.RhM,UP"
```

ログオントークンは引用符に囲まれます。上記の例では、ログオントークンは以下のとおりです。

```
COMMANDCOM-  
LCM:6400@{3&2=5595,U3&p=40674.9596541551,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,0P&66=60  
,03&68=secEnterprise:Administrator,0P&qe=100,U3&vz=SFY6agrLPxpfQBK1ZKYCwoBZKCb  
fsQm7VgWZFiH.RhM,UP
```

応答本文には、<attr> 要素にログオントークンのコピーが含まれます。ログオントークンに XML では不正な文字が含まれている場合、それらは XML エンコード値に置き換えられます。たとえば、& 文字は & に置き換えられます。応答本文から取得したログオントークンを使用するには、XML エンコードログオントークンを元の形式に変換する必要があります。

次の例は、応答本文に表示される XML エンコードログオントークンを示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">  
  <author><name>@COMMANDCOM-LCM:6400</name></author>  
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/logon/long</id>  
  <title type="text">Logon Result</title>  
  <updated>2011-03-07T20:48:56.015Z</updated>  
  <content type="application/xml">  
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">  
      <attr name="logonToken" type="string">COMMANDCOM-  
LCM:6400@{3&amp;2=5595,U3&amp;p=40674.9596541551,Y7&amp;4F=12,U3&amp;63=secEnt  
erprise,0P&amp;66=60,03&amp;68=secEnterprise:Administrator,0P&amp;qe=100,U3&am  
p;vz=SFY6agrLPxpfQBK1ZKYCwoBZKCbfsQm7VgWZFiH.RhM,UP}</attr>  
    </attrs>  
  </content>  
</entry>
```

関連情報

[RESTful Web サービス要求の取得 \[13 ページ\]](#)

[XML エンコードテキストからログオントークンへの変換 \[44 ページ\]](#)

4.3.2 シリアライズセッションまたはセッショントークンからログオントークンを取得する

この方法でログオンするには、BI platform Java SDK などの別の BI platform SDK を使用して、既存の認証済みセッションにアクセスする必要があります。また、RESTful Web サービス要求のベース URL 情報が必要です。

RESTful Web サービスのログオントークンは、有効なセッショントークンまたはシリアル化セッションから取得できます。POST メソッドを使用して、`http://<baseURL>/logon/token` URL に要求を行い、XML エンコードバージョンのシリアル化セッションまたはセッショントークンを要求本文に指定します。<baseURL> は、RESTful Web サービスのベース URL に置き換えてください。

要求本文をフォーマットする方法を調べるには、GET メソッドを使用して、同じ URL `http://<baseURL>/logon/token` に要求を行います。この要求の応答には、ログオン要求の要求本文で利用できる XML テンプレートが含まれます。

シリアル化セッションを使用してログオントークンを取得すると、BI platform によって使用される同時接続ユーザーライセンスの数が増加しません。一方、セッショントークンを使用すると、同時接続ユーザーライセンスの数が1つ増加します。

1. 新しい HTTP 要求を作成します。
2. GET メソッドを使用して、`http://<baseURL>/logon/token` URL に要求を送信します。
<baseURL> は、RESTful Web サービスのベース URL に置き換えてください。

```
GET http://localhost:6405/biprws/logon/token
```

応答には、XML テンプレートが含まれます。

```
<attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="tokenType" type="string" possibilities="token,
serializedSession">token</attr>
  <attr name="logonToken" type="string" null="true"></attr>
</attrs>
```

3. 新しい HTTP 要求を作成します。
4. 要求ヘッダーに Content-Type 属性を追加し、その値を application/xml に設定します。
5. XML テンプレートに入力し、それを要求本文に追加します。

セッショントークンを使用している場合は <attr name="tokenType" type="string"> 要素の値を token に設定し、シリアル化セッションを使用している場合はそれを serializedSession に設定します。<attr name="logonToken" type="string"> 要素の値を XML エンコードバージョンのシリアル化セッションまたはセッショントークンの値に設定します。

```
<attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="tokenType" type="string" possibilities="token,
serializedSession">serializedSession</attr>
  <attr name="logonToken"
type="string">3&ua=AWmaEx4Z.NVPpAEthuTGAjc,8P&ub=AfrWaT5_131N1LLf5bRML
KY,8P&S5,88&5U=5320JaqlNvFlmr4m8u5UQFadItj5319JWKkfBwlKLBfrgXC8Npg1jC,
8P&63=secEnterprise,8P&2r=COMMANDCOM-LCM:6400,8P&3k=@COMMANDCOM-
LCM:6400,8P&1=Administrator account,8P&W={},?
z&4E=5319JWKkfBwlKLBfrgXC8Npg1jC,8P&Tn={3&.1={3&2=726,03&O
=FavoritesFolder,0P},2z&.2={3&2=727,03&O=PersonalCategory,0P},2z&a
mp;.3={3&2=728,03&O=Inbox,0P},2z&U=3,03},?
z&4F=12,8P&Tm=36500,83&uy=-1043,8L&35=Administrator,8P&ux=
AeiCInd_R6lBrV98duvXldc,8P&pa,8P</attr>
</attrs>
```

① 注記

ここでは、シリアル化セッションの例を示します。シリアル化セッションまたはセッショントークン値は、XML エンコードして、不正な XML 文字を削除する必要があります。たとえば、& 文字は & に置き換えてください。

6. POST メソッドを使用して、同じ URL `http://<baseURL>/logon/token` に要求を送信します。
<baseURL> は、RESTful Web サービスのベース URL に置き換えてください。

```
POST http://localhost:6405/biprws/logon/token
```

応答ヘッダーは、ログオントークンを `X-SAP-LogonToken` 属性として返します。

```
X-SAP-LogonToken: "COMMANDCOM-  
LCM:6400@{3&2=5595,U3&p=40674.9596541551,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,0P&66=60  
,03&68=secEnterprise:Administrator,0P&qe=100,U3&vz=SFY6agrLPxpfQBK1ZKYCwoBZKCb  
fsQm7VgWZFiH.RhM,UP"
```

ログオントークンは引用符に囲まれます。

① 注記

応答本文には、<attr> 要素にログオントークンのコピーが含まれます。ログオントークンに XML では不正な文字が含まれている場合、それらは XML エンコード値に置き換えられます。たとえば、& 文字は & に置き換えられます。応答本文から取得したログオントークンを使用するには、XML エンコードログオントークンを元の形式に変換する必要があります。

次の例は、応答本文に表示される XML エンコードログオントークンを示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">  
  <author><name>@COMMANDCOM-LCM:6400</name></author>  
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/logon/token</id>  
  <title type="text">Logon Result</title>  
  <updated>2011-06-28T17:54:31.994Z</updated>  
  <content type="application/xml">  
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">  
      <attr name="logonToken" type="string">COMMANDCOM-  
LCM:6400@{3&amp;2=5319,U3&amp;p=40722.7462034491,Y7&amp;4F=12,U3&amp;63=sec  
Enterprise,0P&amp;66=60,03&amp;68=secEnterprise:Administrator,0P&amp;qe=100  
,U3&amp;vz=KeDu7064jWSptBT_m5BkBJ5Q_NaxyvE_WStqXmigYrg,UP}</attr>  
    </attrs>  
  </content>  
</entry>
```

関連情報

[RESTful Web サービス要求の取得 \[13 ページ\]](#)

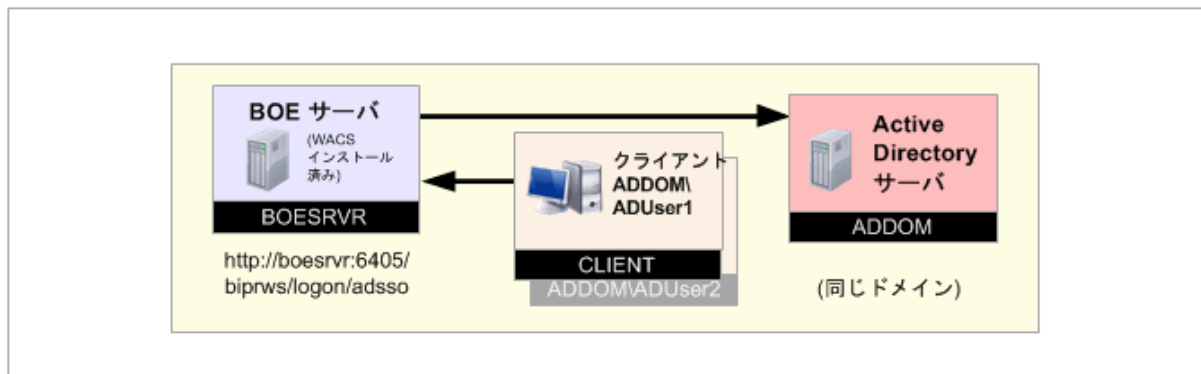
[他の SDK から取得した認証済みセッションの使用 \[48 ページ\]](#)

[XML エンコードテキストからログオントークンへの変換 \[44 ページ\]](#)

4.3.3 Active Directory シングル サインオン (AD SSO) アカウ ントを使用してログオン トークンを取得する

RESTful Web サービスの Active Directory シングル サインオン機能を使用するには、クライアントに Windows Active Directory (WinAD) アカウントが必要です。また、クライアントは、/logon/adsso API を使用するコンピュータにログインする必要があります。また、クライアントには、WinAD アカウントに対応するログオン アカ

クライアントが BI platform が必要です。次の図に、BI platform サーバー、クライアント コンピュータ、および Windows Active Directory サーバーの間の設定と認証の関係を示します。



クライアントは、「管理タスクとインストール タスク > WinAD SSO を有効化するように web.xml を設定する」の手順に従って WinAD SSO 機能を有効にすると、自身の WinAD 認証情報を使用して、コンピュータにログインできます。この認証情報は、BI platform サーバーに自動的にアクセスする際の認証にも使用されます。

次の手順に従って、AD SSO でログオン トークンを取得します。

1. 新しい HTTP 要求を作成します。
2. GET メソッドを使用して、`http://<baseURL>/logon/adsso` に要求を送信します。

<baseURL> は、RESTful Web サービスのベース URL に置き換えてください。

例:

```
GET http://localhost:6405/biprws/logon/adsso
```

応答ヘッダーは、ログオントークンを X-SAP-LogonToken 属性として返します。次のような XML 応答例が表示されます。

```
<?xml version="1.0" ?>
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>
      @BOESVR.ADDOM.COM
    </name>
  </author>
  <id>
    tag:sap.com,2010:bip-rs/logon/adsso
  </id>
  <title type="text">
    Logon Result
  </title>
  <updated>
    2011-11-11T11:11:11.340Z
  </updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="logonToken" type="string">
        BOESVR.ADDOM.COM:6400@{ 3&2=4584,U3&p=40868.9276775116,Y7&4F=4331,U3
        &63=secWinAD,0P&66=60,03&68=secWinAD:CN%3DADUser1%2CCN%3DUsers%2CDC%3D
        ADDOM%2CDC%3DCOM,0P&qe=100,U3&vz=
        kOox8TDqAiFsf8T3GefI3sWXIyKymc9qvvtAjihC7w,UP}
      </attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

3. 結果として得られる HTTP 要求ヘッダ内の X-SAP-LogonToken を使用して、さらに RESTful Web サービス要求 (例: `http://<baseURL>/infostore`) を作成します。また、ログオン トークンを HTTP エンコードして、`&token=<logonToken>` パラメータと共に OpenDocument URL に付加することができます。

関連情報

[RESTful Web サービス要求の取得 \[13 ページ\]](#)

[XML エンコードテキストからログオントークンへの変換 \[44 ページ\]](#)

4.3.4 信頼できる認証を使用して、ログオン トークンを取得する

RESTful Web サービスの信頼できる認証機能を使用するには、「管理タスクとインストール タスク」>「信頼できる認証を有効にして構成する」の説明に従って、この機能を有効にする必要があります。


ユーザーが別の場所で認証されている場合、信頼できる認証を使用すると、保護されたリソースへのアクセス速度が向上します。たとえば、ユーザーが Windows アカウントを使用してログインしている場合などです。

次の方法で、信頼できる認証を使用するログオン トークンを取得できます。

- ユーザー名にカスタマイズ可能なヘッダーを使用する HTTP ヘッダー要求。
- URL クエリー。
- Cookie 認証。

これらのいずれかの方法で、信頼できる認証を使用するログオン トークンを取得するには、CMC を開いて [\[取得方法\]](#) メニューの [\[WACS\]](#) > [\[信頼できる認証設定\]](#) に移動し、使用する方法に合うようにオプションを変更します。信頼できる認証を使用するログオン トークンを取得する際に、[\[名前パラメータ\]](#) を変更できます。このオプションは、[\[サーバー\]](#) > [\[コアサービス\]](#) > [\[WACS\]](#) にあります。提供されているすべての URL と値で、大文字と小文字が区別されます。

① 注記

セキュリティ上の理由から、信用できる認証を HTTPS なしで有効化しないでください。信用できる認証を https なしで有効にすると、URL が認証されていないユーザに公開されるため、セキュリティ侵害とみなされます。セキュリティ侵害を防ぐために、有効な証明書を使用してユーザーの情報を検証できます。詳細については、[1388240](#)  を参照してください。

取得方法	使用する RESTful API	使用方法
HTTP_HEADER	/logon/trusted	<ol style="list-style-type: none">1. GET メソッドを使用して、HTTP 要求を作成します。2. /logon/trusted API を使用します。たとえば、<code>http://localhost:6405/biprws/logon/trusted</code> のようにします。

取得方法	使用する RESTful API	使用方法
		<p>3. デフォルト ラベル X-SAP-TRUSTED-USER を含む要求ヘッダーを作成し、bob などの信用できるユーザー名を追加します。最終的なログオン トークンが応答ヘッダーに表示されます。</p>
QUERY_STRING	/logon/trusted? <MyUser>=<Username>	<p>1. Web ブラウザで、/logon/trusted API を使用してユーザー名パラメータとユーザー名を URL に追加します。たとえば、 http://localhost:6405/biprws/logon/trusted?MyUser=bob のようにします。たとえば、次のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> カスタマイズされたユーザ名でパラメータ MyUser を置き換えます。このパラメータは、CMC の サーバー > コアサービス > WACS > 信頼できる認証設定 で設定します。 信用できるユーザーの名前で bob を置き換えます。信用できるユーザーは、CMC の [ユーザーとグループ] > [ユーザー一覧] で設定します。 <p>最終的なログオン トークンがブラウザの表示ウィンドウに表示されます。</p>
COOKIE	/logon/trusted	<p>1. Cookie を作成し、以下の情報を追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドメイン。localhost などです。 名前ラベル。たとえば、デフォルト値の X-SAP-TRUSTED-USER とログオン名の値 (bob など) です。 パス (/ (スラッシュ) など)。 <p>2. http://localhost:6405/biprws/logon/trusted などの URL を入力し、Enter キーを押すと、ブラウザ ウィンドウに最終的なログオン トークンが表示されます。</p>

関連情報

[RESTful Web サービス要求の取得 \[13 ページ\]](#)

4.3.5 XML エンコードテキストからログオントークンへの変換

ログオントークンは、認証応答の応答ヘッダーと応答本文の両方に入れて返されます。応答本文は XML 形式ですが、XML ではいくつかの文字が独自の目的で使用するために予約されています。ログオントークンにこのような文字が含まれている場合は、XML に埋め込み可能な文字シーケンスに置き換えられますが、それらはログオントークンの中では機能しません。XML エンコードされたログオントークンを使用するには、元の形式に変換する必要があります。

① 注記

この手順は、応答本文からログオントークンを取得する場合にのみ必要です。応答ヘッダーに格納されているログオントークンは、XML エンコードされていません。

XML エンコードされたログオントークンを元の形式に変換するには、XML エンコードされた各文字シーケンスを本来の文字に置き換えます。たとえば、`&` 文字エンコードは `&` 文字に置き換えます。

次の表に、許可されない XML 文字を XML エンコードする一般的な例を示します。

XML エンコード	文字
<code>&apos;</code>	<code>'</code>
<code>&quot;</code>	<code>"</code>
<code>&amp;</code>	<code>&</code>
<code>&lt;</code>	<code><</code>
<code>&gt;</code>	<code>></code>

XML で表示される文字の詳細については、<http://www.w3.org> で拡張マークアップ言語の仕様を参照してください。

例

これは、XML エンコードされたログオントークンの例です。

```
COMMANDCOM-
LCM:6400@{3&amp;2=5675,U3&amp;p=40653.0083064583,Y7&amp;4F=12,U3&amp;63=secEnterprise,0P&amp;66=60,03&amp;68=secEnterprise:Administrator,0P&amp;qe=100,U3&amp;vz=y3EqvsvoehahHhbmPrpaPjKVMU8raN3zEpnt2YjqDe4,UP}
```

これは、元の形式に変換されたログオントークンです。

```
COMMANDCOM-
LCM:6400@{3&2=5675,U3&p=40653.0083064583,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,0P&66=60,03&68=secEnterprise:Administrator,0P&qe=100,U3&vz=y3EqvsvoehahHhbmPrpaPjKVMU8raN3zEpnt2YjqDe4,UP}
```

4.3.6 要求ヘッダーにログオントークンを追加する

ログオントークンを取得したら、それを使用して、BI platform にアクセスする RESTful 要求を認証することができます。

① 注記

要求本文からログオントークンを取得した場合は、それを XML エンコード形式から元の形式に変換する必要があります。または、応答ヘッダーから元のログオントークンを直接取得することもできます。

たとえば、このテキストは、応答本文の XML に埋め込まれたログオントークンです。

```
COMMANDCOM-  
LCM:6400@{ 3&2=5675,U3&p=40653.0083064583,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,0P&66=60,03&68=secEnterprise:Administrator,0P&qe=100,U3&vz=y3EqvsvoehahHhbmPrpaPjKVMU8raN3zEpnt2YjqDe4,UP}
```

このテキストは、応答ヘッダーから取得したログオントークン、または元の形式に変換された応答本文から取得したトークンです。

```
COMMANDCOM-  
LCM:6400@{ 3&2=5675,U3&p=40653.0083064583,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,0P&66=60,03&68=secEnterprise:Administrator,0P&qe=100,U3&vz=y3EqvsvoehahHhbmPrpaPjKVMU8raN3zEpnt2YjqDe4,UP}
```

1. 新しい RESTful Web サービス要求を作成するか、既存の要求を変更します。
2. 要求ヘッダーに属性を追加します。
3. 属性の名前を X-SAP-LogonToken に設定します。
4. 属性の値をログオントークンの値に設定し、その値を引用符で囲みます。

名前	値
X-SAP-LogonToken	"COMMANDCOM- LCM:6400@{ 3&2=5604,U3&p=40623.945646388 9,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,0P&68=se cEnterprise:Administrator,0P&qe=100,U3& vz=g5KUU8cAA.d_ARmSDnBy6T7jjJVNYFCTso4s0 q3dI.4k,UP}"

関連情報

[XML エンコードテキストからログオントークンへの変換 \[44 ページ\]](#)

4.3.7 HTTP 基本認証の使用

HTTP 基本認証を使用すると、RESTful Web サービス要求の HTTP ヘッダーにログオントークンを含めることなく、BI platform にログオンできます。その代わりに、ユーザー名、パスワード、および認証タイプを指定します。

① 注記

HTTPS と組み合わせて使用しない限り、HTTP 基本認証のユーザー名とパスワードは安全に転送されません。

HTTP 基本認証は、管理者が有効にする必要があります。また、管理者は、ユーザーが認証タイプを指定しない場合に使用されるデフォルトの認証タイプを定義することもできます。

認証タイプ

HTTP 基本認証では、以下の認証タイプを使用できます。

- `secEnterprise` - Enterprise 認証
- `secLDAP` - LDAP 認証
- `secWinAD` - Windows AD 認証
- `secSAPR3` - SAP 認証

HTTP 認証を使用して要求を行うと、ライセンスが1つ使用されます。セッションキャッシュを使用しない場合は、要求の持続期間中1つのライセンスが使用され、要求が完了するとそれが解放されます。セッションキャッシュを使用する場合は、キャッシュされたセッションに関連付けられたライセンスが使用されます。

① 注記

ユーザー名、パスワード、および認証タイプは、RFC 2716 で定義されている base64 エンコードである必要があります。HTTP 基本認証では、`:` 文字を含むユーザ名を使用できません。

Web ブラウザーでの HTTP 基本認証の使用

デフォルトの認証タイプを使用して Web ブラウザーでログオンするには、プロンプトでユーザー名とパスワードを指定します。

特定の認証タイプを使用してログオンするには、ユーザー名フィールドで

`<authenticationType>¥<username>` を使用し、パスワードプロンプトでパスワードを指定します。

`<authenticationType>` は認証タイプに、`<username>` はユーザー名に置き換えてください。たとえば、ユーザー名 `myUserName` を使用して SAP 認証でログオンするには、ユーザー名フィールドに `secSAPR3¥myUserName` と入力し、パスワードフィールドにパスワードを入力します。

① 注記

セッションは複数のブラウザ要求間で保持されません。基本認証によって実行した各サービス要求で、base64 形式でエンコードされた依頼ヘッダのユーザ名およびパスワードが必要です。

プログラムによる HTTP 基本認証の使用

プログラムから HTTP 基本認証を使用するには、要求ヘッダーに `Authorization` 属性を追加し、その値として認証文字列の base64 エンコード値を設定します。

デフォルトの認証タイプを使用するには、次の認証文字列を使用します。

```
Basic <username>:<password>
```

特定の認証タイプを使用するには、次の認証文字列を使用します。

```
Basic <authtype>¥<username>:<password>
```

4.3.8 BI platform からログオフする

BI platform からログオフするには、RESTful Web サービス要求のベース URL 情報が必要です。また、無効化するセッションのログオントークンが必要です。

ログオントークンは、指定した時間使用されないと、自動的に期限切れになります。デフォルトでは、1時間アイドル状態が続くとログオントークンが期限切れになりますが、管理者はこの値を構成することができます。ログオントークンが自動的に期限切れになる前に、セッションをログオフするには、`http://<baseURL>/logoff` URL に POST 要求を行います。<baseURL> は、RESTful Web サービスのベース URL に置き換えてください。

BI platform からログオフすることで、ログオントークンが無効化され、セッションに関連付けられたライセンスが解放されます。

1. 新しい HTTP 要求を作成します。
2. 要求ヘッダーに `Accept` 属性を追加し、その値を `application/xml` に設定します。
3. 要求ヘッダーに `X-SAP-LogonToken` 属性を追加し、その値に引用符で囲んだログオントークン値を設定します。

名前	値
X-SAP-LogonToken	"COMMANDCOM- LCM:6400@{3&2=5604,U3&p=40623.945646388 9,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,0P&68=se cEnterprise:Administrator,0P&qe=100,U3& vz=g5KUU8cAA.d_ArmSDnBy6T7jjVNYFCTso4s0 q3dI.4k,UP}"

4. POST メソッドを使用して、`http://<baseURL>/logoff` URL に要求を送信します。
<baseURL> は、RESTful Web サービスのベース URL に置き換えてください。

```
POST http://<baseURL>/logoff
```

ログオフが成功すると、応答ヘッダーの HTTP ステータスコードに 200 が設定されます。

関連情報

[RESTful Web サービス要求の取得 \[13 ページ\]](#)

4.3.9 他の SDK から取得した認証済みセッションの使用

別の BI platform SDK を使用して、既存の認証済みセッションからシリアル化セッションまたはセッショントークンを取得できます。次に、このシリアル化セッションまたはセッショントークンを /logon/token URL への要求に指定して、Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK のログオントークンを取得できます。

以下の SDK バージョン XI 3.0 以上から取得したシリアル化セッションまたはセッショントークンを使用できます。

- SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム Java SDK
- SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム .NET SDK
- SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム Web サービス SDK

4.3.9.1 BI platform Java SDK によるセッション情報の取得

BI platform Java SDK を使用して、既に認証されている既存のセッションからシリアル化セッションまたはセッショントークンを取得できます。/logon/token URL への要求の本文にシリアル化セッションまたはセッショントークンを指定して、Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK 用のログオントークンを取得します。

シリアル化セッションを取得するには、IEnterpriseSession クラスの getSerializedSession メソッドを使用します。

```
ISessionMgr sessionMgr = CrystalEnterprise.getSessionMgr();
IEnterpriseSession enterpriseSession = sessionMgr.logon("username", "password",
"cmsname", "secEnterprise");
String serializedSession = enterpriseSession.getSerializedSession();
```

セッショントークンを取得するには、ILogonTokenMgr クラスの getDefaultToken メソッドまたは createLogonToken メソッドを使用します。

```
ISessionMgr sessionMgr = CrystalEnterprise.getSessionMgr();
IEnterpriseSession enterpriseSession = sessionMgr.logon("username", "password",
"cmsname", "secEnterprise");
String sessionToken = enterpriseSession.getLogonTokenMgr().getDefaultToken();
```

BI platform Java SDK の使用の詳細については、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム Java SDK 開発者ガイドを参照してください。

4.3.9.2 BI platform .NET SDK によるセッション情報の取得

BI platform .NET SDK を使用して、既に認証されている既存のセッションからシリアル化セッションまたはセッショントークンを取得できます。/logon/token URL への要求の本文にシリアル化セッションまたはセッショントークンを指定して、Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK 用のログオントークンを取得します。

シリアル化セッションを取得するには、EnterpriseSession クラスの SerializedSession プロパティを使用します。

```
SessionMgr sessionMgr = new SessionMgr();
EnterpriseSession session = sessionMgr.Logon("username", "password", "cms",
"secEnterprise");
string serializedSession = session.SerializedSession;
```

セッショントークンを取得するには、LogonTokenMgr クラスの SerializedSession プロパティまたは CreateLogonTokenEx メソッドを使用します。

```
SessionMgr sessionMgr = new SessionMgr();
EnterpriseSession session = sessionMgr.Logon("username", "password", "cms",
"secEnterprise");
string logonTokenMgr = session.LogonTokenMgr.DefaultToken;
```

4.3.9.3 BI platform Web サービス SDK によるセッション情報の取得

BI platform Web サービス SDK を使用して、既に認証されている既存のセッションからシリアル化セッションまたはセッショントークンを取得できます。/logon/token URL への要求の本文にシリアル化セッションまたはセッショントークンを指定して、Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK 用のログオントークンを取得します。

シリアル化セッションを取得するには、SessionInfo クラスの getSerializedSession メソッドを使用します。

```
URL boConURL = new URL("http://boserver:port/dswsbobje/services/Session");
Connection connection = new Connection(boConURL);
Session session = new Session(connection);
EnterpriseCredential credential = EnterpriseCredential.Factory.newInstance();
credential.setLogin("username");
credential.setPassword("password");
credential.setDomain("domain");
credential.setAuthType("secEnterprise");
SessionInfo sessionInfo = session.login(credential);
String serializedSession = sessionInfo.getSerializedSession();
```

セッショントークンを取得するには、SessionInfo クラスの getDefaultToken メソッドを使用します。

```
URL boConURL = new URL("http://boserver:port/dswsbobje/services/Session");
Connection connection = new Connection(boConURL);
Session session = new Session(connection);
EnterpriseCredential credential = EnterpriseCredential.Factory.newInstance();
credential.setLogin("username");
credential.setPassword("password");
credential.setDomain("domain");
credential.setAuthType("secEnterprise");
```

```
SessionInfo sessionInfo = session.login(credential);
String sessionToken = sessionInfo.getDefaultToken();
```

BI platform Web サービスコンシューマ Java SDK の使用の詳細については、*SAP BusinessObjects Business Intelligence* プラットフォーム Web サービスコンシューマ Java SDK 開発者ガイドを参照してください。

4.3.10 REST エンドポイントの SAML 設定

SAML 認証に関して Web ブラウザの動作を偽装するすべてのクライアントは、SAML REST API を呼び出す可能性があります。SAML API では、SAML ログオン (<http://host:<port>/biprws/v1/logon/saml>) でクエリパラメータを取得しません。HTTP 要求オブジェクトからユーザプリンシパルを読み込み、そのユーザプリンシパルの信頼できる認証を有効にして、シリアライズされたトークンを返します。

① 注記

SAML 2.0 は、Tomcat、WebSphere v9.x、JBoss EAP v7.1 アプリケーションサーバでのみ REST エンドポイントに対して設定できます。

REST エンドポイントの SAML を設定するには、以下の手順に従います。

前提条件として、アプリケーションサーバから BI プラットフォームを削除する必要があります。

1. REST でのオプションとして [Web セッション](#) を使用して、アプリケーションサーバに対する信頼できる認証を設定するには、`<INSTALLDIR>%SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0%warfiles%webapps%biprws%WEB-INF%config%custom%biprws.properties` にあるプロパティファイルを次のように修正します。
2. `biprws.properties` ファイルにプロパティ `saml.enabled=true` を追加して、SAML 認証を有効にします。
3. IDP ユーザを BI プラットフォームで作成するか、SDK スクリプトによってインポートするか、CMC で CSV オプションを使用してエクスポートします。SAP Cloud Platform Identity Provider を使用している場合、すべてのユーザをエクスポートしてから、BI プラットフォームにインポートします。[セントラル管理コンソールから一括でユーザをインポートする方法](#)を参照してください。
4. サービスプロバイダの IDP メタデータを更新するには、それぞれの IDP サービスプロバイダから IDP メタデータをダウンロードします。メタデータファイルを `<INSTALLDIR>%SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0%warfiles%webapps%biprws%WEB-INF` にコピーして、名前を **idp-meta-downloaded.xml** に変更します。IDP メタデータのダウンロードの詳細については、[テナント SAML 2.0 設定](#)を参照してください。
5. アプリケーションサーバを再起動します。

BOE が任意の非 Windows マシン上でデプロイされる場合、**FilesystemMetadataProvider** での IDP メタデータのファイルパスにおけるパス区切り記号を `<INSTALLDIR>%SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0%warfiles%webapps%biprws%WEB-INF` にある `securityContext.xml` で次のように変更してください。

サンプルコード

```
<value type="java.io.File">/WEB-INF/idp-meta-downloaded.xml</value> has to
be changed to <value type="java.io.File">%WEB-INF%idp-meta-downloaded.xml</
value> for non-Windows
<bean
class="org.springframework.security.saml.metadata.ExtendedMetadataDelegate"
>
```

```
<constructor-arg>
<bean
class="org.opensaml.saml2.metadata.provider.FilesystemMetadataProvider">
<!-- URL containing the metadata -->
<constructor-arg>
<!-- <value type="java.io.File">file:///C:/idp-meta-downloaded.xml</value>
-->
<!-- <value type="java.io.File">/WEB-INF/idp-meta-downloaded.xml</value> --
-->
<!-- For Windows -->
<value type="java.io.File">¥WEB-INF¥idp-meta-downloaded.xml</value> <!--
For non-Windows -->
</constructor-arg>
<property name="parserPool" ref="parserPool" />
</bean>
```

ここでは、SAP Cloud Platform は IDP として使用されます。ダウンロードされた IDP メタデータファイルは、スクリーンショットに示されているとおりです。

① 注記

- これは、一回限りのアクティビティです。
- 認証時には、一つの IDP のみがサポートされます。

6. (オプション) SAML 2.0 を有効化するキーストアを生成します。

この手順を適用できるのは、独自のキーストアファイルを使用する場合のみです。

SAML 交換には、データの署名と暗号化のための暗号の使用が伴います。サンプル自己署名キーストア `sampletestKeystore.jks` が製品とともにパッケージ化されており、2023 年 1 月 1 日まで有効です。`sampletestKeystore.jks` にはエイリアス名 `Testkey` およびパスワード `Password1` があります。Java ユーティリティ `keytool` を使用して、自己署名キーストアファイルを生成できるようになりました。下記の手順に従い、キーストアファイルを生成します。

1. `<INSTALLDIR>¥SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0¥win64_x64¥sapjvm¥bin` に移動します。
2. 次のコマンドを実行します。`keytool -genkeypair -alias aliasname -keyalg RSA -keypass password -keystore samplekeystore.jks -validity numberofdays -keysize sizeofKey`.

コマンド	説明
-alias	証明書のエイリアス名を入力
-keypass	証明書のパスワードを入力
-keystore	キーストアファイルの名前
-validity	証明書の有効期限
numberofdays	自己署名証明書が有効な日数
keyalg	秘密鍵の生成に使用されるアルゴリズムを指定

コマンド	説明
keysize	生成されるキーのサイズを指定

コマンドを実行した後、次の質問が表示されます。

- キーストアパスワードを入力してください: *****
- 新しいパスワードを再入力してください: *****
- 姓と名は何ですか: <MY_FIRST_AND_LAST_NAME>
- 部門の名前は何か: <MY_ORGANIZATIONAL_UNIT>
- 組織の名前は何か: <MY_ORGANIZATION>
- 市区町村および地域の名前は何か: <MY_CITY>
- 都道府県の名前は何か: <MY_STATE>
- この部門の 2 桁の国コードは何ですか: <COUNTRY_CODE>

3. アプリケーションサーバを停止します。

キーストアファイルが <INSTALLDIR>%SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0%win64_x64%sapjvm%bin で生成されます。

4. キーストアファイルを <INSTALLDIR>%SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0%warfiles%webapps%biprws%WEB-INF に移動します。

5. 新しいエイリアス名、パスワード、およびキーストアファイル名を使用して、<INSTALLDIR>%SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0%warfiles%webapps%biprws%WEB-INF にある securityContext.xml ファイルを編集します。下記の XML コードを参照してください。

{ } サンプルコード

```
<bean id="keyManager"
class="org.springframework.security.saml.key.JKSKeyManager">
<constructor-arg value="/WEB-INF/sampleKeystore.jks"/>
<constructor-arg type="java.lang.String" value="Password1"/>
<constructor-arg>
<map>
<entry key="aliasname" value="password"/>
</map>
</constructor-arg>
<constructor-arg type="java.lang.String" value="Testkey"/>
</bean>
```

引数を理解するには、次の表を参照してください。

XML タグ	説明
<constructor-arg value="/WEB-INF/sampleKeystore.jks"/>	キーストアファイルの場所を特定します。
<constructor-arg type="java.lang.String" value="Password1"/>	キーストアファイルのパスワード

XML タグ	説明
<pre><entry key="aliasname" value="password" /></pre>	エイリアスパスワード。
<pre><constructor-arg type="java.lang.String" value="Testkey" /></pre>	デフォルト証明書のエイリアス

6. アプリケーションサーバを再起動します。

① 注記

- SP メタデータは、キーストアファイルが変更されるたびに生成する必要があります。
- 証明書の生成時に以下のエラーメッセージが表示された場合は、keytool コマンドに以下 2 つのパラメータ (太字で強調表示) を含める必要があります。keytool -genkeypair -alias **aliasname** -keyalg RSA -keypass password -keystore samplekeystore.jks -validity numberofdays -keysize 2048

7. サービスプロバイダメタデータを生成およびアップロードします。

- http://host:app_server_port/biprws/saml/metadata に移動します。これにより、XML ファイルが自動的にダウンロードされます。
- XML をアイデンティティプロバイダにアップロードします。

① 注記

- デフォルトで、事前に生成されたサービスプロバイダ (SP) メタデータファイルが付属しています。同じメタデータファイルを編集およびアップロードできます。<INSTALLDIR>%SAP BusinessObjects XI 4.0%webapps%biprws%WEB-INF spring_saml_metadata.xml において、XML タグ <replace_withip> を、使用するネットワークに応じてマシンの IP アドレスまたはホスト名に置き換え、<replace_withport> をアプリケーションサーバのポート番号に置き換えます。
- IDP としての SAP Cloud Platform の例については、以下の手順を参照してください。
 - SAML アプリケーションが SAP Cloud Platform で作成された後、SP メタデータをアップロードします。
 - 新しいアプリケーションを [アプリケーション] で作成します。
 - SP メタデータをアップロードします。

8. WDeploy ツールを使用して WAR ファイルを作成します。

- パス <INSTALLDIR>%SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0%wdeploy に移動します。
 - 適切なデプロイコマンドを使用して、アプリケーション固有のバージョンの WAR ファイルを作成します。
- Windows の場合: wdeploy.bat <App_Server_Name><Version_Name> -DAPP=BOE predeploy
 - UNIX の場合: wdeploy.sh <App_Server_Name><Version_Name> -DAPP=BOE predeploy

① 注記

<App_Server><Version_Name> をアプリケーションサーバのタイプとそのバージョンに置き換える必要があります。たとえば、Tomcat アプリケーションサーバ v8.x の場合は tomcat8 を使用できます。同

様に、Jboss アプリケーションサーバ v7.x の場合は jboss7 を、WebSphere アプリケーションサーバ v9.x の場合は websphere9 を使用できます。

9. WAR ファイルを作成したら、WAR ファイルをコピーしてアプリケーションサーバにデプロイします。

4.4 OpenDocument URL でのログオントークンの使用

OpenDocument 構文を使用すると、BI platform に格納されたドキュメントに直接リンクするハイパーリンクを作成することができます。Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK は、OpenDocument の利用を一部サポートします。Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK から取得したログオントークンを使用して、OpenDocument で認証を行うことができます。また、一部の RESTful 応答は OpenDocument リンクを返します。

OpenDocument の使用の詳細については、*OpenDocument* によるドキュメントの表示を参照してください。

ドキュメントの OpenDocument リンクの取得

Crystal Report や WebI レポートなどのドキュメントを要求すると、応答には、OpenDocument でリソースを表示するための OpenDocument リンクが含まれます。

OpenDocument URL へのリンクは、rel 属性の "http://www.sap.com/rws/bip#opendocument" と title 属性の OpenDocument で識別できます。

```
<link href="http://localhost:8080/BOE/OpenDocument/opendoc/opendocument.jsp?sIDType=CUID&iDocID=Aa0U0jQbtKxCn.D3JDL0aHs" rel="http://www.sap.com/rws/bip#opendocument" title="OpenDocument">
```

OpenDocument URL へのログオントークンの追加

Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK を使用して取得されたログオントークンを URL の末尾に追加することで、OpenDocument URL を認証できます。

ログオントークンパラメータの構文を以下に示します。<openDocumentURL> は OpenDocument URL に、<logonToken> は URL エンコードしたログオントークン値に置き換えてください。

```
<openDocumentURL>&token=<logonToken>
```

① 注記

URL エンコードしたログオントークンは、文字数が多くなることがあります。一部の Web ブラウザーでは、URL の文字数が制限されます。

次の例では、OpenDocument URL `http://localhost:8080/BOE/OpenDocument/opendoc/opendocument.jsp?sIDType=CUID&iDocID=AYymBvuJZTRAlkojmuUj36w` の末尾にログオントークンを追加する方法を示します。

1. BI platform RESTful Web サービス SDK を使用して認証することでログオントークンを取得します。

```
COMMANDCOM-  
LCM:6400@{3&2=5521,U3&p=40709.9614065046,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,0P&66=60  
,03&68=secEnterprise:Administrator,0P&qe=100,U3&vz=sIQcJghbp2BvJrgPBNGJrRruBpf  
SShro9.ipdnKzqXM,UP}
```

2. ログオントークンを URL エンコードします。

```
COMMANDCOM-  
LCM%3A6400%40%7B3%262%3D5521%2CU3%26p%3D40709.9614065046%2CY7%264F%3D12%2CU3%2  
663%3DsecEnterprise%2C0P%2666%3D60%2C03%2668%3DsecEnterprise%3AAdministrator%2  
C0P%26qe%3D100%2CU3%26vz%3DsIQcJghbp2BvJrgPBNGJrRruBpfSShro9.ipdnKzqXM%2CUP%7D
```

① 注記

文字列を URL エンコードできるフリーウェアツールは多数あります。

3. &token=<logonToken> を OpenDocument URL の末尾に追加します。<logonToken> は、URL エンコー
ドしたログオントークンに置き換えてください。

```
http://localhost:8080/BOE/OpenDocument/opendoc/openDocument.jsp?  
sIDType=CUID&iDocID=AYmBvuJZTRAlkojmuUj36w&token=COMMANDCOM-  
LCM%3A6400%40%7B3%262%3D5521%2CU3%26p%3D40709.9614065046%2CY7%264F%3D12%2CU3%2  
663%3DsecEnterprise%2C0P%2666%3D60%2C03%2668%3DsecEnterprise%3AAdministrator%2  
C0P%26qe%3D100%2CU3%26vz%3DsIQcJghbp2BvJrgPBNGJrRruBpfSShro9.ipdnKzqXM%2CUP%7D
```

OpenDocument 要求ヘッダーへのログオントークンの追加

OpenDocument 要求の HTTP 要求ヘッダーに X-SAP-LogonToken 属性を追加し、その値をログオントークンの値に設定することができます。ログオントークンは引用符で囲みます。ログオントークンを URL エンコードすることで OpenDocument URL の末尾に長い文字列を追加することを避けたい場合は、要求ヘッダーにログオントークンを追加します。

名前	値
X-SAP-LogonToken	"COMMANDCOM- LCM:6400@{3&2=5604,U3&p=40623.9456463889 ,Y7&4F=12,U3&63=secEnterprise,0P&68=secE nterprise:Administrator,0P&qe=100,U3&vz= g5KUU8cAA.d_ArmSDnBy6T7jJVNYFCTso4s0q3dI .4k,UP}"

関連情報

[認証 \[36 ページ\]](#)

4.5 BI platform リポジトリのナビゲート

オブジェクトを要求し、応答から提供されるリンクをたどることで、BI platform リポジトリ (InfoStore) 内をナビゲートすることができます。応答には、親フォルダ、子オブジェクトなどの関連情報へのリンクが含まれます。たとえば、フォルダを要求すると、応答には、そのフォルダの子を返すリンクが含まれます。ID または CUID でオブジェクトを要求して、そのオブジェクトを直接取得することもできます。

特定のタイプのオブジェクトを要求したり、多数のエントリを複数のページに分割することで、応答から返されるエントリ数を制限することができます。

BI platform リポジトリのコンテンツを表示するには、認証を経て、ログオントークンを取得済みでなければなりません。要求ヘッダーに X-SAP-LogonToken 属性を追加し、その値をログオントークンに設定することで、各要求の要求ヘッダーにログオントークンを渡します。

4.5.1 BI platform リポジトリの最上位を表示する

BI platform リポジトリを表示するには、有効なログオントークンと、RESTful Web サービス要求のベース URL 情報が必要です。

BI platform リポジトリの最上位、つまり InfoStore を表示するように要求できます。返される結果には、子フォルダに移動したり、リポジトリの内容を調べるためのリンクが格納されます。

1. 新しい HTTP 要求を作成します。
2. 要求ヘッダーに X-SAP-LogonToken 属性を追加し、その値を有効なログオントークンに設定します。
3. GET メソッドを使用して、`http://<baseURL>/infostore/` URL に要求を送信します。
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求に置き換えてください。

```
GET http://localhost:6405/biprws/infostore
```

4. 応答に格納されるフィードには、子およびリポジトリの最上位フォルダを記述するエントリへのリンクが含まれます。

各 <link> エントリには RESTful URL へのハイパーリンクが格納され、ここからリソースに直接アクセスできます。属性のリストには、リソースのプロパティが格納されます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/infostore</id>
  <title type="text">InfoStore (@COMMANDCOM-LCM:6400)</title>
  <updated>2011-03-31T23:55:10.852Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/4/children?
page=1&pageSize=50" rel="self"></link>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/4/children?
page=1&pageSize=50" rel="first"></link>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/4/children?
page=1&pageSize=50" rel="last"></link>
  <entry>
    <title type="text">Alert Notifications</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ARZB.BFCQk9PqagDpcFwo1w</id>
    <author><name>System Account</name></author>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Alert%20Notifications"
rel="alternate"></link>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="int32">64</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```



```

        <attr name="cuid" type="string">ARZB.BFCQk9PqaqDpcFwolw</attr>
        <attr name="description" type="string" null="true"></attr>
        <attr name="type" type="string">Folder</attr>
    </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
    <title type="text">Application Folder</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/AdoctK9hlsBHp3I6uG0Sh7M</id>
    <author><name>System Account</name></author>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Application%20Folder"
rel="alternate"></link>
    <content type="application/xml">
        <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
            <attr name="id" type="int32">43</attr>
            <attr name="cuid" type="string">AdoctK9hlsBHp3I6uG0Sh7M</attr>
            <attr name="description" type="string"></attr>
            <attr name="type" type="string">Folder</attr>
        </attrs>
    </content>
</entry>
...
</feed>

```

関連情報

[認証 \[36 ページ\]](#)

4.5.2 ID でオブジェクトを取得する

BI platform からリソースを取得するには、有効なログオントークンと、RESTful Web サービス要求のベース URL 情報が必要です。ID に基づいてオブジェクトを取得するには、要求対象のリソースの ID 情報が必要です。リソースは、セントラル管理コンソール（CMC）でアクセスしてプロパティを調べるか、RESTful Web サービス応答で返される <attr> エントリの id 属性を読み取ることで、ID がわかります。ID 属性は、BI platform リポジトリ内のオブジェクトの SI_ID プロパティに対応します。

ID を使用して、リソースに直接アクセスできます。

1. 新しい HTTP 要求を作成します。
2. 要求ヘッダーに X-SAP-LogonToken 属性を追加し、その値を有効なログオントークンに設定します。
3. 要求ヘッダーに Accept 属性を追加し、その値を application/xml に設定します。
4. GET メソッドを使用して、http://<baseURL>/biprws/infostore/<ID> URL に要求を送信します。
<baseURL> は RESTful Web サービス要求のベース URL に、<ID> は取得先のオブジェクトの ID に置き換えてください。

```
GET http://localhost:6405/biprws/infostore/43
```

応答には、リソースの XML 記述が含まれる <entry> 要素が格納されます。この例では、ID が 43 の Application Folder を取得します。

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
    <author><name>System Account</name></author>

```

```

<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/AdoctK9hlsBHp3I6uG0Sh7M</id>
<title type="text">Application Folder</title>
<updated>2011-04-14T10:27:50.672Z</updated>
<link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Application%20Folder/
children" rel="http://www.sap.com/rws/bip#children"></link>
<link href="http://localhost:6405/biprws/infostore" rel="up"></link>
<content type="application/xml">
  <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
    <attr name="id" type="int32">43</attr>
    <attr name="cuid" type="string">AdoctK9hlsBHp3I6uG0Sh7M</attr>
    <attr name="description" type="string"></attr>
    <attr name="name" type="string">Application Folder</attr>
    <attr name="type" type="string">Folder</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>

```

関連情報

4.5.3 CUID でオブジェクトを取得する

BI platform からリソースを取得するには、有効なログオントークンと、RESTful Web サービス要求のベース URL 情報が必要です。CUID に基づいてオブジェクトを取得するには、要求対象のリソースの CUID 情報が必要です。セントラル管理コンソール（CMC）でアクセスしてプロパティを調べるか、RESTful Web サービス応答で返される <attr> エントリの cuid 属性を読み取ることで、リソースの CUID がわかります。CUID 属性は、BI platform リポジトリ内のオブジェクトの SI_CUID プロパティに対応します。

CUID を使用して、リソースに直接アクセスできます。

1. 新しい HTTP 要求を作成します。
2. 要求ヘッダーに X-SAP-LogonToken 属性を追加し、その値を有効なログオントークンに設定します。
3. 要求ヘッダーに Accept 属性を追加し、その値を application/xml に設定します。
4. GET メソッドを使用して、http://<baseURL>/infostore/cuid_<CUID> に要求を送信します。

<baseURL> は RESTful Web サービス要求のベース URL に、<CUID> は取得先のオブジェクトの CUID に置き換えてください。この例では、CUID が AdoctK9hlsBHp3I6uG0Sh7M の Application Folder を取得します。

```
GET http://localhost:6405/biprws/infostore/cuid_AdoctK9hlsBHp3I6uG0Sh7M
```

応答は、リソースの XML 記述が格納された <entry> 要素です。この例では、CUID = AdoctK9hlsBHp3I6uG0Sh7M を満たすオブジェクトが返されます。

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author><name>System Account</name></author>
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/AdoctK9hlsBHp3I6uG0Sh7M</id>
  <title type="text">Application Folder</title>
  <updated>2011-04-14T10:27:50.672Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Application%20Folder/
children" rel="http://www.sap.com/rws/bip#children"></link>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore" rel="up"></link>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="id" type="int32">43</attr>

```

```

    <attr name="cuid" type="string">AdoctK9hlsBHp3I6uG0Sh7M</attr>
    <attr name="description" type="string"></attr>
    <attr name="name" type="string">Application Folder</attr>
    <attr name="type" type="string">Folder</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>

```

関連情報

4.5.4 子オブジェクトにアクセスする

BI platform からリソースを取得するには、有効なログオントークンと、RESTful Web サービス要求のベース URL 情報が必要です。

RESTful Web サービス要求の末尾に /children を追加して、親リソースの子にアクセスできます。

1. 新しい HTTP 要求を作成します。
2. 要求ヘッダーに X-SAP-LogonToken 属性を追加し、その値を有効なログオントークンに設定します。
3. 要求ヘッダーに Accept 属性を追加し、その値を application/xml に設定します。
4. GET メソッドを使用して、`http://<baseURL>/biprws/infostore/<id>/children` URL に要求を送信します。

<baseURL> は RESTful Web サービス要求のベース URL に、<id> は取得先の親オブジェクトの ID または cuid_CUID に置き換えてください。

この例では、ID が 23 のルートフォルダの子を要求します。

```
http://<baseURL>/biprws/infostore/23/children
```

応答に格納される <feed> 要素には、要求したリソースの子にそれぞれ対応する <entry> 要素が含まれます。この例では、Data Federation、Feature Samples、Web Intelligence Samples などのエントリを含むルートフォルダの子が返されます。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ASHnC0S_Pw5LhKFbZ.iA_j4/children</id>
  <title type="text">Children of Root Folder</title>
  <updated>2011-04-15T00:31:16.609Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Root%20Folder/children?page=1&pageSize=50" rel="self"></link>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Root%20Folder/children?page=1&pageSize=50" rel="first"></link>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Root%20Folder/children?page=1&pageSize=50" rel="last"></link>
  <entry>
    <title type="text">Data Federation</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/FnKsrkkctAcA8BAAALB7kkQAADAFzVMX</id>
    <author><name>System Account</name></author>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/4044" rel="alternate"></link>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="int32">4044</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

```

    <attr name="cuid" type="string">FnKsrkkctAcA8BAAALB7kkQAADAFzVMX</
attr>
    <attr name="description" type="string" null="true"></attr>
    <attr name="type" type="string">Folder</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
  <title type="text">Feature Samples</title>
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/Afoyr1BSRYJIGOkbmWfd3zU</id>
  <author><name>Administrator</name>
  <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri></author>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/5158"
rel="alternate"></link>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="id" type="int32">5158</attr>
      <attr name="cuid" type="string">Afoyr1BSRYJIGOkbmWfd3zU</attr>
      <attr name="description" type="string">Contains examples of new
features</attr>
      <attr name="type" type="string">Folder</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

...
<entry>
  <title type="text">Web Intelligence Samples</title>
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/AeN4lEu0h_tAtnPEjFYxwi8</id>
  <author><name>Administrator</name>
  <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri></author>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/4946"
rel="alternate"></link>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="id" type="int32">4946</attr>
      <attr name="cuid" type="string">AeN4lEu0h_tAtnPEjFYxwi8</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="type" type="string">Folder</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
</feed>

```

関連情報

4.5.5 結果にページを設定する

BI platform からリソースを取得するには、有効なログオントークンと、RESTful Web サービス要求のベース URL 情報が必要です。

応答に多数のエントリが格納されている場合は、エントリをページに分割し、それらを 1 ページずつ表示することができます。1 ページに表示するエントリの数を設定したら、表示するページ番号を要求できます。

① 注記

ページ設定情報を明示的に設定しない場合は、管理者が設定するデフォルトのページサイズに従って結果が返されます。デフォルト値は、1 ページに 50 エントリです。

1. 新しい HTTP 要求を作成します。
2. 要求ヘッダーに X-SAP-LogonToken 属性を追加し、その値を有効なログオントークンに設定します。
3. 要求ヘッダーに Accept 属性を追加し、その値を application/xml に設定します。
4. 複数のエントリを含むフィードを要求する URL の末尾に ?page=<n>&pageSize=<m> を追加します。
<n> は、表示するページのページ番号に置き換えてください。<m> は、各ページに表示するエントリの数に置き換えてください。
この例では、ID=23 のオブジェクトの子を返すように要求します。また、結果の 2 ページ目を要求します。各ページには 3 つのエントリが含まれます。

```
http://<baseURL>/biprws/infostore/23/children?page=2&pageSize=3
```

5. GET メソッドを使用して、要求を送信します。

応答には、要求したページに対するエントリのリストが格納されます。また、最初のページ、最後のページ、次のページ、および前のページを表示するためのリンクも返されます。この例では、2 ページ目を表示します。各ページには 3 つのエントリが含まれます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ASHnC0S_Pw5LhKFbZ.iA_j4/children</id>
  <title type="text">Children of Root Folder</title>
  <updated>2011-04-07T23:50:17.983Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Root%20Folder/children?page=2&pageSize=3" rel="self"></link>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Root%20Folder/children?page=1&pageSize=3" rel="first"></link>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Root%20Folder/children?page=3&pageSize=3" rel="next"></link>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Root%20Folder/children?page=1&pageSize=3" rel="previous"></link>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/Root%20Folder/children?page=3&pageSize=3" rel="last"></link>
  <entry>
    <title type="text">Platform Search Scheduling</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/AfbVaQlCdrNDkKlzAKEK3aI</id>
    <author><name>System Account</name></author>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/4320" rel="alternate"></link>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="int32">4320</attr>
        <attr name="cuid" type="string">AfbVaQlCdrNDkKlzAKEK3aI</attr>
        <attr name="description" type="string" null="true"></attr>
        <attr name="type" type="string">Folder</attr></attrs>
      </content>
    </entry>
  <entry>
    <title type="text">Probes</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/AYtU9ijcgpxFsbgLW0om5_U</id>
    <author><name>System Account</name></author>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/4001" rel="alternate"></link>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="int32">4001</attr>
        <attr name="cuid" type="string">AYtU9ijcgpxFsbgLW0om5_U</attr>
        <attr name="description" type="string" null="true"></attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

```

        <attr name="type" type="string">Folder</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">Report Conversion Tool</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/AY9zJ8BgaF9OucZ2h2slcJM</id>
    <author><name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri></author>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/4082" rel="alternate"></
  link>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="int32">4082</attr>
        <attr name="cuid" type="string">AY9zJ8BgaF9OucZ2h2slcJM</attr>
        <attr name="description" type="string"></attr>
        <attr name="type" type="string">Folder</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

関連情報

[並べ替えとフィルタリング \[141 ページ\]](#)

[各ページに表示されるデフォルトのエントリ数を設定する \[77 ページ\]](#)

4.5.6 タイプで結果をフィルタ処理する

BI platform からリソースを取得するには、有効なログオントークンと、RESTful Web サービス要求のベース URL 情報が必要です。

RESTful Web サービス要求の末尾に ?type=<type> を追加して、応答から返される結果のタイプを制限できます。<type> は、表示する結果のタイプに置き換えてください。<type> 値は、BI platform リポジトリ内のオブジェクトの SI_KIND プロパティに対応します。

1. 新しい HTTP 要求を作成します。
2. 要求ヘッダーに X-SAP-LogonToken 属性を追加し、その値を有効なログオントークンに設定します。
3. 要求ヘッダーに Accept 属性を追加し、その値を application/xml に設定します。
4. 複数のエントリを含むフィードを要求する URL の末尾に ?type=<type> を追加します。

<type> は、受け取る結果のタイプに置き換えてください。この例では、ID=99 のフォルダの InfoView タイプの子を返すように要求します。

```
http://<baseURL>/biprws/infostore/99/children?type=InfoView
```

5. GET メソッドを使用して、要求を送信します。

```
GET http://<baseURL>/biprws/infostore/99/children?type=InfoView
```

応答に格納される <feed> 要素には、InfoView タイプのオブジェクト 99 の子にそれぞれ対応する <entry> 要素が含まれます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/AWItAeqx.FpBgqTpFH8LqwE/children</id>
  <title type="text">Children of Root Folder 99</title>
  <updated>2011-06-06T23:40:10.209Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/99/children?
page=1&pageSize=50" rel="self"></link>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/99/children?
page=1&pageSize=50" rel="first"></link>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/99/children?
page=1&pageSize=50" rel="last"></link>
  <entry>
    <title type="text">BI launch pad</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/Ac7UIwmYafpFuhiiw6FRXLQ</id>
    <author><name>System Account</name></author>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/474" rel="alternate"></
link>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="string">474</attr>
        <attr name="cuid" type="string">Ac7UIwmYafpFuhiiw6FRXLQ</attr>
        <attr name="description" type="string" null="true"></attr>
        <attr name="type" type="string">InfoView</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

関連情報

4.5.7 関係を持つオブジェクトにアクセスする

BI platform からリソースを取得するには、有効なログオントークンと、RESTful Web サービス要求のベース URL 情報が必要です。

オブジェクト ID を追加し、関係の名前の前に置く URL に /relationships を追加して、現在リストされているオブジェクトに関連するオブジェクトにアクセスできます。さらに、オブジェクトの ID または CUID を追加すると、より具体的なクエリーを作成できます。関係とは、たとえば、ユーザー グループ、受信されたアラートや購読しているイベントなどの他のオブジェクトに関係付けられている Administrator という名前のアカウントなどのリソースです。/infostore/<id> API を使用すると、このような関連付けが存在する場合は <id> の InfoObject の関係情報を返します。関係の詳細については、『Business Intelligence プラットフォーム管理ガイド』を参照してください。

1. 新しい HTTP 要求を作成します。
2. 要求ヘッダーに X-SAP-LogonToken 属性を追加し、その値を有効なログオントークンに設定します。
3. 要求ヘッダーに Accept 属性を追加し、その値を application/xml に設定します。
4. GET メソッドを使用して、http://<baseURL>/biprws/infostore/<id>/relationships/<id> URL に要求を送信します。

<baseURL> は RESTful Web サービス要求のベース URL に、<id> は取得先のオブジェクトの ID または CUID に置き換えてください。

関係を示すために、次の例は最初に /infostore API を使用しています。これにより、ID が 12 のオブジェクトが BI platform 内の他のオブジェクトと関係を持っているかどうかになります。

```
http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/12
```

応答は、ID 12 が subscribedEvents、userGroups、receivedAlerts を含む関係を持つ Administrator オブジェクトであることを示します。

```
<?xml version="1.0" ?>
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>
      Administrator
    </name>
    <uri>
      http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/12
    </uri>
  </author>
  <id>
    tag:sap.com,2010:bip-rs/AfRWaT5_131NlLLf5bRMLKY
  </id>
  <title type="text">
    Administrator
  </title>
  <updated>
    2012-01-04T20:03:20.085Z
  </updated>
  <link href="http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/Users" rel="up"/>
  <link href="http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/12/relationships/
subscribedEvents"
    rel="http://www.sap.com/rws/bip#subscribed-events"
    title="Subscribed events"/>
  <link href="http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/12/relationships/
userGroups"
    rel="http://www.sap.com/rws/bip#user-groups" title="User groups"/>
  <link href="http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/12/relationships/
receivedAlerts"
    rel="http://www.sap.com/rws/bip#received-alerts" title="Received
alerts"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="id" type="int32">
        12
      </attr>
      <attr name="cuid" type="string">
        AfRWaT5_131NlLLf5bRMLKY
      </attr>
      <attr name="description" type="string">
        Administrator account
      </attr>
      <attr name="name" type="string">
        Administrator
      </attr>
      <attr name="type" type="string">
        User
      </attr>
      <attr name="emailAddress" type="string"/>
      <attr name="lastLogon" type="datetime">
        2012-01-04T20:03:20.085Z
      </attr>
      <attr name="fullName" type="string"/>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```


次のコード スニペットでは、前の例から取得された .../relationship/users リンクを使用しています。

```
http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/12/relationships/userGroups
```

ID 番号の追跡は使用されていないので、以下のコード スニペットに示す応答は、詳しく検証できる 3 つのリンクをリストします。../infostore/1、../infostore/2、../infostore/3 です。

```
<?xml version="1.0" ?>
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>
      Administrator
    </name>
    <uri>
      http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/12
    </uri>
  </author>
  <id>
    tag:sap.com,2010:bip-rs/AfRWaT5_131NlLLf5bRMLKY/relationships/userGroups
  </id>
  <title type="text">
    InfoObjects related to Administrator via userGroups
  </title>
  <updated>
    2012-01-04T20:08:32.441Z
  </updated>
  <entry>
    <title type="text">
      1
    </title>
    <id>
      tag:sap.com,2010:bip-rs/AfRWaT5_131NlLLf5bRMLKY/relationships/
userGroups/1
    </id>
    <link href="http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/12/relationships/
userGroups/1" rel="self"/>
    <link href="http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/1" rel="related"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="int32">
          1
        </attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">
      2
    </title>
    <id>
      tag:sap.com,2010:bip-rs/AfRWaT5_131NlLLf5bRMLKY/relationships/
userGroups/2
    </id>
    <link href="http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/12/relationships/
userGroups/2" rel="self"/>
    <link href="http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/2" rel="related"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="int32">
          2
        </attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">
```

```

    3
  </title>
  <id>
    tag:sap.com,2010:bip-rs/AfRWaT5_131NlLLf5bRMLKY/relationships/
    userGroups/3
  </id>
  <link href="http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/12/relationships/
    userGroups/3" rel="self"/>
  <link href="http://commandcom-lcm:6405/biprws/infostore/3" rel="related"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="id" type="int32">
        3
      </attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
</feed>

```

関連情報

4.6 スケジュール

Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK では、基本的なスケジュールを実行できます。

① 注記

スケジュール API と共に使用できるオブジェクトは、スケジュール可能オブジェクトだけです。スケジュール可能リソースには、Crystal Reports や WebI レポートなどのドキュメントがあります。

次のスケジュールプロパティを設定できます。

- リソースのスケジュール時刻。
- リソースの繰り返しプロパティ（開始時刻、終了時刻、繰り返し間隔など）。
たとえば、翌年の毎週月曜日の朝にレポートを繰り返すようにスケジュールすることができます。
- 最大再試行回数と再試行間隔。
たとえば、スケジュールが失敗した場合に、1 時間間隔で 3 回まで再試行できます。

4.6.1 オブジェクトのスケジュール用 URL を検出する

オブジェクトをスケジュールするための URL を検出するには、有効なログオントークンと、RESTful Web サービス要求のベース URL 情報が必要です。

オブジェクトのスケジュールに使用できる URL の一覧を取得するには、スケジュール可能リソース要求の末尾に /scheduleForms を追加します。スケジュール可能リソースには、Crystal Reports や WebI レポートなどのドキュメントがあります。

1. 新しい HTTP 要求を作成します。
2. 要求ヘッダーに X-SAP-LogonToken 属性を追加し、その値を有効なログオントークンに設定します。
3. 要求ヘッダーに Accept 属性を追加し、その値を application/xml に設定します。
4. GET メソッドを使用して、http://<baseURL>/biprws/infostore/<id>/scheduleForms URL に要求を送信します。

<baseURL> は RESTful Web サービス要求のベース URL に、<id> はスケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。

```
GET http://localhost:6405/biprws/infostore/4738/scheduleForms
```

応答には、リソースをスケジュールするためのリンクを表すエントリのフィードが格納されます。次の例では、次の繰り返し方法でレポートをスケジュールするためのリンクを示します。

- 今すぐ
- 1回
- 時間単位
- 日単位
- 週単位
- 月単位
- 毎月 N 日

① 注記

リソースがスケジュール可能でない場合は、エラーが返されます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ASb6ObslHktFnk3uF8.g3tw/scheduleForms</id>
  <title type="text">Schedule Drilldown</title>
  <title type="text"><updated>2011-05-18T10:31:30.092Z</updated>
  <entry>
    <title type="text">now</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ASb6ObslHktFnk3uF8.g3tw/now</id>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/5177/scheduleForms/now" rel="alternate"></link>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">once</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ASb6ObslHktFnk3uF8.g3tw/once</id>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/5177/scheduleForms/once" rel="alternate"></link>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">hourly</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ASb6ObslHktFnk3uF8.g3tw/hourly</id>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/5177/scheduleForms/hourly" rel="alternate"></link>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">daily</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ASb6ObslHktFnk3uF8.g3tw/daily</id>
```

```

    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/5177/scheduleForms/
daily" rel="alternate"></link>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">weekly</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ASb60bslHktFnk3uF8.g3tw/weekly</id>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/5177/scheduleForms/
weekly" rel="alternate"></link>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">monthly</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ASb60bslHktFnk3uF8.g3tw/monthly</id>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/5177/scheduleForms/
monthly" rel="alternate"></link>
  </entry>
  <entry><title type="text">NthDayOfMonth</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ASb60bslHktFnk3uF8.g3tw/NthDayOfMonth</id>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/infostore/5177/scheduleForms/
NthDayOfMonth" rel="alternate"></link>
  </entry>
</feed>

```

関連情報

[スケジュール用のテンプレートの取得 \[103 ページ\]](#)

4.6.2 リソースをスケジュールする

リソースをスケジュールするには、有効なログオントークンと、RESTful Web サービス要求のベース URL 情報が必要です。

Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK は、リソースをスケジュールする時刻や繰り返し情報の設定などの基本的なスケジュール機能を提供します。

① 注記

スケジュール API は、スケジュール可能なオブジェクトのみを操作します。スケジュール可能リソースには、Crystal Reports や WebI レポートなどのドキュメントがあります。

1. 新しい HTTP 要求を作成します。
2. 要求ヘッダーに X-SAP-LogonToken 属性を追加し、その値を有効なログオントークンに設定します。
3. 要求ヘッダーに Accept 属性を追加し、その値を application/xml に設定します。
4. GET メソッドを使用して、`http://<baseURL>/biprws/infostore/<id>/scheduleForms/<form>` URL に要求を送信します。

<baseURL> は RESTful Web サービス要求のベース URL に、<ID> はリソースの ID または cuid_CUID に置き換えてください。<form> は、実行するスケジュールの頻度 (now、daily、weekly、once など) に置き換えてください。

```
GET http://localhost:6405/biprws/infostore/4738/scheduleForms/now
```

応答には、リソースをスケジュールする要求の要求本文を作成するための XML テンプレートが含まれます。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ASb6ObslHktFnk3uF8.g3tw/scheduleForms/now</id>
  <title type="text">Schedule Drilldown now</title>
  <updated>2011-05-18T10:31:30.092Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="retriesAllowed" type="int32">0</attr>
      <attr name="retryIntervalInSeconds" type="int32">1800</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

5. 新しい HTTP 要求を作成します。
6. 要求ヘッダーに X-SAP-LogonToken 属性を追加し、その値を有効なログオントークンに設定します。
7. 要求ヘッダーに Accept 属性を追加し、その値を application/xml に設定します。
8. 要求ヘッダーに Content-Type 属性を追加し、その値を application/xml に設定します。
9. GET 要求から受信したテンプレートに情報を設定し、それを新しい要求本文に追加します。

この例では、1800 秒間隔で 3 回までの試行を行います。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ASb6ObslHktFnk3uF8.g3tw/scheduleForms/now</id>
  <title type="text">Schedule Drilldown now</title>
  <updated>2011-05-18T10:31:30.092Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="retriesAllowed" type="int32">3</attr>
      <attr name="retryIntervalInSeconds" type="int32">1800</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

10. POST メソッドを使用して、スケジュール用 URL に要求を送信します。

```
POST http://localhost:6405/biprws/infostore/4738/scheduleForms/now
```

リソースが正常にスケジュールされると、応答ヘッダーには、ステータスコード [201 Created] と、スケジュールされたインスタンスの位置へのリンクが入ります。

```
Location: http://localhost:6405/biprws/infostore/5619
```

関連情報

[1 回限りのスケジュールの作成 \[107 ページ\]](#)

4.7 Tomcat サーバ向けの RESTful Web サービスの設定

Tomcat などの非 WACS サーバを使用している場合、サーバ設定の一部として RESTful Web サービスパラメータを設定することができます。

Apache Tomcat アプリケーションサーバ向けに RESTful Web サービスを設定するには、以下の手順に従います。

1. Tomcat サーバを停止します。
2. 次のファイルパスのファイル `biprws.properties` にアクセスします。 `<tomcat-location>%webapps%biprws%WEB-INF%config%custom`
3. 自分のカスタム要件に基づいて、ファイルで次のパラメータの値を指定して、ファイルを保存します。
 1. `<Default_Number_Of_Objects_On_One_Page>`
 2. `<Enterprise_Session-Token_Timeout_In_Minutes>`
 3. `<Session_Pool_Size>`
 4. `<Session_Pool_Timeout_In_Minutes>`
 5. `<Log_Level>`
 6. `<Log_Location>`
4. Tomcat サーバを再起動します。

① 注記

`biprws.properties` のデフォルトバージョンが `<tomcat-location>%webapps%biprws%WEB-INF%config%default` にあり、サーバを再起動すると、カスタムファイルパスで行った上記パラメータの設定によって、デフォルト設定が上書きされます。

以下の 2 つのプロパティを使用して HTTP 基本認証を有効にし、デフォルトの HTTP 基本認証タイプとして SAP、Enterprise、LDAP、または WinAD を設定できます。ログオン時にこのデフォルトの認証タイプを上書きすることもできます。

例

```
Basic_Auth_Supported=true
```

```
Basic_Auth_Type=secEnterprise
```

BIP Restful Web サービスが weblogic、Jboss、および NW でサポートされるようになりました。これらにも同じ設定を追加する必要があります。

4.8 WebSphere サーバ向けの RESTful Web サービスの設定

WebSphere などの非 WACS サーバを使用している場合、サーバ設定の一部として RESTful Web サービスパラメータを設定することができます。

WebSphere アプリケーションサーバ向けに RESTful Web サービスを設定するには、以下の手順に従います。

1. WebSphere サーバを停止します。
2. 次のファイルパスのファイル `biprws.properties` にアクセスします。 `<WebSphere-location>%webapps%biprws%WEB-INF%config%custom。`
3. 自分のカスタム要件に基づいて、ファイルで次のパラメータの値を指定して、ファイルを保存します。
 1. `<Default_Number_Of_Objects_On_One_Page>`
 2. `<Enterprise_Session-Token_Timeout_In_Minutes>`
 3. `<Session_Pool_Size>`
 4. `<Session_Pool_Timeout_In_Minutes>`
 5. `<Log_Level>`
 6. `<Log_Location>`
4. WebSphere サーバを再起動します。

① 注記

`biprws.properties` のデフォルトバージョンが `<WebSphere-location>%webapps%biprws%WEB-INF%config%default` にあり、サーバを再起動すると、カスタムファイルパスで行った上記パラメータの設定によって、デフォルト設定が上書きされます。

5 管理タスクとインストール タスク

このセクションでは、BI platform インストールへの RESTful Web サービスのインストールとその構成について説明します。

このセクションのタスクを実行するには、BI platform 管理者でなければなりません。管理者は、デフォルトのシステム値の設定、機能の有効化、パフォーマンス設定の強化といった RESTful Web サービス環境の構成を行うことができます。

BI platform のデフォルトインストールには、RESTful Web サービスが含まれます。ただし、RESTful Web サービスを含めないで BI platform のカスタムインストールを実行した場合は、RESTful Web サービスを別途インストールできます。RESTful Web サービスには、Web アプリケーションコンテナサーバー（WACS）のインスタンスが必要です。WACS サーバーがない場合は、RESTful Web サービスのインストール時にインストールされます。

プロキシまたは WACS サーバーの複数のインスタンスを使用する場合などの複雑なインストール環境では、RESTful Web サービス要求をリスニングするサーバー名とポートを構成する必要があります。

① 注記

複雑なデプロイメントシナリオの詳細については、*SAP BusinessObjects Business Intelligence* プラットフォーム管理者ガイドの“Web アプリケーションコンテナサーバー（WACS）の管理”セクションを参照してください。

5.1 Windows に RESTful Web サービスをインストールする

Windows Installer を使用して、カスタム BI platform デプロイメントに RESTful Web サービスを追加することができます。RESTful Web サービスには、Web アプリケーションコンテナサーバー（WACS）のインスタンスが必要です。これがインストールされていない場合は、RESTful Web サービスと共にインストールされます。RESTful Web サービスは、BI platform 4.0 の Feature Pack 3 から導入されました。

- BI platform 4.0 FP3 を新規インストールする場合、RESTful Web サービスはインストールに自動的に含まれます。カスタムインストールを選択する場合、RESTful Web サービスは機能ツリー内でデフォルトで選択されます。
- 4.0 SP2 から 4.0 FP3 にアップグレードする場合は、アップグレードの完了後に、Windows コントロールパネルの **[プログラムと機能]** の **[アンインストールと変更]** を使用して RESTful Web サービスを追加します。

Windows への BI platform のインストールの詳細については、*Business Intelligence* プラットフォームインストールガイド（Windows 版）のセクション 5.8.1「SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームを変更する」を参照してください。

1. Business Intelligence プラットフォーム Windows Installer を起動し、カスタムインストールのインストール手順を実行します。
2. **[機能の選択]** 画面で、**▶ インスタンス ▶ サーバー ▶ プラットフォームサービス ▶**を展開し、**[RESTful Web サービス]**を選択します。
3. インストールを続行します。

4. [\[HTTP リスニングポートの設定\]](#) ダイアログで、RESTful Web サービス要求をリスニングするためのポート番号を入力します。

デフォルトのポート番号は 6405 です。

5. インストールを完了します。

BI platform インストールでプロキシまたは複数の WACS サーバーを使用する場合は、RESTful Web サービスのベース URL を構成しなければならないことがあります。

関連情報

[RESTful Web サービスのベース URL を設定する \[76 ページ\]](#)

5.2 Unix に RESTful Web サービスをインストールする

Unix インストーラを使用して、カスタム BI platform デプロイメントに RESTful Web サービスを追加することができます。RESTful Web サービスには、Web アプリケーションコンテナサーバー (WACS) のインスタンスが必要です。これがインストールされていない場合は、RESTful Web サービスと共にインストールされます。

Unix への BI platform のインストールの詳細については、*Business Intelligence* プラットフォームインストールガイド (UNIX 版) を参照してください。

1. Business Intelligence プラットフォーム Unix インストーラを起動し、カスタムインストールのインストール手順を実行します。
2. [\[機能の選択\]](#) ダイアログで、**▶ インスタンス ▶ サーバー ▶ プラットフォームサービス ▶**を展開し、[\[RESTful Web サービス\]](#) を選択します。
3. インストールを続行します。
4. [\[HTTP リスニングポートの設定\]](#) ダイアログで、RESTful Web サービス要求をリスニングするためのポート番号を入力します。
このポートは、デフォルトでは 6405 に設定されます。
5. インストールを完了します。

BI platform インストールでプロキシまたは複数の WACS サーバーを使用する場合は、RESTful Web サービスのベース URL を構成しなければならないことがあります。

関連情報

[RESTful Web サービスのベース URL を設定する \[76 ページ\]](#)

5.3 WinAD SSO を有効化するように web.xml を設定する

Windows Active Directory シングル サインオン (WinAD SSO) を認識するように RESTful Web サービスを設定するには、BI platform サーバーにある web.xml 構成ファイルを編集する必要があります。詳細については、*Business Intelligence* プラットフォーム RESTful Web サービス開発者ガイドの「SDK の使用」>「認証」>「“Active Directory シングル サインオン (AD SSO) アカウントを使用してログオン トークンを取得する”」を参照してください。

BI platform サーバーでクライアント コンピュータの WinAD SSO ログイン認証情報が認識されるようにするには、web.xml の Kerberos Proxy filter セクションのコメントを解除し、使用される Active Directory 環境を反映する idm.realm、idm.princ、および idm.keytab の値を更新します。

1. <boe root>¥SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0¥java¥pjs¥services¥RestWebService¥biprws¥WEB-INF¥ の web.xml 設定を特定します。次に、ファイルパスの例を示します。

```
C:¥Program Files (x86)¥SAP BusinessObjects¥SAP BusinessObjects Enterprise XI
4.0¥java¥
pjs¥services¥RestWebService¥biprws¥WEB-INF¥web.xml
```

2. web.xml ファイルで、<filter> タグの前にコメント終了タグ --> を追加して Kerberos Proxy Filter セクションのコメントを解除し、コメント終了タグ --> を削除します。

```
<!-- Kerberos Proxy Filter
- Uncomment this filter and the corresponding filter-mapping to enable
Kerberos SSO
- for Windows AD (secWinAD) authentication.
- The following options must be specified (the rest are optional):
-   idm.realm
-   idm.princ
-   idm.keytab (unless using password, see below)
-->
<filter>
  <filter-name>WrappedResponseAuthFilter</filter-name>
  .
  .
  .
</filter>
<filter-mapping>
  <filter-name>WrappedResponseAuthFilter</filter-name>
  <url-pattern>/logon/adsso</url-pattern>
</filter-mapping>

</web-app>
```

3. idm.realm、idm.princ、および idm.keytab の各設定の <param-value>を Active Directory 環境で使用されているものに更新します。

```
<init-param>
  <param-name>idm.realm</param-name>
  <param-value>ADDOM.COM</param-value>
  <description>
    Required: Set this value to the Kerberos realm to use.
  </description>
</init-param>
<init-param>
  <param-name>idm.princ</param-name>
  <param-value>BOE120SIAVMB0ESRVR/bo.service.addom.com</param-value>
  <description>
    Set this value to the Kerberos service principal to use.
    This will be a name of the form HTTP/fully-qualified-host.
```

```

        For example, HTTP/example.vintela.com
        If not set, defaults to the server's hostname and the
        idm.realm property above.
    </description>
</init-param>
<init-param>
    <param-name>idm.kdc</param-name>
    <param-value></param-value>
    <description>
        The KDC against which secondary credentials must be validated
        This can be used for BASIC fallback or credential delegation.
        By default the KDC will be discovered automatically and this
        parameter must only be used if automatic discovery fails, or
        if a different KDC to the one discovered must automatically be used.
    </description>
</init-param>
<init-param>
    <param-name>idm.keytab</param-name>
    <param-value>C:/winnt/BOE120SIAVMB0ESRVR.keytab</param-value>
    <description>
        The file containing the keytab that Kerberos will use for
        user-to-service authentication. If unspecified, SSO will default
        to using an in-memory keytab with a password specified in the
        com.wedgetail.idm.sso.password environment variable.
    </description>
</init-param>

```

① 注記

idm.keytab 値は、BI platform サーバー上のファイルパスに対応しています。idm.realm および idm.prince の値は、セントラル管理コンソールから確認することができます。CMC の [\[認証\]](#) タブで、[\[Windows AD\]](#) をダブルクリックします。idm.realm の値は、[\[AD 設定の概要\]](#) の下にある [\[デフォルトの AD ドメイン\]](#) パラメータで設定されます。idm.prince の値は、[\[認証のオプション\]](#) の下にある [\[サービスプリンシパル名\]](#) パラメータで設定されます。

4. WACS サービスを再起動して、web.xml に加えた変更が認識されるようにします。
5. クライアント マシンを使用して、RESTful Web サービス API を使って AD SSO ログイントークンを取得できることを確認します（例：<http://<boe host>:6405/biprws/logon/adssso>）。
6. ヘッダーに X-SAP-LogonToken を含む GET クエリーおよび /infostore API を使用して、トークンをテストします。

5.4 メソッドとヘッダーのコマンド ライン パラメータを作成する

管理者は、Web アプリケーション コンテナ サービス（WACS）のプロパティの [\[コマンドラインパラメータ\]](#) に適切なオプションを追加することで、RESTful Web サービスが使用できるメソッドとヘッダーを制限できます。パラメータを変更した後は、WACS サービスを再起動する必要があります。

1. セントラル管理コンソールに管理者ユーザーとしてログオンします。
2. [\[サーバー\]](#) をクリックし、[\[サーバーの一覧\]](#) をクリックします。
3. MySIA.WebApplicationContainerServer などの Web アプリケーション コンテナ サーバー（WACS）を右クリックし、[\[プロパティ\]](#) をクリックします。
WACS サーバーの [\[プロパティ\]](#) タブが表示されます。

4. [コマンド ライン パラメータ] 領域に、許可するメソッドとヘッダーを入力します。

オプショングループごとに二重引用符で囲みます。GET、HEAD、および POST 以外のメソッドを使用します。PUT や DELETE などのオプション値は、カンマを使用して区切ります。以下に例を示します。

```
"-Dcom.sap.bip.rs.cors.extra.methods= PUT, DELETE"  
"-Dcom.sap.bip.rs.cors.extra.headers= X-SAP-LogonToken, X-SAP-PVL, WWW-Authenticate"
```

① 注記

すべてのメソッドとヘッダーを許可するためのデフォルト値は、*（アスタリスク）です。コマンド ライン パラメータ全体を省略しても、同じ効果があります。

5. [保存して閉じる] をクリックします。
6. WACS サーバー名 (MySIA.WebApplicationContainerServer など) を右クリックし、[サーバーの再起動] をクリックしてサービスを再起動します。

5.5 RESTful Web サービスのベース URL を設定する

BI プラットフォームデプロイメントがプロキシサーバを使用するか、Web アプリケーションコンテナサーバ (WACS) の複数のインスタンスを含む場合は、RESTful Web サービスでできるようにベース URL を設定しなければならないことがあります。ベース URL を設定するには、RESTful Web サービス要求をリスニングするサーバ名とポート番号の情報が必要です。

ベース URL は、各 RESTful Web サービス要求の一部として使用されます。開発者は、プログラムの中でベース URL を検出し、これを使用して RESTful Web サービス要求を正しいサーバとポートに転送します。ベース URL は、他の RESTful リソースへのハイパーリンクを定義するために、RESTful Web サービス応答でも使用されます。

① 注記

BI platform のデフォルトインストールでは、ベース URL は `http://<servername>:6405/biprws` と定義されます。<servername> は、RESTful Web サービスをホストするサーバの名前に置き換えてください。

1. セントラル管理コンソール (CMC) に管理者としてログオンします。
2. CMC で [アプリケーション] をクリックします。
アプリケーションの一覧が表示されます。
3. ▶ **RESTful Web サービス** ▶ **プロパティ** ▶ を右クリックします。
[プロパティ: RESTful Web サービス] ページが表示されます。このページに [相対 URL パスを使用] チェックボックスが追加されました。これにより、ブラウザの URL を考慮して RESTful Web サービスを起動することができます。詳細については、SAP ノート [3048101](#) を参照してください。
4. [アクセス URL] テキストボックスで、RESTful Web サービスのベース URL の名前を入力します。
たとえば、`http://<servername>:<portnumber>/biprws` と入力します。<servername> と <portnumber> は、RESTful Web サービスの要求をリスニングするサーバとポートの名前に置き換えてください。

⚠ 警告

- RESTful Web サービス API については、Tomcat サーバ、WACS サーバ、JBoss、SAP NetWeaver、WebSphere サーバがサポートされています。

- [\[アクセス URL\]](#) には、デフォルトでは WACS URL が表示されます。Restful Web サービス API を Tomcat Web サーバで使用する場合は、必要な <server> および <port> 値を状況に従って必ず修正してください。

5. [\[保存して終了\]](#) をクリックします。

① 注記

[\[相対 URL パスを使用\]](#) を有効にすると、ブラウザの相対 URL が使用されます。

5.6 エラーメッセージスタックを有効にする

管理者は、RESTful Web サービスから返されるエラーメッセージにエラースタックを含めるように構成することができます。エラースタックは、エラーが発生した場所を見つけるために役立つ追加のデバッグ情報を提供します。

① 注記

エラースタックは、エンドユーザーに公開することは避けたい BI platform に関する情報を提供する可能性があるため、実稼働シナリオでは有効にしないことをお勧めします。実稼働シナリオでは、デバッグが必要な場合にのみエラースタックを有効にして、不要になったらオフにすることを勧めます。

1. セントラル管理コンソールに管理者ユーザーとしてログインします。
2. [\[サーバー\]](#) をクリックし、[\[サーバーの一覧\]](#) をクリックします。
3. MySIA.WebApplicationContainerServer などの Web アプリケーション コンテナ サーバー (WACS) を右クリックし、[\[プロパティ\]](#) をクリックします。
WACS サーバーの [\[プロパティ\]](#) タブが表示されます。
4. [\[RESTful Web サービス\]](#) 領域で、[\[エラースタックの表示\]](#) を選択します。
5. [\[保存して閉じる\]](#) をクリックします。

RESTful Web サービスエラーメッセージにエラースタック情報が入りました。

5.7 各ページに表示されるデフォルトのエントリ数を設定する

多数のエントリから成るフィードが RESTful Web サービスの応答に含まれる場合は、その応答を複数のページに分割できます。各ページに表示されるデフォルトのエントリ数を構成することができます。開発者は、RESTful Web サービスの要求を行うときに、1 ページに表示するエントリ数を指定できます。ただし、この値を指定しない場合は、デフォルトのページサイズが使用されます。

1. セントラル管理コンソールに administrator としてログインします。
2. [\[サーバー\]](#) をクリックし、[\[サーバーの一覧\]](#) をクリックします。
3. MySIA.WebApplicationContainerServer などの Web アプリケーション コンテナ サーバー (WACS) を右クリックし、[\[プロパティ\]](#) をクリックします。
WACS サーバーの [\[プロパティ\]](#) タブが表示されます。

4. [\[RESTful Web サービス\]](#) 領域で、[\[1 ページあたりのデフォルトオブジェクト数\]](#) テキスト領域にデフォルトのページサイズを入力します。
5. [\[保存して閉じる\]](#) をクリックします。

5.8 ログオントークンのタイムアウト値を設定する

ログオントークンは、一定時間使用されないと、自動的に期限切れになります。未使用のログオントークンが有効な状態を維持する時間を設定できます。

① 注記

デフォルトでは、ログオントークンのタイムアウトは1時間です。

1. セントラル管理コンソールに administrator としてログオンします。
2. [\[サーバー\]](#) をクリックし、[\[サーバーの一覧\]](#) をクリックします。
3. MySIA.WebApplicationContainerServer などの Web アプリケーション コンテナ サーバー (WACS) を右クリックし、[\[プロパティ\]](#) をクリックします。
WACS サーバーの [\[プロパティ\]](#) タブが表示されます。
4. [\[RESTful Web サービス\]](#) 領域の [\[Enterprise セッショントークンのタイムアウト \(分単位\)\]](#) テキスト領域に、ログオントークンが有効である時間を分数で入力します。
5. [\[保存して閉じる\]](#) をクリックします。

5.9 セッションプールの設定を構成する

セッションプールを使用して、サーバーのパフォーマンスを向上させることができます。セッションプールは、アクティブな RESTful Web サービスセッションをキャッシュします。これにより、ユーザーが HTTP 要求ヘッダーの中で同じログオントークンを使用して別の要求を送信したときに、セッションを再利用できます。セッションプールサイズは、キャッシュされたセッションを一度に格納できる数を定義します。また、セッションタイムアウト値は、セッションをキャッシュしておく時間を制御します。

セッションプールサイズとセッションタイムアウト値を設定するには、次の手順を実行します。

1. セントラル管理コンソール (CMC) に管理者としてログオンします。
2. [\[サーバー\]](#) をクリックし、[\[サーバーの一覧\]](#) をクリックします。
3. MySIA.WebApplicationContainerServer などの Web アプリケーション コンテナ サーバー (WACS) を右クリックし、[\[プロパティ\]](#) をクリックします。
WACS サーバーの [\[プロパティ\]](#) タブが表示されます。
4. [\[RESTful Web サービス\]](#) 領域の [\[セッションプールサイズ\]](#) テキストボックスに、キャッシュするセッションの最大数を入力します。
5. [\[RESTful Web サービス\]](#) 領域の [\[セッションプールタイムアウト \(分\)\]](#) テキストボックスに、セッションプールタイムアウト値を入力します。
6. [\[保存して閉じる\]](#) をクリックします。

7. MySIA.WebApplicationContainerServer などの WACS サーバーを右クリックし、[サーバーの再起動] をクリックします。

5.10 HTTP 基本認証を有効化する



HTTP 基本認証を使用すると、ログオントークンを指定しなくても RESTful Web サービス要求を行うことができます。HTTP 基本認証が有効な場合は、ユーザーが初めて RESTful Web サービス要求を行うときに、ユーザー名とパスワードを指定するように求められます。

① 注記

HTTPS と組み合わせて使用しない限り、HTTP 基本認証のユーザー名とパスワードは安全に転送されません。

HTTP 基本認証を有効にする場合は、デフォルトの HTTP 基本認証タイプとして SAP、Enterprise、LDAP、または WinAD を設定します。ユーザーは、ログオンするときに、デフォルトの HTTP 基本認証タイプ以外を指定して使用することもできます。

HTTP 基本認証を使用した BI platform へのログオンは、ライセンスを 1 つ使用します。セッションプールキャッシュを使用している場合、要求は、キャッシュされたセッションに関連付けられたライセンスを使用します。セッションプールキャッシュを使用していない場合、要求の実行中は 1 つのライセンスが使用され、要求が完了するとそれが解放されます。

1. セントラル管理コンソール (CMC) に管理者としてログオンします。
2.  [サーバー](#)  [サーバーの一覧](#) をクリックします。
3. MySIA.WebApplicationContainerServer などの Web アプリケーション コンテナ サーバー (WACS) を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
WACS サーバーの [プロパティ] タブが表示されます。
4. [RESTful Web サービス] 領域で、[HTTP Basic 認証を有効にする] を選択します。
5. (オプション) [デフォルトの HTTP Basic 用認証スキーマ] 一覧で、デフォルトの HTTP 基本認証タイプを選択します。
6. [保存して閉じる] をクリックします。

エンドユーザーは、HTTP 基本認証を使用してログオンするときに、使用する認証のタイプを指定できます。Web ブラウザーでは、ユーザー名プロンプトに <authtype>¥<username>、パスワードプロンプトに <password> と入力します。

プログラムで HTTP 基本認証を使用してログオンするには、HTTP 要求ヘッダーに Authorization 属性を追加し、その値を Basic <authtype>¥<username>:<password> に設定します。

<authtype> は認証タイプに、<username> はユーザー名に、<password> はパスワードに置き換えてください。認証タイプ、ユーザー名、およびパスワードは、RFC 2617 で定義されている base64 エンコードである必要があります。HTTP 基本認証では、: 文字を含むユーザー名を使用できません。

関連情報

[セッションプールの設定を構成する \[78 ページ\]](#)

5.11 クロスオリジン リソース共有 (CORS) を構成する

[[クロスオリジン リソース共有設定](#)] (CORS) 設定を使用すると、ドメイン名の一覧を追加して、JavaScript ベースの Web ページの複数のソースからデータを取得できます。これは、JavaScript および Ajax 言語でクロスドメイン アクセスを防止するために導入されているセキュリティ ポリシーを回避するために必要です。セキュリティの低下を防止するために、アクセスされる可能性がある Web サイトのみを CMC の [[オリジンを許可する](#)] WACS サーバー プロパティに追加します。

[[最大期間 \(分\)](#)] 設定を使用して、キャッシュの有効期限を調整することもできます。この場合はブラウザが HTTP 要求を保持する最大分数を設定します。

① 注記

デフォルトでは、* (アスタリスク) によってすべてのドメインへのアクセスが許可されます。

1. セントラル管理コンソールに administrator としてログオンします。
2. [サーバー > サーバーの一覧](#) をクリックします。
3. MySIA.WebApplicationContainerServer などの Web アプリケーション コンテナ サーバー (WACS) を右クリックし、[プロパティ](#) をクリックします。
WACS サーバーの [プロパティ](#) タブが表示されます。
4. [RESTful Web サービス](#) 領域で、[オリジンを許可する:](#) の隣にある [クロスオリジン リソース共有設定](#) テキストボックスに移動し、* (アスタリスク) をカンマで区切ったドメイン名の一覧で置き換えます。例：
`http://origin1.server:8080, http://origin2.server:8080`
5. [最大期間 \(分\)](#) テキストボックスに、ブラウザが HTTP 要求をキャッシュする最大分数を入力します。
6. [保存して閉じる](#) をクリックします。

5.12 信用できる認証を有効にして設定する

信用できる認証は、セントラル管理コンソール (CMC) の [\[認証\] > \[Enterprise\]](#) を含む領域で有効化および設定し、ここで有効にします。共有シークレットキーファイルを生成し、[\[ユーザとグループ\] > \[ユーザー一覧\]](#) で信用できるユーザのアカウントを作成します。[\[サーバ\] > \[サーバの一覧\] > \[WACS\] > \[プロパティ\]](#) パスで、`/login/trusted` API ログオントークン要求に対する [\[取得方法\]](#) オプションを選択します。

① 注記

セキュリティ上の理由から、信用できる認証を HTTPS なしで有効化しないでください。信用できる認証を https なしで有効にすると、URL が認証されていないユーザに公開されるため、セキュリティ侵害とみなされます。セキュリティ侵害を防ぐために、有効な証明書を使用してユーザの情報を検証できます。詳細については、[1388240](#) を参照してください。

1. セントラル管理コンソールに管理者としてログオンします。
2. [\[認証\] > \[Enterprise\]](#) に移動して、[\[信用できる認証を有効にする\]](#) をクリックします。
3. [\[新規共有シークレット\]](#) をクリックし、[\[共有シークレットのダウンロード\]](#) をクリックします。
4. [\[保存\]](#) をクリックし、TrustedPrincipal.conf ファイルをデフォルトの場所 (`<EnterpriseDir>\<platform>`) に保存します。

例の場所は、次のように表示されます。

```
"C:¥Program Files (x86)¥SAP BusinessObjects¥SAP BusinessObjectsEnterprise XI
4.0¥win64_x64¥"
```

① 注記

TrustedPrincipal.conf 共有シークレットファイルのデフォルトの場所を変更するには、CMC の [\[サーバ\]](#) > [\[サーバの一覧\]](#) > [\[WACS\]](#) > [\[プロパティ\]](#) > [\[コマンドラインパラメータ\]](#) にコマンドラインエントリを追加して、WACS サービスを再起動します。たとえば、-Dbobj.trustedauth.home=、および BI プラットフォームサーバの C:¥ドライブのルートに配置されたフォルダ SharedSecrets を使用するコマンドラインエントリは、次のようになります。

```
"-Dbobj.trustedauth.home=C:¥SharedSecrets"
```

① 注記

オプション [\[共有シークレット有効期間\(日\)\]](#) は、デフォルト値の 0 (ゼロ) のままにしておくことができます。こうすると、有効期間が切れることがなくなります。[\[信用できるログイン要求がタイムアウトするまでの最大時間\(N ミリ秒\)\(0 は、制限時間なし\)\]](#) オプションは、デフォルト値の 0 (ゼロ) のままにしておくことができます。こうすると、信用できるログオン要求の時間制限がなくなります。

5. [\[更新\]](#) をクリックして変更を保存します。
6. [\[ユーザとグループ\]](#) > [\[ユーザー一覧\]](#) の [\[管理\]](#) > [\[新規\]](#) > [\[新しいユーザ\]](#) を使用して、新しいユーザとパスワード (bob、Passw0rd など) を追加します。[\[ユーザは次回ログオン時にパスワード変更が必要\]](#) チェックボックスをオフにして、[\[作成して閉じる\]](#) をクリックします。

① 注記

[\[ユーザの新規作成\]](#) アイコンをクリックするか、ユーザ名が一覧表示されているウィンドウの空白の領域を右クリックして、[\[新規\]](#) > [\[新しいユーザ\]](#) を選択することで、新しいユーザを作成することもできます。

7. [\[サーバ\]](#) > [\[コアサービス\]](#) > [\[WACS\]](#) > [\[プロパティ\]](#) に移動して、[\[信頼できる認証設定\]](#) セクションが表示されるまで下にスクロールし、[\[取得方法\]](#) メニューを使用して、[\[HTTP_HEADER\]](#)、[\[QUERY_STRING\]](#)、または [\[COOKIE\]](#) を選択します。

① 注記

[\[ユーザ名パラメータ\]](#) をデフォルトラベルの X-SAP-TRUSTED-USER から、RESTful Web サービスの開発者が使用する任意の実用的なラベル (UserName、bankteller、nurse など) に変更することもできます。

8. WACS サーバ名 (MySIA.WebApplicationContainerServer など) を右クリックし、[\[サーバの再起動\]](#) をクリックしてサービスを再起動します。

① 注記

ステップ 7 で説明した [\[取得方法\]](#) のオプションを後から変更する場合は、WACS を再起動する必要はありません。

9. ステップ 6 で作成したユーザ名で、.../biprsw/logon/trusted/ API を使用し、デフォルトのヘッダラベル X-SAP-TRUSTED-USER を使用して GET 要求を送信することにより、ログオントークンを取得できることを確認します。

5.13 Microsoft Silverlight から WACS サーバへのアクセスのセキュリティ確保

外部アプリケーション内でホストされる Microsoft Silverlight コンポーネントでは、Business Intelligence プラットフォーム RESTful Web サービス SDK を使用して BI プラットフォームにアクセスできます。管理者は、RESTful Web サービスが搭載されている Web アプリケーションコンテナサーバ (WACS) によってホストされるアプリケーションに対して Silverlight の要求を行う権限を持つドメインを制限することにより、BI プラットフォームのセキュリティを強化することができます。

① 注記

BI プラットフォームのデフォルトのインストールでは、外部の Silverlight コンポーネントは無制限に WACS サーバにアクセスできます。

Silverlight のアクセスポリシーは `ClientAccessPolicy.xml` ファイルで定義されています。このファイルは、BI プラットフォームインストールの WACS サーバのすべてのインスタンスで共有されます。Silverlight のアクセスポリシーファイルを変更することにより、BI プラットフォームデプロイメント内のすべての WACS サーバにホストされているすべてのアプリケーションに適用される、Silverlight のアクセス制限を変更できます。この制限は RESTful Web サービスのほか、WACS サーバによってホストされている場合は、セントラル管理コンソール (CMC) や BI 起動パッドなどの他の BI プラットフォーム Web アプリケーションにも適用されます。

① 注記

RESTful Web サービスは常に WACS サーバによってホストされており、別の種類のサーブレットコンテナにホストされることはありません。

`ClientAccessPolicy.xml` ファイルは `$ENTERPRISEDIR/warfiles/webapps/ROOT` にあります。ここで、`$ENTERPRISEDIR` は BI プラットフォームインストールの場所を表します。Silverlight のポリシー設定を変更するには、このファイルを変更します。ファイルの編集後、変更を有効にするには WACS サーバを再起動する必要があります。

Silverlight ポリシーファイルの編集方法の詳細については、Microsoft Silverlight の製品マニュアルを参照してください。

6 受信者の配信ルールの設定

7 API リファレンス

7.1 API リファレンスおよび前提条件について

API リファレンスには、RESTful Web サービス SDK を使用して BI プラットフォームにアクセスするためのメソッド (GET、POST、DELETE など) および URL が示されています。

ここで説明するタスクでは、以下のことを前提としています。

- (BI ラウンチパッドを使用してログオンする) BI プラットフォームサーバマシンが稼働しています。
- それぞれのメソッドを指定した URL を使用してサーバと対話するための **Web クライアント (Postman など)** があります。

① 注記

API リファレンスのトピックの URL 構文内でよく言及されている <ベース URL> は、`host:port/<root>` という形式で、自分の RESTful Web サーバ設定に固有のものです。たとえば、ベース URL は `10.142.800.97:6405/biprws` のようになります。

使用可能な API の概要

以下の画像では、BI プラットフォーム SDK で現在使用可能な RESTful Web サービス API の概要を示します (サービスをクリックすると、API の詳細を示す節にナビゲートします)。

RESTful Web サービスの API



- [ユーザの管理 \[147 ページ\]](#)
- [ドキュメントの管理 \[287 ページ\]](#)
- [フォルダの管理 \[277 ページ\]](#)
- [アラートおよび通知の管理 \[308 ページ\]](#)
- [カテゴリの管理 \[265 ページ\]](#)
- [ごみ箱のアイテムの管理 \[304 ページ\]](#)
- [API リファレンスおよび前提条件について \[84 ページ\]](#)
- [パブリケーションの管理 \[189 ページ\]](#)
- [ユーザグループの管理 \[166 ページ\]](#)

関連情報

[RESTful Web サービス要求の取得 \[13 ページ\]](#)

7.2 ビルドに関する情報の取得

アプリ情報 API URL には、ビルドに関する情報が表示されます。

- GET メソッドを使用して、XML テンプレートの情報を取得します。

GET http://<baseUrl>/v1/about

/v1/about に GET 要求を行って、テンプレートの情報を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseUrl>/v1/about
<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml

① 注記

アプリ情報には、ヘッダの X-SAP-LOGONTOKEN の値ではない認証は必要ありません。

- 本文: なし

応答:

- 本文: アプリ情報を含む XML テンプレートが表示されます。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">About</title>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="copyright" type="string">©2010 - 2016 SAP SE or an
SAP affiliate company. All rights reserved.</attr>
      <attr name="build" type="string">14.2.3.516</attr>
      <attr name="vendor" type="string">SAP SE</attr>
      <attr name="timestamp" type="string">20160224.122139</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.3 タイムゾーン情報の取得

タイムゾーン API URL には、Web サービスをデプロイするアプリケーションサーバのタイムゾーン情報が表示されます。

- GET メソッドを使用して、XML テンプレートの情報を取得します。

GET http://<baseURL>/v1/timezone

/v1/timezone に GET 要求を行って、テンプレートの情報を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseURL>/v1/timezone
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値

- 本文: なし

応答:

- 本文: タイムゾーン情報を含む XML テンプレートが表示されます。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="displayname" type="string">Central European Time</
attr>
      <attr name="name" type="string">CET</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.4 認証

7.4.1 /v1/logon/long

ユーザ名とパスワードを使用して /logon/long URL に要求を行うことで、BI プラットフォームにログオンします。

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用して、BI プラットフォームにログオンし、ログオントークンを取得します。

GET http://<baseUrl>/v1/logon/long

/logon/long に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で利用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseUrl>/v1/logon/long
<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="clienttype" type="string"></attr>
  <attr name="password" type="string"></attr>
  <attr name="auth" type="string"
possibilities="secEnterprise,secLDAP,secWinAD,secSAPR3">secEnterprise</attr>
  <attr name="username" type="string"></attr>
</attrs>
```

POST http://<baseUrl>/logon/long

ログオントークンを受信するには、ユーザ名とパスワードを指定して、/logon/long に POST 要求を行います。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseUrl>/logon/long
<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml

- 本文:

```
<attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="clienttype" type="string"></attr>
  <attr name="password" type="string"></attr>
  <attr name="auth" type="string"
possibilities="secEnterprise,secLDAP,secWinAD,secSAPR3">secEnterprise</attr>
  <attr name="username" type="string"></attr>
</attrs>
```

- `<attr name="clienttype" type="string"></attr>` を使用して、クライアントタイプ識別子を定義します。
- `<attr name="password" type="string"></attr>` を使用して、パスワードを定義します。
- `<attr name="auth" type="string"></attr>` を使用して、認証のタイプを定義します。
secEnterprise、secLDAP、secWinAD、または secSAPR3 のいずれかを使用します。
- `<attr name="username" type="string"></attr>` を使用して、ユーザ名を定義します。

① 注記

RESTful Web サービスを使用する BOE クライアント (Analysis Office、LiveOffice など) をその `<clienttype>` で監査する必要がある場合は、ログインセッションの作成時に、要求で `<clienttype>` 属性を設定します。この固有の `<clientType>` は、監査データベースの `<ADS_EVENT>` テーブルの `<clientType>` 列に保存されます。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
X-SAP-LogonToken	ログオントークン。
Date	応答日時
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

X-SAP-LogonToken 属性には、ログオントークンが含まれます。

```
X-SAP-
LogonToken: "BI42SP03TF22:6400@{3&2=6883,U3&2v=BI42SP03TF22:6400,UP&
;66=60,U3&68=secEnterprise:Administrator,UP&S9=12,U3&qe=100,U3&
;vz=4B.wHI5lWQ.SXHD7fEbc9lqRmDdxju4oKHNR00BJBTQ,UP}"
```

ログオントークンは引用符に囲まれます。上記の例では、ログオントークンは以下のとおりです。

```
BI42SP03TF22:6400@{3&2=6883,U3&2v=BI42SP03TF22:6400,UP&66=60,U3&68=secEnterprise:Administrator,UP&S9=12,U3&qe=100,U3&vz=4B.wHI5lWQ.SXHD7fEbc9lqRmDdxju4oKHNR00BJBTQ,UP}
```

- 本文:

応答本文には、<attr name="logonToken" type="string">要素にログオントークンのコピーが含まれます。XML エンコード形式のログオントークンを使用するには、元の形式に変換する必要があります。たとえば、&文字シーケンスは&文字に置き換えます。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>@BI42SP03TF22:6400</name>
  </author>
  <title type="text">Logon Result</title>
  <updated>2016-06-07T04:08:01.688Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="logontoken"
type="string">BI42SP03TF22:6400@{3&2=6883,U3&2v=BI42SP03TF22:6400,UP&66=60,U3&68=secEnterprise:Administrator,UP&S9=12,U3&qe=100,U3&vz=4B.wHI5lWQ.SXHD7fEbc9lqRmDdxju4oKHNR00BJBTQ,UP}</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

ここでは、応答本文内で返されたログオントークンの例を示します。

```
BI42SP03TF22:6400@{3&2=6883,U3&2v=BI42SP03TF22:6400,UP&66=60,U3&68=secEnterprise:Administrator,UP&S9=12,U3&qe=100,U3&vz=4B.wHI5lWQ.SXHD7fEbc9lqRmDdxju4oKHNR00BJBTQ,UP}
```

このログオントークンを使用するには、元の形式に変換する必要があります。

```
BI42SP03TF22:6400@{3&2=6883,U3&2v=BI42SP03TF22:6400,UP&66=60,U3&68=secEnterprise:Administrator,UP&S9=12,U3&qe=100,U3&vz=4B.wHI5lWQ.SXHD7fEbc9lqRmDdxju4oKHNR00BJBTQ,UP}
```

シリアル化セッション

シリアル化セッショントークンを生成して、トークンを複数のセッション用に再利用できます。シリアル化セッショントークンのおかげで、パラメータを渡して RESTful API コールを行い、新しいセッション用にトークンを生成する必要がなくなります。シリアル化セッショントークンを受け取るには、上で述べたのと同じ POST 要求を行い、この文字列 ?serses=true を URL に付加してください。したがって、シリアル化セッショントークンを生成するための URL は次のとおりです。 http://<baseURL>/v1/logon/long?serses=true

POST 要求を行うために、上で述べたのと同じメソッド、ヘッダ、および本文を使用することができます。

[応答] セクションの [本文] のタグ <attr name="serializedsession" type="string"> *** </attr> 間でシリアル化セッショントークンをチェックできます。

① 注記

上のアスタリスク記号はシリアル化セッショントークンを示します。実際のシリアル化セッショントークンは1000文字を超えています。

関連情報

[XML エンコードテキストからログオントークンへの変換 \[44 ページ\]](#)

[ユーザー名とパスワードからログオントークンを取得する \[37 ページ\]](#)

7.4.2 /v1/logon/token

既存のシリアル化セッションから取得したシリアル化セッションまたはセッショントークンを使用して、/v1/logon/token URL に要求を行うことで、BI プラットフォームにログオンします。

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用して、BI プラットフォームにログオンし、ログオントークンを取得します。

GET http://<baseURL>/v1/logon/token

/v1/logon/token に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で使用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseURL>/v1/logon/token
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="clienttype" type="string"></attr>
```

```
<attr name="logontoken" type="string"></attr>
<attr name="tokentype" type="string" possibilities="token,
serializedSession">token</attr>
</attrs>
```

POST http://<baseURL>/v1/logon/token

ログオントークンを受信するには、別の SDK から取得したシリアル化セッションまたはセッショントークンを指定して、/v1/logon/token に POST 要求を行います。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/logon/token.
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml

- 本文:

```
<attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="clienttype" type="string"></attr>
  <attr name="logontoken" type="string"></attr>
  <attr name="tokentype" type="string" possibilities="token,
serializedSession">token</attr>
</attrs>
```

- <attr name="tokentype" type="string" possibilities="token, serializedSession">を使用して、トークンのタイプを定義します。
セッショントークンを指定する場合は、token を使用します。シリアル化セッションを指定する場合は、serializedSession を使用します。
- <attr name="logontoken" type="string">を使用して、シリアル化セッションまたはセッショントークンの値を定義します。

① 注記

シリアル化セッションまたはセッショントークン値は、XML エンコードして、不正な XML 文字を削除する必要があります。たとえば、& 文字は & に置き換えます。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。

属性	値
X-SAP-LogonToken	ログオントークン。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

X-SAP-LogonToken 属性には、ログオントークンが含まれます。ログオントークンは引用符に囲まれます。

```
X-SAP-
LogonToken: "BI42SP03TF22:6400@{3&2=6883,U3&2v=BI42SP03TF22:6400,UP&
;66=60,U3&68=secEnterprise:Administrator,UP&S9=12,U3&qe=100,U3&
;vz=4B.wHI5lWQ.SXHD7fEbc9lqRmDdxju4oKHNR00BJBTQ,UP}"
```

- 本文:
 応答本文には、<attr> 要素にログオントークンの XML エンコードされたコピーが含まれます。XML エンコード形式のログオントークンを元の形式に変換する必要があります。たとえば、& 文字シーケンスは & 文字に置き換えます。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>@BI42SP03TF22:6400</name>
  </author>
  <title type="text">Logon Result</title>
  <updated>2016-06-07T04:39:40.167Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="logontoken"
type="string">BI42SP03TF22:6400@{3&2=6883,U3&2v=BI42SP03TF22:6400,UP&
&66=60,U3&68=secEnterprise:Administrator,UP&S9=12,U3&qe=100,U3&a
mp;vz=4B.wHI5lWQ.SXHD7fEbc9lqRmDdxju4oKHNR00BJBTQ,UP}</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

ここでは、応答本文内で返されたログオントークンの例を示します。

```
BI42SP03TF22:6400@{3&2=6883,U3&2v=BI42SP03TF22:6400,UP&66=60,U3&
p;68=secEnterprise:Administrator,UP&S9=12,U3&qe=100,U3&vz=4B.wHI5l
WQ.SXHD7fEbc9lqRmDdxju4oKHNR00BJBTQ,UP}</attr>
```

このログオントークンを使用するには、元の形式に変換する必要があります。

```
BI42SP03TF22:6400@{3&2=6883,U3&2v=BI42SP03TF22:6400,UP&66=60,U3&68=secEnte
rprise:Administrator,UP&S9=12,U3&qe=100,U3&vz=4B.wHI5lWQ.SXHD7fEbc9lqRmDdxj
u4oKHNR00BJBTQ,UP}
```

関連情報

[XML エンコードテキストからログオントークンへの変換 \[44 ページ\]](#)

[シリアルズセッションまたはセッショントークンからログオントークンを取得する \[38 ページ\]](#)

7.4.3 /v1/logon/adsso

/v1/logon/adsso (Active Directory シングルサインオン - ADSSO) は、Active Directory ユーザアカウントからトークンを取得するために使用されます。BOE サーバには、ADSSO に対して設定された `web.xml` が必要です。ユーザの Windows Active Directory ログイン名は、ユーザの BOE アカウント名と一致する必要があります。

- ログオントークンを取得するには、GET メソッドを使用します。

GET http://<baseURL>/v1/logon/adsso

ログオントークンを取得するために /v1/logon/adsso への GET 要求を作成します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/logon/adsso`
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
クエリパラメータ: `?clienttype=<clienttype>`

① 注記

RESTful Web サービスを使用する BOE クライアント (Analysis Office、LiveOffice など) をその <Clienttype> で監査する必要がある場合は、ログインセッションの作成時に、(前述の「クエリパラメータ」に示すように) クライアントで <ClientType> 属性を設定します。この固有の <Clienttype> は、監査データベースの <ADS_EVENT> テーブルの <Client_type> 列に保存されます。

- ヘッダ:

名前	値	注記
Accept	application/xml	デフォルトで使用されるため、このヘッダを使用する必要はありません。

- 要求本文: なし

- 応答ヘッダ

名前	値	例
Status Code	HTTP 応答コード。	200 OK
Server	サーバのタイプ。	Apache-Coyote/1.1
X-SAP-LogonToken	返されるエンコード済みトークン。	COMMANDCOM-LCM:6400@{3&2=588...9Q00XnE,UP}
Date	応答の日付と時刻。	Fri, 16 Dec 2011 22:00:57 GMT
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。	application/xml
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。	6919

応答本文:

```
<?xml version="1.0" ?>
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>
      @VMBOESRVR.ADDOM.COM
    </name>
  </author>
  <id>
    tag:sap.com,2010:bip-rs/logon/adsso
  </id>
  <title type="text">
    Logon Result
  </title>
  <updated>
    2011-11-21T22:15:51.340Z
  </updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="logonToken" type="string">
        VMBOESRVR.ADDOM.COM:6400@{3&2=4584,U3&p=40868.9276775116,Y7&4F=4331,
U3&63=secWinAD,0P&66=60,03&68=secWinAD:CN%3DADUser1%2CCN%3DUsers%2CDC%3D2K8ADDOMA
IN
%2CDC%3DCOM,0P&qe=100,U3&vz=kOox8TDqAiFsfS8T3GefI3sWXIyKymc9qvvtAjihC7w,UP}
      </attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

① 注記

Internet Explorer を使用して「http://<baseURL>/logon/adsso」と入力すると、Active Directory シングルサインオン logontoken を取得できます。ただし、返される値に含まれる <name>、<id>、および <updated> という文字列は、logontoken の有効なパーツでないデータです。次のテキストクリップは、Internet Explorer で取得した logonToken 要求の前に付けられた無関係なデータを示しています。

```
@VMBOESRVR.ADDOM.COMtag:sap.com,2010:bip-rs/logon/
adsso2011-11-21T19:02:00.761Z
```

次のテキストクリップは、余分なデータがない有効な logontoken です。

```
BI42SP03TF22:6400@{3&;2=6990,U3&;2v=BI42SP03TF22:6400,UP&;66=60,U3&;68=secEnte
rprise:Administrator,UP&;S9=12,U3&;qe=100,U3&;vz=eh1rLdKtjx1bKRnyRppRzSG2eYnGW
jBB1UVd1BoQRIY,UP}
```

シリアルズセッション

シリアルズセッショントークンを生成して、トークンを複数のセッション用に再利用できます。シリアルズセッショントークンのおかげで、パラメータを渡して RESTful API コールを行い、新しいセッション用にトークンを生成する必要がなくなります。シリアルズセッショントークンを受け取るには、上で述べたのと同じ GET 要求を行い、この文字列 ?serses=true を URL に付加してください。

GET 要求を行うために、上で述べたのと同じメソッド、ヘッダ、および本文を使用することができます。

[応答] セクションの [本文] のタグ `<attr name="serializedsession" type="string"> *** </attr>` 間でシリアルizedセッショントークンをチェックできます。

① 注記

上のアスタリスク記号はシリアルizedセッショントークンを示します。実際のシリアルizedセッショントークンは1000文字を超えています。

関連情報

[XML エンコードテキストからログオントークンへの変換 \[44 ページ\]](#)

[WinAD SSO を有効化するように web.xml を設定する \[74 ページ\]](#)

7.4.4 /v1//logon/trusted

GET http://<baseURL>/v1/logon/trusted

HTTP ヘッダ要求、HTTP エンコード URL クエリ、クッキーの3つのうちのいずれかの取得方法で /logon/trusted に GET 要求を送信することにより、信頼できる認証済みユーザ名を使用してログイントークンを取得するために使用されます。

CMC では、[サーバ] > [サーバの一覧] > [WACS] > [信頼できる認証設定] から、以下の取得方法を使用することができます。

取得方法

HTTP_HEADER

QUERY_STRING

COOKIE

[ユーザ名] パラメータは、CMC の [サーバ] > [コアサービス] > [WACS] > [ユーザ名パラメータ] で変更することができます。

ユーザ名パラメータ

文字列値の制限

X-SAP-TRUSTED-USER

デフォルト設定。スペースまたはコロン(:)を使用することはできません。

① 注記

[取得方法] または [ユーザ名パラメータ] を変更しても、WACS サービスを再起動する必要はありません。クエリ文字列の URL は、HTTP でエンコードする必要があります。原則として、スペースやコロンなどの文字は、値や名前のパラメータでは使用できません。

1. HTTP_HEADER を使用した要求:

- メソッド: GET

- URL: `http://<baseURL>/v1/logon/trusted`
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- クエリパラメータ: `?clienttype=<clienttype>`

① 注記

RESTful Web サービスを使用する BOE クライアント (Analysis Office、LiveOffice など) をその <Clienttype> で監査する必要がある場合は、ログインセッションの作成時に、(前述の「クエリパラメータ」に示すように) クライアントで <ClientType> 属性を設定します。この固有の <Clienttype> は、監査データベースの <ADS_EVENT> テーブルの <Client_type> 列に保存されます。

- ヘッダ: なし

2. QUERY_STRING を使用した要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/logon/trusted?<X-SAP-TRUSTED-USER>=<trustedUserName>`
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。デフォルトのラベルは <X-SAP-TRUSTED-USER> です。このラベルは、CMC の [サーバ] > [WACS]、[信頼できる認証設定]、[ユーザ名パラメータ] で、別の値に変更することができます。<trustedUserName> を [CMC] > [ユーザとグループ] で定義した信頼できるユーザアカウント名で置き換えます。
- クエリパラメータ: `?clienttype=<clienttype>`

① 注記

RESTful Web サービスを使用する BOE クライアント (Analysis Office、LiveOffice など) をその <Clienttype> で監査する必要がある場合は、ログインセッションの作成時に、(前述の「クエリパラメータ」に示すように) クライアントで <ClientType> 属性を設定します。この固有の <Clienttype> は、監査データベースの <ADS_EVENT> テーブルの <Client_type> 列に保存されます。

- ヘッダ: なし
- 制限: URL は、HTTP でエンコードする必要があります。

3. COOKIE を使用した要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/logon/trusted`
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- クエリパラメータ: `?clienttype=<clienttype>`

① 注記

RESTful Web サービスを使用する BOE クライアント (Analysis Office、LiveOffice など) をその <Clienttype> で監査する必要がある場合は、ログインセッションの作成時に、(前述の「クエリパラメータ」に示すように) クライアントで <ClientType> 属性を設定します。この固有の <Clienttype> は、監査データベースの <ADS_EVENT> テーブルの <Client_type> 列に保存されます。

- ヘッダ: なし
- cookie の値:

cookie のカテゴリ	サンプル値	注記
Domain	www.sap.com	この値は、<server address> のサーバアドレスとして使用されます
名前	X-SAP-TRUSTED-USER	これはデフォルトのラベルです。 [CMC]>[サーバ]>[WACS]、[信頼できる認証設定]、[ユーザ名パラメータ]で変更できます。
値	bob	[CMC]>[ユーザとグループ]で定義された信頼できるユーザの名前
Path	/	<server address> へのローカルパス。通常はスラッシュ文字 (/) です。

• 応答ヘッダ:

名前	値	例
Status Code	HTTP 応答コード。	200 OK
Server	サーバのタイプ。	Apache-Coyote/1.1
X-SAP-LogonToken	返されるエンコード済みトークン。	COMMANDCOM-LCM:6400@{3&2=5613,U3&2=40884.81...RrzfQ,UP}
Date	応答の日付と時刻。	Wed, 07 Dec 2011 19:29:49 GMT
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。	text/html
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。	577

応答本文の例:

```
<?xml version="1.0" ?>
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>
      @COMMANDCOM-LCM:6400
    </name>
  </author>
  <id>
    tag:sap.com,2010:bip-rs/logon/trusted
  </id>
  <title type="text">
    Logon Result
  </title>
  <updated>
    2011-12-07T21:46:57.091Z
  </updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="logonToken" type="string">
        COMMANDCOM-
        LCM:6400@{3&2=5652,U3&p=40884.90760...GwVVaCm.xJ.OtXrTB6n9TuzNfE,UP}
      </attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

シリアル化セッション

シリアル化セッショントークンを生成して、トークンを複数のセッション用に再利用できます。シリアル化セッショントークンのおかげで、パラメータを渡して RESTful API コールを行い、新しいセッション用にトークンを生成する必要がなくなります。シリアル化セッショントークンを受け取るには、上で述べたのと同じ GET 要求を行い、この文字列 `?serses=true` を URL に付加してください。

GET 要求を行うために、上で述べたのと同じメソッド、ヘッダ、および本文を使用することができます。

[応答] セクションの [本文] のタグ `<attr name="serializedsession" type="string"> *** </attr>` 間でシリアル化セッショントークンをチェックできます。

① 注記

上のアスタリスク記号はシリアル化セッショントークンを示します。実際のシリアル化セッショントークンは 1000 文字を超えています。

関連情報

[XML エンコードテキストからログオントークンへの変換 \[44 ページ\]](#)

[シリアル化セッションまたはセッショントークンからログオントークンを取得する \[38 ページ\]](#)

7.4.5 /v1//logon/trustedx509

GET http://<baseURL>/v1/logon/trustedx509

ログオントークンを取得するために `/v1/logon/trustedx509` への GET 要求を作成します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/logon/trustedx509`
`<baseURL>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
クエリパラメータ: `?clienttype=<clienttype>`

① 注記

RESTful Web サービスを使用する BOE クライアント (Analysis Office、LiveOffice など) をその `<Clienttype>` で監査する必要がある場合は、ログインセッションの作成時に、(前述の「クエリパラメータ」に示すように) クライアントで `<ClientType>` 属性を設定します。この固有の `<Clienttype>` は、監査データベースの `<ADS_EVENT>` テーブルの `<Client_type>` 列に保存されます。

- ヘッダ:

名前	値	注記
Accept	application/xml	デフォルトで使用されるため、このヘッダを使用する必要はありません。

- 要求本文: なし
- 応答ヘッダ

名前	値	例
Status Code	HTTP 応答コード。	200 OK
Server	サーバのタイプ。	Apache-Coyote/1.1
X-SAP-LogonToken	返されるエンコード済みトークン。	COMMANDCOM- LCM:6400@{3&2=588...9Q00XnE,UP}
日付	応答の日付と時刻。	Fri, 16 Dec 2011 22:00:57 GMT
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。	application/xml

応答本文:

```
<?xml version="1.0" ?>
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>
      @COMMANDCOM-LCM:6400
    </name>
  </author>
  <id>
    tag:sap.com,2010:bip-rs/logon/trusted
  </id>
  <title type="text">
    Logon Result
  </title>
  <updated>
    2011-12-07T21:46:57.091Z
  </updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="logonToken" type="string">
        COMMANDCOM-
        LCM:6400@{3&2=5652,U3&p=40884.90760...GwVVaCm.xJ.OtXrTB6n9TuzNfE,UP}
      </attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

① 注記

API が想定どおりに機能するようにするには、WACS サーバを HTTPS/SSL で設定する必要があります。詳細については、<https://uacp2.hana.ondemand.com/viewer/2e167338c1b24da9b2a94e68efd79c42/4.2.4/en-US/469a2b9f6e041014910aba7db0e91070.html> でトピック HTTPS/SSL を設定するを参照してください。

シリアライズセッション

シリアライズセッショントークンを生成して、トークンを複数のセッション用に再利用できます。シリアライズセッショントークンのおかげで、パラメータを渡して RESTful API コールを行い、新しいセッション用にトークンを生成する必要がなくなります。シリアライズセッショントークンを受け取るには、上で述べたのと同じ GET 要求を行い、この文字列 `?serses=true` を URL に付加してください。

GET 要求を行うために、上で述べたのと同じメソッド、ヘッダ、および本文を使用することができます。

[応答] セクションの [本文] のタグ `<attr name="serializedsession" type="string"> *** </attr>` 間でシリアライズセッショントークンをチェックできます。

① 注記

上のアスタリスク記号はシリアライズセッショントークンを示します。実際のシリアライズセッショントークンは 1000 文字を超えています。

7.4.6 /v1/logoff

POST `http://<baseURL>/v1/logoff`

`/v1/logoff` に POST 要求を行って、ログオントークンを無効にし、BI プラットフォームをログオフします。

要求:

- メソッド: POST
- URL: `http://<baseURL>/v1/logoff`
`<baseURL>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: なし

関連情報

[BI platform からログオフする \[47 ページ\]](#)

7.5 スケジュールの管理

この節では、RESTful API のスケジュールに関する情報を示します。これらの API を使用して、以下の操作を実行することができます。

- スケジュール用のテンプレートの取得
- 今すぐのスケジュールの作成
- 1 回限りのスケジュールの作成
- 毎時スケジュールの作成
- 日次スケジュールの作成
- 週次スケジュールの作成
- 毎月のスケジュールの作成
- 月の N 日のスケジュールの作成
- 月の最初の月曜日のスケジュールの作成
- カレンダのスケジュールの作成
- 月の第 N 週の X 曜日のスケジュールの作成
- 月の最終日のスケジュールの作成
- レポートのインスタンスの取得
- レポートのインスタンス詳細の取得
- レポートのスケジュール一覧の取得
- スケジュールの詳細の取得
- スケジュールのインスタンス詳細の取得
- 並べ替えとフィルタリング

① 注記

- スケジュール API の要求ページでの開始日と終了日の書式は GMT+00 形式です。
- [開始日] および [終了日] フィールドに無効な値、null 値、または空の値を入力すると、汎用エラー「[入力パラメータが無効です](#)」が表示されます。ただし、[開始日] および [終了日] フィールドを確認し、有効な値を入力することをお奨めします。

7.5.1 スケジュール用のテンプレートの取得

GET `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule`

GET メソッドを使用して `v1/<path>/<id>/schedules/schedule` に要求を送信することで、リソースをスケジュールするための URL の一覧を取得します。

① 注記

`<path>` には、以下の値を定義することができます。

- infostore
- documents
- publications

② 注記

リソースがスケジュール可能でない場合は、エラーが返されます。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule`
`<baseURL>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。`<id>` は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
スケジュール用 URL を含む XML フィード。ここでは、ID=6148 のリソースのスケジュール用 URL の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
```

```

<author>
  <name>Administrator</name>
  <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
</author>
<title type="text">Drill Demo</title>
<updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
<entry>
  <title type="text">now</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules/
schedule/now"/>
</entry>
<entry>
  <title type="text">once</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules/
schedule/once"/>
</entry>
<entry>
  <title type="text">hourly</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules/
schedule/hourly"/>
</entry>
<entry>
  <title type="text">daily</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules/
schedule/daily"/>
</entry>
<entry>
  <title type="text">weekly</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules/
schedule/weekly"/>
</entry>
<entry>
  <title type="text">monthly</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules/
schedule/monthly"/>
</entry>
<entry>
  <title type="text">firstmondayofmonth</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules/
schedule/firstmondayofmonth"/>
</entry>
<entry>
  <title type="text">lastdayofmonth</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules/
schedule/lastdayofmonth"/>
</entry>
<entry>
  <title type="text">calendar</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules/
schedule/calendar"/>
</entry>
<entry>
  <title type="text">xthdaynthweekofmonth</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules/
schedule/xthdaynthweekofmonth"/>
</entry>
<entry>
  <title type="text">nthdayofmonth</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules/
schedule/nthdayofmonth"/>
</entry>
</feed>

```


7.5.2 今すぐのスケジュールの作成

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/now URL に要求を行うことでリソースをスケジュールします。

① 注記

<path> には、以下の値を定義することができます。

- infostore
 - documents
 - publications
- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
 - POST メソッドを使用して、リソースをスケジュールします。

GET http://<baseUrl>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/now

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/now に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で使用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseUrl>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/now
<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="retriesallowed" type="int32">0</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/now

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/now に POST 要求を行って、リソースをスケジュールします。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/now.
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。<form> は、スケジュールの方法 (now、daily、weekly、once など) に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr> を使用して、許可される再試行回数を定義します。

- `<attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>` を使用して、再試行間隔をミリ秒単位で定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Location	スケジュールしたインスタンスの位置へのリンクが含まれる URL。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: なし

7.5.3 1 回限りのスケジュールの作成

`/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/once` URL に要求を行うことでリソースをスケジュールします。

① 注記

`<path>` には、以下の値を定義することができます。

- infostore
- documents
- publications

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用して、リソースをスケジュールします。

GET `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/once`

`/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/once` に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で使用するテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/once`
`<baseURL>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。 `<id>` は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">0</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/once

v1/<path>/<id>/schedules/schedule/once に POST 要求を行って、リソースをスケジュールします。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/once.
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- `<attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</attr>` を使用して、開始時間を定義します。
- `<attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>` を使用して、許可される再試行回数を定義します。
- `<attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>` を使用して、再試行間隔をミリ秒単位で定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Content-Location	スケジュールしたインスタンスの位置へのリンクが含まれる URL。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: なし

7.5.4 毎時スケジュールの作成

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/hourly URL に要求を行うことでリソースをスケジュールします。

① 注記

<path> には、以下の値を定義することができます。

- infostore
 - documents
 - publications
- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
 - POST メソッドを使用して、リソースをスケジュールします。

GET http://<baseUrl>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/hourly

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/hourly に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で使えるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseUrl>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/hourly
<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="hours" type="int32">0</attr>
      <attr name="minutes" type="int32">0</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">0</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
      <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/hourly

v1/<path>/<id>/schedules/schedule/hourly に POST 要求を行って、リソースをスケジュールします。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/hourly.
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="hours" type="int32">1</attr>
      <attr name="minutes" type="int32">30</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
      <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
```

```

        <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
    </attrs>
</content>
</entry>

```

スケジュール要求の各 <attr> 要素に適切な値を設定します。例

- <attr name="hours" type="int32">1</attr> を使用して、時間を定義します。
- <attr name="minutes" type="int32">30</attr> を使用して、分を定義します。
- <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr> を使用して、許可される再試行回数を定義します。
- <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr> を使用して、再試行間隔をミリ秒単位で定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Location	スケジュールしたインスタンスの位置へのリンクが含まれる URL。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: なし

7.5.5 日次スケジュールの作成

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/daily URL に要求を行うことでリソースをスケジュールします。

① 注記

<path> には、以下の値を定義することができます。

- infostore
- documents
- publications

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用して、リソースをスケジュールします。

GET http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/daily

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/daily に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で利用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/daily
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Geo Analysis Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.603Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="everyndays" type="int32">0</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">0</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
      <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.250Z</
    attr>
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.250Z</
    attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/daily

v1/<path>/<id>/schedules/schedule/daily に POST 要求を行って、リソースをスケジュールします。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/daily.
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="everyndays" type="int32">25</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
      <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

スケジュール要求の各 <attr> 要素に適切な値を設定します。例

- <attr name="everyndays" type="int32">25</attr> を使用して、日数を定義します。
- <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr> を使用して、許可される再試行回数を定義します。
- <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr> を使用して、再試行間隔をミリ秒単位で定義します。
- <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</attr> を使用して、終了時間を定義します。
- <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</attr> を使用して、開始時間を定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Location	スケジュールしたインスタンスの位置へのリンクが含まれる URL。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: なし

7.5.6 週次スケジュールの作成

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/weekly URL に要求を行うことでリソースをスケジュールします。

① 注記

<path> には、以下の値を定義することができます。

- infostore
 - documents
 - publications
- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
 - POST メソッドを使用して、リソースをスケジュールします。

GET http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/weekly

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/weekly に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で利用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/weekly
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="sunday" type="bool">false</attr>
      <attr name="saturday" type="bool">false</attr>
      <attr name="tuesday" type="bool">false</attr>
      <attr name="wednesday" type="bool">false</attr>
      <attr name="thursday" type="bool">false</attr>
      <attr name="friday" type="bool">false</attr>
      <attr name="monday" type="bool">false</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">0</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
      <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/weekly

v1/<path>/<id>/schedules/schedule/weekly に POST 要求を行って、リソースをスケジュールします。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/weekly.

<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="sunday" type="bool">false</attr>
      <attr name="saturday" type="bool">false</attr>
      <attr name="tuesday" type="bool">true</attr>
      <attr name="wednesday" type="bool">true</attr>
      <attr name="thursday" type="bool">false</attr>
      <attr name="friday" type="bool">false</attr>
      <attr name="monday" type="bool">false</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
      <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

スケジュール要求の各 <attr> 要素に適切な値を設定します。例

- <attr name="weekday" type="bool">false</attr> を使用して、日曜日から土曜日までの範囲で平日を定義し、値を true または false に設定します。
- <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr> を使用して、許可される再試行回数を定義します。
- <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr> を使用して、再試行間隔をミリ秒単位で定義します。
- <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</attr> を使用して、終了時間を定義します。
- <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</attr> を使用して、開始時間を定義します。

。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Location	スケジュールしたインスタンスの位置へのリンクが含まれる URL。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: なし

7.5.7 毎月のスケジュールの作成

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/monthly URL に要求を行うことでリソースをスケジュールします。

① 注記

<path> には、以下の値を定義することができます。

- infostore
- documents
- publications

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用して、リソースをスケジュールします。

GET http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/monthly

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/monthly に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で使用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/monthly
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml

名前	値
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="everynmonths" type="int32">0</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">0</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
      <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/monthly

v1/<path>/<id>/schedules/schedule/monthly に POST 要求を行って、リソースをスケジュールします。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/monthly.
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="everynmonths" type="int32">5</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
      <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

スケジュール要求の各 <attr> 要素に適切な値を設定します。例

- <attr name="everynmonths" type="int32">5</attr> を使用して、月の値を定義します。
- <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr> を使用して、許可される再試行回数を定義します。
- <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr> を使用して、再試行間隔をミリ秒単位で定義します。
- <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</attr> を使用して、終了時間を定義します。
- <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</attr> を使用して、開始時間を定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Location	スケジュールしたインスタンスの位置へのリンクが含まれる URL。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: なし

7.5.8 月の N 日のスケジュールの作成

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/nthdayofmonth URL に要求を行うことでリソースをスケジュールします。

① 注記

<path> には、以下の値を定義することができます。

- infostore
 - documents
 - publications
- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
 - POST メソッドを使用して、リソースをスケジュールします。

GET http://<baseUrl>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/nthdayofmonth

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/nthdayofmonth に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で使用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseUrl>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/nthdayofmonth
<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。

名前	値
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="nthday" type="int32">0</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">0</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
      <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/nthdayofmonth

v1/<path>/<id>/schedules/schedule/nthdayofmonth に POST 要求を行って、リソースをスケジュールします。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/nthdayofmonth。
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
```

```

    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="nthday" type="int32">5</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
      <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

スケジュール要求の各 <attr> 要素に適切な値を設定します。例

- <attr name="nthday" type="int32">5</attr> を使用して、月の N 日の値を定義します。
- <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr> を使用して、許可される再試行回数を定義します。
- <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr> を使用して、再試行間隔をミリ秒単位で定義します。
- <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</attr> を使用して、終了時間を定義します。
- <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</attr> を使用して、開始時間を定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Location	スケジュールしたインスタンスの位置へのリンクが含まれる URL。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: なし

7.5.9 月の最初の月曜日のスケジュールの作成

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/firstmondayofmonth URL に要求を行うことでリソースをスケジュールします。

① 注記

<path> には、以下の値を定義することができます。

- infostore
- documents
- publications

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用して、リソースをスケジュールします。

GET http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/ firstmondayofmonth

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/firstmondayofmonth に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で使用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/firstmondayofmonth
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://10.160.206.105:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
```

```

</author>
<title type="text">Drill Demo</title>
<updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
<content type="application/xml">
  <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
    <attr name="retriesallowed" type="int32">0</attr>
    <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
    <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
    <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
  </attrs>
</content>
</entry>

```

POST http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/firstmondayofmonth

v1/<path>/<id>/schedules/schedule/firstmondayofmonth に POST 要求を行って、リソースをスケジュールします。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/firstmondayofmonth
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://10.160.206.105:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
      <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

スケジュール要求の各 <attr> 要素に適切な値を設定します。例

- `<attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>` を使用して、許可される再試行回数を定義します。
- `<attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>` を使用して、再試行間隔をミリ秒単位で定義します。
- `<attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</attr>` を使用して、終了時間を定義します。
- `<attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</attr>` を使用して、開始時間を定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Location	スケジュールしたインスタンスの位置へのリンクが含まれる URL。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: なし

7.5.10 カレンダのスケジュールの作成

`/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/calendar` URL に要求を行うことでリソースをスケジュールします。

① 注記

`<path>` には、以下の値を定義することができます。

- infostore
- documents
- publications

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用して、リソースをスケジュールします。

GET `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/calendar`

`/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/calendar` に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で利用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/calendar`
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://10.160.206.105:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="calendarid" type="int32">0</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">0</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/calendar`

`v1/<path>/<id>/schedules/schedule/calendar` に POST 要求を行って、リソースをスケジュールします。

要求:

- メソッド: POST
- URL: `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/calendar`。

<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://10.160.206.105:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="calendarid" type="int32">6705</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

スケジュール要求の各 <attr> 要素に適切な値を設定します。例

- <attr name="calendarid" type="int32">6705</attr> を使用して、カレンダー ID を定義します。
- <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr> を使用して、許可される再試行回数を定義します。
- <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr> を使用して、再試行間隔をミリ秒単位で定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Location	スケジュールしたインスタンスの位置へのリンクが含まれる URL。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: なし

7.5.11 月の第 N 週の X 曜日のスケジュールの作成

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/xthdaynthweekofmonth URL に要求を行うことでリソースをスケジュールします。

① 注記

<path> には、以下の値を定義することができます。

- infostore
 - documents
 - publications
- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
 - POST メソッドを使用して、リソースをスケジュールします。

GET http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/xthdaynthweekofmonth

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/xthdaynthweekofmonth に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で利用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/xthdaynthweekofmonth
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。

名前	値
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="nthday" type="int32">0</attr>
      <attr name="nthweek" type="int32">0</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">0</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
      <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
    attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST http://<baseURL>/v1/<path>/id/schedules/schedule/xthdaynthweekofmonth

v1/<path>/<id>/schedules/schedule/xthdaynthweekofmonth に POST 要求を行って、リソースをスケジュールします。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/xthdaynthweekofmonth.
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
```

```

<updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
<content type="application/xml">
  <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
    <attr name="nthday" type="int32">5</attr>
    <attr name="nthweek" type="int32">4</attr>
    <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>
    <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
    <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
    <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
  </attrs>
</content>
</entry>

```

スケジュール要求の各 <attr> 要素に適切な値を設定します。例

- <attr name="nthday" type="int32">5</attr> を使用して、N 曜日を 0 から 7 で定義します。
- <attr name="nthweek" type="int32">4</attr> を使用して、第 N 週を 0 から 5 で定義します。
- <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr> を使用して、許可される再試行回数を定義します。
- <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr> を使用して、再試行間隔をミリ秒数で定義します。
- <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</attr> を使用して、終了時間を定義します。
- <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</attr> を使用して、開始時間を定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Location	スケジュールしたインスタンスの位置へのリンクが含まれる URL。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: なし

7.5.12 月の最終日のスケジュールの作成

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/lastdayofmonth URL に要求を行うことでリソースをスケジュールします。

① 注記

<path> には、以下の値を定義することができます。

- infostore
- documents
- publications

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用して、リソースをスケジュールします。

GET http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/lastdayofmonth

/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/lastdayofmonth に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で使用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/lastdayofmonth
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
```

```

</author>
<title type="text">Drill Demo</title>
<updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
<content type="application/xml">
  <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
    <attr name="retriesallowed" type="int32">0</attr>
    <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
    <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
    <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
  </attrs>
</content>
</entry>

```

POST `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/lastdayofmonth`

`v1/<path>/<id>/schedules/schedule/lastdayofmonth` に POST 要求を行って、リソースをスケジュールします。

要求:

- メソッド: POST
- URL: `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/schedule/lastdayofmonth`。
`<baseURL>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。`<id>` は、スケジュール可能リソースの ID または CUID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Drill Demo</title>
  <updated>2016-06-15T06:02:47.494Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>
      <attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>
      <attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
      <attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</
attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

スケジュール要求の各 `<attr>` 要素に適切な値を設定します。例

- `<attr name="retriesallowed" type="int32">2</attr>` を使用して、許可される再試行回数を定義します。
- `<attr name="retryintervalinseconds" type="int32">1800</attr>` を使用して、再試行間隔をミリ秒数で定義します。
- `<attr name="endtime" type="datetime">2022-12-19T16:39:58.244Z</attr>` を使用して、終了時間を定義します。
- `<attr name="starttime" type="datetime">2012-12-19T16:39:58.244Z</attr>` を使用して、開始時間を定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Location	スケジュールしたインスタンスの位置へのリンクが含まれる URL。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: なし

7.5.13 レポートのインスタンスの取得

GET `http://<baseUrl>/v1/<path>/<id>/instances`

GET メソッドを使用して `/v1/<path>/<id>/instances` に要求を送信することで、インスタンスを一覧表示することができます。

① 注記

`<path>` には、以下の値を定義することができます。

- infostore
- documents
- publications

① 注記

リソースがスケジュール可能でない場合は、エラーが返されます。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseUrl>/v1/<path>/<id>/instances`
 <baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュールされたリソースの ID に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:

ここでは、ID=6148 のリソースのスケジュールされたインスタンスの詳細の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Schedules</title>
  <updated>2016-06-17T07:09:12.875Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/instances?
page=1&pagesize=50" rel="self"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/instances?
page=1&pagesize=50" rel="first"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/instances?
page=1&pagesize=50" rel="last"/>
  <entry>
    <title type="text">Drill Demo</title>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/instances/
6602"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="errorMessage" type="string"></attr>
        <attr name="schedulestatus" type="string">9</attr>
        <attr name="uistatus" type="string">Pending</attr>
        <attr name="cuid" type="string">AV60GpT7ajVEpJtlZaie2pI</attr>
        <attr name="name" type="string">Drill Demo</attr>
        <attr name="nextruntime" type="string">Thu Jun 16 21:31:13
PDT 2016</attr>
        <attr name="id" type="string">6602</attr>
        <attr name="type" type="string">Webi</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">Drill Demo</title>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/instances/
6603"/>
```

```

        <content type="application/xml">
          <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
            <attr name="errorMessage" type="string"></attr>
            <attr name="schedulestatus" type="string">9</attr>
            <attr name="uistatus" type="string">Pending</attr>
            <attr name="cuid" type="string">AQyS4kijnjlXBooAkhTzpfBU</attr>
            <attr name="name" type="string">Drill Demo</attr>
            <attr name="nextruntime" type="string">Thu Jun 16 21:31:27
PDT 2016</attr>
            <attr name="id" type="string">6603</attr>
            <attr name="type" type="string">Webi</attr>
          </attrs>
        </content>
      </entry>
</feed>

```

7.5.14 レポートのインスタンス詳細の取得

GET `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/instances/<instance_id>`

GET メソッドを使用して `/v1/<path>/<id>/instances/<instance_id>` に要求を送信することで、インスタンスの詳細を一覧表示することができます。

① 注記

`<path>` には、以下の値を定義することができます。

- infostore
- documents
- publications

① 注記

リソースがスケジュール可能でない場合は、エラーが返されます。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/instances/<instance_id>`
`<baseURL>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。`<id>` は、スケジュールされたリソースの ID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:

ここでは、ID=6602 のリソースのスケジュールされたインスタンスの詳細の例を示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Instances</title>
  <updated>2016-06-17T07:13:46.735Z</updated>
  <link href="http://localhost5:6405/biprws/v1/infostore/6148/instances/
6602"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="owner" type="string">Administrator</attr>
      <attr name="schedulestatus" type="int32">9</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">0</attr>
      <attr name="scheduletype" type="string">daily</attr>
      <attr name="cuid" type="string">AV60GpT7ajVEpJtlZaie2pI</attr>
      <attr name="created" type="string">Thu Jun 16 21:31:13 PDT 2016</
attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">AS9ukIRdciZLuUS6ESGVRBg</
attr>
      <attr name="endtime" type="string">Mon Dec 19 08:39:58 PST 2022</
attr>
      <attr name="nextruntime" type="string">Thu Jun 16 21:31:13 PDT
2016</attr>
      <attr name="type" type="string">Webi</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="parentid" type="string">6148</attr>
      <attr name="name" type="string">Drill Demo</attr>
      <attr name="id" type="string">6602</attr>
      <attr name="retriesinterval" type="int32">1800</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

① 注記

BI 4.2 サポートパッケージ 5 以降、ドキュメントの `schedule status` には以下の 2 つの値が追加されます。

- Expired (コード = 13)
- Warning (コード = 14)

参照: [スケジュールステータス] の有効値と詳細

スケジュールステータス	コード	意味
実行中	0	インスタンスはサーバで実行中です。

スケジュールステータス	コード	意味
成功	1	インスタンスはサーバで正常に実行されました。
失敗	3	インスタンスはサーバで失敗しました。
一時停止	8	インスタンスは実行中に一時停止しました。
待機	9	インスタンスはスケジュールされていますが、サーバのキューに留まっており、まだ実行対象として選択されていません。
定期	12	ドキュメントが時間単位、日単位、週単位、月単位、四半期単位、年単位などの頻度でスケジュールされている場合、そのインスタンスには [定期] ステータスが表示されます。
期限切れ	13	スケジュールされたドキュメントの期限が過ぎた後、インスタンスが [一時停止] ステータスであるためにサーバに留まっている場合、そのインスタンスには自動的に [期限切れ] が設定されます。
警告	14	サーバでの部分的なリフレッシュまたは削除によってインスタンスのデータが破損した場合、スケジュールステータスは [警告] になります。

7.5.15 レポートのスケジュール一覧の取得

GET `http://<baseUrl>/v1/<path>/<id>/schedules`

GET メソッドを使用して `/v1/<path>/<id>/schedules` に要求を送信することで、特定のパブリケーションのスケジュールを一覧表示することができます。

① 注記

`<path>` には、以下の値を定義することができます。

- infostore
- documents
- publications

① 注記

リソースがスケジュール可能でない場合は、エラーが返されます。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules`
 <baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<id> は、スケジュールされたリソースの ID に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:

ここでは、ID=6602 のリソースのスケジュールされたインスタンスの詳細の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Schedules</title>
  <updated>2016-06-17T07:46:16.867Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules?
page=1&pagesize=50" rel="self"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules?
page=1&pagesize=50" rel="first"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules?
page=1&pagesize=50" rel="last"/>
  <entry>
    <title type="text">Drill Demo</title>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules/
6602"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="owner" type="string">Administrator</attr>
        <attr name="cuid" type="string">AV60GpT7ajVEpJtlZaie2pI</attr>
        <attr name="created" type="string">Thu Jun 16 21:31:13 PDT
2016</attr>
        <attr name="parentcuid"
type="string">AS9ukIRdciZLuUS6ESGVRBg</attr>
        <attr name="name" type="string">Drill Demo</attr>
        <attr name="id" type="string">6602</attr>
        <attr name="type" type="string">Webi</attr>
        <attr name="ownerid" type="int32">12</attr>
        <attr name="parentid" type="string">6148</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.5.16 スケジュールのインスタンス詳細の取得

GET `http://<baseUrl>/v1/<path>/<id>/schedules/<schedule_id>/instances`

GET メソッドを使用して `/v1/<path>/<id>/schedules/<schedule_id>/instances` に要求を送信することで、スケジュールされたインスタンスの詳細を一覧表示することができます。

① 注記

`<path>` には、以下の値を定義することができます。

- infostore
- documents
- publications

② 注記

リソースがスケジュール可能でない場合は、エラーが返されます。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseUrl>/v1/<path>/<id>/schedules/<schedule_id>/instances`
`<baseUrl>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。`<id>` は、スケジュールされたリソースの ID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:

ここでは、ID=5427 およびスケジュール ID=6263 のリソースのスケジュールされたインスタンスの詳細の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Instances</title>
  <updated>2016-06-17T08:32:58.903Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/documents/5427/schedules/6262/instances?page=1&pagesize=50" rel="self"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/documents/5427/schedules/6262/instances?page=1&pagesize=50" rel="first"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/documents/5427/schedules/6262/instances?page=1&pagesize=50" rel="last"/>
  <entry>
    <title type="text">Input Controls And Charts</title>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/documents/5427/schedules/6262/instances/6263"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="owner" type="string">Administrator</attr>
        <attr name="cuid" type="string">AUk.yKLO3i5EvLUw9YrXcH4</attr>
        <attr name="created" type="string">Fri Jun 17 10:29:36 CEST
2016</attr>
        <attr name="parentcuid"
type="string">AVOEBpPX0vpGhcrzzE_RAeY</attr>
        <attr name="name" type="string">Input Controls And Charts</
attr>
        <attr name="id" type="string">6263</attr>
        <attr name="type" type="string">Webi</attr>
        <attr name="ownerid" type="int32">12</attr>
        <attr name="parentid" type="string">5427</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.5.17 並べ替えとフィルタリング

スケジュールの並べ替え

並べ替えは、系統立った順序でスケジュールを並べるプロセスです。

以下の属性に基づいて、スケジュールを昇順または降順で並べ替えることができます。

- 名前
- 説明
- スケジュールの ID

スケジュールのフィルタリング

updated 属性に基づいて、スケジュールをフィルタリングすることができます。

並べ替えおよびフィルタのためのクエリパラメータは以下のとおりです。

クエリパラメータ

パラメータ名	パラメータ値
並べ替え	<p>sort=<+/-><attribute></p> <div> <p>① 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 昇順の場合、値は + 降順の場合、値は - デフォルトでは、スケジュールは名前に基づく昇順で並べ替えられます。 </div> <div> <p>❖ 例</p> <p>sort=+name</p> </div>
フィルタ	<p>updated=<Start date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone> , <End date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone></p> <div> <p>① 注記</p> <p>終了日が指定されない場合、デフォルトで現在の日付が取得されます。</p> </div> <div> <p>❖ 例</p> <p>updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z</p> </div>
ページング	<ul style="list-style-type: none"> page=<page number> pagesize=<number> pagesize は応答に表示されるオブジェクトの数です。 <div> <p>① 注記</p> <p>デフォルトでは page=1 および pagesize=50 です。つまり、応答では、ページ番号 1 の 1 ページに、先頭の 50 個のオブジェクトが表示されます。</p> </div>

URL: GET http://<baseURL>/v1/<path>/id/schedules/schedule?sort=<name>&updated=<Start year-month-dateThh:mm:ss.727Z> , <End year-month-dateThh:mm:ss.727Z>&page=<page number>&pagesize=<number>

❖ 例

URL: GET http://<baseURL>/v1/infostore/id/schedules/schedule?
sort=+name&updated=2015-11-16T11:03:53.727Z ,
2016-11-16T11:03:53.727Z&page=2&pagesize=5

要求を送信すると、5 個のオブジェクトと、指定された日付の間に更新されたスケジュールが昇順で並べ替えられた一覧を含む、2 番目のページが応答に表示されます。

関連情報

[結果にページを設定する \[60 ページ\]](#)

7.5.18 スケジュールの詳細の取得

GET `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/<schedule_id>`

GET メソッドを使用して `/v1/<path>/<id>/schedules/<schedule_id>` に要求を送信することで、スケジュールの詳細を一覧表示することができます。

① 注記

`<path>` には、以下の値を定義することができます。

- infostore
- documents
- publications

① 注記

リソースがスケジュール可能でない場合は、エラーが返されます。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/<path>/<id>/schedules/<schedule_id>`
`<baseURL>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。`<id>` は、スケジュールされたリソースの ID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。

名前	値
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
ここでは、ID=6602 のリソースのスケジュールされたインスタンスの詳細の例を示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Schedules</title>
  <updated>2016-06-17T07:52:24.836Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6148/schedules/6602"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="owner" type="string">Administrator</attr>
      <attr name="schedulestatus" type="int32">9</attr>
      <attr name="retriesallowed" type="int32">0</attr>
      <attr name="scheduletype" type="string">weekly</attr>
      <attr name="cuid" type="string">AV60GpT7ajVEpJtlZaie2pI</attr>
      <attr name="created" type="string">Thu Jun 16 21:31:13 PDT 2016</attr>
    </attrs>
    <attr name="parentcuid" type="string">AS9ukIRdcizLU6ESGVRBg</attr>
    <attr name="endtime" type="string">Mon Dec 19 08:39:58 PST 2022</attr>
    <attr name="nextruntime" type="string">Thu Jun 16 21:31:13 PDT 2016</attr>
    <attr name="type" type="string">Webi</attr>
    <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
    <attr name="parentid" type="string">6148</attr>
    <attr name="name" type="string">Drill Demo</attr>
    <attr name="id" type="string">6602</attr>
    <attr name="retriesinterval" type="int32">1800</attr>
  </content>
</entry>
```

① 注記

BI 4.2 サポートパッケージ 4 以降、応答にドキュメントのスケジュールタイプ ('daily'、'hourly'、'weekly' など) が明示的に表示されます。

7.5.19 スケジュールに使用可能なサーバグループの検索

ドキュメントのスケジュールに使用可能なサーバグループの詳細をフェッチできます。

GET <http://<baseURL>/v1/servergroups>

- URL: <http://<baseURL>/v1/servergroups>

① 注記

<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (host:<port>/biprws など) に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

以下に、サーバから受け取る応答の例を示します。

```
{
  "entries": [
    {
      "cuid": "FlLSkVgbaQkAYhIAAACnB.sAAFBWATGQ",
      "created": "Feb 1, 2017 5:49 PM",
      "name": "Bob's group",
      "description": "My group of reporting servers",
      "exclusive": "true",
      "id": "11133",
      "updated": "Feb 1, 2017 5:50 PM"
    }
  ]
}
```

7.5.20 利用可能なカレンダーおよびカレンダー日付の取得

RESTful Web サービス API を使用して、利用可能なカレンダーと、これらのカレンダー内の日付を取得することができます。

利用可能なカレンダーの取得

GET http://<baseUrl>/v1/calendars

GET メソッドを次の URL で使用して、利用可能なカレンダーを取得します。

- URL: http://<baseUrl>/v1/calendars

① 注記

<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (host:<port>/biprws など) に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし
以下に、サーバから受け取る応答の例を示します。

```
{
  "entries": [
    {
      "cuid": "Fo3LkVj_sgUAYhIAAAB3gAAAAFBWATGQ",
      "created": "Feb 1, 2017 5:20 PM",
      "name": "Bob's calendar",
      "description": "My calendar",
      "id": "10588",
      "updated": "Feb 1, 2017 5:21 PM"
    }
  ]
}
```

利用可能なカレンダー日付の取得

GET `http://<baseURL>/v1/calendars/<calendar_ID>/dates`

GET メソッドを次の URL で使用して、利用可能なカレンダーを取得します。

- URL: `http://<baseURL>/v1/calendars/<calendar_ID>/dates`

① 注記

<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (`host:<port>/biprws` など) に置き換えてください。

ここで、<calendar_ID> はカレンダーの ID です。URL の例は、`http://10.200.197.400:6405/biprws/v1/calendars/10588/dates` です。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし
以下に、サーバから受け取る応答の例を示します。

```
{
  "entries": [
    {
```

```
    "date": "01-02-2017"
  },
  {
    "date": "10-02-2017"
  },
  {
    "date": "24-02-2017"
  },
  {
    "date": "28-02-2017"
  },
  {
    "date": "01-03-2017"
  },
  {
    "date": "31-03-2017"
  }
]
```

① 注記

API は、定期カレンダーの日付は返しません。

7.6 ユーザの管理

この節では、単一のユーザの管理に使用できる RESTful API について説明します。これらの API を使用して、以下の操作を実行することができます。

- ユーザの一覧表示
- ユーザの作成
- ユーザの詳細の取得
- ユーザの詳細の変更
- ユーザの削除

① 注記

作成、変更、および削除操作は、Enterprise ユーザに対してのみ実行することができます。

7.6.1 新しいユーザの作成

/v1/users/user URL に要求を行って、BI プラットフォームにユーザを作成します。

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用して、BI プラットフォームでユーザを作成します。

GET http://<baseURL>/v1/users/user

/v1/users/user に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で利用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseURL>/v1/users/user
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="password" type="string"></attr>
      <attr name="forcepasswordchange" type="bool">true</attr>
      <attr name="nameduser" type="bool">false</attr>
      <attr name="name" type="string"></attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="fullname" type="string"></attr>
      <attr name="email" type="string"></attr>
      <attr name="passwordexpire" type="bool">false</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST http://<baseURL>/v1/users/user

ユーザを作成するには、/v1/users/user URL への POST 要求を使用します。

要求:

- メソッド: POST
- URL: `http://<baseURL>/v1/users/user`
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="password" type="string"></attr>
      <attr name="forcepasswordchange" type="bool">true</attr>
      <attr name="nameduser" type="bool">false</attr>
      <attr name="name" type="string"></attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="fullname" type="string"></attr>
      <attr name="email" type="string"></attr>
      <attr name="passwordexpire" type="bool">false</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- `<attr name="password" type="string"></attr>` を使用して、ユーザパスワードを定義します。
- `<attr name="nameduser" type="bool"></attr>` を使用して、ユーザライセンスの種類を定義します。
- `<attr name="name" type="string"></attr>` を使用して、ユーザ名を定義します。
- `<attr name="description" type="string"></attr>` を使用して、ユーザの説明を定義します。
- Use `<attr name="fullname" type="string"></attr>` を使用して、ユーザのフルネームを定義します。
- `<attr name="email" type="string"></attr>` を使用して、電子メールアドレスを定義します。
- `<attr name="passwordexpire" type="bool"></attr>` を使用して、パスワードの有効期限を設定します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
X-SAP-LogonToken	ログオントークン。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。

属性	値
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
応答本文には、作成したユーザの詳細が含まれています。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text"></title>
  <updated>2016-05-27T05:54:58.173Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/users/6704" rel="alternate" />
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AZKI7NLt.z5MqhjQfhYDpTw</attr>
      <attr name="forcepasswordchange" type="bool">true</attr>
      <attr name="nameduser" type="bool">false</attr>
      <attr name="name" type="string">administrator222</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">6704</attr>
      <attr name="fullname" type="string"></attr>
      <attr name="email" type="string"></attr>
      <attr name="passwordexpire" type="bool">false</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.6.2 ユーザの詳細の取得

GET http://<baseURL>/v1/users/<user_id>

GET メソッドを使用してユーザの詳細を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET http://<baseURL>/v1/users/<user_id>

① 注記

<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (host:<port>/biprws など) に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
BOE システムのユーザ詳細の XML テンプレートが表示されます。ここでは、ID=12 のリソースのユーザ詳細の例を示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">user</title>
  <updated>2016-05-27T05:58:00.440Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/users/12" rel="alternate" />
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AfRWaT5_131N1LLf5bRMLKY</attr>
      <attr name="forcepasswordchange" type="bool">false</attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">AXhmigik4CBKra9ZYzR2ezE</
    attr>
      <attr name="description" type="string">Administrator account</
    attr>
      <attr name="type" type="string">User</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="parentid" type="string">19</attr>
      <attr name="lastlogontime" type="string">Mon Jan 23 03:11:28 PST
    2017</attr>
      <attr name="nameduser" type="bool">false</attr>
      <attr name="name" type="string">Administrator</attr>
      <attr name="disabled" type="bool">false</attr>
      <attr name="id" type="string">12</attr>
      <attr name="fullname" type="string"></attr>
      <attr name="inbox" type="int32">0</attr>
      <attr name="updated" type="string">Fri May 27 07:51:46 CEST 2016</
    attr>
      <attr name="email" type="string"></attr>
      <attr name="passwordexpire" type="bool">true</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

① 注記

BI プラットフォーム SDK の SP4 リリース以降では、ユーザの最終ログオン時刻も応答本文に返されます。

7.6.3 ユーザの詳細の変更

PUT `http://<baseURL>v1/users/<user_id>`

ユーザを変更するには、`/v1/users/<user_id>` URL への PUT 要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: `http://<baseURL>/v1/users/<user_id>`
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">user</title>
  <updated>2016-05-27T06:03:25.583Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/users/12" rel="alternate" />
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AfrWaT5_131N1LLf5bRMLKY</attr>
      <attr name="forcepasswordchange" type="bool">false</attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">AXhmigik4CBKra9ZYzR2ezE</
    attr>
      <attr name="description" type="string">Administrator account</
    attr>
      <attr name="type" type="string">User</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="parentid" type="string">19</attr>
      <attr name="nameduser" type="bool">false</attr>
      <attr name="name" type="string">Administrator211</attr>
      <attr name="disabled" type="bool">false</attr>
      <attr name="id" type="string">12</attr>
      <attr name="fullname" type="string"></attr>
      <attr name="inbox" type="int32">0</attr>
      <attr name="updated" type="string">Fri May 27 08:01:03 CEST 2016</
    attr>
      <attr name="email" type="string"></attr>
      <attr name="passwordexpire" type="bool">true</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- `<attr name="forcepasswordchange" type="bool"></attr>` を使用して、ユーザパスワードの変更を定義します。
- `<attr name="description" type="string"></attr>` を使用して、説明を定義します。

- `<attr name="ownerid" type="string"></attr>` を使用して、所有者 ID を定義します。
- `<attr name="parentid" type="string"></attr>` を使用して、親 ID を定義します。
- `<attr name="newPassword" type="string"></attr>` を使用して、パスワードを定義します。
- `<attr name="nameduser" type="bool"></attr>` を使用して、ユーザのライセンスタイプを定義します。
- `<attr name="name" type="string"></attr>` を使用して、ユーザの名前を定義します。
- `<attr name="disabled" type="bool"></attr>` を使用して、ユーザアカウントが無効かどうかをチェックします。
- `<attr name="fullname" type="string"></attr>` を使用して、ユーザのフルネームを定義します。
- `<attr name="emailAddress" type="string"></attr>` を使用して、電子メールアドレスを定義します。
- `<attr name="passwordexpiry" type="bool"></attr>` を使用して、パスワードの有効期限を設定します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
X-SAP-LogonToken	ログオントークン。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:

応答本文には、変更したユーザの詳細が含まれています。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">user</title>
  <updated>2016-05-27T06:04:29.799Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/users/12" rel="alternate" />
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AfrWaT5_131NlLLf5bRMLKY</attr>
      <attr name="forcepasswordchange" type="bool">false</attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">AXhmigik4CBKra9ZYzR2ezE</
    attr>
      <attr name="description" type="string">Administrator account</
    attr>
      <attr name="type" type="string">User</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="parentid" type="string">19</attr>
      <attr name="nameduser" type="bool">false</attr>
      <attr name="name" type="string">Administrator211</attr>
      <attr name="disabled" type="bool">false</attr>
      <attr name="id" type="string">12</attr>
      <attr name="fullname" type="string"></attr>
      <attr name="inbox" type="int32">0</attr>
      <attr name="updated" type="string">Fri May 27 08:01:03 CEST 2016</
    attr>
      <attr name="email" type="string"></attr>
  </content>
</entry>
```

```

        <attr name="passwordexpire" type="bool">true</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>

```

7.6.4 現在のユーザのロケールおよびタイムゾーン情報の指定

GET http://<baseURL>/v1/users/locale

要求:

- メソッド: **GET**
- URL: http://<baseURL>/v1/users/locale
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (10.10.10.10:<port>/biprws など) に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LogonToken	ログオントークン値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LogonToken	ログオントークン値。

- 本文:

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="productlocale" type="string"></attr>
      <attr name="timezone" type="string"></attr>
      <attr name="preferredviewinglocale" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

① 注記

本文の内容をコピーします。

POST `http://<baseURL>/v1/users/locale`

要求:

- メソッド: **POST**
- URL: `http://<baseURL>/v1/users/locale`
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LogonToken	ログオントークン値。

- 本文: GET メソッドのサーバ応答からコピーされたテンプレートを貼り付け、`productlocale`、`timezone`、および `preferredviewinglocale` の値を指定します。例:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="productlocale" type="string">1033</attr>
      <attr name="timezone" type="string">46008</attr>
      <attr name="preferredviewinglocale" type="string">en_US</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

① 注記

タイムゾーンおよびロケールの有効な値を渡すには、利用可能なタイムゾーンおよびロケールを表示します。詳細については、この章の関連トピックを参照してください。

[送信] を選択します。以下のような応答を受信します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="result" type="string">success</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

関連情報

[利用可能なロケールおよびタイムゾーンの一覧表示 \[156 ページ\]](#)

7.6.5 利用可能なロケールおよびタイムゾーンの一覧表示

GET `http://<baseURL>/v1/users/locale/availabletimezoneandlocale`

要求:

- メソッド: **GET**
- URL: `http://<baseURL>/v1/users/locale/availabletimezoneandlocale`
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (10.10.10.10:<port>/biprws など) に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LogonToken	ログオントークン値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LogonToken	ログオントークン値。

- 本文: すべての利用可能なタイムゾーンおよびロケールが次のように返されます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <title type="text">Timezones</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="displayname" type="string">(GMT, No DST)
Casablanca, Monrovia</attr>
        <attr name="title" type="string">time zone</attr>
        <attr name="value" type="string">46000</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">Timezones</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="displayname" type="string">(GMT, DST) Greenwich
Mean Time : Dublin, Edinburgh, Lisbon, London</attr>
        <attr name="title" type="string">time zone</attr>
        <attr name="value" type="string">46002</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

```

        </content>
    </entry>
    <entry>
        <title type="text">Timezones</title>
        <content type="application/xml">
            <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
                <attr name="displayname" type="string">(GMT+01:00, DST)
Amsterdam, Berlin, Bern, Rome, Stockholm, Vienna</attr>
                <attr name="title" type="string">time zone</attr>
                <attr name="value" type="string">46004</attr>
            </attrs>
        </content>
    </entry>
    <entry>
        <title type="text">Timezones</title>
        <content type="application/xml">
            <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
                <attr name="displayname" type="string">(GMT+01:00, DST)
Belgrade, Bratislava, Budapest, Ljubljana, Prague</attr>
                <attr name="title" type="string">time zone</attr>
                <attr name="value" type="string">46006</attr>
            </attrs>
        </content>
    </entry>
    <entry>
        <title type="text">preferred viewing locale</title>
        <content type="application/xml">
            <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
                <attr name="displayname" type="string">Afrikaans (South
Africa)</attr>
                <attr name="title" type="string">preferred viewing locale</
attr>
                <attr name="value" type="string">af_ZA</attr>
            </attrs>
        </content>
    </entry>
    <entry>
        <title type="text">preferred viewing locale</title>
        <content type="application/xml">
            <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
                <attr name="displayname" type="string">Albanian (Albania)</
attr>
                <attr name="title" type="string">preferred viewing locale</
attr>
                <attr name="value" type="string">sq_AL</attr>
            </attrs>
        </content>
    </entry>
    <entry>
        <title type="text">preferred viewing locale</title>
        <content type="application/xml">
            <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
                <attr name="displayname" type="string">Danish (Denmark)</attr>
                <attr name="title" type="string">preferred viewing locale</
attr>
                <attr name="value" type="string">da_DK</attr>
            </attrs>
        </content>
    </entry>
</feed>

```

7.6.6 現在のユーザのパスワードの変更

GET http://<baseUrl>/v1/users/password

要求:

- メソッド: **GET**
- URL: http://<baseUrl>/v1/users/password
<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (10.10.10.10:<port>/biprws など) に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LogonToken	ログオントークン値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LogonToken	ログオントークン値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="oldpassword" type="string"></attr>
      <attr name="newpassword" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

① 注記

上記のテンプレートをコピーします。

POST http://<baseURL>/v1/users/password

要求:

- メソッド: **POST**
- URL: http://<baseURL>/v1/users/password
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LogonToken	ログオントークン値。

- 本文: 手順1でコピーした内容を貼り付け、oldpassword (ユーザの現在のパスワード) と newpassword (目的の新しいパスワード) の値を指定します。例:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="oldpassword" type="string">myabcpwd123</attr>
      <attr name="newpassword" type="string">myxyzpwd456</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

応答:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="result" type="string">success</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.6.7 ABAP ユーザのパスワードの変更

次の場合に SAP ABAP パスワードを BI プラットフォームから変更できるようになりました。

- パスワードが有効期限を超過する
- ABAP システム管理者がパスワードを変更する
- 初めてログオンする

① 注記

ユーザは ABAP システムに存在し、同じ認証情報を使用して BI プラットフォームへのアクセス権を持つ必要があります。

このトピックでは RESTful Web サービスを使用して、ABAP パスワードを変更する方法について説明します。

GET

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/users/password`

① 注記

<baseURL> は RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えて (10.10.10.10:<port>/biprws など) ください。

- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="auth" type="string"></attr>
      <attr name="cms" type="string"></attr>
      <attr name="username" type="string"></attr>
      <attr name="oldpassword" type="string"></attr>
      <attr name="newpassword" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST

要求:

- メソッド: POST
- URL: `http://<baseURL>/v1/users/password`
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml

- 本文: GET 操作の応答で示されたものと同じ XML コードテンプレートを使用して、oldpassword (現在のパスワード) と newpassword (新しいパスワード) の値を指定することができます。以下はその例です。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="auth" type="string"></attr>
      <attr name="cms" type="string"></attr>
      <attr name="oldpassword" type="string">myabcpwd123</attr>
      <attr name="newpassword" type="string">myxyzpwd456</attr>
      <attr name="username" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

応答:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="result" type="string">success</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
>
```

7.7 ユーザの削除

DELETE http://<baseURL>/v1/users/<user_id>

DELETE メソッドを使用してユーザを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: DELETE http://<baseURL>/v1/users/<user_id>
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
XML フィードにユーザ削除操作の成功または失敗が表示されます。ここでは、ID=6112 のリソースのユーザの削除の例を示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="status" type="string">success</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.8 ユーザの一覧表示

GET http://<baseURL>/v1/users

GET メソッドを使用してユーザの一覧を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET http://<baseURL>/v1/users
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml

名前	値
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:

BOE システムで作成されたすべてのユーザの XML フィードが表示されます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">user</title>
  <updated>2016-05-27T05:52:12.975Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/users?page=1&pagesize=50"
    rel="self" />
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/users?page=1&pagesize=50"
    rel="first" />
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/users?page=1&pagesize=50"
    rel="last" />
  <entry>
    <title type="text">Administrator</title>
    <updated>2016-05-27T05:51:46.045Z</updated>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/users/12"
      rel="alternate" />
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AfrWat5_131NlLLf5bRMLKY</attr>
        <attr name="name" type="string">Administrator</attr>
        <attr name="description" type="string">Administrator account</
      attr>
        <attr name="id" type="string">12</attr>
        <attr name="fullname" type="string"></attr>
        <attr name="type" type="string">User</attr>
        <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
        <attr name="updated" type="string">Fri May 27 07:51:46 CEST
      2016</attr>
        <attr name="parentid" type="string">19</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">administrator44</title>
    <updated>2016-03-16T13:10:26.272Z</updated>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/users/6112"
      rel="alternate" />
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AYEHt8gylJNHtAmzRrmrlcs</attr>
        <attr name="name" type="string">administrator44</attr>

```

```

        <attr name="description" type="string"></attr>
        <attr name="id" type="string">6112</attr>
        <attr name="fullname" type="string"></attr>
        <attr name="type" type="string">User</attr>
        <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
        <attr name="updated" type="string">Wed Mar 16 14:10:26 CET
2016</attr>
        <attr name="parentid" type="string">19</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

ユーザの並べ替え

並べ替えは、系統立った順序でユーザを並べるプロセスです。

以下の属性に基づいて、ユーザを昇順または降順で並べ替えることができるようになりました。

- 名前
- 説明
- ユーザの ID

ユーザのフィルタリング

[updated](#) 属性に基づいて、ユーザをフィルタリングすることができます。

並べ替えおよびフィルタのためのクエリパラメータは以下のとおりです。

クエリパラメータ

パラメータ名	パラメータ値
並べ替え	sort=<+/-><attribute> <div> <p>① 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> • 昇順の場合、値は + • 降順の場合、値は - • デフォルトでは、ユーザはユーザの名前に基づいて昇順で並べ替えられます。 </div> <div> <p>❖ 例</p> <p>sort=+name</p> </div>

パラメータ名	パラメータ値
フィルタ	<p>updated=<Start date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone> , <End date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone></p> <div> <p>④ 注記</p> <p>終了日が指定されない場合、デフォルトで現在の日付が取得されます。</p> </div> <div> <p>❖ 例</p> <p>updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z</p> </div>
フィルタ	<ul style="list-style-type: none"> 完全一致検索 name=<name> この属性を使用すると、名前に基づいてユーザを検索することができます。 部分検索 name=<name%> この属性を使用すると、名前の一部でユーザを検索することができます。 <ul style="list-style-type: none"> name 属性の後ろに % を指定すると、特定の名前で始まるユーザの検索を実行することができます。 <div> <p>❖ 例</p> <p>name=user%</p> <p>この検索では、その名前のユーザで始まるすべてのユーザグループが表示されます。</p> </div> name 属性の前に % を指定すると、特定の名前で終わるユーザの検索を実行することができます。 <div> <p>❖ 例</p> <p>name=%user</p> <p>この検索では、その名前のユーザで終わるすべてのユーザグループが表示されます。</p> </div> <div> <p>④ 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> さらに、フルネームおよび親 ID 属性に基づいてフィルタリングすることができます。 親 ID 属性では部分検索はサポートされません。 </div>

パラメータ名	パラメータ値
ページング	<ul style="list-style-type: none"> • <code>page=<page number></code> • <code>pagesize=<number></code> <code>pagesize</code> は応答に表示されるオブジェクトの数です。

① 注記

デフォルトでは `page=1` および `pagesize=50` です。つまり、応答では、ページ番号 1 の 1 ページに、先頭の 50 個のオブジェクトが表示されます。

URL: GET `http://<baseURL>/v1/users?sort=<name>&updated=<Start year-month-dateThh:mm:ss.727Z> , <End year-month-dateThh:mm:ss.727Z>&page=<page number>&pagesize=<number>`

❖ 例

URL: GET `http://<baseURL>/v1/users?sort=+name&updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z&page=2&pagesize=5`

要求を送信すると、5 個のオブジェクトと、指定された日付の間に更新されたユーザが昇順で並べ替えられた一覧を含む、2 番目のページが応答に表示されます。

7.9 ユーザグループの管理

この節では、ユーザグループを管理するための RESTful API に関する情報を示します。これらの API を使用して、以下の操作を実行することができます。

- ユーザグループの一覧表示
- ユーザグループの作成
- ユーザグループの詳細の取得
- ユーザグループに含まれるすべてのユーザの一覧表示
- ユーザグループへのユーザの追加
- ユーザグループからのユーザの削除
- ユーザグループに含まれるユーザグループの一覧表示
- ユーザグループへのユーザグループの追加
- ユーザグループからのユーザグループの削除
- ユーザグループの詳細の変更
- ユーザグループの削除

7.9.1 ユーザグループの一覧表示

GET http://<baseURL>/v1/usergroups

GET メソッドを使用してユーザの一覧を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET http://<baseURL>/v1/usergroups
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
BI プラットフォームで作成されたすべてのユーザの XML フィード。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/infostore</id>
  <title type="text">usergroup</title>
  <updated>2016-05-24T11:26:39.406Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/usergroups?
page=1&pagesize=50" rel="self"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/usergroups?
page=1&pagesize=50" rel="first"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/usergroups?
page=1&pagesize=50" rel="last"/>
  <entry>
    <title type="text">Universe Designer Users</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ARWys4Wb2HVNsw0QTUg2ozs</id>
    <updated>2016-05-17T07:09:30.015Z</updated>
    <content type="application/xml">
```

```

        <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
          <attr name="cuid" type="string">ARWyS4Wb2HVNsw0QTUg2ozs</attr>
          <attr name="keywords" type="string"></attr>
          <attr name="name" type="string">Universe Designer Users</attr>
          <attr name="description" type="string">Users who can design
universes</attr>
          <attr name="id" type="string">3828</attr>
          <attr name="updated" type="string">Tue May 17 00:09:30 PDT
2016</attr>
          <attr name="parentid" type="string">20</attr>
        </attrs>
      </content>
    </entry>
    <entry>
      <title type="text">Translators</title>
      <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/Ac.U0u28WExKqX7KvRv7tRA</id>
      <updated>2016-05-17T07:09:29.296Z</updated>
      <content type="application/xml">
        <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
          <attr name="cuid" type="string">Ac.U0u28WExKqX7KvRv7tRA</attr>
          <attr name="keywords" type="string"></attr>
          <attr name="name" type="string">Translators</attr>
          <attr name="description" type="string">Users granted access
to the Translation Manager application</attr>
          <attr name="id" type="string">3820</attr>
          <attr name="updated" type="string">Tue May 17 00:09:29 PDT
2016</attr>
          <attr name="parentid" type="string">20</attr>
        </attrs>
      </content>
    </entry>
  </feed>

```

並べ替え

並べ替えは、系統立った順序でユーザグループを並べるプロセスです。

以下の属性に基づいて、ユーザグループを昇順または降順で並べ替えることができます。

- 名前
- 説明
- ユーザグループの ID

フィルタリング

[updated](#) および [name](#) 属性に基づいて、ユーザグループをフィルタリングすることができます。

並べ替えおよびフィルタのためのクエリパラメータは以下のとおりです。

クエリパラメータ

パラメータ名	パラメータ値
並べ替え	<p>sort=<+/-><attribute></p> <div><p>① 注記</p><ul style="list-style-type: none">昇順の場合、値は +降順の場合、値は -デフォルトでは、ユーザグループはユーザグループの名称に基づいて昇順で並べ替えられます。</div> <div><p>❧ 例</p><p>sort=+name</p></div>
フィルタ	<p>updated=<Start date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone> , <End date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone></p> <div><p>① 注記</p><p>終了日が指定されない場合、デフォルトで現在の日付が取得されます。</p></div> <div><p>❧ 例</p><p>updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z</p></div>

フィルタ

- 完全一致検索
name=<name>
この属性を使用すると、名前に基づいてユーザグループを検索することができます。
- 部分検索
name=<name%>
この属性を使用すると、名前の一部でユーザグループを検索することができます。

❖ 例

name=user%

この検索では、その名前のユーザで始まるすべてのユーザグループが表示されます。

- name 属性の前に % を指定すると、特定の名前で終わるユーザグループの検索を実行することができます。

❖ 例

name=%user

この検索では、その名前のユーザで終わるすべてのユーザグループが表示されます。

ページング

- page=<page number>
- pagesize=<number>
pagesize は、応答に表示されるオブジェクトの数です。

① 注記

デフォルトでは page=1 および pagesize=50 です。つまり、応答では、ページ番号 1 の 1 ページに、先頭の 50 個のオブジェクトが表示されます。

URL: GET http://<baseURL>/v1/usergroups?sort=<name>&updated=<Start year-month-dateThh:mm:ss.727Z> , <End year-month-dateThh:mm:ss.727Z>&page=<page number>&pagesize=<number>

❖ 例

URL: GET http://<baseURL>/v1/usergroups?
sort=+name&updated=2015-11-16T11:03:53.727Z ,
2016-11-16T11:03:53.727Z&page=2&pagesize=5

要求を送信すると、5 個のオブジェクトと、指定された日付の間に更新されたユーザグループが昇順で並べ替えられた一覧を含む、2 番目のページが応答に表示されます。

7.9.2 新しいユーザグループの作成

/v1/userGroups/userGroup URL に要求を行って、BI プラットフォームにユーザグループを作成します。

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用して、BI プラットフォームでユーザグループを作成します。

GET http://<baseURL>/v1/usergroups/usergroup

/usergroups/usergroup に GET 要求を行って、同じ URL への POST メソッドの要求本文で利用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseURL>/v1/usergroups/usergroup
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
```

```

    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="name" type="string"></attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

POST http://<baseURL>/v1/usergroups/usergroup

ユーザグループを作成するには、/v1/usergroups/usergroup URL への POST 要求を使用します。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/usergroups/usergroup
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="name" type="string">User_Group_Test</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

- <attr name="name" type="string">New_UserGroup_Name</attr> を使用して、ユーザグループ名を定義します。
- <attr name="description" type="string">Description</attr> を使用して、ユーザグループの説明を定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
X-SAP-LogonToken	ログオントークン。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。

属性	値
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
応答本文には、作成したユーザグループの詳細が含まれています。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <updated>2016-05-24T11:31:28.298Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/usergroups/usergroup"
    rel="alternate"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">Acvtogil3250heDtowQq6b8</attr>
      <attr name="name" type="string">User_Group-Test</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">7601</attr>
      <attr name="parentid" type="string">20</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.9.3 ユーザグループの詳細の取得

GET http://<baseURL>/v1/usergroups/<usergroup_id>

GET メソッドを使用してユーザグループの詳細を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET http://<baseURL>/usergroups/<usergroup_id>
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
BOE システムのユーザグループ詳細の XML フィード。ここでは、ID=3828 のリソースのユーザ詳細の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/infostore</id>
  <title type="text">usergroup</title>
  <updated>2016-05-24T11:26:39.406Z</updated>
  <link href="http://10.160.205.83:6405/biprws/v1/usergroups?page=1&pagesize=50" rel="self"/>
  <link href="http://10.160.205.83:6405/biprws/v1/usergroups?page=1&pagesize=50" rel="first"/>
  <link href="http://10.160.205.83:6405/biprws/v1/usergroups?page=1&pagesize=50" rel="last"/>
  <entry>
    <title type="text">Universe Designer Users</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ARWyS4Wb2HVNsw0QTUg2ozs</id>
    <updated>2016-05-17T07:09:30.015Z</updated>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">ARWyS4Wb2HVNsw0QTUg2ozs</attr>
        <attr name="keywords" type="string"></attr>
        <attr name="name" type="string">Universe Designer Users</attr>
        <attr name="description" type="string">Users who can design
universes</attr>
        <attr name="id" type="string">3828</attr>
        <attr name="updated" type="string">Tue May 17 00:09:30 PDT
2016</attr>
        <attr name="parentid" type="string">20</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.9.4 ユーザグループに含まれるすべてのユーザの一覧表示

GET http://<baseURL>/v1/userGroups/<usergroup_id>/users

GET メソッドを使用して、ユーザグループからユーザの詳細を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET `http://<baseUrl>/v1/userGroups/<usergroup_id>/users`
<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
BOE システムのユーザグループからのユーザ詳細の XML フィードが表示されます。ここでは、ID=11 のリソースのユーザ詳細の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">usergroup</title>
  <updated>2016-05-24T11:44:08.818Z</updated>
  <entry>
    <title type="text">Guest</title>
    <updated>2016-05-24T11:44:08.818Z</updated>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/usergroups/7602/users"
rel="alternate"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AcgOFGfhCzJEg.VjnPaidmI</attr>
        <attr name="keywords" type="string"></attr>
        <attr name="created" type="string"></attr>
        <attr name="name" type="string">Guest</attr>
        <attr name="description" type="string">Guest account</attr>
        <attr name="id" type="string">11</attr>
        <attr name="fullname" type="string"></attr>
        <attr name="updated" type="string" null="true"/>
        <attr name="email" type="string"></attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

並べ替え

並べ替えは、系統立った順序でユーザを並べるプロセスです。

以下の属性に基づいて、ユーザグループ内のユーザを昇順または降順で並べ替えることができるようになりました。

- 名前
- 説明
- ユーザグループの ID

フィルタリング

`updated` および `name` 属性に基づいて、ユーザグループ内のユーザをフィルタリングすることができます。

並べ替えおよびフィルタのためのクエリパラメータは以下のとおりです。

クエリパラメータ

パラメータ名	パラメータ値
並べ替え	<code>sort=<+/-><attribute></code> <div><p>① 注記</p><ul style="list-style-type: none">• 昇順の場合、値は +• 降順の場合、値は -• デフォルトでは、ユーザはユーザグループの名前に基づく昇順で並べ替えられます。</div> <div><p>❖ 例</p><code>sort=+name</code></div>
フィルタ	<code>updated=<Start date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone> , <End date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone></code> <div><p>① 注記</p><p>終了日が指定されない場合、デフォルトで現在の日付が取得されます。</p></div> <div><p>❖ 例</p><code>updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z</code></div>

フィルタ

- 完全一致検索
name=<name>
この属性を使用すると、名前に基づいてユーザを検索することができます。
- 部分検索
name=<name%>
この属性を使用すると、名前の一部でユーザを検索することができます。
 - name 属性の後ろに % を指定すると、特定の名前で始まるユーザグループの検索を実行することができます。

❖ 例

name=user%

この検索では、その名前のユーザで始まるすべてのユーザグループが表示されます。

- name 属性の前に % を指定すると、特定の名前で終わるユーザグループの検索を実行することができます。

❖ 例

name=%user

この検索では、その名前のユーザで終わるすべてのユーザグループが表示されます。

ページング

- page=<page number>
- pagesize=<number>
pagesize は応答に表示されるユーザの数です。

① 注記

デフォルトでは page=1 および pagesize=50 です。つまり、応答では、ページ番号 1 の 1 ページに、先頭の 50 人のユーザが表示されます。

URL: GET http://<baseURL>/v1/users?sort=<name>&updated=<Start year-month-dateThh:mm:ss.727Z> , <End year-month-dateThh:mm:ss.727Z>&page=<page number>&pagesize=<number>

❖ 例

URL: GET http://<baseURL>/v1/users?sort=+name&updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z&page=2&pagesize=5

要求を送信すると、5 人のユーザと、指定された日付の間に更新されたユーザが昇順で並べ替えられた一覧を含む、2 番目のページが応答に表示されます。

7.9.5 ユーザグループへのユーザの追加

PUT http://<baseURL>v1/usergroups/<usergroup_id>/users

ユーザグループにユーザを追加するには、/v1/usergroups/<usergroup_id>/users URL への PUT 要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: http://<baseURL>/v1/usergroups/<usergroup_id>/users
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">usergroup</title>
  <updated>2016-05-26T08:57:09.373Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="string">11</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

- <attr name="id" type="string">Id</attr> を使用してユーザの ID を定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
X-SAP-LogonToken	ログオントークン。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
応答本文には、ユーザグループに追加したユーザの詳細が含まれています。ここでは、ID=11 のリソースのユーザ詳細の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">usergroup</title>
  <updated>2016-05-26T08:58:10.173Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AcgOFGfhCzJEg.VjnPaidmI</attr>
        <attr name="name" type="string">Guest</attr>
        <attr name="id" type="string">11</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.9.6 ユーザグループからのユーザの削除

DELETE http://<baseURL>/v1/usergroups/<usergroup_id>/users

DELETE メソッドを使用して、ユーザグループからユーザを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: DELETE http://<baseURL>/v1/usergroups/<usergroup_id>/users
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">usergroup</title>
  <updated>2016-05-26T07:53:44.036Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="string">11</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

- `<attr name="id" type="string">Id</attr>` を使用してユーザの ID を定義します。

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:

XML フィードにユーザ削除操作の成功または失敗メッセージが表示されます。ここでは、ID=11 のリソースのユーザの削除の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">usergroup</title>
  <updated>2016-05-26T09:02:22.569Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AcgOFGfhCzJEg.VjnPaidmI</attr>
        <attr name="name" type="string">Guest</attr>
        <attr name="id" type="string">11</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.9.7 ユーザグループに含まれるユーザグループの一覧表示

GET `http://<baseURL>/v1/usergroups/<usergroup_id>/usergroups`

GET メソッドを使用して、ユーザグループからユーザグループの詳細を一覧表示します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET `http://<baseURL>/v1/usergroups/<usergroup_id>/usergroups`
`<baseURL>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
BOE システムのユーザグループからのユーザグループ詳細の XML フィードが表示されます。ここでは、ID=6891 のリソースのユーザ詳細の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">usergroup</title>
  <updated>2016-05-24T11:57:00.948Z</updated>
  <entry>
    <title type="text">demo2</title>
    <updated>2016-05-24T11:57:00.952Z</updated>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/usergroups/6890/
usergroups" rel="alternate"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AfnSG6s.PZVKg6OmZ3msuZA</attr>
        <attr name="keywords" type="string"></attr>
        <attr name="created" type="string"></attr>
        <attr name="name" type="string">demo2</attr>
        <attr name="description" type="string">demo group</attr>
        <attr name="id" type="string">6891</attr>
        <attr name="updated" type="string" null="true"/>
        <attr name="parentid" type="string">20</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

並べ替え

並べ替えは、系統立った順序でユーザグループを並べるプロセスです。

以下の属性に基づいて、ユーザグループ内のユーザグループを昇順または降順で並べ替えることができますようになりました。

- 名前
- 説明
- ユーザグループの ID

フィルタリング

`updated` および `name` 属性に基づいて、ユーザグループ内のユーザグループをフィルタリングすることができます。

並べ替えおよびフィルタのためのクエリパラメータは以下のとおりです。

クエリパラメータ

パラメータ名	パラメータ値
並べ替え	<code>sort=<+/-><attribute></code> <div><p>① 注記</p><ul style="list-style-type: none">昇順の場合、値は +降順の場合、値は -デフォルトでは、ユーザグループはユーザグループの名前に基づく昇順で並べ替えられます。</div> <div><p>❧ 例</p><code>sort=+name</code></div>
フィルタ	<code>updated=<Start date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone> , <End date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone></code> <div><p>① 注記</p><p>終了日が指定されない場合、デフォルトで現在の日付が取得されます。</p></div> <div><p>❧ 例</p><code>updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z</code></div>

パラメータ名	パラメータ値
フィルタ	<ul style="list-style-type: none"> 完全一致検索 name=<name> この属性を使用すると、名前に基づいてユーザグループを検索することができます。 部分検索 name=<name%> この属性を使用すると、名前の一部でユーザグループを検索することができます。 <ul style="list-style-type: none"> name 属性の後ろに % を指定すると、特定の名前で始まるユーザグループの検索を実行することができます。 <div> <p>❖ 例</p> <p>name=user%</p> <p>この検索では、その名前のユーザで始まるすべてのユーザグループが表示されます。</p> </div> name 属性の前に % を指定すると、特定の名前で終わるユーザグループの検索を実行することができます。 <div> <p>❖ 例</p> <p>name=%user</p> <p>この検索では、その名前のユーザで終わるすべてのユーザグループが表示されます。</p> </div>
ページング	<ul style="list-style-type: none"> page=<page number> pagesize=<number> pagesize は応答に表示されるユーザグループの数です。 <div> <p>① 注記</p> <p>デフォルトでは page=1 および pagesize=50 です。つまり、応答では、ページ番号 1 の 1 ページに、先頭の 50 個のユーザグループが表示されます。</p> </div>

URL: GET `http://<baseURL>/v1/usergroups?sort=<name>&updated=<Start year-month-dateThh:mm:ss.727Z> , <End year-month-dateThh:mm:ss.727Z>&page=<page number>&pagesize=<number>`

❖ 例

URL: GET `http://<baseURL>/v1/usergroups?sort=+name&updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z&page=2&pagesize=5`

要求を送信すると、5 個のユーザグループと、指定された日付の間に更新されたユーザグループが昇順で並べ替えられた一覧を含む、2 番目のページが応答に表示されます。

7.9.8 ユーザグループへのユーザグループの追加

PUT `http://<baseURL>v1/usergroups/<usergroup_id>/usergroups`

ユーザグループにユーザグループを追加するには、`/v1/usergroups/<usergroup_id>/usergroups` URL への PUT 要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: `http://<baseURL>/v1/usergroups/<usergroup_id>/users`
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
    <title type="text">demo</title>
    <updated>2016-05-26T08:46:31.800Z</updated>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="string">7602</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

- `<attr name="id" type="string">Id</attr>` を使用してユーザの ID を定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。

属性	値
X-SAP-LogonToken	ログオントークン。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
 応答本文には、ユーザグループに追加したユーザの詳細が含まれています。ここでは、ID=11 のリソースのユーザ詳細の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">usergroup</title>
  <updated>2016-05-26T08:52:01.776Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AcMbqXDAS5dIq7fF9929bpw</attr>
        <attr name="name" type="string">demo</attr>
        <attr name="id" type="string">7602</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.9.9 ユーザグループからのユーザグループの削除

DELETE http://<baseURL>/v1/usergroups/<usergroup_id>/usergroups

DELETE メソッドを使用して、ユーザグループからユーザグループを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: DELETE http://<baseURL>/v1/usergroups/<usergroup_id>/usergroups
 <baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
```

```
<title type="text">usergroup</title>
<updated>2016-05-26T07:53:44.036Z</updated>
<entry>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="id" type="string">7602</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
</feed>
```

- `<attr name="id" type="string">Id</attr>` を使用してユーザの ID を定義します。

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:

XML フィードにユーザグループ削除操作の成功または失敗メッセージが表示されます。ここでは、ID=7602 のリソースのユーザの削除の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">usergroup</title>
  <updated>2016-05-26T09:08:57.130Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AcMbqXDAS5dIq7fF9929bpw</attr>
        <attr name="name" type="string">demo</attr>
        <attr name="id" type="string">7602</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.9.10 ユーザグループの詳細の変更

PUT `http://<baseURL>v1/usergroups/<usergroup_id>`

ユーザグループを変更するには、`/v1/usergroups/<usergroup_id>` URL への PUT 要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: `http://<baseURL>/v1/usergroups/<usergroup_id>`
 <baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AcytoqiL325OheDtowQq6b8</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">AW7cVzZFpgFGjOVUdCiOpfE</
    attr>
      <attr name="created" type="datetime">2016-05-24T11:31:28.256Z</
    attr>
      <attr name="name" type="string">User_Group_Modified</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">7601</attr>
      <attr name="updated" type="string" null="true"/>
      <attr name="parentid" type="string">20</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- <attr name="cuid" type="string">AdTJAUFcbPNEnbgKiPmAsOE</attr> を使用して、ユーザグループの CU_ID を定義します。 .
- <attr name="keywords" type="string"></attr> を使用して、ユーザグループのキーワードを定義します。
- <attr name="parentcuid" type="string">AdTJAUFcbPNEnbgKiPmAsOE</attr> を使用して、ユーザグループの parent_CUId を定義します。 .
- <attr name="name" type="string">TestUserGroup</attr> を使用して、ユーザグループのタイトルを定義します。
- <attr name="description" type="string">Description</attr> を使用して、ユーザグループの説明を定義します。
- <attr name="id" type="string">32081</attr> を使用して、ユーザグループの ID を定義します。
- <attr name="parentId" type="string">20</attr> を使用して、ユーザグループの親 ID を定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。

属性	値
Server	サーバのタイプ。
X-SAP-LogonToken	ログオントークン。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
応答本文には、変更したユーザグループの詳細が含まれています。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <updated>2016-05-24T11:34:38.367Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/usergroups/7601"
rel="alternate"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/usergroups/7601/users"
rel="alternate"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/usergroups/7601/usergroups"
rel="alternate"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AcvtoqiL325OheDtowQq6b8</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">AW7cVzZFpgFGjOVUdCiOpfE</
attr>
      <attr name="created" type="datetime">2016-05-24T11:31:28.256Z</
attr>
      <attr name="name" type="string">User_Group_Modified</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">7601</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="type" type="string">UserGroup</attr>
      <attr name="updated" type="string">Tue May 24 04:33:20 PDT 2016</
attr>
      <attr name="parentid" type="string">20</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

① 注記

POST メソッドのデータ長に技術的な制限はありません。ただし、多数のユーザを作成する場合は、500 ユーザのチャンクで要求をバッチ処理することをお奨めします。

7.9.11 ユーザグループの削除

DELETE http://<baseURL>/v1/usergroups/<usergroup_id>

DELETE メソッドを使用してユーザグループを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: DELETE `http://<baseUrl>/v1/usergroups/<usergroup_id>`
<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
XML フィードにユーザグループ削除操作の成功または失敗メッセージが表示されます。ここでは、ID=39784 のリソースのユーザの削除の例を示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="status" type="string">success</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.10 パブリケーションの管理

このセクションでは、パブリケーションオブジェクトに使用できるパブリケーション API について説明します。

7.10.1 パブリケーションの作成

/publications/publication URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションを作成することができます。

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用して、BI プラットフォームでパブリケーションを作成します。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/publication`

`/v1/publications/publication` に GET 要求を行って、POST メソッドの要求本文として使用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/publication`
- 本文: なし

応答:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="name" type="string"></attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="parentid" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST `http://<baseURL>/v1/publications/publication`

パブリケーションを作成するには、`/v1/publications/publication` URL への POST 要求を使用します。

要求:

- メソッド: POST
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/publication`
- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="keywords" type="string">Test</attr>
      <attr name="name" type="string">Test_Publication</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="parentid" type="string">6283</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

① 注記

上記の要求では、属性 `"name"` および `"parentid"` が必須です。

- `<attr name="keywords" type="string">Test</attr>` を使用して、パブリケーションキーワードを定義します。
- `<attr name="name" type="string">Test_Publication</attr>` を使用して、パブリケーション名を定義します。
- `<attr name="description" type="string">Description</attr>` を使用して、パブリケーションの説明を定義します。
- `<attr name="parentid" type="int32">6283</attr>` を使用して、パブリケーションフォルダ ID を確認します。

応答:

- 本文:
応答本文には、作成したパブリケーションの詳細が含まれています。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Test_Publication</title>
  <updated>2016-06-15T11:53:14.506Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/29259"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AU3dK9RKIa5GtKzOlRPbh9U</attr>
      <attr name="keywords" type="string">Test</attr>
      <attr name="name" type="string">Test_Publication</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">29259</attr>
      <attr name="parentid" type="string">6283</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.10.2 パブリケーションの一覧表示

GET `http://<baseURL>/v1/publications`

GET メソッドを使用してパブリケーションの一覧を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET `http://<baseURL>/v1/publications`
- 本文: なし

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/infostore</id>
  <title type="text">Publication</title>
```

```

<updated>2016-06-15T11:45:25.152Z</updated>
<link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications?
page=1&pagesize=50" rel="self"/>
<link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications?
page=1&pagesize=50" rel="first"/>
<link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications?
page=1&pagesize=50" rel="last"/>
<entry>
  <title type="text">cons</title>
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/AWYjO3zErThIpV2WKXZ9J78</id>
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <updated>2016-06-10T06:44:25.822Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/28919"
rel="alternate"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AWYjO3zErThIpV2WKXZ9J78</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="name" type="string">cons</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">28919</attr>
      <attr name="parentid" type="string">6283</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
<entry>
  <title type="text">pub0</title>
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/AcOetAbwASJJjVkyFMwU6jc</id>
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <updated>2016-06-09T19:26:04.041Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/28676"
rel="alternate"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AcOetAbwASJJjVkyFMwU6jc</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="name" type="string">pub0</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">28676</attr>
      <attr name="parentid" type="string">6283</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
</feed>

```

パブリケーションの並べ替え

並べ替えは、系統立った順序でパブリケーションを並べるプロセスです。

以下の属性に基づいて、パブリケーションを昇順または降順で並べ替えることができます。

- 名前
- 説明
- 所有者 ID
- 親 ID

パブリケーションのフィルタリング

[updated](#) 属性に基づいて、パブリケーションをフィルタリングすることができます。

並べ替えおよびフィルタのためのクエリパラメータは以下のとおりです。

クエリパラメータ

パラメータ名	パラメータ値
並べ替え	<div>sort=<+/-><attribute></div> <div><div>① 注記</div><div><ul style="list-style-type: none">昇順の場合、値は +降順の場合、値は -デフォルトでは、パブリケーションはパブリケーションの名前に基づく昇順で並べ替えられます。</div></div> <div><div>❖ 例</div><div>sort=+name</div></div>
フィルタ	<div>updated=<Start date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone> , <End date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone></div> <div><div>① 注記</div><div>終了日が指定されない場合、デフォルトで現在の日付が取得されます。</div></div> <div><div>❖ 例</div><div>updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z</div></div>

フィルタ

- 完全一致検索
name=<name>
この属性を使用すると、名前に基づいてパブリケーションを検索することができます。
- 部分検索
name=<name%>
この属性を使用すると、名前の一部でパブリケーションを検索することができます。
 - name 属性の後ろに % を指定すると、特定の名称で始まるパブリケーションの検索を実行することができます。

❖ 例

name=pub%

これにより、名前が pub で始まるすべてのパブリケーションが表示されます。

- name 属性の後ろに % を指定すると、特定の名称で終わるパブリケーションの検索を実行することができます。

❖ 例

name=%pub

これにより、名前が pub で終わるすべてのパブリケーションが表示されます。

① 注記

- さらに、フルネームおよび親 ID 属性に基づいてフィルタリングすることができます。
- 親 ID 属性では部分検索はサポートされません。

ページング

- page=<page number>
- pagesize=<number>
pagesize は、応答に表示されるオブジェクトの数です。

① 注記

デフォルトでは page=1 および pagesize=50 です。つまり、応答では、ページ番号 1 の 1 ページに、先頭の 50 個のオブジェクトが表示されます。

URL: GET http://<baseURL>/v1/publications?sort=<name>&updated=<Start year-month-dateThh:mm:ss.727Z> , <End year-month-dateThh:mm:ss.727Z>&page=<page number>&pagesize=<number>

❖ 例

URL: GET `http://<baseURL>/v1/publications?sort=+name&updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z&page=2&pagesize=5`

要求を送信すると、5 個のオブジェクトと、指定された日付の間に更新されたパブリケーションが昇順で並べ替えられた一覧を含む、2 番目のページが応答に表示されます。

7.10.3 レポートドキュメントの追加および削除

`/v1/publications/<publication_id>/reportdocuments` URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションのレポートドキュメントを追加することができます。

以下のタイプのレポートドキュメント ID を値として渡すことができます。

- CrystalReport
- Webi
- FullClient
- FullClientAddin
- FullClientTemplate
- GET メソッドを使用して、パブリケーションのレポートドキュメントを取得します。
- POST メソッドを使用して、パブリケーションにレポートドキュメントを追加します。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/reportdocuments`

`/v1/publications/<publication_id>/reportdocuments` に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で使用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/v1/<publication_id>/reportdocuments`
- 本文: なし

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T04:02:52.115Z</updated>
</feed>
```

POST http://<baseURL>/v1publications/<publication_id>/reportdocuments

レポートドキュメントを追加するには、/publications/<publication_id>/reportdocuments URL への POST 要求を使用します。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/reportdocuments
- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T04:02:52.115Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AS9ukIRdciZLuUS6ESGVRBg</attr>
        <attr name="name" type="string">Drill Demo</attr>
        <attr name="disablerefreshatruntime" type="bool">false</attr>
        <attr name="documentid" type="string">6148</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

- <attr name="documentid" type="string">6148</attr> を使用して、パブリケーションのレポートドキュメントを追加します。
- <attr name="disablerefreshatruntime"></attr> を使用して、実行時に最新表示を無効にするためのドキュメント ID を追加します。

応答:

- 本文:
応答本文には、作成したユーザの詳細が含まれています。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T04:08:07.131Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AU8SwOvit8dNsDrBhKcWgog</attr>
        <attr name="name" type="string">Input Controls & Filter
Demo</attr>
        <attr name="disablerefreshatruntime" type="bool" null="true"/>
        <attr name="documentid" type="string">6148</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

DELETE http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/reportdocuments

http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/reportdocuments URL を使用してレポートドキュメントを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: DELETE http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/reportdocuments
- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T03:57:44.076Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AS9ukIRdciZLuUS6ESGVRBg</attr>
        <attr name="name" type="string">Drill Demo</attr>
        <attr name="disablerefreshatruntime" type="bool">false</attr>
        <attr name="documentid" type="string">6144</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T04:19:51.587Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string" null="true"/>
        <attr name="name" type="string" null="true"/>
        <attr name="disablerefreshatruntime" type="bool" null="true"/>
        <attr name="documentid" type="string">6144</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.10.4 静的ドキュメントの追加および削除

静的ドキュメントは、レポートドキュメント以外のドキュメントです。Excel スプレッドシート、画像、PDF などのドキュメントがサポートされています。パブリケーションには、静的ドキュメントをいくつでも含めることができます。

/v1/publications/<publication_id>/staticdocuments URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションの静的ドキュメントを追加することができます。

- GET メソッドを使用して、パブリケーションで静的ドキュメントを取得します。

- POST メソッドを使用して、パブリケーションに静的ドキュメントを追加します。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/staticdocuments`

`/v1/publications/<publication_id>/staticdocuments` に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で使用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/staticdocuments`
- 本文: なし

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T08:33:12.936Z</updated>
</feed>
```

POST `http://<baseURL>/publications/<publication_id>/staticdocuments`

静的ドキュメントを追加するには、`/v1/publications/<publication_id>/staticdocuments` URL への POST 要求を使用します。

要求:

- メソッド: POST
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/staticdocuments`
- 本文:

```
<<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T04:02:52.115Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AS9ukIRdciZLuUS6ESGVRBg</attr>
        <attr name="name" type="string">Drill Demo</attr>
        <attr name="documentid" type="string">6148</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

- `<attr name="documentID" type="string"></attr>` を使用して、パブリケーションの静的ドキュメントを追加します。

応答:

- 本文:

応答本文には、作成したユーザの詳細が含まれています。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T08:49:04.588Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AS9ukIRdcizLuUS6ESGVRBg</attr>
        <attr name="name" type="string">Drill Demo</attr>
        <attr name="documentid" type="string">6148</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

DELETE `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/staticdocuments`

レポートドキュメント `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/staticdocuments` URL を削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: DELETE `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/staticdocuments`
- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T04:02:52.115Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="name" type="string">Test</attr>
        <attr name="documentid" type="string">6148</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T08:55:29.340Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AS9ukIRdcizLuUS6ESGVRBg</attr>
        <attr name="name" type="string">Drill Demo</attr>
        <attr name="documentid" type="string">6148</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.10.5 Enterprise ユーザの追加および削除

Enterprise 受信者は、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォームにアクセスでき、パブリケーションに対して少なくとも読み取り許可が与えられている個人です。これらの受信者は、通常、マネージド出力先を通して配信されたパブリケーションを個人用受信ボックスに受信します。

/v1/publications/<publication_id>/enterpriseusers URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションの Enterprise ユーザのみを追加することができます。

- GET メソッドを使用して、パブリケーションから Enterprise 受信者を取得します。
- POST メソッドを使用して、BI プラットフォームでパブリケーションを作成します。

GET http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/enterpriseusers

/v1/publications/<publication_id>/enterpriseusers に GET 要求を行って、パブリケーションから Enterprise ユーザを取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/enterpriseusers
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- 本文: なし

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T08:59:38.433Z</updated>
</feed>
```

POST http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/enterpriseusers

Enterprise ユーザを追加するには、/publications/<id>/enterpriseusers URL への POST 要求を使用します。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/publications/<id>/enterpriseUsers
- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T09:03:35.153Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="name" type="string">Guest</attr>
        <attr name="id" type="string">11</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```



```

        </attrs>
      </content>
    </entry>
  </feed>

```

- `<attr name="enterpriserecipientid" type="string"></attr>` を使用して、Enterprise ユーザ ID を定義します (複数のユーザを追加するには、カンマ区切り値としてユーザ ID を入力します)。

応答:

- 本文:
応答本文には、作成したユーザの詳細が含まれています。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T09:05:18.341Z</updated>
  <entry>
    <author>
      <name>Administrator</name>
      <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
    </author>
    <title type="text">irfan</title>
    <updated>2016-06-16T09:05:18.356Z</updated>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6409"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AcgOFGfhCzJEg.VjnPaidmI</attr>
        <attr name="name" type="string">Guest</attr>
        <attr name="id" type="string">11</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

DELETE `http://<baseURL>v1/publications/<publication_id>/enterpriseusers`

`http://<baseURL>/publications/<publication_id>/enterpriseusers` URL を使用してユーザを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: DELETE `http://<baseURL>/publications/<publication_id>/enterpriseusers`
- 本文:

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T09:03:35.153Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="name" type="string">Guest</attr>
        <attr name="id" type="string">11</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>

```

```
</feed>
```

- `<attr name="enterpriserecipientid" type="string"></attr>` を使用して、Enterprise ユーザ ID を定義します (複数のユーザを削除するには、カンマ区切り値としてユーザ ID を入力します)。

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T09:08:09.326Z</updated>
  <entry>
    <author>
      <name>Administrator</name>
      <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
    </author>
    <title type="text">irfan</title>
    <updated>2016-06-16T09:08:09.342Z</updated>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6409"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AcgOFGfhCzJEg.VjnPaidmI</attr>
        <attr name="name" type="string">Guest</attr>
        <attr name="id" type="string">11</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.10.6 Enterprise ユーザグループの追加および削除

`/publications/<publication_id>/enterpriseusergroups` URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションの Enterprise ユーザグループのみを追加することができます。

- GET メソッドを使用して、パブリケーションから Enterprise 受信者を取得します。
- POST メソッドを使用して、BI プラットフォームでパブリケーションを作成します。

GET `http://<baseURL>/publications/<publication_id>/enterpriseusergroups`

`/publications/<publication_id>/enterpriseusergroups` に GET 要求を行って、パブリケーションから Enterprise ユーザグループを取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/publications/<publication_id>/enterpriseusergroups`
- 本文: なし

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
```

```
<updated>2016-06-16T09:09:56.649Z</updated>
</feed>
```

POST http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/enterpriseusergroups

ユーザを作成するには、[/v1/publications/<publication_id>/enterpriseusers](http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/enterpriseusers) URL への POST 要求を使用します。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/enterpriseusergroups
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T09:09:56.649Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="parentcuid"
type="string">AWiHvq39Xe9FtwJZUWJ31h0</attr>
        <attr name="name" type="string">Everyone</attr>
        <attr name="id" type="string">1</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

- <attr name="enterpriserecipientid" type="string"></attr> を使用して、Enterprise ユーザグループ ID を定義します (複数のユーザグループを追加するには、カンマ区切り値としてユーザグループ ID を入力します)。

応答:

- 本文:
応答本文には、作成したユーザの詳細が含まれています。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T09:13:31.812Z</updated>
  <entry>
    <author>
      <name>Administrator</name>
      <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
    </author>
    <title type="text">irfan</title>
    <updated>2016-06-16T09:13:31.828Z</updated>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6409"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AWiHvq39Xe9FtwJZUWJ31h0</attr>
        <attr name="name" type="string">Everyone</attr>
        <attr name="id" type="string">1</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

```

    </content>
  </entry>
</feed>

```

DELETE `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/enterpriseusergroups`

`http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/enterpriseusergroups` URL を使用してユーザグループを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: DELETE `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/enterpriseusergroups`
- 本文:

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T09:09:56.649Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="parentcuid"
type="string">AWiHvq39Xe9FtwJZUWJ3lh0</attr>
        <attr name="name" type="string">Everyone</attr>
        <attr name="id" type="string">1</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

- `<attr name="enterpriserecipientid" type="string"></attr>` を使用して、Enterprise ユーザグループ ID を定義します (複数のユーザグループを削除するには、カンマ区切り値としてユーザグループ ID を入力します)。

応答:

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T09:15:47.891Z</updated>
  <entry>
    <author>
      <name>Administrator</name>
      <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
    </author>
    <title type="text">irfan</title>
    <updated>2016-06-16T09:15:47.907Z</updated>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6409"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AWiHvq39Xe9FtwJZUWJ3lh0</attr>
        <attr name="name" type="string">Everyone</attr>
        <attr name="id" type="string">1</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

```
</feed>
```

7.10.7 動的受信者の追加および削除

動的受信者は、SAP BusinessObjects Business Intelligence プラットフォーム内にユーザアカウントを持っていない個人です。これらの受信者は、各受信者の一意の識別子、電子メールアドレス、およびプロフィール情報（ある場合）を提供する外部データソースを通して識別されます。動的受信者は、通常、SMTP 出力先を通して配信されたパブリケーションを電子メールで受信します。

`/v1/publications/<publication_id>/dynamicrecipients` URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションの動的受信者を追加することができます。

- GET メソッドを使用して、パブリケーションから動的受信者を取得します。
- PUT メソッドを使用して、BI プラットフォームで動的受信者を作成します。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/dynamicrecipients`

`/v1/publications/<publication_id>/dynamicrecipients` に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で使用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/dynamicrecipients`
- 本文: なし

応答:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="query" type="string">Query 1</attr>
      <attr name="name" type="string"></attr>
      <attr name="fullname" type="string"></attr>
      <attr name="providerdocumentcuid"
type="string">AS9ukIRdciZLuUS6ESGVRBg</attr>
      <attr name="providerdocumentid" type="string">6148</attr>
      <attr name="providerdocumentname" type="string">Drill Demo</attr>
      <attr name="email" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

PUT http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/dynamicrecipients

ユーザを作成するには、/v1/publications/<publication_id>/dynamicrecipients URL への POST 要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/dynamicrecipients
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="query" type="string">Query 1</attr>
      <attr name="name" type="string">User_Name</attr>
      <attr name="fullname" type="string">User_FullName</attr>
      <attr name="providerdocumentcuid" type="string"></attr>
      <attr name="providerdocumentid" type="string">6148</attr>
      <attr name="providerdocumentname" type="string">Drill Demo</attr>
      <attr name="email" type="string">email_id</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- クエリに <attr name="query" type="string">Query 1</attr> を使用します (デフォルト値は Query 1)。
- <attr name="name" type="string">user_name</attr> を使用して、動的受信者のレポートから一意の列名を設定します。
- <attr name="fullName" type="string">Country Name</attr> を使用して、動的受信者の名前を設定します。
- 動的受信者のドキュメント CUID に <attr name="providerdocumentcuid" type="string"></attr> を使用します。
- 動的受信者のドキュメント ID に <attr name="providerdocumentid" type="string">6148</attr> を使用します。
- 動的受信者のドキュメント ID に <attr name="providerdocumentname" type="string">Drill Demo</attr> を使用します。
- <attr name="email" type="string">email_id</attr> を使用して、動的受信者のレポートから電子メール列を設定します。

応答:

- 本文:
応答本文には、作成したユーザの詳細が含まれています。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-16T09:33:36.788Z</updated>
  <entry>
    <author>
      <name>Administrator</name>
      <uri>http://10.160.206.105:6405/biprws/infostore/12</uri>
    </author>
    <title type="text">irfan</title>
  </entry>
</feed>
```

```

<updated>2016-06-16T09:33:36.788Z</updated>
<link href="http://10.160.206.105:6405/biprws/v1/publications/6409"/>
<content type="application/xml">
  <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
    <attr name="query" type="string">Query 1</attr>
    <attr name="name" type="string"></attr>
    <attr name="fullname" type="string"></attr>
    <attr name="providerdocumentcuid" type="string"></attr>
    <attr name="providerdocumentid" type="string">6148</attr>
    <attr name="providerdocumentname" type="string">Drill Demo</
attr>
    <attr name="email" type="string"></attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
</feed>

```

DELETE `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/dynamicrecipients`

`http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/dynamicrecipients` URL を使用してユーザを削除します。

応答:

- メソッド: DELETE
- URL: DELETE `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/dynamicrecipients`
- 本文:

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="query" type="string">Query 1</attr>
      <attr name="name" type="string"></attr>
      <attr name="fullname" type="string"></attr>
      <attr name="providerdocumentcuid" type="string"></attr>
      <attr name="providerdocumentid" type="string">6148</attr>
      <attr name="providerdocumentname" type="string">Drill Demo</attr>
      <attr name="email" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

XML フィードにユーザ削除操作の成功または失敗が表示されます。ここでは、ID=6148 のリソースのユーザの削除の例を示します。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

7.10.8 レポートの出力形式の設定

/v1/publications/<publication_id>/outputformats URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションのレポートドキュメントの出力形式を設定することができます。

次の表は、サポートされるすべての出力形式とレポートドキュメントの種類の詳細を示します。

出力形式の定数	Crystal Reports	Crystal Reports for Enterprise	Web Intelligence
CRYSTAL_REPORT	○	○	
EXCEL	○	○	○
EXCEL_DATA_ONLY	○	○	
EXCEL_2007_DATA_ONLY	○	○	
MHTML	○	○	○
PDF	○	○	○
RTF	○	○	
RTF_EDITABLE	○	○	
TEXT_CHARACTER_SEPARATED	○	○	
TEXT_PAGINATED	○		
NEXT_GEN_TEXT_PAGINATED		○	
TEXT_PLAIN	○		
TEXT_TAB_SEPARATED_TEXT	○		
NEXT_GEN_TEXT_TAB_SEPARATED_TEXT		○	
WORD	○	○	
XML	○	○	
RPTR	○	○	

- GET メソッドを使用して、ドキュメントの有効な出力形式を取得します。
- PUT メソッドを使用して、出力形式を設定します。

GET http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/outputformats

/v1/publications/<publication_id>/outputformats に GET 要求を行って、PUT メソッドの要求本文で
使用できるドキュメントの有効な出力形式を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/outputformats
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- 本文: なし

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-17T15:09:54.450Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AQtkbbSqN4N0j3ydf.SwllY</attr>
        <attr name="name" type="string">Formatting Sample</attr>
        <attr name="id" type="string">5371</attr>
        <attr name="outputformats" type="string">[EXCEL, WEBI]</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

① 注記

応答では、形式が同様に有効な場合、レポートドキュメント ID (カンマ区切り値) がそれぞれの出力形式タグ内に表示されます。

PUT http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/outputformats

出力形式を設定するには、/v1/publications/<publication_id>/outputformats URI への PUT 要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/outputformats
- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-17T15:09:54.450Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AQtkbbSqN4N0j3ydf.SwllY</attr>
        <attr name="name" type="string">Formatting Sample</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

```

        <attr name="id" type="string">5371</attr>
        <attr name="outputformats" type="string">[EXCEL, WEBI]</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

- それぞれのタグ内でカンマ区切り (,) ドキュメント ID を使用する必要があります。
- 各属性は出力形式を表します。
- レポートドキュメント ID が入力されたドキュメント形式のみがサーバに保持され、他の形式は削除されます。

応答:

- 本文:
応答本文には以下が含まれます。
 - 成功および失敗の一覧
 - 各出力形式の失敗の詳細

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-17T15:12:19.866Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AQtkbbSqN4NOj3ydf.SwllY</attr>
        <attr name="name" type="string">Formatting Sample</attr>
        <attr name="failed" type="string"></attr>
        <attr name="id" type="string">5371</attr>
        <attr name="outputformats" type="string">[EXCEL,WEBI]</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

7.10.9 出力先形式の設定

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations`

パブリケーションの使用可能なすべての出力先を取得するには、GET メソッドを使用します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations`
- 本文: なし

応答:

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
  </author>

```

```
<uri>http://10.160.206.105:6405/biprws/infostore/l2</uri>
</author>
<publication_id>6410</id>
<title type="text">publ</title>
</feed>
```

7.10.10 受信ボックス出力先プラグインの設定

/v1/publications/<publication_id>/destinations/inbox URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションの受信ボックス出力先プラグインを設定します。

- 受信ボックス出力先がすでに有効な場合は、GET メソッドを使用して設定情報を取得します。そうでない場合は、応答でデフォルトテンプレートを受信します。
- PUT メソッドを使用して、BI プラットフォームでパブリケーションを設定します。

GET http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations / inbox

受信ボックス出力先がすでに有効な場合は、/v1/publications/<publication_id>/destinations/inbox に GET 要求を行って、設定情報を取得します。そうでない場合は、応答でデフォルトテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/inbox
- 本文: なし

応答:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
      <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
      <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
      <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
      <attr name="sendascopy" type="bool">true</attr>
      <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

PUT `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations /inbox`

受信ボックス出力先プラグインを設定するには、`/v1/publications/<publication_id>/destinations/inbox` URL への PUT 要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/inbox`
- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
      <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
      <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
      <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
      <attr name="sendascopy" type="bool">true</attr>
      <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- `<attr name="fileextension" type="bool">true</attr>` 論理値を使用して、ファイル拡張子を設定します。
- `<attr name="zipfile" type="bool">false</attr>` 論理値を使用して、zip ファイルを設定します。
- `<attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>` 論理値を使用して、ユーザごとの配信を設定します。
- `<attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>` 論理値を使用して、エクスポートの pdf としてのマージを設定します。
- `<attr name="sendascopy" type="bool">true</attr>` を使用して、コピーまたはショートカットとして送信を設定します。
- `<attr name="targetobjectname" type="string"></attr>` を使用して、パブリケーションの特定の名前を設定します。

① 注記

パラメータ値が入力されたクエリパラメータのみがサーバに保持され、他のデータは削除されます。

応答:

- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <publication_id>6410</id>
  <title type="text">pub1</title>
  <updated>2016-06-17T11:19:34.892Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
```

```

        <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
          <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
          <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
          <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
          <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
          <attr name="sendascopy" type="bool">true</attr>
          <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
        </attrs>
      </content>
    </entry>
  </feed>

```

DELETE メソッド

http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/inbox URL を使用して出力先プラグインを削除します。

- メソッド: DELETE
- URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/inbox
- 本文:

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
      <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
      <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
      <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
      <attr name="sendascopy" type="bool">true</attr>
      <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

応答:

XML フィードに削除操作の成功または失敗が表示されます。

```

<feed
  xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs
        xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
          <attr name="status" type="string">Success</attr>
        </attrs>
      </content>
    </entry>
  </feed>

```

7.10.11 SMTP 出力先プラグインの設定

/v1/publications/<publication_id>/destinations/smtp URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションの SMTP 出力先プラグインを設定します。

- SMTP 出力先がすでに有効な場合は、GET メソッドを使用して設定情報を取得します。そうでない場合は、応答でデフォルトテンプレートを受信します。
- PUT メソッドを使用して、BI プラットフォームで SMTP パブリケーションを設定します。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/smtp`

SMTP 出力先がすでに有効な場合は、`/v1/publications/<publication_id>/destinations/smtp` に GET 要求を行って、設定情報を取得します。そうでない場合は、応答でデフォルトテンプレートを受信します。

応答:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
      <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
      <attr name="subject" type="string"></attr>
      <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
      <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
      <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
      <attr name="message" type="string"></attr>
      <attr name="attachmentsenabled" type="bool">true</attr>
      <attr name="enablessl" type="bool">false</attr>
      <attr name="bccaddresses" type="string"></attr>
      <attr name="ccaddresses" type="string"></attr>
      <attr name="senderaddress" type="string"></attr>
      <attr name="toaddresses" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

PUT `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/smtp`

SMTP 出力先プラグインを設定するには、`/v1/publications/<publication_id>/destinations/smtp` URL への PUT 要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/smtp`
- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
      <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
      <attr name="subject" type="string"></attr>
      <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
      <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
      <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

```

        <attr name="message" type="string"></attr>
        <attr name="attachmentsenabled" type="bool">true</attr>
        <attr name="enablenessl" type="bool">>false</attr>
        <attr name="bccaddresses" type="string"></attr>
        <attr name="ccaddresses" type="string"></attr>
        <attr name="senderaddress" type="string"></attr>
        <attr name="toaddresses" type="string"></attr>
    </attrs>
</content>
</entry>

```

- <attr name="fileextension" type="bool">true</attr> 論理値を使用して、ファイル拡張子を設定します。
- <attr name="zipfile" type="bool">>false</attr> 論理値を使用して、zip ファイルを設定します。
- <attr name="subject" type="string"></attr> を使用して、サブジェクト値を定義します。
- <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr> 論理値を使用して、ユーザごとの配信を設定します。
- <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">>false</attr> 論理値を使用して、エクスポートの pdf としてのマージを設定します。
- <attr name="targetobjectname" type="string"></attr> を使用して、パブリケーションの特定の名前を設定します。
- <attr name="message" type="string"></attr> を使用して、メッセージを入力します。
- <attr name="attachmentsenabled" type="bool">true</attr> 論理値を使用して、添付ファイルを有効にします。
- <attr name="enablenessl" type="bool">>false</attr> 論理値を使用して、SSL を有効にします。
- <attr name="bccaddresses" type="string"></attr> を使用して、Bcc 受信者を定義します。
- <attr name="ccaddresses" type="string"></attr> を使用して、Cc 受信者を定義します。
- <attr name="toaddresses" type="string"></attr> を使用して、To 受信者を定義します。

① 注記

- パラメータ値が入力されたクエリパラメータのみがサーバに保持され、他のデータは削除されます。
- 電子メールアドレスはセミコロン (;) で区切る必要があります。

応答:

- 本文:

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <publication_id>6410</id>
  <title type="text">pub1</title>
  <updated>2016-06-17T11:51:03.012Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
        <attr name="zipfile" type="bool">>false</attr>
        <attr name="subject" type="string">Test1</attr>
        <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
        <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">true</attr>
        <attr name="targetobjectname" type="string">SMTP</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

```

        <attr name="message" type="string">SMTP</attr>
        <attr name="attachmentsenabled" type="bool">true</attr>
        <attr name="enablessl" type="bool">false</attr>
        <attr name="bccaddresses" type="string"></attr>
        <attr name="ccaddresses" type="string"></attr>
        <attr name="senderaddress" type="string"></attr>
        <attr name="toaddresses" type="string">xyz@sap.com</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

DELETE メソッド

http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/smtp URL を使用して出力先 SMTP を削除します。

応答:

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

7.10.12 FTP 出力先プラグインの設定

/v1/publications/<publication_id>/destinations/ftp URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションの FTP 出力先プラグインを設定します。

- FTP 出力先がすでに有効な場合は、GET メソッドを使用して設定情報を取得します。そうでない場合は、応答でデフォルトテンプレートを受信します。
- PUT を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションの FTP 出力先プラグインを設定します。

GET http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/ftp

FTP 出力先がすでに有効な場合は、/v1/publications/<publication_id>/destinations/ftp に GET 要求を行って、設定情報を取得します。そうでない場合は、応答でデフォルトテンプレートを受信します。

応答:

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">

```



```

    <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
    <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
    <attr name="password" type="string"></attr>
    <attr name="port" type="int32">21</attr>
    <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
    <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
    <attr name="servername" type="string"></attr>
    <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
    <attr name="directory" type="string">.</attr>
    <attr name="account" type="string"></attr>
    <attr name="username" type="string"></attr>
  </attrs>
</content>
</entry>

```

PUT http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/ftp

FTP 出力先プラグインを設定するには、/publications/<publication_id>/destinations/ftp URL への PUT メソッド要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/ftp
- 本文:

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
      <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
      <attr name="password" type="string"></attr>
      <attr name="port" type="int32">21</attr>
      <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
      <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
      <attr name="servername" type="string"></attr>
      <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
      <attr name="directory" type="string">.</attr>
      <attr name="account" type="string"></attr>
      <attr name="username" type="string">FTP</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

- パラメータ値が入力されたクエリパラメータのみがサーバに保持され、他のデータは削除されます。

応答:

- 本文:

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <publication_id>6410</id>
  <title type="text">pub1</title>
  <updated>2016-06-17T12:11:13.571Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">

```

```

        <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
          <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
          <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
          <attr name="password" type="string"></attr>
          <attr name="port" type="int32">21</attr>
          <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
          <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
          <attr name="servername" type="string"></attr>
          <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
          <attr name="directory" type="string">.</attr>
          <attr name="account" type="string"></attr>
          <attr name="username" type="string">FTP</attr>
        </attrs>
      </content>
    </entry>
  </feed>

```

- `<attr name="fileextension" type="bool">true</attr>` 論理値を使用して、ファイル拡張子を設定します。
- `<attr name="zipfile" type="bool">false</attr>` 論理値を使用して、zip ファイルを設定します。
- `<attr name="password" type="string"></attr>` を使用して、パスワードを定義します。
- `<attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>` 論理値を使用して、ユーザごとの配信を設定します。
- `<attr name="port" type="string">21</attr>` を使用して、ポート番号を入力します。
- `<attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>` 論理値を使用して、エクスポートの pdf としてのマージを設定します。
- `<attr name="servername" type="string"></attr>` を使用して、サーバ名を定義します。
- `<attr name="targetobjectname" type="string"></attr>` を使用して、パブリケーションの特定の 名前を設定します。
- `<attr name="directory" type="string">.</attr>` を使用して、ディレクトリを定義します。
- `<attr name="enablessl" type="bool">false</attr>` 論理値を使用して、SSL を有効にします。
- `<attr name="account" type="string"></attr>` を使用して、アカウントタイプを定義します。
- `<attr name="username" type="string">FTP</attr>` を使用して、ユーザ名を定義します。

DELETE メソッド

`http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/ftp` URL を使用して出力先 FTP を削除します。

- メソッド: DELETE
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/ftp`
- 本文:

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
      <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
      <attr name="password" type="string"></attr>
      <attr name="port" type="int32">21</attr>
      <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
      <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
      <attr name="servername" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

```

        <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
        <attr name="directory" type="string">.</attr>
        <attr name="account" type="string"></attr>
        <attr name="username" type="string">FTP</attr>
    </attrs>
</content>
</entry>

```

応答:

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

7.10.13 SFTP 出力先プラグインの設定

/v1/publications/<publication_id>/destinations/sftp URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションの SFTP 出力先プラグインを設定します。

- SFTP 出力先がすでに有効な場合は、GET メソッドを使用して設定情報を取得します。そうでない場合は、応答でデフォルトテンプレートを受信します。
- PUT を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションの SFTP 出力先プラグインを設定します。

GET http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations /inbox/publications/<publication_id>/destinations/sftp

SFTP 出力先がすでに有効な場合は、/publications/<publication_id>/destinations/sftp に GET 要求を行って、設定情報を取得します。そうでない場合は、応答でデフォルトテンプレートを受信します。

応答:

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
      <attr name="zipfile" type="bool">>false</attr>
      <attr name="password" type="string"></attr>
      <attr name="port" type="int32">22</attr>
      <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
      <attr name="fingerprint" type="string"></attr>
      <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">>false</attr>
      <attr name="servername" type="string"></attr>
      <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
      <attr name="directory" type="string">.</attr>
      <attr name="account" type="string"></attr>
      <attr name="username" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

```
</content>
</entry>
```

PUT `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/sftp`

SFTP 出力先プラグインを設定するには、`/v1/publications/<publication_id>/destinations/sftp` URL への PUT メソッド要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/sftp`
- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
      <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
      <attr name="password" type="string"></attr>
      <attr name="port" type="int32">22</attr>
      <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
      <attr name="fingerprint" type="string"></attr>
      <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
      <attr name="servername" type="string"></attr>
      <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
      <attr name="directory" type="string">.</attr>
      <attr name="account" type="string"></attr>
      <attr name="username" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- `<attr name="fileextension" type="bool">true</attr>` 論理値を使用して、ファイル拡張子を設定します。
- `<attr name="zipfile" type="bool">false</attr>` 論理値を使用して、zip ファイルを設定します。
- `<attr name="password" type="string"></attr>` を使用して、パスワードを定義します。
- `<attr name="port" type="string">21</attr>` を使用して、ポート番号を入力します。
- `<attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>` 論理値を使用して、ユーザごとの配信を設定します。
- `<attr name="fingerprint" type="string"></attr>` を使用して、フィンガープリントを定義します。
- `<attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>` 論理値を使用して、エクスポートの pdf としてのマージを設定します。
- `<attr name="servername" type="string"></attr>` を使用して、サーバ名を定義します。
- `<attr name="targetobjectname" type="string"></attr>` を使用して、パブリケーションの特定の名前を設定します。
- `<attr name="directory" type="string">.</attr>` を使用して、ディレクトリを定義します。
- `<attr name="account" type="string"></attr>` を使用して、アカウントタイプを定義します。
- `<attr name="username" type="string">FTP</attr>` を使用して、ユーザ名を定義します。

応答:

- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <publication_id>6410</id>
  <title type="text">publ</title>
  <updated>2016-06-17T12:23:25.682Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
        <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
        <attr name="password" type="string"></attr>
        <attr name="port" type="int32">22</attr>
        <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
        <attr name="fingerprint" type="string"></attr>
        <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
        <attr name="servername" type="string"></attr>
        <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
        <attr name="directory" type="string">.</attr>
        <attr name="account" type="string"></attr>
        <attr name="username" type="string">SFTP</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

DELETE メソッド

http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/sftp URL を使用して出力先 SFTP を削除します。

- メソッド: DELETE
- URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/sftp
- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
      <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
      <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
      <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
      <attr name="sendascopy" type="bool">true</attr>
      <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <entry>
    <content type="application/xml">
```

```

        <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
          <attr name="status" type="string">success</attr>
        </attrs>
      </content>
    </entry>
  </feed>

```

7.10.14 ファイルシステム出力先プラグインの設定

/v1/publications/<publication_id>/destinations/disk URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションのファイルシステム出力先プラグインを設定します。

- ファイルシステム出力先がすでに有効な場合は、GET メソッドを使用して設定情報を取得します。そうでない場合は、応答でデフォルトテンプレートを受信します。
- PUT を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションのファイルシステム出力先プラグインを設定します。

GET http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/publications/ <publication_id>/destinations/disk

ファイルシステム出力先がすでに有効な場合は、/v1/publications/<publication_id>/destinations/disk に GET 要求を行って、設定情報を取得します。そうでない場合は、応答でデフォルトテンプレートを受信します。

応答:

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
      <attr name="zipfile" type="bool">>false</attr>
      <attr name="password" type="string"></attr>
      <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">>false</attr>
      <attr name="deliveperuser" type="bool">true</attr>
      <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
      <attr name="directory" type="string"></attr>
      <attr name="username" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

PUT http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/ destinations / disk

ファイルシステム出力先プラグインを設定するには、/publications/<publication_id>/destinations/disk URL への PUT 要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/disk`
- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
      <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
      <attr name="password" type="string"></attr>
      <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
      <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
      <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
      <attr name="directory" type="string"></attr>
      <attr name="username" type="string">disk</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- `<attr name="fileextension" type="bool">true</attr>` 論理値を使用して、ファイル拡張子を設定します。
- `<attr name="zipfile" type="bool">false</attr>` 論理値を使用して、zip ファイルを設定します。
- `<attr name="password" type="string"></attr>` を使用して、パスワードを定義します。
- `<attr name="fingerprint" type="string"></attr>` を使用して、フィンガープリントを定義します。
- `<attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>` 論理値を使用して、エクスポートの pdf としてのマージを設定します。
- `<attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>` 論理値を使用して、ユーザごとの配信を設定します。
- `<attr name="targetobjectname" type="string"></attr>` を使用して、パブリケーションの特定の名前を設定します。
- `<attr name="directory" type="string">.</attr>` を使用して、ディレクトリを定義します。
- `<attr name="username" type="string">FTP</attr>` を使用して、ユーザ名を定義します。

応答:

- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://10.160.206.105:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <publication_id>6410</id>
  <title type="text">pub1</title>
  <updated>2016-06-17T13:35:34.181Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
        <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
        <attr name="password" type="string">false</attr>
        <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
        <attr name="deliverperuser" type="bool">true</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

```

        <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
        <attr name="directory" type="string"></attr>
        <attr name="username" type="string">disk</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

DELETE メソッド

http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/disk URL を使用してパブリケーションから出力先 diskUnmanaged を削除します。

- メソッド: DELETE
- URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/disk
- 本文:

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="fileextension" type="bool">true</attr>
      <attr name="zipfile" type="bool">false</attr>
      <attr name="password" type="string"></attr>
      <attr name="mergeexportedpdf" type="bool">false</attr>
      <attr name="deliveperuser" type="bool">true</attr>
      <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
      <attr name="directory" type="string"></attr>
      <attr name="username" type="string">disk</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

応答:

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

7.10.15 ドキュメントごとのターゲットオブジェクト名の設定

/v1/publications/<publication_id>/destinations/<destination>/

targetobjectperdocument URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションのドキュメントごとのターゲットオブジェクト名を設定します。

- ドキュメントごとのターゲットオブジェクト名がすでに有効な場合は、GET メソッドを使用して設定情報を取得します。そうでない場合は、応答でデフォルトテンプレートを受信します。

- PUT メソッドを使用して、BI プラットフォームでドキュメントごとのターゲットオブジェクト名パブリケーションを設定します。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/<destination>/targetobjectperdocument`

ドキュメントごとのターゲットオブジェクト名パブリケーションがすでに有効な場合は、`/v1/publications/<publication_id>/destinations/<destination>/targetobjectperdocument` に GET 要求を行って設定情報を取得します。そうでない場合は、応答でデフォルトテンプレートを受信します。

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">pub</title>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AXpyoryP_Z5BoXVoM2_3kWQ</attr>
        <attr name="name" type="string">Fold Unfold Sample</attr>
        <attr name="id" type="string">5489</attr>
        <attr name="specificname" type="string">new2%</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AW4AVT1AUhVAogA6P7OQv9c</attr>
        <attr name="name" type="string">Charting Samples</attr>
        <attr name="id" type="string">5488</attr>
        <attr name="specificname" type="string">new</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

PUT `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/<destination>/targetobjectperdocument`

ドキュメントごとのターゲットオブジェクト名プラグインを設定するには、`v1/publications/<publication_id>/destinations/<destination>/targetobjectperdocument` URL への PUT 要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/<destination>/targetobjectperdocument`
- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">pub</title>
```

```

<entry>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="id" type="string">5489</attr>
      <attr name="specificname" type="string">new2%</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
<entry>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="id" type="string">5488</attr>
      <attr name="specificname" type="string">new</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
</feed>

```

- <attr name="id" type="string">5488</attr> を使用して、id を定義します。
- <attr name="specificname" type="string">new</attr> を使用して、特定の名前を定義します。

① 注記

- パラメータ値が入力されたクエリパラメータのみがサーバに保持され、他のデータは削除されます。
- 電子メールアドレスはセミコロン (;) で区切る必要があります。

応答:

- 本文:

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">pub</title>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AXpyoryP_Z5BoXVoM2_3kWQ</attr>
        <attr name="name" type="string">Fold Unfold Sample</attr>
        <attr name="id" type="string">5489</attr>
        <attr name="specificname" type="string">2.%EXT%</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AW4AVT1AUhVAogA6P7OQv9c</attr>
        <attr name="name" type="string">Charting Samples</attr>
        <attr name="id" type="string">5488</attr>
        <attr name="specificname" type="string">1.%EXT%</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

DELETE メソッド

http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/destinations/<destination>/targetobjectperdocument URL を使用して、ドキュメントごとのターゲットオブジェクト名を削除します。

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">pub</title>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.10.16 パブリケーションのスケジュールインスタンスの一覧表示

GET http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/schedules

パブリケーションのすべてのスケジュールされたインスタンスを表示するには、GET http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/schedules URL を使用します。

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Schedules</title>
  <updated>2016-06-17T13:54:06.067Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6410/schedules?
page=1&pagesize=50" rel="self"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6410/schedules?
page=1&pagesize=50" rel="first"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6410/schedules?
page=1&pagesize=50" rel="last"/>
  <entry>
    <title type="text">pub1</title>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6410/schedules/
6883"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="owner" type="string">Administrator</attr>
        <attr name="cuid" type="string">AbpDNk7FosZO3R60.sfGBQ</attr>
        <attr name="created" type="string">Fri Jun 17 06:53:55 PDT 2016</
attr>
        <attr name="parentcuid" type="string">Af5AnFK0lU9Jj_XM_MrqUkY</
attr>
        <attr name="name" type="string">pub1</attr>
        <attr name="id" type="string">6883</attr>
        <attr name="type" type="string">Publication</attr>
        <attr name="ownerid" type="int32">12</attr>
        <attr name="parentid" type="string">6410</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">pub1</title>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6410/schedules/
6885"/>
    <content type="application/xml">
```

```

    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="owner" type="string">Administrator</attr>
      <attr name="cuid" type="string">ARXYPatVXRZPpsrbCmiLsY4</attr>
      <attr name="created" type="string">Fri Jun 17 06:53:58 PDT 2016</
attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">Af5AnFK0lU9Jj_XM_MrqUkY</
attr>
      <attr name="name" type="string">publ</attr>
      <attr name="id" type="string">6885</attr>
      <attr name="type" type="string">Publication</attr>
      <attr name="ownerid" type="int32">12</attr>
      <attr name="parentid" type="string">6410</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
</feed>

```

スケジュールステータス表

スケジュールステータスコード	説明
0	実行中
1	成功
3	失敗
8	一時停止
9	待機中

7.10.16.1 ?page=<n>&pageSize=<m>

ページサイズを設定し、特定のページを要求することで、要求から返されるエントリの数を制限できます。応答には、そのページのエントリだけが含まれるほか、他のページの情報を取得するための URL へのリンクが含まれます。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/publications?page=<n>&pageSize=<m>`
 - page: 特定のページを取得するために使用されるクエリパラメータ。
 - pageSize: ページあたりのパブリケーションスケジュールインスタンスの数。
- 本文: なし

応答: なし

7.10.17 パブリケーションの詳細の取得およびパブリケーションの変更または削除

/v1/publications/<publication_id> URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションの詳細を取得することができます。

- GET メソッドを使用して、パブリケーションの詳細を取得します。
- PUT メソッドを使用して、BI プラットフォームでパブリケーションを変更します。
- DELETE メソッドを使用して、パブリケーションを削除します。

GET http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>

/v1/publications/<publication_id> に GET 要求を行って、パブリケーションの詳細を取得します。

応答:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/infostore</id>
  <title type="text">Publication</title>
  <updated>2016-06-17T14:32:25.299Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications?
page=1&pagesize=50" rel="self"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications?
page=1&pagesize=50" rel="first"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications?
page=1&pagesize=50" rel="last"/>
  <entry>
    <title type="text">pub2</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ARbvVAjpG8lIjxCSoUFXBRk</id>
    <author>
      <name>Administrator</name>
      <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
    </author>
    <updated>2016-05-19T14:22:24.590Z</updated>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/7068"
rel="alternate"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">ARbvVAjpG8lIjxCSoUFXBRk</attr>
        <attr name="keywords" type="string"></attr>
        <attr name="name" type="string">pub2</attr>
        <attr name="description" type="string"></attr>
        <attr name="id" type="string">7068</attr>
        <attr name="parentid" type="string">6102</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

PUT http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>.

パブリケーションの詳細を変更するには、/publications/<publication_id> URL への PUT 要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>`
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- 本文: `/publications/<publication_id>`

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">pub2_cr</title>
  <updated>2016-06-17T14:33:34.611Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6279"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">Aa.IfYf_S3RNmgwsgx0o5IA</attr>
      <attr name="enterpriseusergroups" type="int32">0</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="documents" type="int32">0</attr>
      <attr name="destinations" type="int32">1</attr>
      <attr name="name" type="string">pub2_cr</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="enterpriseusers" type="int32">0</attr>
      <attr name="id" type="string">6279</attr>
      <attr name="dynamicrecipients" type="bool">false</attr>
      <attr name="parentid" type="string">6102</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- `<attr name="enterpriseusergroups" type="int32">3</attr>` を使用すると、パブリケーションに追加された Enterprise ユーザグループの数がカウントされます。
 - `<attr name="keywords" type="string">keyword</attr>` を使用して、パブリケーションキーワードを定義します。
 - `<attr name="documents" type="string">Keyword</attr>` を使用すると、パブリケーションに追加されたドキュメントの数がカウントされます。
 - `<attr name="destinations" type="string">[CrystalEnterprise.Smtip, CrystalEnterprise.Managed]</attr>` を使用すると、パブリケーションの有効な出力先のコレクションが表示されます。
 - `<attr name="name" type="string">pub2_cr</attr>` を使用して、パブリケーション名を定義します。
 - `<attr name="description" type="string"></attr>` を使用して、説明を入力します。
 - `<attr name="enterpriseusers" type="int32">25</attr>` を使用すると、パブリケーションに追加された Enterprise ユーザの数がカウントされます。
 - `<attr name="dynamicrecipients" type="string">true</attr>` を使用すると、動的受信者が有効かどうかの論理値が表示されます。
 - `<attr name="id" type="string">6279</attr>` を使用して、ID を入力します。
 - `<attr name="parentid" type="string">6102</attr>` を使用して、親 ID を入力します。
- 応答:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
```

```

    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">pub2_cr</title>
  <updated>2016-06-17T14:45:40.556Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6279"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">Aa.IfYf_S3RNmgwsgx0o5IA</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="name" type="string">pub2_cr</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">6279</attr>
      <attr name="parentid" type="string">6102</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

DELETE メソッド

http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id> URL を使用してパブリケーションを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: DELETE http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- 本文:
XML フィードにパブリケーションの削除の成功または失敗が表示されます。ここでは、ID=6103 のリソースのユーザの削除の例を示します。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Publication</title>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

7.10.18 結合 PDF 設定の設定

パブリケーションで結合 PDF 設定を設定するには、以下に示すメソッドに従います。

GET http://<host>:<port>/biprws/v1/publications/<publication_id>/mergedpdfoptions

以下の詳細を指定した GET メソッドを使用し、テンプレート本文を取得します。

- URL: http://<host>:<port>/biprws/v1/publications/<publication_id>/mergedpdfoptions

① 注記

<publication_id> は、PDF として公開するパブリケーションの ID です。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: Nil

結果: サーバからテンプレート本文を受け取ります。以下に、サーバから受け取った応答の例を示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="tableOfContentsItemFont" type="string">TIMES_ROMAN</
attr>
      <attr name="pageNumberFontSize" type="real">12.0</attr>
      <attr name="restrictionsUserPassword" type="string"></attr>
      <attr name="restrictionsAllowCopyPaste" type="bool">>false</attr>
      <attr name="restrictionsOwnerPassword" type="string"></attr>
      <attr name="createRestrictions" type="bool">>false</attr>
      <attr name="pageNumberFont" type="string">TIMES_ROMAN</attr>
      <attr name="tableOfContentsTitleFont" type="string">TIMES_ROMAN</
attr>
      <attr name="pageNumberFormat" type="string">Page &#x26;p of
&#x26;p</attr>
      <attr name="createTableOfContents" type="bool">>true</attr>
      <attr name="createRunningPageNumbers" type="bool">>false</attr>
      <attr name="tableOfContentsItemFontColor" type="string">BLACK</
attr>
      <attr name="restrictionsAllowPrinting" type="bool">>false</attr>
      <attr name="restrictionsAllowModificationOfContents"
type="bool">>false</attr>
      <attr name="pageNumberAppyToTableOfContents" type="bool">>false</
attr>
      <attr name="restrictionsAllowAnnotationModification"
type="bool">>false</attr>
      <attr name="pageNumberFontColor" type="string">BLACK</attr>
      <attr name="tableOfContentsTitleFontSize" type="real">16.5</attr>
      <attr name="tableOfContentsItemFontSize" type="real">12.0</attr>
      <attr name="tableOfContentsTitleFontColor" type="string">BLACK</
attr>
      <attr name="pageNumberLocation" type="string">BOT_MIDDLE</attr>
      <attr name="tableOfContentsTitle" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```


POST http://<host>:<port>/biprws/v1/publications/<publication_id>/mergedpdfoptions

POST メソッドを使用して、パブリケーションの結合 PDF オプションを以下の詳細でサーバにポストします。

- URL およびヘッダ: GET メソッドと同じです。
- 本文: 以下の例に示すように、必須の属性値 (restrictionsAllowPrinting や restrictionsAllowModificationOfContents 論理値パラメータなど) を渡します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="tableOfContentsItemFont" type="string">TIMES_ROMAN</attr>
      <attr name="pageNumberFontSize" type="real">12.0</attr>
      <attr name="restrictionsUserPassword" type="string"></attr>
      <attr name="restrictionsAllowCopyPaste" type="bool">false</attr>
      <attr name="restrictionsOwnerPassword" type="string"></attr>
      <attr name="createRestrictions" type="bool">false</attr>
      <attr name="pageNumberFont" type="string">TIMES_ROMAN</attr>
      <attr name="tableOfContentsTitleFont" type="string">TIMES_ROMAN</attr>
      <attr name="pageNumberFormat" type="string">Page &#amp;p of
&#amp;p</attr>
      <attr name="createTableOfContents" type="bool">true</attr>
      <attr name="createRunningPageNumbers" type="bool">false</attr>
      <attr name="tableOfContentsItemFontColor" type="string">BLACK</attr>
      <attr name="restrictionsAllowPrinting" type="bool">true</attr>
      <attr name="restrictionsAllowModificationOfContents"
type="bool">true</attr>
      <attr name="pageNumberAppyToTableOfContents" type="bool">false</attr>
      <attr name="restrictionsAllowAnnotationModification"
type="bool">false</attr>
      <attr name="pageNumberFontColor" type="string">BLACK</attr>
      <attr name="tableOfContentsTitleFontSize" type="real">16.5</attr>
      <attr name="tableOfContentsItemFontSize" type="real">12.0</attr>
      <attr name="tableOfContentsTitleFontColor" type="string">BLACK</attr>
      <attr name="pageNumberLocation" type="string">BOT_MIDDLE</attr>
      <attr name="tableOfContentsTitle" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

① 注記

1. パブリケーションで <Table of Contents>、<Page Numbers>、および <Restrictions> に関連付けられた属性を適用するには、本文で以下のパラメータを 'true' に設定します。

結合 PDF の必須の属性

属性	説明
createTableOfContents	PDF の目次を作成します。
createRunningPageNumbers	PDF のページ番号を作成します。

属性	説明
createRestrictions	制限またはセキュリティを適用します。

2. 有効なオプションは以下のとおりです。

フォント属性 - ARIAL、COURIER、HELVETICA、TIMES_ROMAN

色属性 - BLACK、BLUE

位置属性 - TOP_MIDDLE、TOP_RIGHT、BOT_RIGHT、BOT_MIDDLE、BOT_LEFT、TOP_LEFT

結果: パブリケーションの結合 PDF 設定がサーバにポストされ、成功を示すメッセージが返されます。

DELETE http://<host>:<port>/biprws/v1/publications/<publication_id>/mergedpdfoptions

パブリケーションの結合 PDF 設定を削除するには、上記のメソッドの説明と同じ URL およびヘッダを指定した DELETE メソッドを使用します。本文では何も渡す必要がありません。

⚠ 警告

PDF の公開には、SAP Crystal Report ドキュメントのみがサポートされています。ソースドキュメントが **Crystal Reports** ではないパブリケーションでは、PDF 結合オプションはサポートされません。

7.10.19 サーバグループのスケジュールの設定

パブリケーションのサーバグループのスケジュールを設定するには、以下に示すメソッドに従います。

GET http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/schedulingservergroup

- 以下の詳細を指定した GET メソッドを使用し、テンプレート本文を取得します。
 - URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/schedulingservergroup

① 注記

<publication_id> は、パブリケーションの ID です。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: Nil
結果: サーバからの応答でテンプレートを受け取ります。以下に、応答テンプレートの例を示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="schedulingType" type="string">FIRST_AVAILABLE</attr>
    </attrs>
    <attr name="runAtOriginSite" type="bool">false</attr>
    <attr name="serverGroupId" type="int32">0</attr>
  </content>
</entry>
```

POST http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/schedulingservergroup

- POST メソッドを使用して、パブリケーションの結合 PDF オプションを以下の詳細でサーバにポストします。
 - URL およびヘッダ: GET メソッドと同じです。
 - 本文: 以下の例に示すように、必須の属性値を渡します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="schedulingType" type="string">PREFERRED</attr>
      <attr name="runAtOriginSite" type="bool">false</attr>
      <attr name="serverGroupId" type="int32">0</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

→ ヒント

schedulingType の有効な値は、"FIRST_AVAILABLE"、"PREFERRED"、および "SPECIFIED" です。

- "FIRST_AVAILABLE" は、使用可能な任意のサーバで実行されることを意味するため、実質的に "未設定" です。
- "PREFERRED" および "SPECIFIED" は、CMC に設定されたそれぞれの値を参照します。

結果: パブリケーションのサーバグループのスケジュールがサーバにポストされ、成功を示すメッセージが返されます。

7.10.20 スケジュールされたパブリケーションの通知の設定

パブリケーションがスケジュールされている場合は、パブリケーションのインスタンスがサーバで実行されているときに、成功または失敗のメッセージを受け取るように通知を定義できます。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/notification/onfailure`

- 以下の詳細を指定した GET メソッドを使用し、テンプレート本文を取得します。
 - URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/notification/onfailure`

① 注記

URL で `onsuccess` を使用すると、インスタンスの正常実行に関する通知を設定できます。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: Nil

結果: サーバからテンプレートを受け取ります。以下に、テンプレートの例を示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="useJobServerDefaults" type="bool">false</attr>
      <attr name="CC" type="string"></attr>
      <attr name="subject" type="string">FAILED</attr>
      <attr name="from" type="string">S</attr>
      <attr name="to" type="string">A</attr>
      <attr name="message" type="string">FAILED</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/notification/onfailure`

- 以下の詳細を指定した POST メソッドを使用し、パブリケーションのイベントを設定します。
 - URL およびヘッダ: GET メソッドと同じです。
 - 本文: 以下の例に示すように、必須の属性値を渡します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="useJobServerDefaults" type="bool">false</attr>
      <attr name="CC" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

```

        <attr name="subject" type="string">FAILED</attr>
        <attr name="from" type="string">S</attr>
        <attr name="to" type="string">A</attr>
        <attr name="message" type="string">FAILED</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>

```

① 注記

useJobServerDefaults を 'true' に設定すると、すべての属性値が無視され、CMC に設定された Job Server 設定が使用されます。

結果: 指定した通知がパブリケーション用に設定され、RESTful Web サービスクライアントに成功を示すメッセージが返されます。

→ ヒント

スケジュールされたパブリケーションに使用可能な通知を任意の時点で取得するには、URL `http://<baseURL>/publications/<publication_id>/notification` および上記の手順と同じヘッダを指定した GET メソッドを使用します。以下に、サーバから受け取る応答の例を示します。

🔗 サンプルコード

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <title type="text">onsuccess</title>
    <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/
notification/onsuccess" rel="alternate"/>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">onfailure</title>
    <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/
notification/onfailure" rel="alternate"/>
  </entry>
</feed>

```

DELETE `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/notification/onsuccess(onfailure)`

- DELETE メソッドを使用して、パブリケーション用に設定された既存のイベントを削除します。
 - URL およびヘッダ: GET/POST メソッドと同じです。
 - 本文: Nil

結果: スケジュールされたパブリケーション用に設定された通知がサーバ上で削除され、成功を示すメッセージが返されます。

7.10.21 詳細設定の設定

ここで説明するメソッドを使用して、パブリケーションのいくつかの詳細設定を設定できます。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/advanced`

- 以下の詳細を指定した GET メソッドを使用し、テンプレート本文を取得します。
 - URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/advanced`

① 注記

`<publication_id>` は、パブリケーションの ID です。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: Nil
結果: サーバから要求テンプレートを受け取ります。以下に、サーバから受け取るテンプレートの例を示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="mergeProfiles" type="bool">false</attr>
      <attr name="scopeBatchSize" type="int32">50</attr>
      <attr name="reportBurstingMethod" type="string">FETCH_PER_BAT</
    attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
```

POST `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/advanced`

- 以下の詳細を指定した POST メソッドを使用し、パブリケーションのイベントを設定します。
 - URL およびヘッダ: GET メソッドでの説明と同じです。
 - 本文: 以下の例に示すように、必須の属性値を渡します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="mergeProfiles" type="bool">true</attr>
      <attr name="scopeBatchSize" type="int32">50</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

```

      <attr name="reportBurstingMethod" type="string">FETCH_PER_BAT</
attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

① 注記

詳細設定は、CMC に厳密に従います。詳細は以下のとおりです。

詳細設定属性

属性	有効な値	意味
mergeprofiles	true, false	CMC の詳細設定の [プロファイルの解決] ヘッダに対応しています。 <ul style="list-style-type: none"> 'false' の場合 (デフォルト): マージしない (複数の親ユーザグループからの固有のプロファイルは別のドキュメントになる) 'true' の場合: マージする (複数の親ユーザグループからの固有のプロファイルが同じドキュメントに適用される)
scopebatchsize	default (50)、custom (50 以下の任意の数値にできます)	CMC の [範囲バッチサイズ制限] に対応しています。
<div>① 注記</div> <p>scopebatchsize は、50 よりも大きい値にできません。</p>		
reportBurstingMethod	FETCH_FOR_ALL, FETCH_PER_BAT, FETCH_PER_REC	データベースフェッチの頻度を推測する CMC の [レポートバースト方法] に対応しています。 <ul style="list-style-type: none"> FETCH_FOR_ALL: すべての受信者のデータベースフェッチ (データベースクエリ数を最小にするために推奨) FETCH_PER_BAT: 受信者のバッチごとのデータベースフェッチ (高ボリュームシナリオに対して推奨) FETCH_PER_REC: 受信者ごとのデータベースフェッチ (ユニバースまたはビジネスビュー内で行レベルセキュリティを使用する場合に推奨)

結果: 詳細設定がパブリケーション用に設定され、RESTful Web クライアントページに成功を示すメッセージが返されます。

7.10.22 スケジュールされたパブリケーションのイベントの設定

スケジュールされたパブリケーションにイベントを関連付けることができます。つまり、パブリケーションインスタンスを実行する前に特定のイベントを待機するかどうかを定義できます。スケジュールされたパブリケーションのイベントを設定するには、このトピックで説明するメソッドに従います。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/events`

- 以下の詳細を指定した GET メソッドを使用し、テンプレート本文を取得します。
 - URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/events`

① 注記

`<publication_id>` は、PDF として公開するパブリケーションの ID です。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: Nil
結果: テンプレート本文を受け取ります。以下に、テンプレートの例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="eventId" type="int32">0</attr>
        <attr name="waitForEvent" type="bool">true</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

POST `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/events`

- 以下の詳細を指定した POST メソッドを使用し、パブリケーションのイベントを設定します。
 - URL およびヘッダ: GET メソッドと同じです。
 - 本文: 以下の例に示すように、必須の属性値を渡します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="eventId" type="int32">8001</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```



```

        <attr name="waitForEvent" type="bool">true</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

結果: 指定したイベントがパブリケーション用に設定され、成功を示すメッセージが返されます。

→ ヒント

- eventID は、特定のイベントの ID です。
- waitForEvent プロパティは、パブリケーションインスタンスの実行後にイベントをトリガするか (false)、イベントを待ってからパブリケーションインスタンスを実行するか (true) を制御します。
- システムイベントのみをトリガできます。
- パブリケーションのイベント設定を削除するには、手順で示されているヘッダ、URL、および本文を指定した DELETE メソッドを使用します。

DELETE `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/events`

- DELETE メソッドを使用して、パブリケーション用に設定された既存のイベントを削除します。
 - URL およびヘッダ: GET メソッドと同じです。
 - 本文: Nil

結果: スケジュールされたパブリケーション用に設定されたイベントがサーバ上で削除され、成功を示すメッセージが返されます。

7.10.23 配信ルールおよび条件の設定

条件またはルールに基づいて受信者に送信されるようにパブリケーションを設定できます。パブリケーションの配信ルールおよび条件を設定するための RESTful API については、サブセクションで説明します。

パブリケーションに対して現時点で使用可能なルールおよび条件を取得するには、以下に説明する手順に従います。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<PUB ID>/recipientdelivery`

URL `http://<baseURL>/v1/publications/<PUB ID>/recipientdelivery` および以下のヘッダを指定して GET メソッドを使用します。

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

以下に、サーバから受け取る応答の例を示します (使用可能なルールと条件の両方を表示します)。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://10.160.199.73:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <id>6258</id>
  <updated>2017-03-17T05:50:38.012Z</updated>
  <entry>
    <title type="text">condition</title>
    <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/recipientdelivery/condition" rel="alternate"/>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">rule</title>
    <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/recipientdelivery/rule" rel="alternate"/>
  </entry>
</feed>
```

7.10.23.1 グローバル配信ルールの設定

Enterprise または Crystal Reports 20xx ソースドキュメントの Crystal Reports でのパブリケーションのためのグローバル配信ルールを設定できます。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/globaldeliveryrule`

- 以下の詳細を指定した GET メソッドを使用し、テンプレート本文を取得します。
 - URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/globaldeliveryrule`

① 注記

`<publication_id>` は、公開するパブリケーションの ID です。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: Nil
以下のようにテンプレート本文を受け取ります。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="reportAlertDeliveryRule" type="string"></attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

```

        <attr name="reportId" type="int32">7499</attr>
        <attr name="alertTestCondition" type="bool">false</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

- POST メソッドで使用するためにテンプレート応答をコピーします。

POST `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/globaldeliveryrule`

- 以下の詳細を指定した POST メソッドを使用し、パブリケーションのイベントを設定します。
 - URL およびヘッダ: 前と同じです。
 - 本文: GET メソッドで受け取った本文を貼り付け、必須の属性値を渡します。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="reportAlertDeliveryRule" type="string"></attr>
        <attr name="reportId" type="int32">7499</attr>
        <attr name="alertTestCondition" type="bool">true</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

① 注記

配信ルール属性

属性	有効な値	意味
reportId	ID (制限なし)	パブリケーション内のソースドキュメントの ID に対応しています。

属性	有効な値	意味
constantDeliveryRule	ALWAYS, NEVER, ONLY_IF_DATA, USE_RPT_RULE, REFRESH	<p>配信ルールを定義します。各値は、CMC オプションに対応しています。</p> <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> REFRESH は、Web Intelligence ドキュメントにのみ適用されます。 USE_RPT_RULE は、Crystal Reports 20xx ドキュメントにのみ適用されます。 USE_RPT_RULE では、以下に説明する次の 2 つのパラメータ (reportAlertDeliveryRule および alertTestCondition) を指定する必要があります。これらの値を指定しない場合、constantDeliveryRule は完全に無視されます。
reportAlertDeliveryRule	レポートアラート(値の制限なし)	<p>Crystal Reports 20xx ドキュメントのレポートアラートを指定します。</p> <p>constantDeliveryRule="USE_RPT_RULE" のときにのみ適用できます。</p>
alertTestCondition	true, false	<p>アラート結果が 'true' か 'false' かを指定します。</p> <p>constantDeliveryRule="USE_RPT_RULE" のときにのみ適用できます。</p>

結果: グローバル配信ルールがパブリケーション用に設定され、RESTful Web クライアントページに成功を示すメッセージが返されます。

DELETE `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/globaldeliveryrule`

- 以下の詳細を指定した DELETE メソッドを使用し、テンプレート本文を取得します。
 - URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/globaldeliveryrule`

① 注記

<publication_id> は、公開するパブリケーションの ID です。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: Nil

結果: パブリケーションの既存のグローバル配信ルールが削除され、RESTful Web クライアントページに成功を示すメッセージが返されます。

⚠ 警告

Crystal Reports 以外のソースドキュメントは、グローバル配信ルールの API ではサポートされません。

7.10.23.2 受信者の配信ルールの設定

7.10.23.2.1 ルール

GET http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/recipientdelivery/rule

- 以下の詳細を指定した GET メソッドを使用し、テンプレート本文を取得します。
 - URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/recipientdelivery/rule

① 注記

<publication_id> は、公開するパブリケーションの ID です。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: Nil

以下のようにテンプレート本文を受け取ります。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="reportAlertDeliveryRule" type="string"></attr>
        <attr name="reportId" type="int32">7499</attr>
        <attr name="alertTestCondition" type="bool">false</attr>
        <attr name="constantDeliveryRule" type="string">ALWAYS</
      attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
</feed>
```

- POST メソッドで使用するためにテンプレート応答をコピーします。

POST `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/recipientdelivery/rule`

- 以下の詳細を指定した POST メソッドを使用し、パブリケーションのイベントを設定します。
 - URL およびヘッダ: 前と同じです。
 - 本文: GET メソッドで受け取った本文を貼り付け、必須の属性値を渡します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="reportAlertDeliveryRule" type="string"></attr>
        <attr name="reportId" type="int32">7499</attr>
        <attr name="alertTestCondition" type="bool">true</attr>
        <attr name="constantDeliveryRule" type="string">ALWAYS</
      attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
</feed>
```

① 注記

配信ルール属性

属性	有効な値	意味
reportId	ID (制限なし)	パブリケーション内のソースドキュメントの ID に対応しています。

属性	有効な値	意味
constantDeliveryRule	ALWAYS, NEVER, ONLY_IF_DATA, USE_RPT_RULE, REFRESH	<p>配信ルールを定義します。各値は、CMC オプションに対応しています。</p> <div> <p>⚠ 警告</p> <ul style="list-style-type: none"> REFRESH は、Web Intelligence ドキュメントにのみ適用されます。 USE_RPT_RULE は、Crystal Reports 20xx ドキュメントにのみ適用されます。 USE_RPT_RULE では、以下に説明する次の 2 つのパラメータ (reportAlertDeliveryRule および alertTestCondition) を指定する必要があります。これらの値を指定しない場合、constantDeliveryRule は完全に無視されます。 </div>
reportAlertDeliveryRule	レポートアラート (値の制限なし)	<p>Crystal Reports 20xx ドキュメントのレポートアラートを指定します。</p> <p>constantDeliveryRule="USE_RPT_RULE" のときにのみ適用できます。</p>
alertTestCondition	true, false	<p>アラート結果が 'true' か 'false' かを指定します。</p> <p>constantDeliveryRule="USE_RPT_RULE" のときにのみ適用できます。</p>

結果: 配信ルールがパブリケーション用に設定され、RESTful Web クライアントページに成功を示すメッセージが返されます。

7.10.23.2.2 条件

GET `http://<baseURL>/publications/<publication_id>/recipientdelivery/condition`

- 以下の詳細を指定した GET メソッドを使用し、テンプレート本文を取得します。
 - URL: `http://<baseURL>/publications/<publication_id>/recipientdelivery/condition`

① 注記

`<publication_id>` は、公開するパブリケーションの ID です。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: Nil
結果: 以下のようにテンプレート応答を受け取ります。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="deliverIfIndividualConditionsMet"
type="bool">false</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST `http://<baseURL>/publications/<publication_id>/recipientdelivery/condition`

- 以下の詳細を指定した POST メソッドを使用します。
 - URL およびヘッダ: GET メソッドと同じです。
 - 本文: 必須の属性値を渡します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="deliverIfIndividualConditionsMet"
type="bool">true</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```


→ ヒント

deliverIfIndividualConditionsMet プロパティは、以下のように CMC の [受信者の配信ルール] ラジオボタンフィールドに対応しています。

- 'true' の場合: 条件に一致するときに個々のドキュメントを配信する
- 'false' の場合: すべての条件が一致する場合のみすべてのドキュメントを配信する

結果: 配信条件がパブリケーション用に設定され、RESTful Web クライアントページに成功を示すメッセージが返されます。

7.10.24 配信失敗情報の取得

サブセクションで説明しているように、スケジュールされたパブリケーションの配信失敗情報をグローバルレベル (すべての受信者を含む) で取得したり、個別の受信者ごとに (動的/Enterprise) 取得したりできます。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/distributionfailures`

URL `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/distributionfailures` および以下のヘッダを指定して GET メソッドを使用します。

① 注記

<publication_id> は、公開するパブリケーションの ID です。

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

以下に、サーバから受け取る応答の例を示します (使用可能なルールと条件の両方を表示します)。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://10.160.199.73:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <id>6258</id>
  <updated>2017-03-17T06:12:54.689Z</updated>
  <entry>
    <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/distributionfailures/dynamic" rel="alternate"/>
  </entry>
  <entry>
    <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/distributionfailures/enterprise" rel="alternate"/>
  </entry>
</feed>
```

7.10.24.1 動的受信者失敗の取得

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<PUB ID>/distributionfailures/dynamic`

以下の手順に従います。

1. 以下の詳細を指定した GET メソッドを使用し、テンプレート本文を取得します。

- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/distributionfailures/dynamic`

① 注記

`<publication_id>` は、公開するパブリケーションの ID です。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: Nil

以下に、URL `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/distributionfailures/dynamic` を使用して動的失敗を取得した場合に、サーバから受け取る応答テンプレートの例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://10.160.199.73:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <id>6258</id>
  <updated>2017-03-17T06:12:54.689Z</updated>
  <entry>
    <title type="text">fpub</title>
    <updated>2017-02-07T19:35:56.581Z</updated>
    <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/distributionfailures/dynamic/instance/6511" rel="alternate"/>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">fpub</title>
    <updated>2017-02-07T20:06:17.049Z</updated>
    <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/distributionfailures/dynamic/instance/6553" rel="alternate"/>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">fpub</title>
    <updated>2017-02-07T20:39:33.535Z</updated>
    <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/distributionfailures/dynamic/instance/6625" rel="alternate"/>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">fpub</title>
```

```

        <updated>2017-02-08T21:17:58.095Z</updated>
        <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/
distributionfailures/dynamic/instance/7847" rel="alternate"/>
    </entry>
    <entry>
        <title type="text">fpub</title>
        <updated>2017-02-08T22:20:34.768Z</updated>
        <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/
distributionfailures/dynamic/instance/7973" rel="alternate"/>
    </entry>
    <entry>
        <title type="text">fpub</title>
        <updated>2017-02-08T22:52:22.268Z</updated>
        <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/
distributionfailures/dynamic/instance/8007" rel="alternate"/>
    </entry>
    <entry>
        <title type="text">fpub</title>
        <updated>2017-02-09T12:08:36.094Z</updated>
        <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/
distributionfailures/dynamic/instance/8879" rel="alternate"/>
    </entry>
    <entry>
        <title type="text">fpub</title>
        <updated>2017-02-09T12:12:30.126Z</updated>
        <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/
distributionfailures/dynamic/instance/8920" rel="alternate"/>
    </entry>
    <entry>
        <title type="text">fpub</title>
        <updated>2017-02-09T12:38:53.638Z</updated>
        <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/
distributionfailures/dynamic/instance/9180" rel="alternate"/>
    </entry>
    <entry>
        <title type="text">fpub</title>
        <updated>2017-02-09T12:43:08.168Z</updated>
        <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6258/
distributionfailures/dynamic/instance/9208" rel="alternate"/>
    </entry>
</feed>

```

7.10.24.2 Enterprise 受信者失敗の取得

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<PUB ID>/distributionfailures/enterprise`

以下の手順に従います。

- 以下の詳細を指定した GET メソッドを使用して、テンプレート本文を取得します。
 - URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/distributionfailures/enterprise`

① 注記

`<publication_id>` は、公開するパブリケーションの ID です。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: Nil

以下に、URL `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/distributionfailures/enterprise` を使用して動的失敗を取得した場合に、サーバから受け取る応答テンプレートの例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://10.160.199.73:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <id>6258</id>
  <updated>2017-03-17T06:12:54.689Z</updated>
  <entry>
    <title type="text">fpub</title>
    <updated>2017-02-07T19:35:56.581Z</updated>
    <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6987/distributionfailures/enterprise/instance/6511" rel="alternate"/>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">fpub</title>
    <updated>2017-02-07T20:06:17.049Z</updated>
    <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6987/distributionfailures/enterprise/instance/6553" rel="alternate"/>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">fpub</title>
    <updated>2017-02-07T20:39:33.535Z</updated>
    <link href="http://10.160.199.73:6405/biprws/v1/publications/6987/distributionfailures/enterprise/instance/6625" rel="alternate"/>
  </entry>
</feed>
```

7.10.25 パブリケーションのパーソナライズ

`v1/publications/id/personalization` URL を使用して、BI プラットフォームでパブリケーションをパーソナライズできます。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/id/personalization`

`v1/publications/id/publication` URL に GET 要求を行って、グローバルおよびローカルプロファイルのパブリケーションをパーソナライズします。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/id/personalization`
- 本文: なし

応答:

グローバルおよびローカルプロファイルのパーソナライズの XML フィードを表示することができます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <id>6493</id>
  <updated>2016-03-17T14:04:23.267Z</updated>
  <entry>
    <title type="text">Global Profiles</title>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6493/
personalization/globalProfiles" rel="alternate" />
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">Local Profiles</title>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6493/
personalization/localProfiles" rel="alternate" />
  </entry>
</feed>
```

7.10.25.1 グローバルプロファイル

BI プラットフォームで、グローバルプロファイル用のパブリケーションをパーソナライズすることができます。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/id/personalization/globalprofiles`

`v1/publications/id/personalization/globalprofiles` URL に GET 要求を行って、Enterprise 受信者用のパブリケーションをパーソナライズします。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/id/personalization/globalprofiles`
- 本文: なし

応答:

グローバルプロファイルの下に、Enterprise 受信者用のパーソナライズオプションの XML フィードが表示されます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <id>6493</id>
```

```

<updated>2016-03-17T14:04:23.267Z</updated>
<entry>
  <title type="text">Enterprise Recipient</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6493/
personalization/globalprofiles/enterpriserecipient" rel="alternate" />
</entry>
</feed>

```

7.10.25.1.1 Enterprise 受信者 - グローバルプロファイル

BI プラットフォームで Enterprise 受信者用のパブリケーションをパーソナライズすることができます。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/globalprofiles/enterpriserecipients`

`v1/publications/<publication_id>/personalization/globalprofiles/enterpriserecipients` URL に GET 要求を行って、Enterprise 受信者用にパーソナライズされたパブリケーションを一覧表示します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/id/personalization/globalprofiles/enterpriserecipients`
- 本文: なし

応答:

Enterprise 受信者用にパーソナライズされたパブリケーションの XML フィードを表示することができます。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="reportID" type="int32">5348</attr>
        <attr name="profileID" type="int32">7319</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="reportID" type="int32">5346</attr>
        <attr name="profileID" type="int32">7319</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="reportID" type="int32">5350</attr>
        <attr name="profileID" type="int32">7320</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>

```

```
</entry>
</feed>
```

POST http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/globalprofiles/enterpriserecipients

[v1/publications/<publication_id>/personalization/globalprofiles/enterpriserecipients](http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/globalprofiles/enterpriserecipients) URL に POST 要求を行って、Enterprise 受信者用のパブリケーションを送信します。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/globalprofiles/enterpriserecipients
- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="reportID" type="int32">report_Id</attr>
        <attr name="profileID" type="int32">profile_id</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

- `<attr name="reportID" type="int32">report_Id</attr>` を使用して、レポートの ID を定義します。
- `<attr name="profileID" type="int32">profile_id</attr>` を使用して、プロファイルの ID を定義します。

応答:

Enterprise 受信者用にパーソナライズされたパブリケーションの XML フィードを表示することができます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="reportID" type="int32">5350</attr>
        <attr name="profileID" type="int32">7319</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

DELETE http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/globalprofiles/enterpriserecipients

[v1/publications/id/personalization/globalprofiles/enterpriserecipients](http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/globalprofiles/enterpriserecipients) URL に DELETE 要求を行って、Enterprise 受信者用にパーソナライズされたパブリケーションを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/globalprofiles/enterpriserecipients`
- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="reportID" type="int32">report_Id</attr>
        <attr name="profileID" type="int32">profile_id</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

- `<attr name="reportID" type="int32">report_Id</attr>` を使用して、レポートの ID を定義します。
- `<attr name="profileID" type="int32">profile_id</attr>` を使用して、プロファイルの ID を定義します。

応答:

XML フィードに削除操作の成功または失敗メッセージが表示されます。ここでは、特定のレポート ID およびプロファイル ID についてパーソナライズされたパブリケーションの成功した削除の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="reportID" type="int32">5350</attr>
        <attr name="profileID" type="int32">7319</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.10.25.2 ローカルプロファイル

BI プラットフォームで、ローカルプロファイル用のパブリケーションをパーソナライズすることができます。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/id/personalization/localprofiles`

`v1/publications/id/personalization/localprofiles` URL に GET 要求を行って、Enterprise 受信者用のパブリケーションをパーソナライズします。

要求:

- メソッド: GET

- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/id/personalization/localprofiles`
- 本文: なし

応答:

ローカルプロファイルの下で、Enterprise 受信者用のパーソナライズオプションの XML フィードを表示することができます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <id>7297</id>
  <updated>2016-03-21T05:24:48.015Z</updated>
  <entry>
    <title type="text">Enterprise Recipient</title>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6493/personalization/localprofiles/enterpriserecipient" rel="alternate" />
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">Dynamic Recipient</title>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/publications/6493/personalization/localprofiles/dynamicrecipient" rel="alternate" />
  </entry>
</feed>
```

7.10.25.2.1 動的受信者 - ローカルプロファイル

BI プラットフォームで受信者用のパブリケーションをパーソナライズすることができます。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/localprofiles/dynamicrecipients`

`v1/publications/<publication_id>/personalization/localprofiles/dynamicrecipients` URL に GET 要求を行って、動的受信者用にパーソナライズされたパブリケーションを一覧表示します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/localprofiles/dynamicrecipients`
- 本文: なし

応答:

動的受信者用にパーソナライズされたパブリケーションの XML フィードを表示することができます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
```

```

        <attr name="mapping" type="string">Sheet1_.Country</attr>
        <attr name="subreportName" type="string"></attr>
        <attr name="sourceReportId" type="int32">7499</attr>
        <attr name="reportField" type="string">{Sheet1_.Country}</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="mapping" type="string">Sheet1_.Country</attr>
        <attr name="subreportName" type="string">s1</attr>
        <attr name="sourceReportId" type="int32">7499</attr>
        <attr name="reportField" type="string">{?subcity}</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

① 注記

4.2 SP4 でのパーソナライゼーションフィードテンプレート属性に対する変更

- プロパティの設定に不要なすべての属性が応答から削除されました(レポート名やレポート CUID など)。
- 新しいプロパティ `<subreportName>` が追加され、サブレポートでプロンプトを設定できるようになりました。
(メインレポートでプロンプトまたはフィールドを設定するには、これを空の文字列のままにします。)
- `<mapping>` プロパティは、`<動的受信者データプロバイダ>`ドキュメント内の列に対応しています。
- `<reportField>` プロパティは、データプロバイダドキュメントからデータを受け取るフィールドまたはプロンプトに対応しています。
- `<sourceReportId>` は、マッピングがパブリケーション内で対応しているソースドキュメントです。

POST `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/
localprofiles/dynamicrecipients`

要求:

- メソッド: POST
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/
localprofiles/dynamicrecipients`
- 本文: 以下の例に示すように、必須の属性値を渡します。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="mapping" type="string">Sheet2_.Country</attr>
        <attr name="subreportName" type="string"></attr>
        <attr name="sourceReportId" type="int32">7499</attr>
        <attr name="reportField" type="string">{Sheet2_.Country}</
      attr>
    </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <content type="application/xml">

```

```

        <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
          <attr name="mapping" type="string">Sheet1_.Country</attr>
          <attr name="subreportName" type="string">s2</attr>
          <attr name="sourceReportId" type="int32">7499</attr>
          <attr name="reportField" type="string">{?region}</attr>
        </attrs>
      </content>
    </entry>
  </feed>

```

応答:

動的受信者用にパーソナライズされたパブリケーションの XML フィードを表示できます。

DELETE http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/localprofiles/dynamicrecipients

[v1/publications/<publication_id>/personalization/localprofiles/dynamicrecipients](http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/localprofiles/dynamicrecipients) URL に DELETE 要求を行って、動的受信者用にパーソナライズされたパブリケーションを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/localprofiles/dynamicrecipients
- 本文:

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="mapping" type="string">Sheet1_.Country</attr>
        <attr name="subreportName" type="string"></attr>
        <attr name="sourceReportId" type="int32">7499</attr>
        <attr name="reportField" type="string">{Sheet1_.Country}</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

応答:

XML フィードに削除操作の成功または失敗メッセージが表示されます。ここでは、特定の [<sourcereportId>](#) および [<mapping>](#) についてパーソナライズされたパブリケーションの成功した削除の例を示します。

7.10.25.2.2 Enterprise 受信者 - ローカルプロファイル

BI プラットフォームで Enterprise 受信者用のパブリケーションをパーソナライズできます。

GET `http://<baseURL>/v1/publications/<publication_id>/personalization/
localprofiles/enterpriserecipients`

`v1/publications/<publication_id>/personalization/localprofiles/enterpriserecipients` URL に GET 要求を行って、Enterprise 受信者用にパーソナライズされたパブリケーションを一覧表示します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/id/personalization/localprofiles/
enterpriserecipients`
- 本文: なし

応答:

Enterprise 受信者用にパーソナライズされたパブリケーションの XML フィードを表示することができます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="subreportName" type="string"></attr>
        <attr name="sourceReportId" type="int32">6498</attr>
        <attr name="targetProfileId" type="string">6449</attr>
        <attr name="reportField" type="string">{Sheet1_.Country}</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

① 注記

4.2 SP4 でのパーソナライゼーションフィードテンプレート属性に対する変更

- プロパティの設定に不要なすべての属性が応答から削除されました (レポート名やレポート CUID など)。
- 新しいプロパティ `<subreportName>` が追加され、サブレポートでプロンプトを設定できるようになりました。
(メインレポートでプロンプトまたはフィールドを設定するには、これを空の文字列のままにします。)
- `<mapping>` プロパティは、Enterprise 受信者データプロバイダドキュメント内の列に対応しています。
- `<targetProfileId>` プロパティは、マッピングに使用されている Enterprise プロファイルの ID に対応しています。
(この属性は、動的受信者に使用される `<reportField>` プロパティに置き換わるものです。)
- `<sourceReportId>` は、マッピングがパブリケーション内で対応しているソースドキュメントです。

POST `http://<baseURL>/v1/publications/id/personalization/localprofiles/
enterpriserecipients`

`v1/publications/id/personalization/localprofiles/enterpriserecipients` URL に POST 要求を行って、Enterprise 受信者用のパブリケーションを送信します。

要求:

- メソッド: POST
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/id/personalization/localprofiles/enterpriserecipients`
- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="subreportName" type="string"></attr>
        <attr name="sourceReportId" type="int32">6498</attr>
        <attr name="targetProfileId" type="string">8976</attr>
        <attr name="reportField" type="string">{Sheet2_.Country}</
      attr>
    </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

応答:

Enterprise 受信者用にパーソナライズされたパブリケーションの XML フィードを表示することができます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="sourceReportId" type="int32">6498</attr>
        <attr name="targetProfileId" type="string">8976</attr>
        <attr name="reportField" type="string">{Sheet2_.Country}</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

DELETE `http://<baseURL>/v1/publications/id/personalization/localprofiles/enterpriserecipients`

`v1/publications/id/personalization/localprofiles/enterpriserecipients` URL に DELETE 要求を行って、Enterprise 受信者用にパーソナライズされたパブリケーションを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: `http://<baseURL>/v1/publications/id/personalization/localprofiles/enterpriserecipients`
- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="sourceReportId" type="int32">6498</attr>
        <attr name="targetProfileId" type="string">8976</attr>
        <attr name="reportField" type="string">{Sheet1_.Country}</
      attr>
    </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

```

        </attrs>
      </content>
    </entry>
  </feed>

```

応答:

XML フィードに削除操作の成功または失敗メッセージが表示されます。ここでは、特定のレポート ID およびプロファイル ID についてパーソナライズされたパブリケーションの成功した削除の例を示します。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="sourceReportId" type="int32">6498</attr>
        <attr name="targetProfileId" type="string">8976</attr>
        <attr name="reportField" type="string">{Sheet1_.Country}</attr>
        <attr name="status" type="string">success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

7.11 ファイルのダウンロードおよびアップロード

7.11.1 /infostore/folder/<folder_id>/file

http://<baseURL>/infostore/folder/<folder_id>/file

/infostore/folder/<folder_id>/file を使用して POST 要求を行い、ファイルをアップロードします。

要求:

1. メソッド: POST
2. URL: http://<baseURL>/infostore/folder/<folder_id>/file
 <baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<folder_id> は、ファイルをアップロードするフォルダの SI_ID に置き換えてください。
3. ヘッダ:

名前	値
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

4. *form-data* を選択します。

① 注記

Postman クライアントでワークフローが実行されます。

5. 任意のキーワードを入力し、[ファイルの選択] を選択します。

① 注記

Postman REST クライアントでワークフローが実行されます。

① 注記

- BOE または非 BOE ドキュメントをアップロードすることができます。
- BOE ファイル: Webi、Crystal、および Lumira ドキュメント。これらのドキュメントは *Web Intelligence*、*Crystal Reports*、および *Lumira ドキュメント* としてそれぞれアップロードされます。これらの BOE ドキュメント以外の他のドキュメントは *その他* としてアップロードされます。
- 非 BOE ファイル: word、pdf、txt など。これらのドキュメントは *Word ドキュメント*、*Adobe Acrobat*、および *テキスト* としてそれぞれアップロードされます。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答日時。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <updated>2015-04-22T09:47:22.546Z</updated>
  <entry>
    <title type="text">test</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="int32">21158</attr>
        <attr name="title" type="string">test</attr>
        <attr name="cuid" type="string">AfmTwyzkzQ71JgreADdNbDAw</
attr>
        <attr name="parentID" type="int32">5213</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.11.2 /infostore/folder/<SI_ID>/file

GET http://<baseURL>/infostore/folder/<SI_ID>/file

/infostore/folder/<SI_ID>/file に GET 要求を行って、ファイルをダウンロードします。

① 注記

次の3つのBOEドキュメントをダウンロードすることができます。Webi、Crystal、およびLumiraドキュメント。

要求:

1. メソッド:GET
2. URL:http://<baseURL>/infostore/folder/<SI_ID>/file
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<SI_ID> は、ダウンロードするファイルのSI_IDに置き換えてください。

3. ヘッダ:

名前	値
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

4. 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。
Content-Disposition	添付ファイルとしての種類およびファイル名。

• サンプルコード

To download any files, you can use the following code snippet or you can customize the same as per your requirement.

```
HttpURLConnection conn = (HttpURLConnection) url.openConnection();
conn.setDoOutput(true);
conn.setRequestMethod("GET"); //Request method (GET)
conn.setRequestProperty("X-SAP-LOGONTOKEN" , "//LogonToken"); //
Logon token is the logon token for this session

if (conn.getResponseCode() == 200)
{
    InputStream inputStream = conn.getInputStream();
    OutputStream output = new FileOutputStream("//path to
download"); //Give a location to download the file
    byte[] buffer = new byte[1024];
    int bytesRead;
    while ((bytesRead = inputStream.read(buffer)) != -1)
    {
        output.write(buffer, 0, bytesRead);
    }
    output.close();
}
else
{
    //Error
}
```


関連情報

/infostore/folder/<folder_id>/file [262 ページ]

7.12 カテゴリの管理

この節では、カテゴリを管理するための RESTful API に関する情報を示します。これらの API を使用して、以下の操作を実行することができます。

- カテゴリの一覧表示
- カテゴリの作成
- カテゴリの詳細の取得
- カテゴリの詳細の変更
- カテゴリの第 1 レベルの子の一覧表示
- カテゴリの第 1 レベルのドキュメントの一覧表示
- カテゴリの削除

7.12.1 カテゴリの一覧表示

GET <http://<baseUrl>/v1/categories>

GET メソッドを使用してカテゴリの一覧を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET <http://<baseUrl>/v1/categories>
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文:
BOE システムで作成されたすべてのカテゴリの XML フィードが表示されます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/infostore</id>
  <title type="text">CATEGORIES</title>
  <updated>2016-05-17T08:53:48.986Z</updated>
  <link href="http://10.160.205.83:6405/biprws/v1/categories?page=1&pagesize=50" rel="self"/>
  <link href="http://10.160.205.83:6405/biprws/v1/categories?page=1&pagesize=50" rel="first"/>
  <link href="http://10.160.205.83:6405/biprws/v1/categories?page=1&pagesize=50" rel="last"/>
  <entry>
    <title type="text">Administrator</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/CQEvAAAA9FZpPn7XfU2Ust.ltEwspg</id>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid"
type="string">CQEvAAAA9FZpPn7XfU2Ust.ltEwspg</attr>
        <attr name="parentcuid"
type="string">ATI2BcB9RGBFuBi5s1TwL7k</attr>
        <attr name="name" type="string">Administrator</attr>
        <attr name="description" type="string"></attr>
        <attr name="id" type="string">889</attr>
        <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
        <attr name="type" type="string">PersonalCategory</attr>
        <attr name="updated" type="string">Tue May 17 00:01:54 PDT
2016</attr>
        <attr name="parentid" type="string">47</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">Guest</title>
    <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/CQEvAAAAyA4UZ_ELMkSD9Woc9qJ2Yg</id>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid"
type="string">CQEvAAAAyA4UZ_ELMkSD9Woc9qJ2Yg</attr>
        <attr name="parentcuid"
type="string">ATI2BcB9RGBFuBi5s1TwL7k</attr>
        <attr name="name" type="string">Guest</attr>
        <attr name="description" type="string"></attr>
        <attr name="id" type="string">883</attr>
        <attr name="ownerid" type="string">11</attr>
        <attr name="type" type="string">PersonalCategory</attr>
        <attr name="updated" type="string">Tue May 17 00:01:54 PDT
2016</attr>
        <attr name="parentid" type="string">47</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

カテゴリの並べ替え

並べ替えは、系統立った順序でカテゴリを並べるプロセスです。

以下の属性に基づいて、カテゴリを昇順または降順で並べ替えることができますようになりました。

- 名前

- 説明
- カテゴリの ID
- タイプ

カテゴリのフィルタリング

`type` および `updated` 属性に基づいて、カテゴリをフィルタリングすることができます。

並べ替えおよびフィルタのためのクエリパラメータは以下のとおりです。

クエリパラメータ

パラメータ名	パラメータ値
並べ替え	<code>sort=<+/-><attribute></code> <div> <p>① 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 昇順の場合、値は + 降順の場合、値は - デフォルトでは、カテゴリはカテゴリの名前に基づく昇順で並べ替えられます。 </div> <div> <p>❖ 例</p> <code>sort=+name</code> </div>
フィルタ	<code>type=<category></code> <ul style="list-style-type: none"> <code>type</code> には、personal カテゴリまたは corporate カテゴリの 2 つの値のみを指定することができます。 <div> <p>❖ 例</p> <code>type=personal</code> </div>
フィルタ	<code>updated=<Start date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone> , <End date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone></code> <div> <p>① 注記</p> <p>終了日が指定されない場合、デフォルトで現在の日付が取得されます。</p> </div> <div> <p>❖ 例</p> <code>updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z</code> </div>

パラメータ名	パラメータ値
ページング	<ul style="list-style-type: none"> • <code>page=<page number></code> • <code>pagesize=<number></code> <code>pagesize</code> は応答に表示されるオブジェクトの数です。

① 注記

デフォルトでは `page=1` および `pagesize=50` です。つまり、応答では、ページ番号 1 の 1 ページに、先頭の 50 個のオブジェクトが表示されます。

URL: GET `http://<baseURL>/v1/categories?sort=<name>&updated=<Start year-month-dateThh:mm:ss.727Z> , <End year-month-dateThh:mm:ss.727Z>&page=<page number>&pagesize=<number>`

❖ 例

URL: GET `http://<baseURL>/v1/categories?sort=+name&updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z&page=2&pagesize=5`

要求を送信すると、5 個のオブジェクトと、指定された日付の間に更新されたカテゴリが昇順で並べ替えられた一覧を含む、2 番目のページが応答に表示されます。

7.12.2 カテゴリの作成

`/v1/categories/category` URL に要求を行って、BI プラットフォームにカテゴリを作成します。

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用して、BI プラットフォームでカテゴリを作成します。

GET `http://<baseURL>/v1/categories/category`

`/v1/categories/category` に GET 要求を行って、同じ URL への POST メソッドの要求本文で使用するテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/categories/category`
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="name" type="string"></attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="type" type="string"></attr>
      <attr name="parentid" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

POST http://<baseURL>/v1/categories/category

カテゴリを作成するには、/v1/categories/category URL への POST 要求を使用します。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/categories/categories
- ヘッダ:

名前	値
Content Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="name" type="string">demo1</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="type" type="string">Personal</attr>
      <attr name="parentid" type="string">889</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- `<attr name="keywords" type="string">keywords</attr>` を使用して、キーワードを定義します。
- `<attr name="name" type="string">name</attr>` を使用して、名前を定義します。
- `<attr name="description" type="string">dscription</attr>` を使用して、説明を定義します。
- `<attr name="type" type="string">Category_Kind</attr>` を使用して、personal や corporate などのカテゴリタイプを定義します。

① 注記

"type" 属性には、"Personal" または "Corporate" のいずれか 1 つのカテゴリを指定することができます。"Personal" がデフォルトとして取得されます。

- `<attr name="parentId" type="string">parent_Id</attr>` を使用して、親 ID を定義します。

応答:

- 本文:
応答本文には、作成したカテゴリの詳細が含まれています。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">demo1</title>
  <updated>2016-05-17T08:59:03.748Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/categories/6406"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AT04yiTr6ixMsQ.XbCysgWA</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="parentcuid"
type="string">CQEvAAAA9FZpPn7XfU2Ust.ltEwspg</attr>
      <attr name="created" type="datetime">2016-05-17T08:59:03.725Z</
attr>
      <attr name="name" type="string">demo1</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">6406</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="type" type="string">PersonalCategory</attr>
      <attr name="updated" type="string">Tue May 17 01:59:03 PDT 2016</
attr>
      <attr name="parentid" type="string">889</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.12.3 カテゴリの詳細の取得

GET `http://<baseURL>/v1/categories/<category_Id>`

GET メソッドを使用してカテゴリの詳細を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET `http://<baseURL>/v1/categories/<category_Id>`
`<baseURL>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文:
カテゴリ詳細の XML エントリが表示されます。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">category</title>
  <updated>2016-05-17T09:08:47.037Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/categories/6406"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/categories/6406/children"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AT04yiTr6ixMsQ.XbCysgWA</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="parentcuid"
type="string">CQEvAAAA9FZpPn7XfU2Ust.ltEwspg</attr>
      <attr name="created" type="datetime">2016-05-17T08:59:03.725Z</
attr>
      <attr name="name" type="string">demo1</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">6406</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="type" type="string">PersonalCategory</attr>
      <attr name="updated" type="string">Tue May 17 01:59:03 PDT 2016</
attr>
      <attr name="parentid" type="string">889</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.12.4 カテゴリの詳細の変更

PUT `http://<baseURL>/v1/category/<category_ID>`

カテゴリを変更するには、`/v1/categories/category_Id` URL への PUT 要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: `http://<baseURL>/v1/categories/<category_Id>`
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">category</title>
  <updated>2016-05-17T09:08:47.037Z</updated>
  <link href="http://10.160.205.83:6405/biprws/v1/categories/6406"/>
  <link href="http://10.160.205.83:6405/biprws/v1/categories/6406/
children"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AT04yiTr6ixMsQ.XbCysgWA</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="parentcuid"
type="string">CQEvAAAA9FZpPn7XfU2Ust.ltEwspg</attr>
      <attr name="created" type="datetime">2016-05-17T08:59:03.725Z</
attr>
      <attr name="name" type="string">Test_Category</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">6406</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="type" type="string">PersonalCategory</attr>
      <attr name="updated" type="string">Tue May 17 01:59:03 PDT 2016</
attr>
      <attr name="parentid" type="string">889</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- `<attr name="Keyword" type="string">Modified</attr>` を使用して、カテゴリのキーワードを定義します。
- `<attr name="name" type="string">Test_Category</attr>` を使用して、カテゴリのタイトルを定義します。
- `<attr name="description" type="string">Modified Category</attr>` を使用して、カテゴリの説明を定義します。
- `<attr name="ownerid" type="string">12</attr>` を使用して、カテゴリの説明を定義します。
- `<attr name="type" type="string">CorporateCategory</attr>` を使用して、カテゴリタイプを定義します。
- `<attr name="ParentId" type="string">889</attr>` を使用して、カテゴリの親 ID を定義します。

応答:

- 本文:
応答本文には、変更したカテゴリの詳細が含まれています。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">category</title>
```



```

<updated>2016-05-17T09:08:47.037Z</updated>
<link href="http://10.160.205.83:6405/biprws/v1/categories/6406"/>
<link href="http://10.160.205.83:6405/biprws/v1/categories/6406/
children"/>
<content type="application/xml">
  <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
    <attr name="cuid" type="string">AT04yiTr6ixMsQ.XbCysgWA</attr>
    <attr name="keywords" type="string">Modified</attr>
    <attr name="parentcuid"
type="string">CQEvAAAA9FZpPn7XfU2Ust.ltEwspg</attr>
    <attr name="created" type="datetime">2016-05-17T08:59:03.725Z</
attr>
    <attr name="name" type="string">Test_Category</attr>
    <attr name="description" type="string">Modified Category</attr>
    <attr name="id" type="string">6406</attr>
    <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
    <attr name="type" type="string">CorporateCategory</attr>
    <attr name="updated" type="string">Tue May 17 01:59:03 PDT 2016</
attr>
    <attr name="parentid" type="string">889</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>

```

7.12.5 カテゴリの第1レベルの子の一覧表示

GET http://<baseURL>/v1/categories/<parentcategory_Id>/children

GET メソッドを使用して、カテゴリの第1レベルの子の一覧を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET http://<baseURL>/v1/categories/<parentcategory_Id>/children
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文:

BOE システムで作成されたカテゴリの第1レベルの子の XML フィードが表示されます。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">category</title>
  <updated>2016-05-17T09:18:03.096Z</updated>
  <entry>

```

```

<title type="text">demomodified</title>
<updated>2016-05-17T09:18:03.518Z</updated>
<link href="http://localhost:6405/biprws/v1/categories/889/children"/>
<content type="application/xml">
  <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
    <attr name="cuid" type="string">AT04yiTr6ixMsQ.XbCysgWA</attr>
    <attr name="keywords" type="string"></attr>
    <attr name="created" type="string"></attr>
    <attr name="name" type="string">demomodified</attr>
    <attr name="description" type="string"></attr>
    <attr name="id" type="string">6406</attr>
    <attr name="type" type="string">PersonalCategory</attr>
    <attr name="updated" type="string" null="true"/>
    <attr name="parentid" type="string">889</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
  <title type="text">Fold Unfold Sample</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/categories/889/children"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AXpyoryP_Z5BoXVoM2_3kWQ</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="created" type="string"></attr>
      <attr name="name" type="string">Fold Unfold Sample</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">5734</attr>
      <attr name="type" type="string">Webi</attr>
      <attr name="updated" type="string" null="true"/>
      <attr name="parentid" type="string">5712</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
<entry>
  <title type="text">Formatting Sample</title>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/categories/889/children"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AQtkbbSqN4N0j3ydf.SwllY</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="created" type="string"></attr>
      <attr name="name" type="string">Formatting Sample</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">5730</attr>
      <attr name="type" type="string">Webi</attr>
      <attr name="updated" type="string" null="true"/>
      <attr name="parentid" type="string">5712</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
<entry>
  <title type="text">vg1</title>
  <updated>2016-05-17T09:18:03.533Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/categories/889/children"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AfoVLN1zVt5AqaP5YabWlM0</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="created" type="string"></attr>
      <attr name="name" type="string">vg1</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">6411</attr>
      <attr name="type" type="string">PersonalCategory</attr>
      <attr name="updated" type="string" null="true"/>
      <attr name="parentid" type="string">889</attr>
    </attrs>
  </content>

```

```
</entry>
</feed>
```

7.12.6 カテゴリの第 1 レベルのドキュメントの一覧表示

GET http://<baseURL>/v1/categories/<parentcategory_Id>/documents

GET メソッドを使用して、カテゴリの第 1 レベルの子の一覧を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET http://<baseURL>/v1/categories/<parentcategory_Id>/documents
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文:
BOE システムで作成されたカテゴリの第 1 レベルの子の XML フィードが表示されます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">category</title>
  <updated>2016-05-17T09:18:50.985Z</updated>
  <entry>
    <title type="text">Fold Unfold Sample</title>
    <updated>2016-05-17T09:18:50.998Z</updated>
    <link href="http://10.160.205.83:6405/biprws/v1/categories/889/
documents"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AXpyoryP_Z5BoXVoM2_3kWQ</attr>
        <attr name="keywords" type="string"></attr>
        <attr name="created" type="string"></attr>
        <attr name="name" type="string">Fold Unfold Sample</attr>
        <attr name="description" type="string"></attr>
        <attr name="id" type="string">5734</attr>
        <attr name="type" type="string">Webi</attr>
        <attr name="updated" type="string" null="true"/>
        <attr name="parentid" type="string">5712</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">Formatting Sample</title>
    <updated>2016-05-17T09:18:51.001Z</updated>
```

```

    <link href="http://10.160.205.83:6405/biprws/v1/categories/889/
documents"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AQtkbbSqN4N0j3ydf.SwllY</attr>
        <attr name="keywords" type="string"></attr>
        <attr name="created" type="string"></attr>
        <attr name="name" type="string">Formatting Sample</attr>
        <attr name="description" type="string"></attr>
        <attr name="id" type="string">5730</attr>
        <attr name="type" type="string">Webi</attr>
        <attr name="updated" type="string" null="true"/>
        <attr name="parentid" type="string">5712</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

7.12.7 カテゴリの削除

DELETE http://<baseURL>/v1/categories/<categoryID>

DELETE メソッドを使用してカテゴリを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: DELETE http://<baseURL>/v1/categories/<categoryID>
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文:
XML フィードに削除操作の成功または失敗メッセージが表示されます。ここでは、成功したカテゴリの削除の例を示します。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">category</title>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="Status" type="string">Success</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

```
</entry>
</feed>
```

7.13 フォルダの管理

この節では、フォルダを管理するための RESTful API に関する情報を示します。これらの API を使用して、以下のアクティビティを実行することができます。

- フォルダの一覧表示
- フォルダの作成
- フォルダの詳細の取得
- フォルダの詳細の変更
- フォルダの第1レベルの子の一覧表示
- フォルダへのフォルダのアップロード
- フォルダの削除

ドキュメント管理で説明されている REST API には、以下の規則が適用されます。

`http://<baseURL>/<vx>/folders`

ここで、<vx>=v1 です。

7.13.1 フォルダの一覧表示

GET `http://<baseURL>/v1/folders`

GET メソッドを使用してフォルダを一覧表示します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET `http://<baseURL>/v1/folders`
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文:
BOE システムに登録されたすべてのルートフォルダの XML フィードを表示することができます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Folder</title>
  <updated>2016-06-11T16:43:25.207Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/folders?
page=1&pagesize=50" rel="self"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/folders?
page=1&pagesize=50" rel="first"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/folders?
page=1&pagesize=50" rel="last"/>
  <entry>
    <title type="text">Auditing</title>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/folders/585"
rel="alternate"/>
    <updated>2016-05-17T11:28:26.058Z</updated>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">ASloZEJAynpNjZiaZK2rc7g</attr>
        <attr name="name" type="string">Auditing</attr>
        <attr name="description" type="string"></attr>
        <attr name="id" type="string">585</attr>
        <attr name="type" type="string">Folder</attr>
        <attr name="ownerid" type="string">10</attr>
        <attr name="updated" type="string">Tue May 17 04:28:26 PDT
2016</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">Data Federation</title>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/folders/4695"
rel="alternate"/>
    <updated>2016-05-17T11:36:43.699Z</updated>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid"
type="string">FnKsrkkctAcA8BAAALB7kkQAADAFzVMX</attr>
        <attr name="name" type="string">Data Federation</attr>
        <attr name="description" type="string"></attr>
        <attr name="id" type="string">4695</attr>
        <attr name="type" type="string">Folder</attr>
        <attr name="ownerid" type="string">10</attr>
        <attr name="updated" type="string">Tue May 17 04:36:43 PDT
2016</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

フォルダの並べ替え

並べ替えは、系統立った順序でフォルダを並べるプロセスです。

以下の属性に基づいて、フォルダを昇順または降順で並べ替えることができるようになりました。

- 名前
- 説明
- フォルダの ID

- タイプ

フォルダのフィルタリング

`type` および `updated` 属性に基づいて、フォルダをフィルタリングすることができます。

並べ替えおよびフィルタのためのクエリパラメータは以下のとおりです。

クエリパラメータ

パラメータ名	パラメータ値
並べ替え	<code>sort=<+/-><attribute></code> <div> <p>① 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> 昇順の場合、値は + 降順の場合、値は - デフォルトでは、フォルダはフォルダの名前に基づく昇順で並べ替えられます。 </div> <div> <p>❖ 例</p> <code>sort=+name</code> </div>
フィルタ	<code>type=<folder></code>
フィルタ	<code>updated=<Start date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone> , <End date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone></code> <div> <p>① 注記</p> <p>終了日が指定されない場合、現在の日付が取得されます。</p> </div> <div> <p>❖ 例</p> <code>updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z</code> </div>
ページング	<ul style="list-style-type: none"> <code>page=<page number></code> <code>pagesize=<number></code> pagesize は、応答に表示されるオブジェクトの数です。 <div> <p>① 注記</p> <p>デフォルトでは <code>page=1</code> および <code>pagesize=50</code> です。つまり、応答では、ページ番号 1 の 1 ページに、先頭の 50 個のオブジェクトが表示されます。</p> </div>

URL: GET `http://<baseURL>/v1/folders?sort=<name>&updated=<Start year-month-dateThh:mm:ss.727Z> , <End year-month-dateThh:mm:ss.727Z>&page=<page number>&pagesize=<number>`

例

URL: GET `http://<baseURL>/v1/folders?sort=+name&updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z&page=2&pagesize=5`

要求を送信すると、5 個のオブジェクトと、指定された日付の間に更新されたフォルダが昇順で並べ替えられた一覧を含む、2 番目のページが応答に表示されます。

7.13.2 フォルダの作成

`v1/folders/folder` URL への要求を行い、BI プラットフォームにフォルダを作成します。

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用して、BI プラットフォームにフォルダを作成します。

GET `http://<baseURL>/v1/folders/folder`

GET 要求を `v1/folders/folder` に対し行い、XML テンプレートを受信します。同じ URL に対する POST メソッドの要求本文で XML テンプレートを使用します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/folders/folder`
- ヘッダ:

名前	値
Content Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="name" type="string"></attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="parentid" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```


POST http://<baseURL>/v1/folders/folder

フォルダを作成するには、POST メソッドを選択して、v1/folders/folder URL に要求します。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/folders/folder
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="name" type="string"></attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="parentid" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- <attr name="keywords" type="string">folder_keywords</attr> を使用して、フォルダのキーワードを定義します。
- <attr name="name" type="string">folder_Name</attr> を使用して、フォルダ名を定義します。
- <attr name="description" type="string">folder_description</attr> を使用して、説明を入力します。
- <attr name="Parentid" type="string">Parent_ID</attr> を使用して、親 ID を定義します。

応答:

- 本文:
応答本文には、作成したフォルダの詳細が含まれています。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">Folder_New</title>
  <updated>2016-03-14T08:08:43.417Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/folders/6565/children"
    rel="alternate" />
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">ARMpb.GxruhFlMx..hxliAM</attr>
      <attr name="keywords" type="string">Creating Folder</attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">ASloZEJAynpNjZIaZK2rc7g</
    attr>
      <attr name="name" type="string">Folder_New</attr>
```

```

    <attr name="description" type="string">Testing Folder Creation</
attr>
    <attr name="id" type="int32">6565</attr>
    <attr name="parentid" type="int32">522</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>

```

7.13.3 フォルダの詳細の取得

GET http://<baseURL>/v1/folders/<folder_id>

GET メソッドを使用してフォルダの詳細を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET http://<baseURL>/v1/folders/<folder_id>
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文:
XML テンプレートでフォルダの詳細を表示することができます。

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Folder</title>
  <updated>2016-03-14T08:26:39.289Z</updated>
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/ARMpb.GxruhFlMx..hxliAM</id>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/folders/6565folders/6565/
children" rel="alternate" />
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">ARMpb.GxruhFlMx..hxliAM</attr>
      <attr name="keywords" type="string">Creating Folder</attr>
      <attr name="created" type="string">Mon Mar 14 09:08:43 CET 2016</
attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">AS1oZEJAynpNjZIaZK2rc7g</
attr>
      <attr name="name" type="string">Folder_New</attr>
      <attr name="description" type="string">Testing Folder Creation</
attr>
      <attr name="id" type="int32">6565</attr>

```

```

        <attr name="type" type="string">Folder</attr>
        <attr name="ownerid" type="int32">12</attr>
        <attr name="updated" type="string">Mon Mar 14 09:08:43 CET 2016</
attr>
        <attr name="parentid" type="int32">522</attr>
    </attrs>
</content>
</entry>

```

7.13.4 フォルダの詳細の変更

PUT http://<baseURL>/v1/folders/<folder_ID>

[/v1/folders/<folder_ID>](http://<baseURL>/v1/folders/<folder_ID>) URL への PUT 要求を使用して、フォルダの詳細を変更します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: http://<baseURL>/v1/folders/<folder_ID>
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Folder</title>
  <updated>2016-06-11T16:50:29.554Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/folders/585" rel="alternate"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">ASloZEJAynpNjZiaZK2rc7g</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="created" type="string">Tue May 17 04:28:09 PDT 2016</
attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">ASHnC0S_Pw5LhKFbZ.iA_j4</
attr>
      <attr name="name" type="string">Auditing</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">585</attr>
      <attr name="type" type="string">Folder</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">10</attr>
      <attr name="updated" type="string">Tue May 17 04:28:26 PDT 2016</
attr>
      <attr name="parentid" type="string">23</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

- `<attr name="keywords" type="string">Modified</attr>` を使用して、フォルダのキーワードを定義します。
- `<attr name="name" type="string">Creating Folder</attr>` を使用して、フォルダの名前を定義します。
- `<attr name="description" type="string">Modified Folder</attr>` を使用して、フォルダの説明を定義します。
- `<attr name="parentid" type="int32">518</attr>` を使用して、フォルダの親 ID を定義します。

応答:

- 本文:
応答本文には、変更したフォルダの詳細が含まれています。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Folder</title>
  <updated>2016-06-11T16:50:53.559Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/folders/585" rel="alternate"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">ASloZEJAynpNjZiaZK2rc7g</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="created" type="string">Tue May 17 04:28:09 PDT 2016</
attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">ASHnC0S_Pw5LhKFbZ.iA_j4</
attr>
      <attr name="name" type="string">Auditing1</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">585</attr>
      <attr name="type" type="string">Folder</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">10</attr>
      <attr name="updated" type="string">Tue May 17 04:28:26 PDT 2016</
attr>
      <attr name="parentid" type="string">23</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.13.5 フォルダの第 1 レベルの子の一覧表示

GET `http://<baseURL>/v1/folders/parentfolder_id/folder`

GET メソッドを使用して、フォルダの第 1 レベルの子の一覧を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `GET http://<baseURL>/v1/folders/parentfolder_id/children`
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文:
BOE システムで作成されたフォルダの第 1 レベルの子の XML フィードが表示されます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Folder</title>
  <updated>2016-03-15T11:01:23.586Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/folders/23/children?
page=1&pagesize=50" rel="self" />
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/folders/23/children?
page=1&pagesize=50" rel="first" />
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/folders/23/children?
page=1&pagesize=50" rel="last" />
  <entry>
    <title type="text">Auditing</title>
    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/folders/23/children"
rel="alternate" />
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">ASloZEJAynpNjZiaZK2rc7g</attr>
        <attr name="name" type="string">Auditing</attr>
        <attr name="description" type="string"></attr>
        <attr name="id" type="string">522</attr>
        <attr name="type" type="string">Folder</attr>
        <attr name="ownerid" type="string">10</attr>
        <attr name="updated" type="string">Fri Mar 04 17:24:25 CET
2016</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.13.6 フォルダへのファイルのアップロード

http://<baseURL>/biprws/v1/folders/<folder_id>/file

/v1/folders/<folder_id>/file を使用して POST 要求を行い、ファイルをアップロードします。

要求:

1. メソッド: POST
2. URL: http://<baseURL>/v1/folders/<folder_id>/file
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。<folder_id> は、ファイルをアップロードするフォルダの ID に置き換えてください。

3. ヘッダ:

名前	値
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

4. [本文] タブで、[フォームデータ](#)ラジオボタンを選択します。

① 注記

Postman REST クライアントでワークフローが実行されます。

5. 任意のキーワードを入力し、[[ファイルの選択](#)]を選択します。

① 注記

Postman REST クライアントでワークフローが実行されます。

① 注記

- BOE または非 BOE ドキュメントをアップロードすることができます。
- 複数の BOE および非 BOE ドキュメントを同時にアップロードすることもできます。
- BOE ファイル: Webi、Crystal、および Lumira ドキュメントはそれぞれ [Web Intelligence](#)、[Crystal Reports](#)、および [Lumira ドキュメント](#)としてアップロードされます。これらの BOE ドキュメント以外の他のドキュメントは[その他](#)としてアップロードされます。
- 非 BOE ファイルには、word、pdf、txt などがあります。これらのドキュメントはそれぞれ、[Word ドキュメント](#)、[Adobe Acrobat](#)、および[テキスト](#)としてアップロードされます。

応答:

- 本文:

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <updated>2016-05-24T11:23:02.624Z</updated>
  <entry>
    <title type="text">crashlog</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AbR0epv8S4tNoR5skcwWZYg</attr>
        <attr name="name" type="string">crashlog</attr>
        <attr name="id" type="string">7583</attr>
        <attr name="type" type="string">Txt</attr>
        <attr name="parentid" type="string">5712</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

7.13.7 フォルダの削除

DELETE `http://<baseURL>/v1/folders/<folder_id>`

DELETE メソッドを使用して、フォルダを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: DELETE `http://<baseURL>/v1/folders/<folder_id>`
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文:
XML テンプレートに削除操作の成功または失敗メッセージが表示されます。ここでは、成功したフォルダの削除の例を示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="status" type="string">success</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.14 ドキュメントの管理

この節では、ドキュメントを管理するための RESTful API に関する情報を示します。これらの API を使用して、以下のタスクを実行することができます。

- ドキュメントの一覧表示
- ドキュメントの詳細の取得
- ドキュメントの詳細の変更
- ドキュメントのカテゴリ詳細の取得
- ドキュメントの削除

ドキュメント管理で説明されている REST API には、以下の規則が適用されます。

http://<baseURL>/<vx>/documents

ここで、<vx>=v1 です。

7.14.1 ドキュメントの一覧表示

GET http://<baseURL>/v1/documents

GET メソッドを使用してすべてのドキュメントを一覧表示します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET http://<baseURL>/v1/documents
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文:
BOE システムに存在するすべてのドキュメントの XML フィードが一覧表示されます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/infostore</id>
  <title type="text">document</title>
  <updated>2016-03-17T08:34:32.976Z</updated>
  <link href="http://10.208.38.216:6405/biprws/v1/documents?
page=1&pagesize=50" rel="self" />
  <link href="http://10.208.38.216:6405/biprws/v1/documents?
page=1&pagesize=50" rel="first" />
  <link href="http://10.208.38.216:6405/biprws/v1/documents?
page=1&pagesize=50" rel="last" />
  <entry>
    <link href="http://10.208.38.216:6405/biprws/documents/7057" />
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AecjVLlZDstJiUcCwmRrBMo</attr>
        <attr name="name" type="string">Test1</attr>
        <attr name="description" type="string"></attr>
        <attr name="id" type="string">7057</attr>
        <attr name="type" type="string">Txt</attr>
        <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
        <attr name="updated" type="string">Wed Mar 16 10:33:43 CET
2016</attr>
```



```

        <attr name="parentid" type="string">5330</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
</feed>

```

ドキュメントの並べ替え

並べ替えは、系統立った順序でドキュメントを並べるプロセスです。

以下の属性に基づいて、ドキュメントを昇順または降順で並べ替えることができます。

- 名前
- 説明
- ドキュメントの ID
- タイプ

ドキュメントのフィルタリング

ドキュメントのフィルタリングは、特定の階層下にある子をフィルタリングするプロセスです。 [type](#) および [updated](#) 属性に基づいて、ドキュメントをフィルタリングすることができます。

並べ替えおよびフィルタのためのクエリパラメータは以下のとおりです。

クエリパラメータ

パラメータ名	パラメータ値
並べ替え	<p>sort=<+><attribute></p> <div> <p>① 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> • 昇順の場合、値は + • 降順の場合、値は - • デフォルトでは、ドキュメントはドキュメントの名前に基づく昇順で並べ替えられます。 </div> <div> <p>❧ 例</p> <p>sort=+name</p> </div>
フィルタ	<p>type=<document_type></p>
フィルタ	<p>updated=<Start date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone> , <End date year-month-dateThh:mm:ss.Timezone></p> <div> <p>① 注記</p> <p>終了日が指定されない場合、現在の日付が取得されます。</p> </div> <div> <p>❧ 例</p> <p>updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z</p> </div>

パラメータ名	パラメータ値
ページング	<ul style="list-style-type: none"> • page=<page number> • pagesize=<number> pagesize は、応答に表示されるオブジェクトの数です。

① 注記

デフォルトでは page=1 および pagesize=50 です。つまり、応答では、ページ番号 1 の 1 ページに、先頭の 50 個のオブジェクトが表示されます。

URL: GET `http://<baseURL>/v1/documents?sort=<name>&updated=<Start year-month-dateThh:mm:ss.727Z> , <End year-month-dateThh:mm:ss.727Z>&page=<page number>&pagesize=<number>`

❖ 例

URL: GET `http://<baseURL>/v1/documents?sort=+name&updated=2015-11-16T11:03:53.727Z , 2016-11-16T11:03:53.727Z&page=2&pagesize=5`

要求を送信すると、5 個のオブジェクトと、指定された日付の間に更新されたドキュメントが昇順で並べ替えられた一覧を含む、2 番目のページが応答に表示されます。

7.14.2 ドキュメント詳細および OpenDoc URL の取得

GET `http://<baseURL>/v1/documents/<document_id>`

GET メソッドを使用して、ドキュメントの詳細を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET `http://<baseURL>/v1/documents/<document_id>`
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文:
ドキュメントの詳細が XML エントリで表示されます。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">document</title>
  <updated>2016-03-17T08:37:01.354Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AecjVLlZDstJiUcCwmRrBMo</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">AeN4lEu0h_tAtnPEjFYxwi8</
attr>
      <attr name="created" type="string">Wed Mar 16 10:01:38 CET 2016</
attr>
      <attr name="name" type="string">Test1</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">7057</attr>
      <attr name="type" type="string">Txt</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="updated" type="string">Wed Mar 16 10:33:43 CET 2016</
attr>
      <attr name="parentid" type="string">5330</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

① 注記

クエリパラメータ `<details>` に値 `'true'` を渡すと、ドキュメントの **OpenDoc URL** を含む追加のドキュメント詳細も提供されます。以下の例を参照してください。

URL `http://localhost:6405/biprws/v1/documents/24025?details=true` を GET メソッドとともに使用した場合のサーバ応答:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">document</title>
  <updated>2016-03-17T08:37:01.354Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="owner" type="string">AecjVLlZDstJiUcCwmRrBMo</attr>
      <attr name="docLink" type="string">http://TargetMachine:8080/BOE/
OpenDocument/opendoc/openDocument.jsp?
sIDType=CUID&iDocID=ATAhWqo5J_NIiS9o_90S6F4</attr>
      <attr name="cuid" type="string">AecjVLlZDstJiUcCwmRrBMo</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">AeN4lEu0h_tAtnPEjFYxwi8</
attr>
      <attr name="created" type="string">Wed Mar 16 10:01:38 CET 2016</
attr>
      <attr name="name" type="string">Calculated Member Cross-tab
Chart:24025</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="locale" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">7057</attr>
      <attr name="type" type="string">Txt</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="updated" type="string">Wed Mar 16 10:33:43 CET 2016</
attr>
      <attr name="parentid" type="string">5330</attr>
    </attrs>
  </content>
```

```
</entry>
```

7.14.3 ドキュメント詳細の変更

PUT `http://<baseURL>/v1/documents/<document_id>`

ドキュメントを変更するには、`/v1/documents/<document_id>` URL への PUT 要求を使用します。

要求:

- メソッド: PUT
- URL: `http://<baseURL>/v1/documents/<document_id>`
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">document</title>
  <updated>2016-03-16T09:36:14.523Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AecjVLlZDstJiUcCwmRrBMo</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">AeN4lEu0h_tAtnPEjFYxwi8</
    attr>
      <attr name="created" type="string">Wed Mar 16 10:01:38 CET 2016</
    attr>
      <attr name="name" type="string">Test1</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">7057</attr>
      <attr name="type" type="string">Txt</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="updated" type="string">Wed Mar 16 10:33:43 CET 2016</
    attr>
      <attr name="parentid" type="string">5330</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

- `<attr name="keywords" type="string">Modified</attr>` を使用して、ドキュメントのキーワードを定義します。
- `<attr name="name" type="string">Creating document</attr>` を使用して、ドキュメントの名前を定義します。

- `<attr name="description" type="string">Modified document</attr>` を使用して、ドキュメントの説明を定義します。
- `<attr name="parentid" type="string">518</attr>` を使用して、ドキュメントの親 ID を定義します。

応答:

- 本文:
応答本文には、変更したドキュメントの詳細が含まれています。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">document</title>
  <updated>2016-03-16T09:36:14.523Z</updated>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AecjVLlZDstJiUcCwmRrBMO</attr>
      <attr name="keywords" type="string"></attr>
      <attr name="parentcuid" type="string">AeN4lEu0h_tAtnPEjFYxwi8</
    attr>
      <attr name="created" type="string">Wed Mar 16 10:01:38 CET 2016</
    attr>
      <attr name="name" type="string">Test2</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">7057</attr>
      <attr name="type" type="string">Txt</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="updated" type="string">Wed Mar 16 10:33:43 CET 2016</
    attr>
      <attr name="parentid" type="string">5330</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.14.4 ドキュメントのカテゴリ詳細の取得

GET `http://<baseURL>/v1/documents/<document_id>/categories`

GET メソッドを使用してドキュメントのカテゴリ詳細を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET `http://<baseURL>/v1/documents/<document_id>/categories`
`<baseURL>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml

名前	値
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文:
ドキュメントのカテゴリ詳細の XML フィードが表示されます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid"
type="string">CQEvAAAA9FZpPn7XfU2Ust.ltEwspg</attr>
        <attr name="name" type="string">Administrator</attr>
        <attr name="id" type="string">814</attr>
        <attr name="type" type="string">PersonalCategory</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AQkGptd3yOhIuOmUSJDe8g4</attr>
        <attr name="name" type="string">Test</attr>
        <attr name="id" type="string">8088</attr>
        <attr name="type" type="string">Category</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">ARTW.R1U1BdBhb.pl3I0f0I</attr>
        <attr name="name" type="string">CorporateCategory</attr>
        <attr name="id" type="string">8089</attr>
        <attr name="type" type="string">Category</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
</entry>
```

7.14.5 カテゴリへのドキュメントの割り当て

単一または複数のカテゴリにドキュメントを割り当てることができます。

POST `http://<base URL>/v1/categories/<category_id>/documents`

- 以下の詳細を指定した POST メソッドを使用します。
 - URL: `http://<base URL>/v1/categories/<category_id>/documents`

① 注記

<category_id> は、ドキュメントを割り当てるカテゴリ ID です。サーバで利用できる有効なカテゴリを取得するには、関連トピックを参照してください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="string">7278</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

タスク結果: 指定したドキュメントが URL で渡されたカテゴリ ID に割り当てられます。サーバにより、"成功" メッセージとともにステータスが示されます。

関連情報

[カテゴリの一覧表示 \[265 ページ\]](#)

7.14.6 ドキュメントからのカテゴリの削除

BI ドキュメントに割り当てられたカテゴリを削除できます。

DELETE `http://<base URL>/v1/categories/<category_id>/documents`

- 以下の詳細を指定した DELETE メソッドを使用します。
 - URL: `http://<base URL>/v1/categories/<category_id>/documents`

① 注記

<category_id> は、ドキュメントを削除するカテゴリ ID です。ドキュメントのカテゴリ詳細を取得するには、関連トピックを参照してください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文:

```
feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="string">7278</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

タスク結果: 指定したドキュメントが URL で渡されたカテゴリ ID から削除されます。サーバにより、"成功" メッセージとともにステータスが表示されます。

関連情報

[ドキュメントのカテゴリ詳細の取得 \[293 ページ\]](#)

7.14.7 さまざまな宛先へのドキュメントの送信

RESTful Web サービス API を使用すると、ドキュメントをファイルの出力先、ユーザのメールボックス (SMTP)、FTP の保存場所、または BI 受信ボックスに送信できます。

a. ユーザの BI 受信ボックスへのドキュメントの送信

GET `http://<baseURL>/v1/documents/destinations/inbox`

- GET メソッドを使用すると、以下の詳細で要求本文を取得できます。
- URL: `http://<baseURL>/v1/documents/destinations/inbox`

① 注記

<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (host:<port>/biprws など) に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし
サーバから要求テンプレートを受け取ります。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <title type="text">SendToInbox</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="docid" type="string"></attr>
        <attr name="usergroupid" type="string"></attr>
        <attr name="userid" type="string"></attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

POST http://<baseUrl>/v1/documents/destinations/inbox

- POST メソッドを使用すると、送信要求をポストし、本文に特定の詳細を渡すことができます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <title type="text">SendToInbox</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="docid" type="string">6754</attr>
        <attr name="usergroupid" type="string"></attr>
        <attr name="userid" type="string">albert.doughlas@sap.com</
      attr>
    </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

① 注記

- 毎回デフォルトの要求本文を使用して特定のドキュメントを送信する場合は、クエリパラメータ 'usedefaults' (たとえば、http://host:<port>/biprws/vx/documents/destinations/inbox?usedefaults=true) を使用できます。docid でポストできる以下の要求本文を受け取ります。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
```

```

<entry>
  <title type="text">SendToInbox</title>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="docid" type="string"></attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
</feed>

```

- 他のオプションのクエリパラメータは ?targetname および ?shortcut です。

タスク結果: 特定のドキュメントが指定したユーザに送信されます。

b. ディスクの場所へのドキュメントの送信

GET `http://<baseURL>/v1/documents/destinations/disk`

- GET メソッドを使用すると、以下の詳細で要求本文を取得できます。
 - URL: `http://<baseURL>/v1/documents/destinations/disk`

① 注記

<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (host:<port>/biprws など) に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし
以下の応答がサーバから返されます。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <title type="text">SendToFileSystem</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="password" type="string"></attr>
        <attr name="docid" type="string"></attr>
        <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
        <attr name="directory" type="string">.</attr>
        <attr name="username" type="string"></attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

POST `http://<baseURL>/v1/documents/destinations/disk`

- POST メソッドを使用すると、同じ URL およびヘッダと、特定の詳細を指定した本文を使用して、送信要求をポストできます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <title type="text">SendToFileSystem</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="password" type="string">bobobo</attr>
        <attr name="docid" type="string">5458</attr>
        <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
        <attr name="directory" type="string">.C:¥</attr>
        <attr name="username" type="string">administrator</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

① 注記

- 毎回デフォルトの要求本文を使用する場合は、クエリパラメータ 'usedefaults' (たとえば、`http://host:<port>/biprws/vx/documents/destinations/disk?usedefaults=true`) を使用できます。docid でポストできる以下の要求本文を受け取ります。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <title type="text">SendToFileSystem</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="docid" type="string"></attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

タスク結果: 特定のドキュメントが指定したディスクの場所に送信されます。

c. 電子メール (SMTP) によるドキュメントの送信

GET `http://<baseURL>/v1/documents/destinations/smtp`

- GET メソッドを使用すると、以下の詳細で要求本文を取得できます。
 - URL: `http://<baseURL>/v1/documents/destinations/smtp`

① 注記

<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (`host:<port>/biprws` など) に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし
サーバから以下の要求テンプレートを受け取ります。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <title type="text">SendToEmail</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cc" type="string"></attr>
        <attr name="bcc" type="string"></attr>
        <attr name="docid" type="string"></attr>
        <attr name="subject" type="string"></attr>
        <attr name="from" type="string"></attr>
        <attr name="to" type="string"></attr>
        <attr name="useattachment" type="bool">true</attr>
        <attr name="message" type="string"></attr>
        <attr name="targetObjectName" type="string"></attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

POST `http://<baseURL>/v1/documents/destinations/smtp`

- POST メソッドを使用すると、同じ URL およびヘッダと、特定の詳細を指定した本文を使用して、送信要求をポストできます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <title type="text">SendToEmail</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cc" type="string">g.garg@sap.com</attr>
        <attr name="bcc" type="string"></attr>
        <attr name="docid" type="string">5438</attr>
        <attr name="subject" type="string">Sales Reports</attr>
        <attr name="from" type="string">bob.walter@sap.com</attr>
        <attr name="to" type="string">albert.waterman@sap.com</attr>
        <attr name="useattachment" type="bool">true</attr>
        <attr name="message" type="string">Find my reports attached
please!</attr>
        <attr name="targetObjectName" type="string"></attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

① 注記

- 毎回デフォルトの要求本文を使用して特定のドキュメントを送信する場合は、クエリパラメータ 'usedefaults' (たとえば、`http://host:<port>/biprws/vx/documents/destinations/`

smtp?usedefaults=true)を使用できます。docid でポストできる以下の要求本文を受け取ります。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <title type="text">SendToEmail</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="docid" type="string"></attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

- セントラル管理コンソール (CMC) で SMTP 用に以下を設定します。
 - ドメイン名
 - ホスト
 - ポート

タスク結果: 本文で渡された属性値に基づいて、特定のドキュメントが電子メールで送信されます。

d. FTP の保存場所へのドキュメントの送信

GET http://<baseURL>/v1/documents/destinations/ftp

- GET メソッドを使用すると、以下の詳細で要求本文を取得できます。
 - URL: http://<baseURL>/v1/documents/destinations/ftp

① 注記

<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (host:<port>/biprws など) に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし
サーバから以下の要求テンプレートを受け取ります。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <title type="text">SendToFtp</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="password" type="string"></attr>
        <attr name="port" type="int32">21</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

```

        <attr name="docid" type="string"></attr>
        <attr name="host" type="string"></attr>
        <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
        <attr name="directory" type="string">.</attr>
        <attr name="account" type="string"></attr>
        <attr name="username" type="string"></attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

POST `http://<baseURL>/v1/documents/destinations/ftp`

- POST メソッドを使用すると、同じ URL およびヘッダと、特定の詳細を指定した本文を使用して、送信要求をポストできます。
タスク結果: 本文で渡された属性値に基づいて、特定のドキュメントが FTP の保存場所へ送信されます。

e. SFTP の保存場所へのドキュメントの送信

GET `http://<baseURL>/v1/documents/destinations/sftp`

- GET メソッドを使用すると、以下の詳細で要求本文を取得できます。
 - URL: `http://<baseURL>/v1/documents/destinations/sftp`

① 注記

<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (host:<port>/biprws など) に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし
以下の応答がサーバから返されます。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <title type="text">SendToSftp</title>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="password" type="string"></attr>
        <attr name="port" type="int32">22</attr>
        <attr name="docid" type="string"></attr>
        <attr name="host" type="string"></attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

```

        <attr name="targetobjectname" type="string"></attr>
        <attr name="directory" type="string">.</attr>
        <attr name="fingerPrint" type="string"></attr>
        <attr name="account" type="string"></attr>
        <attr name="username" type="string"></attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

POST `http://<baseURL>/v1/documents/destinations/sftp`

- POST メソッドを使用すると、送信要求をポストし、コピーした本文テンプレートに特定の詳細を渡すことができます。
タスク結果: 本文で渡された属性値に基づいて、特定のドキュメントが FTP の保存場所へ送信されます。

7.14.8 ドキュメントの削除

DELETE `http://<baseURL>/v1/documents/<document_id>`

DELETE メソッドを使用して、ドキュメントを削除します。

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: DELETE `http://<baseURL>/v1/documents/<document_id>`
- ヘッダ:

名前	値
Content Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- 本文:
XML エントリに削除操作の成功または失敗メッセージが表示されます。ここでは、成功したドキュメントの削除の例を示します。

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="status" type="string">success</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

```
</attrs>
</content>
</entry>
```

7.15 ごみ箱のアイテムの管理

この節では、ごみ箱内のアイテムの管理に使用できる RESTful API について説明します。

7.15.1 ごみ箱のアイテムの一覧表示

GET `http://<baseUrl>/v1/recyclebin`

要求:

- メソッド: **GET**
- URL: `http://<baseUrl>/v1/recyclebin`
<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (10.10.10.10:<port>/biprws など) に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LogonToken	ログオントークン値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LogonToken	ログオントークン値。

- 以下のようにごみ箱のアイテムを示す本文が表示されます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Recycle Bin</title>
```



```

<updated>2016-08-18T10:58:08.349Z</updated>
<link href="http://10.208.40.31:6405/biprws/v1/recyclebin?
page=1&pagesize=50" rel="self"/>
<link href="http://10.208.40.31:6405/biprws/v1/recyclebin?
page=1&pagesize=50" rel="first"/>
<link href="http://10.208.40.31:6405/biprws/v1/recyclebin?
page=1&pagesize=50" rel="last"/>
<entry>
  <title type="text">1 - 6362</title>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AcIy1BRuniVDgoxERaUq378</attr>
      <attr name="deleteddate" type="string">Thu Aug 18 11:19:49
CEST 2016</attr>
      <attr name="name" type="string">1 - 6362</attr>
      <attr name="id" type="string">6363</attr>
      <attr name="type" type="string">Folder</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="parentid" type="string">6359</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
</feed>

```

7.15.2 ごみ箱のアイテムのプロパティの取得

GET http://<baseURL>/v1/recyclebin/<doc_ID>

要求:

- メソッド: **GET**
- URL: http://<baseURL>/v1/recyclebin/<doc_ID>
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL (10.10.10.10:<port>/biprws など) に置き換え、<doc_ID> は、プロパティを表示するドキュメントの ID に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LoginToken	ログオントークン値。

- 本文: なし

応答:

- サーバ応答により、所有者、削除された日付、CUID、タイプ、親など、アイテムのプロパティが表示されます。以下に例を示します。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Recycle Bin</title>

```

```

<updated>2016-08-18T10:58:08.349Z</updated>
<link href="http://10.208.40.31:6405/biprws/v1/recyclebin?
page=1&pagesize=50" rel="self"/>
<link href="http://10.208.40.31:6405/biprws/v1/recyclebin?
page=1&pagesize=50" rel="first"/>
<link href="http://10.208.40.31:6405/biprws/v1/recyclebin?
page=1&pagesize=50" rel="last"/>
<entry>
  <title type="text">1 - 6362</title>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="owner" type="string">Administrator</attr>
      <attr name="path" type="string">Root Folder</attr>
      <attr name="cuid" type="string">AcIylBRuniVDgoxERaUq378</attr>
      <attr name="parentcuid"
type="string">CQFFAAAA9FZpPn7XfU2Ust.ltEwspg</attr>
      <attr name="deleteddate" type="string">Thu Aug 18 11:19:49 CEST
2016</attr>
      <attr name="name" type="string">1 - 6362</attr>
      <attr name="id" type="string">6363</attr>
      <attr name="ownerid" type="string">12</attr>
      <attr name="type" type="string">Folder</attr>
      <attr name="parentid" type="string">6359</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
</feed>

```

7.15.3 ごみ箱からのアイテムの復元

PUT `http://<baseURL>/v1/recyclebin`

要求:

- メソッド: **PUT**
- URL: `http://<baseURL>/v1/recyclebin`
`<baseURL>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL (10.10.10.10:<port>/biprws など) に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LogonToken	ログオントークン値。

- 本文: 以下の例に示すように、復元するアイテムの ID (または CUID) を入力します。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>

```

```

    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="string">7278</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

応答: ステータスメッセージが以下のように表示されます。

```

<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="result" type="string">success</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>

```

7.15.4 ごみ箱からのアイテムの削除

DELETE `http://<baseURL>/v1/recyclebin`

要求:

- メソッド: **DELETE**
- URL: `http://<baseURL>/v1/recyclebin`
`<baseURL>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL (10.10.10.10:<port>/biprws など) に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LogonToken	ログオントークン値。

- 本文: 以下の例に示すように、完全に削除するアイテムの ID (または CUID) を入力します。

```

<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>

    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="string">7278</attr>
        <attr name="read" type="bool">true</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

結果: 以下の例に示すように、ステータスメッセージがサーバ応答に表示されます。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="result" type="string">success</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.16 アラートおよび通知の管理

この節では、BI ラウンチパッドのアラートおよび通知の管理に使用する RESTful API に関する情報を示します。

7.16.1 現在のユーザのアラートの一覧表示

GET `http://<base URL>/v1/notification`

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET `http://<base URL>/v1/notification`
<baseURL> は、host:port/biprws などの RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

結果: 使用可能なアラートがサーバ応答に表示されます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <link href="http://10.160.206.203:6405/biprws/v1/notification?
page=1&pagesize=50" rel="self"/>
  <link href="http://10.160.206.203:6405/biprws/v1/notification?
page=1&pagesize=50" rel="first"/>
  <link href="http://10.160.206.203:6405/biprws/v1/notification?
page=1&pagesize=50" rel="last"/>
```

```

    <link href="http://10.160.206.203:6405/biprws/v1/notification?
page=1&pagesize=50" rel="self"/>
    <link href="http://10.160.206.203:6405/biprws/v1/notification?
page=1&pagesize=50" rel="first"/>
    <link href="http://10.160.206.203:6405/biprws/v1/notification?
page=1&pagesize=50" rel="last"/>

    <entry>

    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AVQdj2PwwO9GqskQPV3iWks</attr>

        <attr name="created" type="string">Mon Sep 19 18:16:33 PDT 2016</
attr>
        <attr name="name"
type="string">MASTERSHAKE.CentralManagementServer Watch Caution Event</attr>
        <attr name="id" type="string">5957</attr>
        <attr name="message" type="string">%0A%0DThe metrics that have
crossed their respective thresholds: %0D
MASTERSHAKE.CentralManagementServer%24'Current Number of Auditing Events in the
Queue'</attr>
        <attr name="updated" type="datetime">2016-09-20T04:56:20.844Z</
attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="cuid" type="string">AWJ93gzKmKRBqVwkhgjPLUY</attr>
        <attr name="created" type="string">Mon Sep 19 18:16:38 PDT 2016</
attr>
        <attr name="name" type="string">Core Services Watch Caution
Event</attr>
        <attr name="id" type="string">5958</attr>
        <attr name="message" type="string">%0A%0DThe metrics that have
crossed their respective thresholds:
%0DMASTERSHAKE.CentralManagementServer%24'Health State'</attr>
        <attr name="updated" type="datetime">2016-09-20T04:56:20.860Z</
attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>

```

7.16.2 アラートの詳細の取得

GET http://<base URL>/v1/notification/<ID>

GET メソッドを使用して、特定のアラートの詳細を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET http://host:port/biprws/v1/notification/<id>

<baseUrl> は、host:port/biprws などの RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。

① 注記

<id> は、詳細を表示する必要がある通知/アラートの ID または CUID です。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

結果: 以下の例に示すように、受け取ったサーバ応答にアラートの詳細が表示されます。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="read" type="bool">false</attr>
      <attr name="name" type="string">Consolidated Health Watch Caution
Event</attr>
      <attr name="endtime" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="int32">6528</attr>
      <attr name="starttime" type="string"></attr>
      <attr name="message" type="string">[Reminder : Caution Rule
evaluated to true for "Consolidated Health Watch" watch., Reminder :
&#xd;Danger Rule: ServiceCategories$'Health State'==0|| EnterpriseNodes$'Health
State'==0, Reminder :
&#xd;Caution Rule: ServiceCategories$'Health State'==1|| EnterpriseNodes$'Health
State'==1, Reminder :
&#xd;The metrics that have crossed their respective thresholds:
&#xd;ServiceCategories$'Health State']</attr>
      <attr name="updated" type="string">Wed Sep 21 21:56:26 PDT 2016</
attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.16.3 アラートの編集

アラートを既読としてマークするには、アラートを編集します。

POST http://<base URL>/v1/notification

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<base URL>/v1/notification

<baseURL> は、host:port/biprws などの RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: 以下に示すように、編集する必要があるアラートの ID または CUID を渡します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="string">3468</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

→ ヒント

- ドキュメントを "read" とマークするには値を 'true' として渡し、ドキュメントステータスを "unread" に変更するには値を 'false' として渡します。
- 有効なアラート ID/CUID を取得するには、関連トピックで説明されているようにアラート詳細を取得します。

結果: アラートが正常に編集されたことを示すステータスメッセージが表示されます。

関連情報

[アラートの詳細の取得 \[309 ページ\]](#)

7.16.4 アラートの削除

DELETE http://<base URL>/v1/notification

要求:

- メソッド: DELETE
- URL: http://<baseURL>/v1/notification

<baseUrl> は、host:port/biprws などの RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。

- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: 以下に示すように、削除する必要があるアラートの **CUID** または **ID** を渡します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="string">7278</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

→ ヒント

有効なアラート ID を取得するには、関連トピックで説明されているようにアラート詳細を取得します。

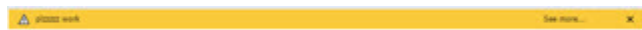
応答: アラートが正常に削除されたことを示すステータスメッセージが表示されます。

関連情報

[アラートの詳細の取得 \[309 ページ\]](#)

7.16.5 通知バナーの詳細の取得

通知バナーを作成した場合は、BI ラウンチパッドにログオンすると、以下に示すようにページの上部に通知バナーが表示されます。



GET http://<baseUrl>/v1/notification/now

要求:

- メソッド: GET

- URL: GET `http://<baseUrl>/v1/notification/now`
`<baseUrl>` は、`host:port/biprws` などの RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

結果: バナーの詳細がサーバ応答に表示されます。

7.16.6 通知バナーの数の取得

利用可能な通知バナーの数を取得するには、Web クライアントアプリケーションで以下のメソッドと URL を使用します。

GET `http://<baseUrl>/v1/notification/count`

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET `http://<baseUrl>/v1/notification/count`
`<baseUrl>` は、`host:port/biprws` などの RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

結果: 以下の例に示すように、バナーの詳細が表示されます。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="count" type="int32">5</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.17 InfoStore

7.17.1 Infostore のオブジェクトの一覧表示

GET http://<baseURL>/v1/infostore

GET メソッドを使用してオブジェクトの一覧を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET http://<baseURL>/v1/infostore
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
BOE システムで作成されたすべてのオブジェクトの XML フィードが表示されます。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">InfoStore (@W2K12R2:6400)</title>
  <updated>2016-05-31T08:51:05.128Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore?
page=1&pagesize=50" rel="self"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore?
page=1&pagesize=50" rel="first"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore?
page=1&pagesize=50" rel="last"/>
  <entry>
```

```

<title type="text">Alert Notifications</title>
<author>
  <name>System Account</name>
</author>
<updated>2016-05-30T08:15:10.953Z</updated>
<link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/
Alert%20Notifications" rel="alternate"/>
<content type="application/xml">
  <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
    <attr name="cuid" type="string">ARZB.BFCQk9PqagDpcFwolw</attr>
    <attr name="name" type="string">Alert Notifications</attr>
    <attr name="description" type="string" null="true"/>
    <attr name="id" type="string">64</attr>
    <attr name="type" type="string">Folder</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
  <title type="text">Application Folder</title>
  <author>
    <name>System Account</name>
  </author>
  <updated>2016-05-30T08:15:26.157Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/
Application%20Folder" rel="alternate"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">AdoctK9hlsBHp3I6uG0Sh7M</attr>
      <attr name="name" type="string">Application Folder</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">43</attr>
      <attr name="type" type="string">Folder</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
</feed>

```

オブジェクトの並べ替え

並べ替えは、系統立った順序でオブジェクトを並べるプロセスです。

以下の属性に基づいて、オブジェクトを昇順または降順で並べ替えることができました。

- 名前
- 説明
- ユーザの ID
- タイプ
- cuid

並べ替えおよびフィルタのためのクエリパラメータは以下のとおりです。

クエリパラメータ

パラメータ名	パラメータ値
並べ替え	<p>sort=<+/-><attribute></p> <div><p>① 注記</p><ul style="list-style-type: none">昇順の場合、値は +降順の場合、値は -デフォルトでは、オブジェクトはユーザグループの名前に基づく昇順で並べ替えられます。</div> <div><p>❖ 例</p><p>sort=+name</p></div> <div><p>❖ 例</p><p>sort=-name</p></div> <div><p>❖ 例</p><p>sort=+cuid</p></div> <div><p>❖ 例</p><p>sort=-cuid</p></div>
ページング	<ul style="list-style-type: none">page=<page number>pagesize=<number> pagesize は、応答に表示されるオブジェクトの数です。 <div><p>① 注記</p><p>デフォルトでは page=1 および pagesize=50 です。つまり、応答では、ページ番号 1 の 1 ページに、先頭の 50 個のオブジェクトが表示されます。</p></div>

URL: GET http://<baseUrl>/v1/infostore?sort=<name>&page=<page number>&pagesize=<number>

❖ 例

URL: GET http://<baseUrl>/v1/objects?sort=+name&page=2&pagesize=5

要求を送信すると、5 個のオブジェクトと、昇順で並べ替えられたオブジェクトの一覧を含む、2 番目のページが応答に表示されます。

7.17.2 オブジェクト詳細の取得

GET http://<baseUrl>/v1/infostore/<object_Id>

GET メソッドを使用してオブジェクト詳細を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET http://<baseUrl>/v1/infostore/<object_Id>
<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
BOE システムのオブジェクト詳細の XML テンプレートが表示されます。ここでは、オブジェクト ID=64 のリソースのオブジェクト詳細の例を示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>System Account</name>
  </author>
  <title type="text">Alert Notifications</title>
  <updated>2016-06-09T04:57:17.054Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore" rel="up"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">ARZB.BFCQk9PqaqDpcFwolw</attr>
      <attr name="name" type="string">Alert Notifications</attr>
      <attr name="description" type="string" null="true"/>
      <attr name="id" type="string">64</attr>
      <attr name="type" type="string">Folder</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

```
    </attrs>
  </content>
</entry>
```

7.17.3 オブジェクトの子の一覧表示

GET http://<baseUrl>/v1/infostore/<object_Id>/children

GET メソッドを使用してオブジェクトの子の詳細を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET http://<baseUrl>/v1/infostore/<object_Id>/children
<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
BOE システムのオブジェクトの子の詳細の XML テンプレートが表示されます。ここでは、オブジェクト ID=22 のリソースのオブジェクト詳細の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">Children of Calendars</title>
  <updated>2016-06-13T10:18:58.439Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/22/children?
page=1&pagesize=50" rel="self"/>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/22/children?
page=1&pagesize=50" rel="first"/>
```

```

<link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/22/children?
page=1&pagesize=50" rel="last"/>
<entry>
  <title type="text">new calendar</title>
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <updated>2016-06-10T09:11:29.229Z</updated>
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/6714"
rel="alternate"/>
  <content type="application/xml">
    <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
      <attr name="cuid" type="string">ARQOTd0mvLNHlxWFQ7HcgD8</attr>
      <attr name="name" type="string">new calendar</attr>
      <attr name="description" type="string"></attr>
      <attr name="id" type="string">6714</attr>
      <attr name="type" type="string">Calendar</attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
</feed>

```

オブジェクトの並べ替え

並べ替えは、系統立った順序でオブジェクトの子を並べるプロセスです。

以下の属性に基づいて、特定のオブジェクトの子を昇順または降順で並べ替えることができますようになりました。

- 名前
- 説明
- ユーザの ID
- タイプ

並べ替えおよびフィルタのためのクエリパラメータは以下のとおりです。

クエリパラメータ

パラメータ名	パラメータ値
並べ替え	sort=<+/-><attribute> <div> <p>① 注記</p> <ul style="list-style-type: none"> • 昇順の場合、値は + • 降順の場合、値は - • デフォルトでは、特定のオブジェクトの子はユーザーグループの名前に基づく昇順で並べ替えられます。 </div> <div> <p>❖ 例</p> <p>sort=+name</p> </div>

パラメータ名	パラメータ値
ページング	<ul style="list-style-type: none"> • page=<page number> • pagesize=<number> pagesize は、応答に表示される特定のオブジェクトの子の数です。

① 注記

デフォルトでは page=1 および pagesize=50 です。つまり、応答では、ページ番号 1 の 1 ページに、特定のオブジェクトの子のうち、先頭の 50 個が表示されます。

URL: GET `http://<baseUrl>/v1/infostore/<object_Id>/children?sort=<name>&page=<page number>&pagesize=<number>`

❖ 例

URL: GET `http://<baseUrl>/v1/22/children?sort=+name&page=2&pagesize=5`

要求を送信すると、5 個の子と、昇順で並べ替えられた子の一覧を含む、2 番目のページが応答に表示されます。

7.17.4 オブジェクトの関係の一覧表示

GET `http://<baseUrl>/v1/infostore/<object_id>/relationships/<type>`

リソースに対する RESTful Web サービス要求の末尾に `/relationships/<type>` を追加して、そのリソースの関係を取得できます。

GET メソッドを使用してオブジェクト詳細を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET `http://<baseUrl>/v1/infostore/<object_id>/relationships/<type>`
<baseUrl> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content-Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LoginToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
BOE システムでの別のオブジェクトとのオブジェクト関係の XML テンプレートが表示されます。ここでは、オブジェクト ID=12 および type=userGroups のリソースのオブジェクト詳細の例を示します。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <author>
    <name>Administrator</name>
    <uri>http://localhost2:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
  </author>
  <title type="text">InfoObjects related to Administrator via userGroups</title>
  <updated>2016-06-13T12:02:36.923Z</updated>
  <entry>
    <title type="text">1</title>
    <link href="http://localhost2:6405/biprws/v1/infostore/12/relationships/userGroups/1" rel="self"/>
    <link href="http://localhost2:6405/biprws/v1/infostore/1" rel="related"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="string">1</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">2</title>
    <link href="http://localhost2:6405/biprws/v1/infostore/12/relationships/userGroups/2" rel="self"/>
    <link href="http://localhost2:6405/biprws/v1/infostore/2" rel="related"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="string">2</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <title type="text">3</title>
    <link href="http://localhost2:6405/biprws/v1/infostore/12/relationships/userGroups/3" rel="self"/>
    <link href="http://localhost2:6405/biprws/v1/infostore/3" rel="related"/>
    <content type="application/xml">
      <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
        <attr name="id" type="string">3</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
</feed>
```

```
</feed>
```

7.17.5 オブジェクト間の関係の詳細の取得

GET `http://<baseURL>/v1/infostore/<object_id>/relationships/<type>/<another_object_id>`

リソースに対する RESTful Web サービス要求の末尾に `/relationships/<type>/<another_object_id>` を追加して、そのリソースの関係を取得できます。

GET メソッドを使用してオブジェクト詳細を取得します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: GET `http://<baseURL>/v1/infostore/<object_id>/relationships/<type>/<another_object_id>`
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Content Type	application/xml
Accept	application/xml
X-SAP-LogonToken	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Date	応答の日付と時刻。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:
BOE システムでの別のオブジェクトとのオブジェクト関係の XML テンプレートが表示されます。ここでは、オブジェクト ID=12、type=userGroups、および ID=1 のリソースのオブジェクト詳細の例を示します。

```
<entry xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <title type="text">1</title>
```

```
<author>
  <name>Administrator</name>
  <uri>http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/12</uri>
</author>
<link href="http://localhost:6405/biprws/v1/infostore/1" rel="related"/>
<content type="application/xml">
  <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
    <attr name="id" type="string">1</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
```

8 CMS クエリ

この API は、SQL クエリをパラメータとして入力することにより、任意のオブジェクトの取得に使用されます。

クエリ結果を取得するには、`/v1/cmsquery` URI を使用します。

- GET メソッドを使用して、要求本文の XML テンプレートを取得します。
- POST メソッドを使用してクエリを処理し、クエリ結果を取得します。

GET `http://<baseURL>/v1/cmsquery`

`/v1/cmsquery` に GET 要求を行って、同じ URL への POST 要求の要求本文で利用できるテンプレートを受信します。

要求:

- メソッド: GET
- URL: `http://<baseURL>/v1/cmsquery`
`<baseURL>` は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content Type	application/xml
X-SAP-LOGONTOKEN	引用符で囲んだログオントークンの値。

- 本文: なし

応答:

- ヘッダ:

名前	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文: POST 要求の要求本文にデータを設定するために使用できる XML テンプレート。

```
<attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="query" type="string"></attr>
</attrs>
```

POST http://<baseURL>/v1/cmsquery

クエリ結果を取得するには、/v1/cmsquery に POST 要求を行います。

要求:

- メソッド: POST
- URL: http://<baseURL>/v1/cmsquery
<baseURL> は、RESTful Web サービス要求のベース URL に置き換えてください。
- ヘッダ:

名前	値
Accept	application/xml
Content-Type	application/xml
X-SAP-LOGONTOKEN	LOGONTOKEN

- 本文:

```
<attrs
  xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
  <attr name="query" type="string"><Sample_Query></attr>
</attrs>
```

- <attr name="query" type="string"><SELECT ATTRIBUTE NAME></attr> を使用して、クエリ文字列を定義します。

応答:

- ヘッダ:

属性	値
Status Code	HTTP 応答コード。
Server	サーバのタイプ。
X-SAP-LogonToken	ログオントークン。
Content-Type	応答本文のコンテンツの種類。
Content-Length	応答本文のコンテンツの長さ。

- 本文:

応答本文にはクエリ結果が含まれています。

① 注記

以下の例では、読みやすくするために2つの結果が表示されますが、実際のシナリオでは、戻されるオブジェクトの数に応じて、フィードには複数のページが含まれる場合があります。

```
<feed xmlns="http://www.w3.org/2005/Atom">
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/cmsquery?page=1&pagesize=50"
    rel="self" />
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/cmsquery?page=1&pagesize=50"
    rel="first" />
  <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/cmsquery?page=2&pagesize=50"
    rel="next" />
```

```

    <link href="http://localhost:6405/biprws/v1/cmsquery?page=4&pagesize=50"
rel="last" />
    <entry>
      <content type="application/xml">
        <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
          <attr name="SI_DESCRIPTION" type="string"></attr>
          <attr name="SI_ID" type="integer">18</attr>
          <attr name="SI_NAME" type="string">User Folders</attr>
          <attr name="SI_CUID" type="string">AWigQI18AAZJoXfRHLzWJ2c</
attr>
          <attr name="SI_SPECIFIC_KIND" type="string">Folder</attr>
          <attr name="SI_OWNERID" type="integer">10</attr>
          <attr name="SI_UPDATE_TS" type="date">Tue May 17 00:02:09 PDT
2016</attr>
        </attrs>
      </content>
    </entry>
    <entry>
      <content type="application/xml">
        <attrs xmlns="http://www.sap.com/rws/bip">
          <attr name="SI_DESCRIPTION" type="string"></attr>
          <attr name="SI_ID" type="integer">23</attr>
          <attr name="SI_NAME" type="string">Root Folder</attr>
          <attr name="SI_CUID" type="string">ASHnC0S_Pw5LhKFbZ.iA_j4</
attr>
          <attr name="SI_SPECIFIC_KIND" type="string">Folder</attr>
          <attr name="SI_OWNERID" type="integer">10</attr>
          <attr name="SI_UPDATE_TS" type="date">Tue May 17 00:31:31 PDT
2016</attr>
        </attrs>
      </content>
    </entry>
  </feed>

```

9 BI 管理者のコックピット

9.1 サーバ

この節では、以下の操作を実行するために使用する API について説明します。

- [サーバ数 \[327 ページ\]](#)
- [サーバー一覧 \[328 ページ\]](#)
- [サーバの詳細 \[333 ページ\]](#)
- [サーバの起動 \[334 ページ\]](#)

9.1.1 サーバ数

この API は、サーバ数を表示するために使用します。

サーバ数を確認するには、`http://<baseURL>/bionbi/server/` URI を使用します。

この API は、GET メソッドをサポートします。

GET `http://<baseURL>/bionbi/server/`

この API を使用して `/bionbi/server/` URI に GET 要求を行うと、以下の応答を受信します。

応答:

- 応答には、サーバの合計数が、実行中、停止、および失敗ステータスのサーバの数とともに表示されます。

```
<feed>
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/infostore</id>
<title type="text">Metrics for ServersCountByState</title>
<updated>2015-06-11T09:07:01.420Z</updated>
  <entry>
    <author>
      <name>@win-2k8r2-x64:6400</name>
    </author>
    <updated>2015-06-11T09:07:01.685Z</updated>
    <content type="application/xml">
      <attrs>
        <attr name="count" type="int32">19</attr>
        <attr name="status_type" type="string">RUNNING</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
```

```

<entry>
<author>
<name>@win-2k8r2-x64:6400</name>
</author>
<updated>2015-06-11T09:07:01.685Z</updated>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="count" type="int32">20</attr>
<attr name="status_type" type="string">TOTAL</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<author>
<name>@win-2k8r2-x64:6400</name>
</author>
<updated>2015-06-11T09:07:01.685Z</updated>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="count" type="int32">0</attr>
<attr name="status_type" type="string">FAILED</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
</feed>

```

9.1.2 サーバ一覧

この API は、サーバを一覧表示するために使用します。

サーバを一覧表示するには、`http://<baseURL>/bionbi/server/list` URI を使用します。

この URI は、GET メソッドをサポートします。

GET `http://<baseURL>/bionbi/server/list`

この API を使用して `/bionbi/server/list` URI に GET 要求を行うと、以下の応答を受信します。

応答:

- 応答には、サーバの一覧が、CMS 内の名前、タイプ、ステータス、無効、最終更新日時などの詳細とともに表示されます。

- **① 注記**

応答には、ページ間の移動に使用できるナビゲーションリンクの詳細も表示されます。

```

<feed>
<id>
tag:sap.com,2010:bip-rs/bionbi
</id>
<updated>
2015-07-23T05:00:53.565Z
</updated>
<title type="text">
Metrics for ServersListForState - ALL

```



```

</title>
<link href="http://10.160.192.169:6405/biprws/bionbi/server/list/-1?
page=2&pageSize=5&sortType=DESC" rel="self" />
<link href="http://10.160.192.169:6405/biprws/bionbi/server/list/-1?
page=1&pageSize=5&sortType=DESC" rel="first" />
<link href="http://10.160.192.169:6405/biprws/bionbi/server/list/-1?
page=3&pageSize=5&sortType=DESC" rel="next" />
<link href="http://10.160.192.169:6405/biprws/bionbi/server/list/-1?
page=1&pageSize=5&sortType=DESC" rel="previous" />
<link href="http://10.160.192.169:6405/biprws/bionbi/server/list/-1?
page=4&pageSize=5&sortType=DESC" rel="last" />
<entry>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="cuid" type="string">
AR0rjLlQ8.ZMitZHciyCY8E
</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">
16
</attr>
<attr name="status_type" type="string">
RUNNING
</attr>
<attr name="description" type="string">
Web Intelligence Processing Server
</attr>
<attr name="disabled" type="string">
Enabled
</attr>
<attr name="id" type="int32">
1242
</attr>
<attr name="title" type="string">
MASTERSHAKE.WebIntelligenceProcessingServer
</attr>
<attr name="last_modified" type="string">
Jul 22, 2015 9:50 PM
</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="cuid" type="string">
AalIHU17j45Kl7..G_7p6PE
</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">
16
</attr>
<attr name="status_type" type="string">
RUNNING
</attr>
<attr name="description" type="string">
Connection Server (32-bit)
</attr>
<attr name="disabled" type="string">
Enabled
</attr>
<attr name="id" type="int32">
1226
</attr>
<attr name="title" type="string">
MASTERSHAKE.ConnectionServer32
</attr>
<attr name="last_modified" type="string">
Jul 22, 2015 9:50 PM
</attr>

```

```

    </attrs>
  </content>
</entry>
<entry>
  <content type="application/xml">
    <attrs>
      <attr name="cuid" type="string">
        Ac9.Y2465eRNvsXAojovONk
      </attr>
      <attr name="parent_id" type="int32">
        16
      </attr>
      <attr name="status_type" type="string">
        RUNNING
      </attr>
      <attr name="description" type="string">
        Connection Server
      </attr>
      <attr name="disabled" type="string">
        Enabled
      </attr>
      <attr name="id" type="int32">
        1205
      </attr>
      <attr name="title" type="string">
        MASTERSHAKE.ConnectionServer
      </attr>
      <attr name="last_modified" type="string">
        Jul 22, 2015 9:50 PM
      </attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
<entry>
  <content type="application/xml">
    <attrs>
      <attr name="cuid" type="string">
        Ad3iH88bXNlHnyVOC6r.ibU
      </attr>
      <attr name="parent_id" type="int32">
        16
      </attr>
      <attr name="status_type" type="string">
        RUNNING
      </attr>
      <attr name="description" type="string">
        Event Server
      </attr>
      <attr name="disabled" type="string">
        Enabled
      </attr>
      <attr name="id" type="int32">
        1296
      </attr>
      <attr name="title" type="string">
        MASTERSHAKE.EventServer
      </attr>
      <attr name="last_modified" type="string">
        Jul 22, 2015 9:50 PM
      </attr>
    </attrs>
  </content>
</entry>
<entry>
  <content type="application/xml">
    <attrs>
      <attr name="cuid" type="string">
        AXTecp48TA5Kk17rp9e0ZBo

```

```

</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">
16
</attr>
<attr name="status_type" type="string">
RUNNING
</attr>
<attr name="description" type="string">
Dashboards Processing Server
</attr>
<attr name="disabled" type="string">
Enabled
</attr>
<attr name="id" type="int32">
1169
</attr>
<attr name="title" type="string">
MASTERSHAKE.DashboardsProcessingServer
</attr>
<attr name="last_modified" type="string">
Jul 22, 2015 9:50 PM
</attr>
</attrs>
</content>
</entry>
</feed>

```

この URI を使用して、以下のようなさまざまな操作を実行することができます。

- ステータスに基づいたサーバの一覧表示
- ページごとのサーバの一覧表示
- サーバの並べ替え

ステータスに基づいたサーバの一覧表示:

この API を使用して、特定のステータスのサーバを一覧表示することができます。

事前定義済みのサーバステータスの値を以下に示します。

サーバステータスの値の表

キーワード	事前定義済みの値
Public static final int STOPPED	0
Public static final int STARTING	1
Public static final int INITIALIZING	2
Public static final int RUNNING	3
Public static final int STOPPING	4
Public static final int FAILED	5
Public static final int RUNNING_WITH_ERRORS	6
Public static final int RUNNING_WITH_WARNINGS	7

http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/server/list/<Server_State_value> を使用して、特定のステータスのサーバを一覧表示します。

パラメータの説明

パラメータ名	説明
<Server_State_value>	サーバステータスの値。サーバステータスの値の表を参照してください。

例: http://<baseURL>/bionbi/server/list/3 を使用して、実行中ステータスのサーバを一覧表示します。サーバのステータスの詳細については、サーバステータスの値の表を参照してください。

ページごとのサーバの一覧表示:

応答で取得したナビゲーションリンクを使用するか、以下に示すように page および pageSize パラメータの詳細を手動で入力することができます。

サーバをページごとに一覧表示するには、以下の URI を使用します。

http://<baseURL>/bionbi/server/list?page=<Page_no>&pageSize=<Max_Page_Limit>

以下の表にパラメータの説明を示します。

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
page	<Page_no>	パラメータ page ではページ番号を指定します。
pageSize	<Max_Page_Limit>	パラメータ pageSize ではページの最大制限を指定します。

① 注記

デフォルトは、pageSize=50 です。

例 1: http://<baseURL>/bionbi/server/list?page=1&pageSize=10 を使用して、1 ページに最初の 10 件のサーバ詳細を表示します。

例 2: http://<baseURL>/bionbi/server/list?page=2&pageSize=10 を使用して、2 ページ目に 11 ～ 20 件のサーバを表示します。

サーバの並べ替え:

並べ替えは、サーバの変更時刻に基づきます。

http://<baseURL>/bionbi/server/list&sortType=<Sort_Type_value> URI を使用して、昇順または降順で並べ替えを実行することができます。

以下の表にパラメータの説明を示します。

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
sortType	<Sort_Type_value>	このパラメータは、値 ASC (昇順) または DESC (降順) を値として使用します。

① 注記

デフォルトでは、<sortType> は DESC に設定されます。

例: `http://<baseURL>/bionbi/server/list&sortType=DESC` では、サーバは変更時刻に基づいて降順で表示されます。

関連情報

[サーバ数 \[327 ページ\]](#)

9.1.3 サーバの詳細

ステータス、エラーメッセージ、タイトル、説明、ID、最終更新日時、タイプなどのサーバの詳細を一覧表示するには、`http://<baseURL>/bionbi/server/<Server_ID>` URI を使用します。

この API は、GET メソッドをサポートします。

GET :`http://<baseURL>/bionbi/server/<Server_ID>`

パラメータの説明

パラメータ名	説明
<Server_ID>	サーバの SI_ID。

例: ID=1162 のサーバの詳細を確認するには、以下に示すように URI でサーバの ID を使用します。

`http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/server/1162`。GET メソッドを使用して、要求を送信します。

応答: 応答で、以下の詳細を受信します。

- ```
<feed>
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/infostore</id>
<title type="text">Metrics for ServerDetailsForServer - ID:1162</title>
<updated>2015-06-11T09:36:55.869Z</updated>
<entry>
```

```

<content type="application/xml">
 <attrs>
 <attr name="id" type="int32">1162</attr>
 <attr name="last_modified" type="datetime">2015-06-11T06:45:17.256Z</attr>
 <attr name="cuid" type="string">AaY29jpP964ZKsOM..uVmCjg</attr>
 <attr name="title" type="string">WIN2K8R2X64.AdaptiveProcessingServer</attr>
 <attr name="status_type" type="string">RUNNING</attr>
 <attr name="description" type="string">Adaptive Processing Server</attr>
 <attr name="disabled" type="bool">false</attr>
 <attr name="parent_id" type="int32">16</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
</feed>

```

## 関連情報

[サーバ数 \[327 ページ\]](#)

[サーバー一覧 \[328 ページ\]](#)

## 9.1.4 サーバの起動

失敗または停止ステータスのサーバを起動するには、`http://<baseURL>/bionbi/server/start/<Server_ID>` URI を使用します。

この API は、GET メソッドをサポートします。

### GET: `http://<baseURL>/bionbi/server/start/<Server_ID>`

パラメータの説明

パラメータ名	説明
<code>&lt;Server_ID&gt;</code>	サーバの SI_ID。

例: ID=1180 のサーバを起動するには、以下に示すように URI でサーバの ID を使用します。

`http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/server/start/1180`. GET メソッドを使用して、要求を送信します。

応答: 応答で、以下の詳細を受信します。

- ```

<feed>
  <id>sap.com,2010:bip-rs/infostore</id>
  <title type="text">Metrics for StartServer - ID:1180</title>
  <updated>2015-06-11T10:33:11.485Z</updated>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs>
        <attr name="id" type="int32">1180</attr>

```

```
<attr name="title" type="string">WIN2K8R2X64.EventServer</attr>
<attr name="action_status" type="string">Success</attr>
</attrs>
</content>
</entry>
</feed>
```

① 注記

`<action_status>` が成功の場合、起動アクションが正常にトリガされたことを意味します。サーバの実際のステータスを表示するには、サーバの詳細またはサーバ一覧 URI を使用します。

関連情報

[サーバ数 \[327 ページ\]](#)

[サーバ一覧 \[328 ページ\]](#)

[サーバの詳細 \[333 ページ\]](#)

9.2 スケジュールされたジョブ

9.2.1 ジョブ数

この API は、指定された期間にスケジュールされたジョブの数を表示するために使用します。

① 注記

指定された日時は、UTC タイムゾーンを指します。デフォルトでは、期間範囲は以下のとおりです。

- `<startDate>` は 1/1/1900 00:00:00 です。
- `<endDate>` は 1/1/2900 00:00:00 です。

ジョブ数を確認するには、`http://<baseURL>/bionbi/job/` URI を使用します。

GET `http://<baseURL>/bionbi/job/`

この API を使用して `/bionbi/job/` URI に GET 要求を行うと、以下の応答を受信します。

応答:

- 応答には、ジョブの合計数が、成功、実行中、および失敗ステータスのジョブの数とともに表示されます。

- ```

<feed>
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/bionbi</id>
<title type="text">Metrics for JobsCountByState</title>
<updated>2015-06-24T08:25:04.652Z</updated>
<author>
<name>@win-2kl2r2-x64:6400</name>
</author>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="count" type="int32">1</attr>
<attr name="status_type" type="string">SUCCESS</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="count" type="int32">0</attr>
<attr name="status_type" type="string">RUNNING</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="count" type="int32">9</attr>
<attr name="status_type" type="string">TOTAL</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="count" type="int32">8</attr>
<attr name="status_type" type="string">FAILED</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
</feed>

```

特定の期間にスケジュールされたジョブの数を確認するには、以下のように URI でクエリパラメータ `<startDate><endDate>` を使用します。

### ① 注記

指定された日時は、UTC タイムゾーンを指します。

`http://<baseURL>/bionbi/job?startDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>&endDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>`

#### パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
startDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、開始日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。
endDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、終了日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。



例: `http://<baseURL>/bionbi/job?startDate=06/12/2015 00:00:00&endDate=07/15/2015 00:00:00` では、UTC タイムゾーンの 2015 年 6 月 12 日から 2015 年 7 月 15 日の間にスケジュールされたすべてのジョブがカウントされます。

#### ① 注記

ジョブは、最終スケジュール時刻が指定された期間内にある場合にのみ考慮されます。

## 9.2.2 ジョブ一覧

この API は、指定された期間にスケジュールされた使用可能なジョブを一覧表示するために使用します。

使用可能なジョブを一覧表示するには、`http://<baseURL>/bionbi/job/list` URI を使用します。

### GET `http://<baseURL>/bionbi/job/list`

この API を使用して `/bionbi/job/list` URI に GET 要求を行うと、以下の応答を受信します。

応答:

- 応答には、ジョブの一覧がステータス、名前、タイプ、所有者、作成時刻などの詳細とともに表示されます。

#### ① 注記

応答には、ページ間の移動に使用できるナビゲーションリンクの詳細も表示されます。

```
<feed>
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/bionbi</id>
<updated>2015-09-21T09:34:17.991Z</updated>
<title type="text">Metrics for JobsListForState - ALL</title>
<link href="http://10.160.209.144:6405/biprws/bionbi/job/list/-1?page=1&pageSize=50&filterVals&startDate=07/14/2015+15%3A00%3A00&endDate=09/15/2015+23%3A00%3A00&sortType=DESC" rel="self" />
<link href="http://10.160.209.144:6405/biprws/bionbi/job/list/-1?page=1&pageSize=50&filterVals&startDate=07/14/2015+15%3A00%3A00&endDate=09/15/2015+23%3A00%3A00&sortType=DESC" rel="first" />
<link href="http://10.160.209.144:6405/biprws/bionbi/job/list/-1?page=2&pageSize=50&filterVals&startDate=07/14/2015+15%3A00%3A00&endDate=09/15/2015+23%3A00%3A00&sortType=DESC" rel="next" />
<link href="http://10.160.209.144:6405/biprws/bionbi/job/list/-1?page=313&pageSize=50&filterVals&startDate=07/14/2015+15%3A00%3A00&endDate=09/15/2015+23%3A00%3A00&sortType=DESC" rel="last" />
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="creation_time" type="string">Sep 15, 2015 12:26 PM</attr>
<attr name="owner" type="string">Administrator</attr>
<attr name="cuid" type="string">AQplwLrvEFNKrX_3gOVhJ68</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">17412</attr>
<attr name="status_type" type="string">Success</attr>
<attr name="end_time" type="string">Sep 15, 2015 12:28 PM</attr>
<attr name="description" type="string" />
<attr name="id" type="int32">345670</attr>
<attr name="title" type="string">Pub_webi [1]</attr>
<attr name="type" type="string">Publication</attr>
```

```

</attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
 <attr name="creation_time" type="string">Sep 8, 2015 5:41 AM</attr>
 <attr name="owner" type="string">Administrator</attr>
 <attr name="cuid" type="string">ATewtgSXXilOle6Q6ngiPkQ</attr>
 <attr name="parent_id" type="int32">342842</attr>
 <attr name="status_type" type="string">Failed</attr>
 <attr name="end_time" type="string">Sep 8, 2015 5:41 AM</attr>
 <attr name="description" type="string" />
 <attr name="id" type="int32">342909</attr>
 <attr name="title" type="string">pub2</attr>
 <attr name="type" type="string">Publication</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
</feed>

```

この URI を使用して、以下のようなさまざまな操作を実行することができます。

- ページごとのジョブの一覧表示
- レポートの種類に基づくジョブのフィルタ処理
- 特定の期間にスケジュールされたジョブの一覧表示

#### ページごとのジョブの一覧表示

応答で取得したナビゲーションリンクを使用するか、以下に示すように page および pageSize パラメータの詳細を手動で入力することができます。

ジョブをページごとに一覧表示するには、以下の URI を使用します。

http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/job/list?  
page=<Page\_no>&pageSize=<Max\_Page\_Limit>

以下の表にパラメータ page および pageSize の説明を示します。

#### パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
page	<Page_no>	パラメータ page ではページ番号を指定します。
pageSize	<Max_Page_Limit>	パラメータ pageSize ではページの最大制限を指定します。

#### ① 注記

デフォルトは、pageSize=50 です。

例 1: http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/job/list?page=1&pageSize=10 を使用して、1 ページに最初の 10 件のジョブ詳細を表示します。

例 2: http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/job/list?page=2&pageSize=10 を使用して、2 ページ目に 11 ～ 20 件のジョブを表示します。

レポートの種類に基づくジョブのフィルタ処理:

特定の種類のジョブに基づいてジョブをフィルタすることができます。例: `<CrystalReport>` の種類のジョブのみを表示するには、クエリパラメータの値を `<filterVals>=CrystalReport` に指定します。

#### ① 注記

- デフォルトでは、すべての種類のレポートが表示されます。
- `<filterVals>` クエリパラメータで1つ以上の種類を指定できますが、それらはカンマ(,)で区切る必要があります。

レポートの種類

レポートの種類

Webi
CrystalReport
Publication
AAD.AnalysisApplication
DataDiscovery
DataDiscoveryAlbum
AO.Workbook
MDAnalysis
VISILums
LumsExtension
Hyperlink
Note
pQuery
AO.Presentation
FullClient

特定の種類のジョブを一覧表示するには、`http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/job/list?filterVals=<Report_Kind1,Report_Kind2,Report_Kind3,>` URI を使用します。

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
filterVals	<code>&lt;Report_Kind1,Report_Kind2,Report_Kind3,&gt;</code>	レポートの種類。レポートの種類の表を参照してください。

例: レポートの種類が Crystal レポートのジョブを一覧表示するには、`http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/job/list&filterVals=Crystalreport` URI を使用します。

特定の期間にスケジュールされたジョブの一覧表示:

特定の期間にスケジュールされたジョブの一覧を確認するには、以下のように URI でクエリパラメータ `<startDate><endDate>` を使用します。

#### ① 注記

指定された日時は、UTC タイムゾーンを指します。

`http://<baseURL>/bionbi/job?startDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>&endDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>`

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
startDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、開始日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。
endDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、終了日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。

例: `http://<baseURL>/bionbi/job/list?startDate=06/12/2015 00:00:00&endDate=07/15/2015 00:00:00` では、UTC タイムゾーンの 2015 年 6 月 12 日から 2015 年 7 月 15 日の間にスケジュールされたすべてのジョブがカウントされます。

#### ① 注記

- ジョブは、最終スケジュール時刻が指定された期間内にある場合にのみ考慮されます。
- デフォルトでは、`<startDate>` は 1/1/1900 00:00:00 です。
- デフォルトでは、`<endDate>` は 1/1/2900 00:00:00 です。

## 9.2.3 ジョブの詳細

ステータス、エラーメッセージ、タイトル、説明、ID、作成時刻、タイプなどのジョブの詳細を一覧表示するには、`http://<baseURL>/bionbi/job/<Job_ID>` URI を使用します。

### GET :`http://<baseURL>/bionbi/job/<Job_ID>`

パラメータの説明

パラメータ名	説明
<Job_ID>	ジョブ ID。

例: ID=6533 のジョブの詳細を確認するには、以下に示すように URI でジョブ ID を使用します。

`http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/job/6533`。GET メソッドを使用して、要求を送信します。

応答: 応答で、以下の詳細を受信します。

- ```
<feed>
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/bionbi</id>
<title type="text">Metrics for JobDetails - ID:6533</title>
<updated>2015-06-25T02:24:41.916Z</updated>
<entry>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="id" type="int32">6533</attr>
<attr name="cuid" type="string">AZKbv6FL0dJDuywNom.2XN0</attr>
<attr name="title" type="string">Publication_Test</attr>
<attr name="end_time" type="datetime">2025-04-09T05:37:29.347Z</attr>
<attr name="status_type" type="string">RUNNING</attr>
<attr name="description" type="string" />
<attr name="owner" type="string">Administrator</attr>
<attr name="type" type="string">Publication</attr>
<attr name="error_msg" type="string" />
<attr name="parent_id" type="int32">6524</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
</feed>
```

9.2.4 ジョブの再実行

ジョブを再実行するには、`http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/job/rerun/<job_ID>` URI を使用します。

GET `http://<baseURL>/biprws/bionbi/job/rerun/<job_ID>`

この API を使用して `/bionbi/job/rerun/<job_ID>` URI に GET 要求を行います。

パラメータの説明

パラメータ名	説明
Job_ID	ジョブ ID

例: ジョブ ID が 6533 のジョブを再実行するには、`http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/job/rerun/6533` URI を使用します。

応答: 応答で、以下の詳細を受信します。

- ```
<feed>
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/bionbi</id>
<title type="text">Metrics for RerunJob - ID:6533</title>
<updated>2015-06-24T09:22:52.088Z</updated>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="id" type="int32">6533</attr>
<attr name="title" type="string">Publication_Test</attr>
<attr name="action_status" type="string">Success</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
</feed>
```

```
</attrs>
</content>
</entry>
</feed>
```

## 9.2.5 最大インスタンス数の統計

最大数のインスタンスを持つジョブを、最大インスタンス数を一番上にして一覧表示するには、`http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/job/stats/highestinstances` URI を使用します。

### GET `http://<baseURL>/biprws/bionbi/job/stats/highestinstances`

この API を使用して `/bionbi/job/stats/highestinstances` URI に GET 要求を行うと、以下の応答を受信します。

応答:

- 応答には、最大数のインスタンスを持つジョブが、最大インスタンス数を一番上にして、ID、CUID、タイトル、説明、レポート数、タイプ、親 ID などの詳細とともに表示されます。

- ```
<feed>
  <id>tag:sap.com,2010:bip-rs/bionbi</id>
  <updated>2015-06-24T09:17:14.580Z</updated>
  <title type="text">Metrics for Job Statistics - Reports with Highest
  Instances</title>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs>
        <attr name="id" type="int32">6533</attr>
        <attr name="cuid" type="string">AZKbv6FL0dJDuywNom.2XN0</attr>
        <attr name="title" type="string">Publication_Test</attr>
        <attr name="description" type="string" />
        <attr name="report_count" type="int32">3</attr>
        <attr name="type" type="string">Publication</attr>
        <attr name="parent_id" type="int32">6524</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs>
        <attr name="id" type="int32">6785</attr>
        <attr name="cuid" type="string">AbmTm6vpi9NKiWvK76t3aYc</attr>
        <attr name="title" type="string">Publication test</attr>
        <attr name="description" type="string" />
        <attr name="report_count" type="int32">2</attr>
        <attr name="type" type="string">Publication</attr>
        <attr name="parent_id" type="int32">6786</attr>
      </attrs>
    </content>
  </entry>
  <entry>
    <content type="application/xml">
      <attrs>
        <attr name="id" type="int32">7216</attr>
        <attr name="cuid" type="string">AQMVpjlCv_RAuytB9eJ96Eo</attr>
        <attr name="title" type="string">Publication test_new</attr>
```

```

<attr name="description" type="string" />
<attr name="report_count" type="int32">1</attr>
<attr name="type" type="string">Publication</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">6786</attr>
</attrs>
</content>
</entry>
</feed>

```

この URI を使用して、以下のようなさまざまな操作を実行することができます。

- 最大数のインスタンスを持つ上位 N 個のジョブの一覧表示
- 特定の期間にスケジュールされたジョブの一覧表示

最大数のインスタンスを持つ上位 N 個のジョブの一覧表示:

最大数のインスタンスを持つ上位 N 個のジョブを一覧表示する場合は、`http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/job/stats/highestinstances?topN=<Top_Value>` を使用します。

① 注記

デフォルトでは、すべてのジョブが一覧表示されます。

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
topN	<Top_Value>	最大数のインスタンスを持つ上位 1 ～ N 個のジョブを一覧表示します。

特定の期間にスケジュールされたジョブのインスタンスの一覧表示:

特定の期間にスケジュールされたジョブのインスタンスを一覧表示するには、以下のように URI でクエリパラメータ `<startDate><endDate>` を使用します。

① 注記

指定された日時は、UTC タイムゾーンを指します。

`http://<baseURL>/biprws/bionbi/job/stats/highestinstances?startDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>&endDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>`

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
startDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、開始日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。
endDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、終了日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。

例: `http://<baseURL>/biprws/bionbi/job/stats/highestinstances?startDate=06/12/2015 00:00:00&endDate=07/15/2015 00:00:00` では、UTC タイムゾーンの 2015 年 6 月 12 日から 2015 年 7 月 15 日の間にスケジュールされたジョブのうち、最大数のインスタンスを持つすべてのジョブがカウントされます。

① 注記

- ジョブは、最終スケジュール時刻が指定された期間内にある場合にのみ考慮されます。
- デフォルトでは、`<startDate>` は 1/1/1900 00:00:00 です。
- デフォルトでは、`<endDate>` は 1/1/2900 00:00:00 です。

9.2.6 最長インスタンスの統計

最長のインスタンスを持つジョブを、実行時間が最も長いインスタンスを一番上にして一覧表示するには、`http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/job/stats/longestinstances` URI を使用します。

GET `http://<baseURL>/bionbi/job/stats/longestinstance`

この API を使用して `/bionbi/job/stats/longestinstances` URI に GET 要求を行うと、以下の応答を受信します。

応答:

- 応答には、最長のインスタンスを持つジョブが、実行時間が最も長いインスタンスを一番上にして、ID、CUID、タイトル、説明、スケジュール所要時間、タイプ、親 ID などの詳細とともに表示されます。

```
<feed>
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/bionbi</id>
<updated>2015-06-24T09:13:12.438Z</updated>
<title type="text">Metrics for Job Statistics - Longest running Instances</title>
<entry>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="id" type="int32">6872</attr>
<attr name="cuid" type="string">AaXISFS8GrpMi6UwMeOcPpI</attr>
<attr name="title" type="string">Publication_Test</attr>
<attr name="description" type="string" />
<attr name="schedule_duration" type="int32">2086587392</attr>
<attr name="type" type="string">Publication</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">6533</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="id" type="int32">6884</attr>
<attr name="cuid" type="string">AcKekb2zb0JLgJ0eA0fqJI</attr>
<attr name="title" type="string">Comparative Income Statement[0]</attr>
<attr name="description" type="string" />
<attr name="schedule_duration" type="int32">2086587392</attr>
<attr name="type" type="string">CrystalReport</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">6883</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
```



```

<attrs>
<attr name="id" type="int32">6885</attr>
<attr name="cuid" type="string">AXc3VywLD0hGoNFoFV6rqIO</attr>
<attr name="title" type="string">Comparative Income Statement[1]</attr>
<attr name="description" type="string" />
<attr name="schedule_duration" type="int32">2086587392</attr>
<attr name="type" type="string">CrystalReport</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">6883</attr>
</attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
<attrs>
<attr name="id" type="int32">6886</attr>
<attr name="cuid" type="string">Ab.C5uLcJg5GolpkF1H5YVs</attr>
<attr name="title" type="string">Comparative Income Statement[2]</attr>
<attr name="description" type="string" />
<attr name="schedule_duration" type="int32">2086587392</attr>
<attr name="type" type="string">CrystalReport</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">6883</attr>
</attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
<attrs>
<attr name="id" type="int32">6887</attr>
<attr name="cuid" type="string">AcLBhXBErOpBhRLl100BhSw</attr>
<attr name="title" type="string">Comparative Income Statement[3]</attr>
<attr name="description" type="string" />
<attr name="schedule_duration" type="int32">2086587392</attr>
<attr name="type" type="string">CrystalReport</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">6883</attr>
</attrs>
</content>
</entry>
</feed>

```

この URI を使用して、以下のようなさまざまな操作を実行することができます。

- 実行時間が長いインスタンスを持つ上位 N 個のジョブの一覧表示
- 特定の期間にスケジュールされたジョブの一覧表示

実行時間が長いインスタンスを持つ上位 N 個のジョブの一覧表示:

実行時間が長い上位 N 個のジョブを一覧表示する場合は、http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/job/stats/longestinstances?topN=<Top_Value> を使用します。

① 注記

デフォルトでは、すべてのジョブが一覧表示されます。

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
topN	<Top_Value>	最大数のインスタンスを持つ上位 1 ～ N 個のジョブを一覧表示します。

特定の期間にスケジュールされたジョブの一覧表示:

特定の期間に長時間実行されたジョブを一覧表示するには、以下のように URI でクエリパラメータ `<startDate><endDate>` を使用します。

① 注記

指定された日時は、UTC タイムゾーンを指します。

`http://<baseURL>/job/stats/longestinstances?startDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>&endDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>`

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
startDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、開始日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。
endDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、終了日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。

例: `http://<baseURL>/bionbi/job/stats/longestinstances?startDate=06/12/2015 00:00:00&endDate=07/15/2015 00:00:00` では、UTC タイムゾーンの 2015 年 6 月 12 日から 2015 年 7 月 15 日の間にスケジュールされたジョブのうち、実行時間が最も長いすべてのジョブがカウントされます。

① 注記

- ジョブは、最終スケジュール時刻が指定された期間内にある場合にのみ考慮されます。
- デフォルトでは、`<startDate>` は 1/1/1900 00:00:00 です。
- デフォルトでは、`<endDate>` は 1/1/2900 00:00:00 です。

9.3 コンテンツの使用

9.3.1 コンテンツ数

この API は、表示、最新表示、またはスケジュールされるアクティブおよび非アクティブレポートドキュメント数を取得するために使用します。

レポートドキュメント数を取得するには、`http://<baseURL>/biprws/bionbi/content` URI を使用します。

GET `http://<baseURL>/biprws/bionbi/content`

この API を使用して `/bionbi/content` URI に GET 要求を行うと、以下の応答を受信します。

応答:

- 応答には、表示、最新表示、またはスケジュールされるアクティブおよび非アクティブレポートドキュメントの数が表示されます。

① 注記

レポートドキュメントが指定された期間内に表示、最新表示、またはスケジュールされる場合、レポートはアクティブ状態となります。それ以外の場合、レポートドキュメントは非アクティブ状態とされます。

- ```
<feed>
<id>
tag:Sap.com,2010:bip-rs/bionbi
</id>
<title type="text">
Metrics for ContentCountByState
</title>
<updated>
2015-08-19T05:55:17.716Z
</updated>
<author>
<name>
@win-2k8r2-x64:6400
</name>
</author>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="status_type" type="string">
ACTIVE
</attr>
<attr name="count" type="int32">
5
</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="status_type" type="string">
INACTIVE
</attr>
<attr name="count" type="int32">
36
</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
</feed>
```

この URI を使用して、以下の操作を実行することができます。

特定の期間に表示、最新表示、またはスケジュールされるアクティブおよび非アクティブレポートドキュメント数を確認するには、以下のように URI でクエリパラメータ `<startDate><endDate>` を使用します。

#### ① 注記

指定された日時は、UTC タイムゾーンを指します。

`http://<baseURL>/biprws/bionbi/content&startDate=<MM/DD/YYYY  
HH:MM:SS>&endDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>`

## パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
startDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、開始日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。
endDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、終了日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。

例: `http://<baseURL>/biprws/bionbi/content&startDate=06/12/2015 00:00:00&endDate=07/15/2015 00:00:00` では、UTC タイムゾーンの 2015 年 6 月 12 日から 2015 年 7 月 15 日の間に表示、最新表示、またはスケジュールされたレポートドキュメント数 (アクティブ状態) が表示されます。それ以外の場合、レポートドキュメントは非アクティブとみなされます。

### ① 注記

- デフォルトでは、<startDate> は 1/1/1900 00:00:00 です。
- デフォルトでは、<endDate> は 1/1/2900 00:00:00 です。

## 9.3.2 コンテンツ一覧

アクティブまたは非アクティブ InfoObject を一覧表示するには、`http://<baseURL>/bionbi/content/list` URI を使用します。

### ① 注記

デフォルトでは、この API は非アクティブ InfoObject を一覧表示します。

## GET `http://<baseURL>/bionbi/content/list`

この API を使用して `/bionbi/content/list` URI に GET 要求を行うと、以下の応答を受信します。

応答:

### • ① 注記

応答には、ページ間の移動に使用できるナビゲーションリンクの詳細も表示されます。

この API は以下のタイプのレポートの種類を返します。

レポートの種類

レポートの種類

Webi

## レポートの種類

CrystalReport

AAD.AnalysisApplication

DataDiscovery

DataDiscoveryAlbum

MDAnalysis

AO.Workbook

VISILums

LumsExtension

Hyperlink

Note

pQuery

AO.Presentation

FullClient

```
<feed>
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/bionbi</id>
<updated>2015-08-19T06:02:22.635Z</updated>
<title type="text">Metrics for ContentListForState - ACTIVE</title>
<link href="http://10.160.196.46:6405/biprws/bionbi/content/list/511?
page=1&pageSize=50&topN=0&startDate=08/18/2015&endDate=08/18/2015&sortType=DES
C" rel="self" />
<link href="http://10.160.196.46:6405/biprws/bionbi/content/list/511?
page=1&pageSize=50&topN=0&startDate=08/18/2015&endDate=08/18/2015&sortType=DES
C" rel="first" />
<link href="http://10.160.196.46:6405/biprws/bionbi/content/list/511?
page=1&pageSize=50&topN=0&startDate=08/18/2015&endDate=08/18/2015&sortType=DES
C" rel="last" />
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="cuid" type="string">AQtkbbSqN4NOj3ydf.Sw11Y</attr>
<attr name="status_type" type="string">Active</attr>
<attr name="last_run" type="string">Aug 18, 2015 12:00 AM</attr>
<attr name="title" type="string">Formatting Sample</attr>
<attr name="type" type="string">Web Intelligence</attr>
<attr name="view_count" type="int32">4</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="cuid" type="string">AYxI.vxl9IRCq0sSBP9Mybs</attr>
```

```

<attr name="status_type" type="string">Active</attr>
<attr name="last_run" type="string">Aug 18, 2015 12:00 AM</attr>
<attr name="title" type="string">Charting Samples</attr>
<attr name="type" type="string">Web Intelligence</attr>
<attr name="view_count" type="int32">2</attr>
</attrs>
</content>
</entry>
<entry>
</entry>
</feed>

```

この URI を使用して、以下のようなさまざまな操作を実行することができます。

- アクティブ InfoObject の一覧表示
- 上位 N 個のアクティブ InfoObject の表示
- InfoObject の並べ替え
- ページごとの InfoObject の一覧表示
- 特定の期間に使用された InfoObject の一覧表示

#### アクティブ InfoObject の一覧表示

アクティブ InfoObject を一覧表示するには、以下の URI を使用します。

`http://<baseURL>/bionbi/content/list/1`

#### ① 注記

デフォルトでは、この API は非アクティブ InfoObject を一覧表示します。

または、`http://<baseURL>/bionbi/content/list/2` を使用して非アクティブドキュメントを一覧表示することができます。

#### 上位 N 個のアクティブ InfoObject の表示

以下の URI を使用して、上位 N 個のアクティブ InfoObject を表示することができます。

`http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/content/list?topN=<Top_Value>`

#### InfoObject の並べ替え

アクティブ InfoObject の並べ替えは表示数に基づき、非アクティブ InfoObject の並べ替えは前回の実行時刻に基づきます。

`http://<baseURL>/bionbi/content/list?sortType=<Sort_Type_value>` URI を使用して、昇順または降順で並べ替えを実行することができます。

以下の表にパラメータの説明を示します。

## パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
sortType	<Sort_Type_value>	このパラメータは、値 ASC (昇順) または DESC (降順) を値として使用します。

① 注記

デフォルトでは、<sortType> は DESC に設定されます。

例: `http://<baseURL>/biprws/bionbi/content/list?sortType=DESC` では、非アクティブ InfoObject が前回実行時刻に基づいて降順で表示されます。

例: `http://<baseURL>/biprws/bionbi/content/list/1?sortType=DESC` では、すべてのアクティブ InfoObject が表示数に基づいて降順で表示されます。

ページごとの InfoObject の一覧表示:

応答で取得したナビゲーションリンクを使用するか、以下に示すように page および pageSize パラメータの詳細を手動で入力することができます。

InfoObject をページごとに一覧表示するには、以下の URI を使用します。

`http://<baseURL>/biprws/bionbi/content/list?  
page=<Page_no>&pageSize=<Max_Page_Limit>`

以下の表にパラメータ page および pageSize の説明を示します。

## パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
page	<Page_no>	パラメータ page ではページ番号を指定します。
pageSize	<Max_Page_Limit>	パラメータ pageSize ではページの最大制限を指定します。

① 注記

デフォルトは、pageSize=50 です。

例 1: `http://<baseURL>/biprws/bionbi/content/list?page=1&pageSize=10` を使用して、1 ページに最初の 10 個の非アクティブ InfoObject を表示します。

例 2: `http://<baseURL>/biprws/bionbi/content/list?page=2&pageSize=10` を使用して、2 ページ目に 11 ~ 20 個の非アクティブ InfoObject を表示します。

特定の期間の InfoObject の一覧表示:

特定の期間にアクセスされた InfoObject の一覧を確認するには、以下のように URI でクエリパラメータ <startDate><endDate> を使用します。

## ① 注記

指定された日時は、UTC タイムゾーンを指します。

http://<baseURL>/biprws/bionbi/content/list?startDate=<MM/DD/YYYY  
HH:MM:SS>&endDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>

#### パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
startDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、開始日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。
endDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、終了日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。

例: http://<baseURL>/biprws/bionbi/content/list?startDate=06/12/2015  
00:00:00&endDate=07/15/2015 00:00:00 では、UTC タイムゾーンの 2015 年 6 月 12 日から 2015 年 7 月 15 日の間にアクセスされたすべての非アクティブ InfoObject が一覧表示されます。

#### ① 注記

- デフォルトでは、<startDate> は 1/1/1900 00:00:00 です。
- デフォルトでは、<endDate> は 1/1/2900 00:00:00 です。

## 9.3.3 レポートによる統計フォルダ

最大数のレポートドキュメントを含むフォルダを、最大レポートドキュメント数を一番上にして一覧表示するには、http://<baseURL>/biprws/bionbi/content/stats/topfolderbyreports URI を使用します。

### GET http://<baseURL>/biprws/bionbi/content/stats/topfolderbyreports

この API を使用して /biprws/bionbi/content/stats/topfolderbyreports URI に GET 要求を行うと、以下の応答を受信します。

応答:

- 応答には、最大数のレポートドキュメントを含むフォルダが、最大レポートドキュメント数を一番上にして、ID、CUID、タイトル、説明、レポート数、タイプ、親 ID などの詳細とともに表示されます。

```
<feed>
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/bionbi</id>
<updated>2015-08-19T06:19:30.465Z</updated>
<title type="text">Metrics for content Statistics - Folder with highest
reports</title>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="cuid" type="string">AYfaKZs_CdNEszCbUVNGLU</attr>
<attr name="report_count" type="int32">11</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">5668</attr>
<attr name="description" type="string" />
<attr name="id" type="int32">5758</attr>
<attr name="title" type="string">Feature Samples</attr>
```



```

 </attrs>
 </content>
</entry>
<entry>
 <content type="application/xml">
 <attrs>
 <attr name="cuid" type="string">AYRMRln5A5hGnXSy3tPmXTc</attr>
 <attr name="report_count" type="int32">8</attr>
 <attr name="parent_id" type="int32">5668</attr>
 <attr name="description" type="string" />
 <attr name="id" type="int32">5918</attr>
 <attr name="title" type="string">Financial</attr>
 </attrs>
 </content>
</entry>
<entry>
 <content type="application/xml">
 <attrs>
 <attr name="cuid" type="string">AeN4lEu0h_tAtnPEjFYxwi8</attr>
 <attr name="report_count" type="int32">6</attr>
 <attr name="parent_id" type="int32">0</attr>
 <attr name="description" type="string" />
 <attr name="id" type="int32">5632</attr>
 <attr name="title" type="string">Web Intelligence Samples</attr>
 </attrs>
 </content>
</entry>
<entry>
 <content type="application/xml">
 <attrs>
 <attr name="cuid" type="string">AbShpyVlzOlJntqMZ3lWhAc</attr>
 <attr name="report_count" type="int32">6</attr>
 <attr name="parent_id" type="int32">5632</attr>
 <attr name="description" type="string" />
 <attr name="id" type="int32">5633</attr>
 <attr name="title" type="string">Mobile Samples</attr>
 </attrs>
 </content>
</entry>
<entry>
 <content type="application/xml">
 <attrs>
 <attr name="cuid" type="string">AfpSlelGVBZAkeuBlI4KR0I</attr>
 <attr name="report_count" type="int32">3</attr>
 <attr name="parent_id" type="int32">5668</attr>
 <attr name="description" type="string" />
 <attr name="id" type="int32">5669</attr>
 <attr name="title" type="string">Demonstration</attr>
 </attrs>
 </content>
</entry>
<entry>
 <content type="application/xml">
 <attrs>
 <attr name="cuid" type="string">ASloZEJAynpNjZlIaZK2rc7g</attr>
 <attr name="report_count" type="int32">1</attr>
 <attr name="parent_id" type="int32">0</attr>
 <attr name="description" type="string" />
 <attr name="id" type="int32">578</attr>
 <attr name="title" type="string">Auditing</attr>
 </attrs>
 </content>
</entry>
<entry>
 <content type="application/xml">
 <attrs>
 <attr name="cuid" type="string">AX00yM93QQZBmCjz8zfCWyc</attr>
 <attr name="report_count" type="int32">1</attr>

```

```

<attr name="parent_id" type="int32">4760</attr>
<attr name="description" type="string" />
<attr name="id" type="int32">4924</attr>
<attr name="title" type="string">Report Conversion Tool Audit Documents</attr>
</attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
 <attr name="cuid" type="string">Acu9FvxWBZ9Htt0_08a25b4</attr>
 <attr name="report_count" type="int32">1</attr>
 <attr name="parent_id" type="int32">0</attr>
 <attr name="description" type="string" />
 <attr name="id" type="int32">5656</attr>
 <attr name="title" type="string">Monitoring Report Sample</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
</feed>

```

この URI では、以下の操作を実行することができます。

- 最大数のレポートドキュメントを含む上位 N 個のフォルダの表示

最大数のレポートドキュメントを含む上位 N 個のフォルダの表示:

最大数のレポートドキュメントを含む上位 N 個のフォルダを表示する場合は、`http://<baseURL>/biprws/bionbi/content/stats/topfolderbyreports?topN=<Top_Value>` を使用します。

#### ① 注記

デフォルトでは、すべてのフォルダが表示されます。

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
topN	<Top_Value>	最大数のレポートドキュメントを含む上位 1 ～ N 個のフォルダを表示します。

## 9.3.4 未読による統計受信ボックス

最大数の未読レポートドキュメントを含む受信ボックスを、最大未読レポートドキュメントを一番上にして一覧表示するには、`http://<baseURL>/biprws/bionbi/content/stats/topinboxbyunread` URI を使用します。

### GET `http://<baseURL>/biprws/bionbi/content/stats/topinboxbyunread`

この API を使用して `/biprws/bionbi/content/stats/topinboxbyunread` URI に GET 要求を行うと、以下の応答を受信します。

応答:

- 応答には、最大数の未読レポートドキュメントを含む受信ボックスが、最大レポートドキュメント数を一番上にして、ID、CUID、タイトル、説明、レポート数、タイプ、親 ID などの詳細とともに表示されます。

```
<feed>
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/bionbi</id>
<updated>2015-08-19T06:21:46.163Z</updated>
<title type="text">Metrics for Content Statistics - Inbox with Highest Unread
reports</title>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="unread_report_count" type="int32">2</attr>
<attr name="cuid" type="string">CQEWAAAA9FZpPn7XfU2Ust.ltEwspg</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">48</attr>
<attr name="description" type="string" />
<attr name="read_report_count" type="int32">0</attr>
<attr name="id" type="int32">876</attr>
<attr name="title" type="string">Administrator</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
</feed>
```

この URI を使用して、以下の操作を実行することができます。

- 最大数の未読レポートドキュメントを含む上位 N 個の受信ボックスの表示

最大数の未読レポートドキュメントを含む上位 N 個の受信ボックスの表示:

最大数の未読レポートドキュメントを含む上位 N 個の受信ボックスを表示する場合は、`http://<baseURL>/biprws/bionbi/content/stats/topinboxbyunread?topN=<Top_Value>` を使用します。

#### ① 注記

デフォルトでは、すべての受信ボックスが表示されます。

#### パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
topN	<Top_Value>	最大数の未読レポートドキュメントを含む上位 1 ～ N 個の受信ボックスを表示します。

## 9.3.5 レポートによる統計ユニバース

最大数のレポートドキュメントが作成されたユニバースを、最大レポートドキュメント数を一番上にして一覧表示するには、`http://<baseURL>biprws/bionbi/content/stats/topunvbyreports` URI を使用します。

### GET `http://<baseURL>biprws/bionbi/content/stats/topunvbyreports`

この API を使用して `biprws/bionbi/content/stats/topunvbyreports` URI に GET 要求を行うと、以下の応答を受信します。

応答:

- 応答には、最大数のレポートドキュメントが作成されたユニバースが、最大レポートドキュメント数を一番上にして、ID、CUID、タイトル、説明、レポート数、タイプ、親 ID などの詳細とともに表示されます。

```
<feed>
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/bionbi</id>
<updated>2015-08-19T06:22:41.097Z</updated>
<title type="text">Metrics for Content Statistics - Universe with Highest
Reports</title>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="cuid" type="string">AX3cE9nWhMBLtXyWJ56OoDQ</attr>
<attr name="report_count" type="int32">4</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">601</attr>
<attr name="description" type="string">eFashion retail Data Warehouse created
14 Oct 1998. Updated 3 April 2002. 89,000+ row fact table. Version 6.0.
Updated 18 June 2014 with the efashion connection (MS Access 2007) by XAVIER</
attr>
<attr name="id" type="int32">5643</attr>
<attr name="title" type="string">eFashion</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="cuid" type="string">AZtmGeZqCllIugfputlCuho</attr>
<attr name="report_count" type="int32">2</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">5645</attr>
<attr name="description" type="string">eFashion retail Data Warehouse dated
14 Oct 2007. 89,000+ row fact table. Version 13</attr>
<attr name="id" type="int32">5646</attr>
<attr name="title" type="string">eFashion</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="cuid" type="string">AZZrE5CfJd9EjCBBvwuqgVA</attr>
<attr name="report_count" type="int32">1</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">5655</attr>
<attr name="description" type="string" />
<attr name="id" type="int32">5658</attr>
<attr name="title" type="string">Monitoring TrendData Universe</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
 <attrs>
<attr name="cuid" type="string">AVHuOHKBm5lFkr3KcJkfk_0</attr>
<attr name="report_count" type="int32">1</attr>
<attr name="parent_id" type="int32">4724</attr>
<attr name="description" type="string" />
<attr name="id" type="int32">5664</attr>
<attr name="title" type="string">Report Conversion Tool Audit Universe</attr>
 </attrs>
</content>
</entry>
</feed>
```

この URI を使用して、以下の操作を実行することができます。

- 最大数のレポートドキュメントが作成された上位 N 個のユニバースの表示

最大数のレポートドキュメントが作成された上位 N 個のユニバースの表示:

最大数のレポートドキュメントが作成された上位 N 個のユニバースを表示する場合は、`http://<baseURL>biprws/bionbi/content/stats/topunvbyreports?topN=<Top_Value>` を使用します。

#### ① 注記

デフォルトでは、すべてのユニバースが表示されます。

#### パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
topN	<Top_Value>	最大数のレポートドキュメントが作成された上位 1 ～ N 個のユニバースを表示します。

## 9.4 アプリケーション

この節では、システムでさまざまなレポートの数および使用統計を表示するための API について説明します。以下に、API の一覧を示します。

- [アプリケーション数 \[357 ページ\]](#)
- [アプリケーションの一覧 \[360 ページ\]](#)

### 9.4.1 アプリケーション数

個別レポートの数を取得するには、`http://<baseURL>/bionbi/application` URI を使用します。

#### GET `http://<baseURL>/bionbi/application`

この API を使用して `/bionbi/application` URI に GET 要求を行うと、以下の応答を受信します。

この API は一部の SI\_KIND の一覧を返します。以下の表に示すレポートの種類を参照してください。

レポートの種類

レポートの種類

Webi

CrystalReport

AAD.AnalysisApplication

## レポートの種類

---

DataDiscovery

---

DataDiscoveryAlbum

---

MDAnalysis

---

AO.Workbook

---

VISILums

---

LumsExtension

---

Hyperlink

---

Note

---

pQuery

---

AO.Presentation

---

FullClient

---

応答:

- ```
<feed>
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/bionbi</id>
<title type="text">Metrics for ReportCountByKindForPeriod</title>
<updated>2015-08-20T06:07:10.139Z</updated>
<author>
<name>@win-2k8r2-x64:6400</name>
</author>
<entry>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="KIND" type="string">Web Intelligence</attr>
<attr name="REPORT_COUNT" type="int32">5823</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="KIND" type="string">Crystal Report</attr>
<attr name="REPORT_COUNT" type="int32">5823</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="KIND" type="string">Publication</attr>
<attr name="REPORT_COUNT" type="int32">3</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
  <attrs>
```

```
<attr name="KIND" type="string">Hyperlink</attr>
<attr name="REPORT_COUNT" type="int32">1</attr>
</attrs>
</content>
</entry>
</feed>
```

この URI を使用して、以下の操作を実行することができます。

- 上位 N 個のレポート数の一覧表示
- レポート数に基づくレポートの並べ替え
- 特定の期間に作成されたレポートの一覧表示

上位 N 個のレポート数の一覧表示

以下の URI を使用して、上位 N 個のレポートを一覧表示することができます。

`http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/content/application?topN=<Top_Value>`

① 注記

デフォルトでは、すべてのレポートの数が一覧表示されます。

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
topN	<Top_Value>	最大数を持つ、上位 1 ～ N 個のレポートを一覧表示します。

レポート数に基づくレポートの並べ替え

レポートの並べ替えは、システム内の個別レポートの数に基づいて行われます。

`http://<baseURL>/bionbi/application?sortType=<Sort_Type_value>` URI を使用して、昇順または降順で並べ替えを実行することができます。

以下の表にパラメータの説明を示します。

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
sortType	<Sort_Type_value>	このパラメータは、値 ASC (昇順) または DESC (降順) を値として使用します。

① 注記

デフォルトでは、<sortType> は DESC に設定されます。

例: `http://<baseURL>/bionbi/application?sortType=DESC` では、個別レポートのレポート数が、レポート数に基づく降順で表示されます。

特定の期間に作成されたレポートの一覧表示

個別レポートの数を確認するには、以下のように URI でクエリパラメータ `<startDate><endDate>` を使用します。

① 注記

指定された日時は、UTC タイムゾーンを指します。

`http://<baseURL>/bionbi/application?startDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>&endDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>`

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
startDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、開始日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。
endDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、終了日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。

例: `http://<baseURL>/bionbi/application?startDate=06/12/2015 00:00:00&endDate=07/15/2015 00:00:00` では、UTC タイムゾーンの 2015 年 6 月 12 日から 2015 年 7 月 15 日の間に作成されたレポート数が表示されます。

① 注記

- デフォルトでは、`<startDate>` は 1/1/1900 00:00:00 です。
- デフォルトでは、`<endDate>` は 1/1/2900 00:00:00 です。

9.4.2 アプリケーションの一覧

特定の期間にレポートをスケジュール、実行、または表示したユーザの数を取得するには、`http://<baseURL>/bionbi/application/list` URI を使用します。

GET `http://<baseURL>/bionbi/application/list`

この API を使用して `/bionbi/application/list` URI に GET 要求を行うと、以下の応答を受信します。

応答:

• ① 注記

応答には、ページ間の移動に使用できるナビゲーションリンクの詳細も表示されます。

```
<feed>
<id>tag:sap.com,2010:bip-rs/bionbi</id>
<updated>2015-08-20T06:08:22.315Z</updated>
<title type="text">Metrics for ApplicationListForReportKind</title>
```



```

<link href="http://10.160.209.144:6405/biprws/bionbi/application/list?
page=1&pageSize=50&startDate=01/01/1900&endDate=01/01/2900&sortType=DESC"
rel="self" />
<link href="http://10.160.209.144:6405/biprws/bionbi/application/list?
page=1&pageSize=50&startDate=01/01/1900&endDate=01/01/2900&sortType=DESC"
rel="first" />
<link href="http://10.160.209.144:6405/biprws/bionbi/application/list?
page=1&pageSize=50&startDate=01/01/1900&endDate=01/01/2900&sortType=DESC"
rel="last" />
<entry>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="KIND" type="string">Web Intelligence</attr>
<attr name="REPORT_COUNT" type="int32">5823</attr>
<attr name="USER_COUNT" type="string">1</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="KIND" type="string">Crystal Report</attr>
<attr name="REPORT_COUNT" type="int32">5823</attr>
<attr name="USER_COUNT" type="string">1</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="KIND" type="string">Publication</attr>
<attr name="REPORT_COUNT" type="int32">3</attr>
<attr name="USER_COUNT" type="string">1</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
<entry>
<content type="application/xml">
  <attrs>
<attr name="KIND" type="string">Hyperlink</attr>
<attr name="REPORT_COUNT" type="int32">1</attr>
<attr name="USER_COUNT" type="int32">0</attr>
  </attrs>
</content>
</entry>
</feed>

```

この URI を使用して、以下の操作を実行することができます。

- 上位 N 個の個別レポートとその使用統計の一覧表示
- レポート数に基づくレポートの並べ替え
- 特定の期間に作成されたレポートとその使用統計の一覧表示
- ページごとの使用統計の一覧表示

上位 N 個のレポートとその使用統計の一覧表示

以下の URI を使用して、上位 N 個のレポートを一覧表示することができます。

http://10.160.212.35:6405/biprws/bionbi/content/application?topN=<Top_Value>

① 注記

デフォルトでは、すべてのレポートの数が一覧表示されます。

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
topN	<Top_Value>	最大数を持つ、上位 1 ～ N 個のレポートを一覧表示します。

レポート数に基づくレポートの並べ替え

レポートの並べ替えは、システム内の個別レポートの数に基づいて行われます。

http://<baseURL>/bionbi/application?sortType=<Sort_Type_value> URI を使用して、昇順または降順で並べ替えを実行することができます。

以下の表にパラメータの説明を示します。

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
sortType	<Sort_Type_value>	このパラメータは、値 ASC (昇順) または DESC (降順) を値として使用します。

① 注記

デフォルトでは、<sortType> は DESC に設定されます。

例: http://<baseURL>/bionbi/application?sortType=DESC では、個別レポートのレポート数が、レポート数に基づく降順で表示されます。

特定の期間に作成されたレポートとその使用統計の一覧表示

個別レポートの数を確認するには、以下のように URI でクエリパラメータ <startDate><endDate> を使用します。

① 注記

指定された日時は、UTC タイムゾーンを指します。

http://<baseURL>/bionbi/application?startDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>&endDate=<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
startDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、開始日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。
endDate	<MM/DD/YYYY HH:MM:SS>	このパラメータは、終了日を MM/DD/YYYY HH:MM:SS 形式で指定するために使用されます。

例: http://<baseURL>/bionbi/application?startDate=06/12/2015 00:00:00&endDate=07/15/2015 00:00:00 では、UTC タイムゾーンの 2015 年 6 月 12 日から 2015 年 7 月 15 日の間に作成されたレポート数が表示されます。

① 注記

- デフォルトでは、<startDate> は 1/1/1900 00:00:00 です。
- デフォルトでは、<endDate> は 1/1/2900 00:00:00 です。

ページごとの使用統計の一覧表示:

応答で取得したナビゲーションリンクを使用するか、以下に示すように page および pageSize パラメータの詳細を手動で入力することができます。

レポートの使用統計をページごとに一覧表示するには、以下の URI を使用します。

`http://<baseURL>/bionbi/application/list?page=<Page_no>&pageSize=<Max_Page_Limit>`

以下の表にパラメータ page および pageSize の説明を示します。

パラメータの説明

パラメータ名	値	説明
page	<Page_no>	パラメータ page ではページ番号を指定します。
pageSize	<Max_Page_Limit>	パラメータ pageSize ではページの最大制限を指定します。

① 注記

デフォルトは、pageSize=50 です。

例 1: `http://<baseURL>/bionbi/application/list?page=1&pageSize=10` を使用して、1 ページに最初の 10 個のレポートの使用統計を一覧表示します。

例 2: `http://<baseURL>/bionbi/application/list?page=2&pageSize=10` を使用して、2 ページ目に 11 ~ 20 個のレポートの使用統計を一覧表示します。

10 付録

10.1 付録 A - カテゴリ別の RWS エラー メッセージの概要

次の表に、RESTful Web サービスのエラー コードをリストします。このテーブルで { * ここにリソース名を挿入 * } のように角かっこに囲まれている項目は、エラー メッセージ内で関連するリソース名または値に置き換えられます。

RWS とその他の BI platform エラー メッセージの詳細については、BusinessObjects XI エラー メッセージの説明ガイドを参照してください。

次の表に、カテゴリ別のエラーの概要を示します。

カテゴリ	<message>
WebApplicationMapper	
RWS 00002	一般サーバーエラー。
RWS 00003	クライアント入力エラー。
NoAccessException	
RWS 00004	禁止。
RSPluginException	
RWS 00006	サービスを作成できません。詳細については、サーバーログを参照してください。
RWS 00007	サービス呼び出し中に不明なエラーが発生しました。詳細については、サーバー ログを参照してください。
RWS 00010	要求されたオブジェクトに対してリソースがサポートされていません。
InvalidEntSessionException	
RWS 00008	HTTP ヘッダーには X-SAP-LogonToken 属性が含まれていません。
RWS 00011	セッショントークンのタイムアウト値 { * ここにリソース名を挿入 * } は無効です。
RWS 00016	サーバーセッションは PJS Service Bean からは使用できません。
RWS 00076	セッションが既にこのリクエストに関連付けられているためログオンを続行できません。
RWS 00079	入力を確認してください。
NotFoundException	
RWS 00005	見つかりません。

カテゴリ	<message>
RWS 00009	リソースが見つかりません:{ * ここにリソース名を挿入 * }。
RWS 00012	ID { * ここにリソース名を挿入 * } の Info オブジェクトが見つかりません。
RWS 00015	{ * ここにリソース名を挿入 * }という名前の関係はありません。
DuplicateException	
RWS 00013	重複するオブジェクト。
RWS 00051	重複する { * ここにリソース名を挿入 * } インスタンスが作成されました。
CodecException	
RWS 00017	エンコードに失敗しました。
RWS 00018	{ * ここにリソース名を挿入 * } が NULL です。
RWS 00019	不正な引数: { * ここにリソース名を挿入 * }。
RWS 00020	{ * ここにリソース名を挿入 * } 型の値はシリアル化できません。
RWS 00021	終端がない文字列です。
RWS 00022	不正な形式の日付: { * ここにリソース名を挿入 * }。
RWS 00023	不正な形式の時間: { * ここにリソース名を挿入 * }。
RWS 00024	不正な形式の日時: { * ここにリソース名を挿入 * }。
RWS 00025	{ * ここにリソース名を挿入 * } 型の値は非シリアル化できません。
RWS 00026	属性名を取得できません。名前が NULL または空です。
<reserved>	
RWS 00001	<reserved>
RWS 00014	<reserved>
RWS 00027	<reserved>
RWS 00028	<reserved>
RWS 00029	<reserved>
RWS 00030	<reserved>
ModelException	
RWS 00031	モデルエラーです。

カテゴリ	<message>
RWS 00032	setter がありません。
RWS 00033	この getter コマンドではパラメータを使用できません: { * ここにリソース名を挿入 * }。
RWS 00034	setter は 1 つのパラメータ { * ここにリソース名を挿入 * } だけを持つ必要があります。
RWS 00035	setter { * ここにリソース名 1 を挿入 * } は getter { * ここにリソース名 2 を挿入 * } のタイプと異なります。
RWS 00036	ソース: { * ここにリソース名 1 を挿入 * } + 出力先: { * ここにリソース名 2 を挿入 * }。
RWS 00037	参照型の等号は実装されていません。
RWS 00038	ハッシュベースのコレクション形式の使用は実装されていません。
RWS 00039	クラス { * ここにリソース名を挿入 * } はモデルクラスではありません。
RWS 00040	クラス { * ここにリソース名を挿入 * } はモデルクラスではありません。
RWS 00041	属性 '{ * ここにリソース名 1 を挿入 * }' は次の 2 つの get (set) メソッドにバインドできません: { * ここにリソース名 2 を挿入 * } および { * ここにリソース名 3 を挿入 * }。
RWS 00042	モデルに少なくとも 1 つの書き込み専用属性が含まれています。名前: { * ここにリソース名 1 を挿入 * }、メソッド: { * ここにリソース名 2 を挿入 * }。
RWS 00043	クラス { * ここにリソース名を挿入 * } にはパラメータなしでアクセスできるコンストラクタはありません。
RWS 00044	構成プロパティ { * ここにリソース名 2 を挿入 * } のオブジェクト { * ここにリソース名 1 を挿入 * } が null です。
RWS 00045	プロパティ '{ * ここにリソース名 1 を挿入 * }' を { * ここにリソース名 3 を挿入 * } 型のフィールド { * ここにリソース名 2 を挿入 * } に導入できませんでした。
RWS 00046	プロパティ名はすでに存在します: { * ここにリソース名を挿入 * }
RWS 00047	GUID にパス区切り '/' を含めることはできません。
RWS 00048	クラス { * ここにリソース名を挿入 * } に型がありません。
RWS 00049	空のフィルタ。

カテゴリ	<message>
RWS 00050	フィルタは他のフィルタ文字と共に ' { * ここにリソース名を挿入 * } ' を使用できません。
RWS 00080	不明な属性 ' { * ここにリソース名 1 を挿入 * } ' をメソッド ' { * ここにリソース名 2 を挿入 * } ' にバインドできません。
WebApplicationExceptionHandler	
RWS 00052	不正な要求です。(RWS00052) は HTTP 応答コード 400 に対応します。これは RFC 2616 が規定する状況で BIP RESTful Web サービスがスローする汎用的なエラーメッセージです。このエラーを解決する詳細なガイダンスは、RFC 2616 のセクション 10.4 を参照してください。RWS 00052 ~ RWS 00075 に適用されます。
RWS 00053	権限なし。(RWS00053) は HTTP 応答コード 401 に対応します。
RWS 00054	支払が必要です。(RWS00054) は HTTP 応答コード 402 に対応します。
RWS 00055	禁止。(RWS00055) は HTTP 応答コード 403 に対応します。
RWS 00056	見つかりません。(RWS00056) は HTTP 応答コード 404 に対応します。
RWS 00057	メソッドは使用できません。(RWS00057) は HTTP 応答コード 405 に対応します。
RWS 00058	受容不可。(RWS00058) は HTTP 応答コード 406 に対応します。
RWS 00059	プロキシ認証が必要です。(RWS00059) は HTTP 応答コード 407 に対応します。
RWS 00060	要求がタイムアウトしました。(RWS00060) は HTTP 応答コード 408 に対応します。
RWS 00061	競合。(RWS00061) は HTTP 応答コード 409 に対応します。
RWS 00062	消失。(RWS00062) は HTTP 応答コード 410 に対応します。
RWS 00063	長さが必要です。(RWS00063) は HTTP 応答コード 411 に対応します。
RWS 00064	前提条件に失敗しました。(RWS00064) は HTTP 応答コード 412 に対応します。
RWS 00065	要求エンティティが大きすぎます。(RWS00065) は HTTP 応答コード 413 に対応します。
RWS 00066	要求 URI が長すぎます。(RWS00066) は HTTP 応答コード 414 に対応します。
RWS 00067	サポートされていないメディア タイプです。(RWS00067) は HTTP 応答コード 415 に対応します。

カテゴリ	<message>
RWS 00068	要求された範囲が完全ではありません。(RWS00068) は HTTP 応答コード 416 に対応します。
RWS 00069	予想に失敗しました。(RWS00069) は HTTP 応答コード 417 に対応します。
RWS 00070	内部サーバーエラーです。(RWS00070) は HTTP 応答コード 500 に対応します。
RWS 00071	実装されていません。(RWS00071) は HTTP 応答コード 501 に対応します。
RWS 00072	不正なゲートウェイです。(RWS00072) は HTTP 応答コード 502 に対応します。
RWS 00073	サービスは利用できません。(RWS00073) は HTTP 応答コード 503 に対応します。
RWS 00074	ゲートウェイがタイムアウトしました。(RWS00074) は HTTP 応答コード 504 に対応します。
RWS 00075	サポートされていない HTTP バージョンです。(RWS00075) は HTTP 応答コード 505 に対応します。
CredentialException	
RWS 00077	選択した認証スキーマは現在サポートされていません。
RWS 00078	認証情報をデコードできませんでした。

10.2 RESTful Web サービス (RWS) のエラーメッセージ

RESTful Web サービスのエラーメッセージは、次のカテゴリに分類されます。

範囲	カテゴリ
RWS 00002 - RWS 00010	RESTful Web サービス
RWS 000011 - RWS 000026	RESTful Web サービス
RWS 000031 - RWS 000051	RESTful Web サービス
RWS 00052 - RWS 00075	RESTful Web サービス
RWS 000076 - RWS 000079	RESTful Web サービス

10.2.1 RWS 00002 - RWS 00010

10.2.1.1 一般サーバエラー。(RWS 00002)

原因

BIP RESTful Web サービスで不明なエラーが発生しました。

対処方法

サーバログで詳細を確認してください。

10.2.1.2 クライアント入力エラー。(RWS 00003)

原因

BIP RESTful Web サービスに対するクライアントの入力に不明のエラーがあります。

対処方法

呼び出そうとしているリソースのドキュメンテーションを参照して、入力の有効かどうか確認してください。

10.2.1.3 禁止 (RWS 00004)

原因

このリソースはアクセスされない可能性があります。

対処方法

リソースにアクセスする権限があることを確認します。

10.2.1.4 見つかりません (RWS 00005)

原因

特定のリソースが見つかりませんでした。リソースが存在していないか、リソースを表示する権限がありません。

対処方法

使用した URL が正しいことを確認します。InfoObject を表示しようとする場合は、セントラル管理コンソール (CMC) を使用して、そのオブジェクトを表示する権限があることを確認します。

10.2.1.5 サービスを作成できません。詳細については、サーバログを参照してください。 (RWS 00006)

原因

BIP RESTful Web サービスは要求されたサービスを作成できませんでした。

対処方法

Constructor.newInstance について JavaDoc を検証します。この例外と Constructor.newInstance が生成する例外の原因をクロスチェックします。

10.2.1.6 サービス呼び出し中に不明なエラーが発生しました。詳細については、サーバログを参照してください。 (RWS 00007)

原因

サービス起動中に BIP RESTful Web サービスで不明なエラーが発生しました。

対処方法

BIP RESTful Web サービスを含む Web アプリケーションサーバのログで詳細を確認します。

10.2.1.7 HTTP ヘッダには X-SAP-LogonToken 属性が含まれていません。(RWS 00008)

原因

要求されたリソースに対するアクセスでは、認証済みである必要があります。

対処方法

要求のヘッダに X-SAP-LogonToken を渡してください。ログオンリソースを使用してこれを生成します。

10.2.1.8 リソースが見つかりません: {0} (RWS 00009)

原因

特定のリソースが見つかりませんでした。リソースが存在していないか、リソースを表示する権限がありません。

対処方法

使用した URL が正しいことを確認します。InfoObject を表示しようとする場合は、セントラル管理コンソール (CMC) を使用して、そのオブジェクトを表示する権限があることを確認します。

10.2.1.9 要求されたオブジェクトに対してリソースがサポートされていません。(RWS 00010)

原因

サポートされていない InfoObject のリソースにアクセスしようとしてしました。たとえば、フォルダの Crystal Reports サービスにアクセスしようとすると、この例外が発生します。

対処方法

サポートされていないオブジェクトでこのメソッドを呼び出さないでください。有効なリンクにのみアクセスしてください。

10.2.2 RWS 00011 ～ RWS 00026

10.2.2.1 セッショントークンのタイムアウト値 {0} は無効です。(RWS 000011)

原因

BIP RESTful Web サービスの設定が無効なため、ログオントークンを作成できませんでした。

対処方法

システム管理者に連絡して、BIP RESTful Web サービスの適切なセッショントークンタイムアウト値をセントラル管理コンソール (CMC) で設定してください。

10.2.2.2 ID {0} の Info オブジェクトが見つかりません。(RWS 000012)

原因

InfoObject が見つかりませんでした。存在すると思われる場合は、表示権限があることを確認しましたか？

対処方法

セントラル管理コンソール (CMC) を使用して、InfoObject が存在し、それを表示する権限があることを確認します。

10.2.2.3 重複するオブジェクト (RWS 000013)

原因

重複したオブジェクトが検出されました。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.2.4 {0} という名前の関係はありません。(RWS 000015)

原因

InfoObject で関係が見つかりませんでした。

対処方法

ルートオブジェクトを参照して、使用されている URL が BIP RESTful WebService によって生成されたものであることを確認します。URL が本当に有効な場合、権限を確認して、関係を表示する適切な権限があることを検証しましたか？

10.2.2.5 サーバセッションは PJS Service Bean から使用できません。(RWS 000016)

原因

Adaptive Processing Server が BIP RESTful Web サービスにサーバセッションを渡していません。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.2.6 エンコードに失敗しました。(RWS 000017)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式 (XML など) にエンコードするコーデックを使用します。エンコーディングエラーが発生しました。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.2.7 {0} が NULL です。(RWS 000018)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式(XML など) にエンコードするコーデックを使用します。実行中に値を参照できませんでした。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.2.8 不正な引数: {0} (RWS 000019)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式(XML など) にエンコードするコーデックを使用します。実行中に不正な引数が検出されました。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.2.9 {0} 型の値はシリアル化できません。(RWS 000020)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式(XML など) にエンコードするコーデックを使用します。値をシリアル化できませんでした。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.2.10 終端がない文字列です。(RWS 000021)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式 (XML など) にエンコードするコーデックを使用します。終端がない文字列が見つかりました。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.2.11 不正な形式の日付: {0}。(RWS 000022)

原因

BIP RESTful Web サービスは渡された日付をエンコード/デコードできませんでした。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.2.12 不正な形式の時間: {0}。(RWS 000023)

原因

BIP RESTful Web サービスは渡された時間をエンコード/デコードできませんでした。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.2.13 不正な形式の日時: {0}。(RWS 000024)

原因

BIP RESTful Web サービスは渡された日時をエンコード/デコードできませんでした。

対処方法

日時が ATOM 標準で認識される形式 (RFC 4287) であることを確認してください。このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.2.14 {0} 型の値は非シリアル化できません。(RWS 000025)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式 (XML など) にエンコードするコーデックを使用します。デコーディングエラーが発生しました。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.2.15 属性名を取得できません。名前が null または空です。(RWS 000026)

原因

BIP RESTful Web サービスは、オブジェクトをユーザが読み取り可能な形式 (XML など) にエンコードするコーデックを使用します。ユーザが読み取り可能な形式を読み取り/書き込み中に解析エラーが発生しました。

対処方法

このエラーの原因となったパラメータに関する詳細をログで確認してください。問題が解決しない場合は、SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3 RWS 00031 ～ RWS 00051

10.2.3.1 モデルエラーです。(RWS 000031)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.2 `setter` がありません。(RWS 000032)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.3 `getter` にはパラメータ {0} を使用できません。(RWS 000033)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.4 `setter` は 1 つのパラメータ `{0}` だけを持つ必要があります。(RWS 000034)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.5 `setter {0}` は `getter {1}` のタイプと異なります。(RWS 000035)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.6 ソース: `{0}` + 出力先: `{1}`。(RWS 000036)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.7 参照型の等号は実装されていません。(RWS 000037)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.8 ハッシュベースのコレクション形式の使用は実装されていません。(RWS 000038)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.9 クラス {0} はモデルクラスではありません。(RWS 000039)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.10 プロパティ '{0}' は次の 2 つのフィールドにバインドできません: {1} および {2}。

(RWS 000040)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.11 属性 '{0}' は 2 つの get (set) メソッドにバインドできません: {1} および {2}。

(RWS 000041)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.12 モデルに少なくとも 1 つの書き込み専用属性が含まれています。名前: {0}、メソッド:

{1}。(RWS 000042)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.13 クラス {0} にはパラメータなしでアクセスできるコンストラクタはありません。(RWS 000043)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.14 構成プロパティ {1} のオブジェクト {0} が null です。(RWS 000044)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.15 プロパティ '{0}' を {2} 型のフィールド {1} に導入できませんでした。(RWS 000045)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.16 プロパティ名はすでに存在します: {0} (RWS 000046)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.17 GUID にパス区切り '/' を含めることはできません (RWS 000047)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.18 クラス {0} に型がありません (RWS 000048)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.19 空のフィルタ。(RWS 000049)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.20 フィルタは他のフィルタ文字と共に '{0}' を使用できません。(RWS 000050)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.3.21 重複する {0} インスタンスが作成されました。(RWS 000051)

原因

BIP RESTful Web サービスコードには、日常の操作を管理するためのシングルトンオブジェクトがあります。重複するシングルトンオブジェクトが作成されました。

対処方法

このエラーは、カスタマ環境では発生しません。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

10.2.4 RWS 00052 - RWS 00075

10.2.4.1 リクエストを処理できません; 構文が正しくないため、サーバでリクエストを処理できませんでした (RWS 00052)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.2 このリクエストを実行する権限がありません (RWS 00053)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.3 支払が必要です (RWS 00054)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.4 リクエストの実行中にエラーが発生しました；サーバはこのリクエストを処理できません；このリクエストを繰り返さないでください（RWS 00055）

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.5 要求の実行中にエラーが発生しました。サーバが要求 URI の一致を見つけられません（RWS 00056）

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.6 メソッドは使用できません；リクエスト行で指定されているメソッドは、リクエスト URI によって特定されるリソースで使用できません（RWS 00057）

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.7 要求を処理できません。要求によって特定されるリソースは、要求で送信された `Accept` ヘッダに従うと許容されないコンテンツ特性を持つ応答エンティティしか生成できません。(RWS 00058)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.8 プロキシ認証が必要です (RWS 00059)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.9 リクエストタイムアウト; リクエストは、サーバが待機している間に送信されませんでした; もう一度リクエストしてください (RWS 00060)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.10 リクエストは処理されませんでした; リソースの現在の状態に競合があるため、リクエストを完了できませんでした (RWS 00061)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.11 リクエストは処理されませんでした; 要求されたリソースはサーバで利用できないため、転送先アドレスが不明です (RWS 00062)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.12 要求は処理されませんでした。要求に Content-Length ヘッダが含まれていません。要求のメッセージ本文の長さを含む有効な Content-Length ヘッダフィールドデータを追加して、要求を作成してください。(RWS 00063)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.13 要求は処理されませんでした。要求に `Content-Length` ヘッダが含まれていません。要求のメッセージ本文の長さを含む有効な `Content-Length` ヘッダフィールドデータを追加して、要求を作成してください。(RWS 00063)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.14 前提条件に失敗しました (RWS 00064)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.15 要求エンティティが大きすぎます (RWS 00065)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.16 要求 URI が長すぎます (RWS 00066)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.17 サポートされていないメディアタイプです (RWS 00067)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.18 要求された範囲が完全ではありません (RWS 00068)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.19 要求に失敗しました。サーバは `Expect` 要求ヘッダフィールドで指定された要求を処理できませんでした。または、サーバがプロキシサーバである場合は、要求が次のホップサーバで処理できることは保証されていません。(RWS 00069)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.4 節を参照してください。

10.2.4.20 内部サーバエラーです (RWS 00070)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.5 節を参照してください。

10.2.4.21 リクエストは処理されませんでした；サーバは、このリクエストの完了に必要な機能をサポートしていません (RWS 00071)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.5 節を参照してください。

10.2.4.22 要求は処理されませんでした。サーバがゲートウェイとして実行中であるか、プロキシが無効な応答を受信しました (RWS 00072)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.5 節を参照してください。

10.2.4.23 サービスは利用できません (RWS 00073)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.5 節を参照してください。

10.2.4.24 ゲートウェイがタイムアウトしました (RWS 00074)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.5 節を参照してください。

10.2.4.25 サポートされていない HTTP バージョンです (RWS 00075)

原因

これは、RFC 2616 に記述されている状況で BIP RESTful Web サービスが発行する汎用エラーメッセージです。

アクション

このエラーの解決に関する詳細については、RFC 2616 の 10.5 節を参照してください。

10.2.5 RWS 00076 ～ RWS 00080

10.2.5.1 セッションがすでにこのリクエストに関連付けられているためログオンを続行できません。(RWS 000076)

原因

セッションがすでに要求に関連付けられているのに、BIP RESTful Web サービスにログオンしようとしてしました。

対処方法

ログオンリソースを使用するときは、BIP RESTful Web サービスにセッションを渡さないようにします。

10.2.5.2 選択した認証スキーマは現在サポートされていません。(RWS 000077)

原因

選択された認証スキーマは、BI プラットフォーム RESTful Web サービスではサポートされていません。

対処方法

X-SAP-LogonToken メカニズムを使用して認証情報を渡すか、HTTP BASIC 認証 (RFC 2617 参照) を使用します。

10.2.5.3 認証情報をデコードできませんでした。(RWS 000078)

原因

BI プラットフォーム RESTful Web サービスに渡された認証情報をデコードできませんでした。

対処方法

認証情報を使用する前に、それが正常にエンコードされていることを確認します。HTTP BASIC 認証を使用している場合は、RFC 2617 で指定された形式にエンコードされていることを確認します。

10.2.5.4 有効な入力値を入力してください (RWS 000079)

原因

要求の内容が正しく書式設定され、必須フィールドがすべて含まれることを確認してください。

アクション

要求の内容が正しく書式設定されていることを確認した後で、要求を再送信します。通常は、GET を使用して要求に必要な書式を確認します。ドキュメントでこの情報を確認することもできます。

10.2.5.5 Cannot bind unknown attribute {0} to method {1}. (RWS00080)

原因

BIP RESTful Web サービスのバイナリに無効なデータが含まれます。



対処方法

このエラーメッセージはインストールが完全に実行された環境ではほとんど表示されないため、インストールのエラーまたは破損を示している可能性があります。インストールが適切で破損していないことを確認済みの場合は、この問題を解決するために SAP BusinessObjects サポートに問い合わせてください。

重要免責事項および法的情報

ハイパーリンク

リンクの一部は、アイコンやマウスオーバーテキストで分類されています。これらのリンクから、追加の情報を得ることができます。アイコンについて。

-  このアイコンが付いたリンク: SAP がホストしているものではない Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り) 以下のことに同意することになります。
 - リンク先のサイトのコンテンツが SAP のドキュメンテーションではないこと。お客様は、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできません。
 - SAP が、リンク先のサイトのコンテンツについて同意することも反対することもなく、また SAP がその利用可能性や正確性について保証しないこと。SAP は、かかるコンテンツの使用により発生した損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、その損害に対して一切責任を負いません。
-  このアイコンが付いたリンク: 当該の特定の SAP 製品又はサービスのドキュメンテーションから離れ、SAP がホストしている Web サイトに移動します。これらのリンクを使用することで、お客様は (お客様と SAP との契約書に別段の明示的な記載がない限り)、この情報に基づいて SAP に対する製品クレームを推断することはできないことに同意します。

外部プラットフォームでホストされているビデオ

一部のビデオは、サードパーティのビデオホスティングプラットフォームに置かれている場合があります。SAP では、これらのプラットフォームに保存されているビデオが将来にわたって利用できると保証することはできません。また、これらのプラットフォームにホストされている、いかなる広告またはその他のコンテンツ (関連ビデオまたは同じサイトでホストされている別のビデオに移動する場合など) については、SAP の管理外であり責任を負いません。

ベータおよびその他の試験的機能

試験的機能は、SAP が将来のリリースを保証する正式に提供される機能の範囲外です。これは、試験的機能は、SAP により通知なく理由の如何を問わず随時変更される場合があることを意味します。試験的機能は、本稼働使用のためのものではありません。お客様は、試験的機能を実際の運用環境で、又は十分なバックアップがとられていないデータとともに、デモンストレーション、テスト、試験、評価その他の方法で使用してはなりません。

試験的機能の目的は、早期にフィードバックを得ることで、それに応じて顧客の皆様やパートナーが将来の製品に影響を与えることを可能にすることです。SAP コミュニティなどにおいてフィードバックを提供することで、お客様は、投稿物や二次的著作物の知的財産権が SAP の独占的所有物であり続けることを承認することになります。

コード例

ソフトウェアのコーディングやコードスニペットはすべて、例です。それらは、本稼働使用のためのものではありません。コード例は、構文や表現規則を分かりやすく説明し視覚化することのみを目的としています。SAP は、コード例の正確性や完全性について保証しません。SAP は、コード例の使用により発生した過誤や損害が、SAP の重大な過失又は意図的な違法行為が原因で発生したものでない限り、損害に対して一切責任を負いません。

偏見のない表現

SAP は、ダイバーシティ & インクルージョンの文化を支持しています。SAP の文書では、可能な限り、文化、民族性、ジェンダー、および障がいの有無を問わず、すべての人々に対する偏見を伴わない表現を採用します。

© 2024 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。

SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。

これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱漏等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE（又は SAP の関連会社）の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他のすべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。

商標に関する詳細の情報や通知については、<https://www.sap.com/japan/about/legal/trademark.html> をご覧ください。